

令和元年度決算

主要施策成果報告書

第六次鳴門市総合計画 実施計画

令和元年(2019年)度－令和3年(2021年)度

実績兼評価シート まとめ



令和2年10月

鳴門市

目 次








1. 主要施策成果報告書及び第六次鳴門市総合計画実施計画における令和元年度実績及び令和2年度行政評価について

(1) 主要施策成果報告書	・ ・ ・	1
(2) 鳴門市総合計画実施計画 令和元年度実績	・ ・ ・	1
(3) 令和2年度 鳴門市行政評価	・ ・ ・ ・ ・	2
(4) 総合計画体系図	・ ・ ・ ・ ・	3
(5) 成長戦略	・ ・ ・ ・ ・	5

2. 令和元年度決算の概要

(1) 各会計の決算額の状況	・ ・ ・ ・ ・	7
(2) 普通会計決算の概要	・ ・ ・ ・ ・	8
① 普通会計決算規模等	・ ・ ・ ・ ・	8
② 各種財政指標の推移	・ ・ ・ ・ ・	11

3. 実施計画兼評価シート

(1) 実施計画兼評価シートの見方	・ ・ ・ ・ ・	12
(2) 事業一覧表【組織機構順】	・ ・ ・ ・ ・	14
(3) 各実施計画兼評価シート		
 企 画 総 務 部		
 市 民 環 境 部		
 健 康 福 祉 部		
 経 済 建 設 部		
 消 防 本 部		
 企 業 局		
 教 育 委 員 会		

1.主要施策成果報告書及び第六次鳴門市総合計画実施計画における令和元年度実績及び令和２年度行政評価について

(１) 主要施策成果報告書

地方自治法第２３３条第５項に基づき、「決算に係る主要施策の成果報告書」を議会に提出するものである。主要施策の個別事業は、本市の最上位計画である第六次鳴門市総合計画に基づき、令和元年度末時点における実績や進捗状況、今後の方向性等を明示し、従来の成果報告の内容に、PDCAサイクルの考え方を踏まえ、進捗管理の要素を加えた総合計画実施計画兼評価シートとして取りまとめたものである。

(２) 鳴門市総合計画実施計画 令和元年度実績

本市では、第六次鳴門市総合計画に基づき、計画的かつ効率的な行財政運営を進めるため、向こう3か年の具体的施策・事業を示した実施計画を策定している。実施計画の進捗状況を把握し、必要に応じ所要の見直しを行うため、総合計画実施計画兼評価シートにより令和元年度末時の進捗状況をまとめたものである。

◆推進体制

①事務事業担当部署による内部評価

事業担当課による総合計画実施計画兼評価シートの作成。

②総合計画策定委員会による内部評価

総合計画実施計画兼評価シートを、策定委員会にて審議し、内部評価の最終決定とする。

③総合計画審議会による外部評価

策定委員会を経て、総合計画審議会にて外部の視点からの評価を受ける。

④市議会への報告による外部評価

市議会においての外部評価を受ける。

⑤最終的な評価の決定

策定委員会及び総合計画審議会等の結果をもとに、評価の決定を行う。

(3) 令和2年度 鳴門市行政評価

◆ねらい

継続的な点検評価サイクルを確立し、成果主義の考え方に基づき行政活動の課題や問題点を明確化し、今後の改善策を打ち出すとともに、評価結果を市民に公表することにより、市民ニーズの市政への反映につなげる。

<鳴門市行政評価の4つのねらい>

- ①市民の視点に立ち、成果を重視した行政運営
- ②市民への説明責任を果たすことによる行政運営の透明性の向上
- ③事業の効果的で効率的な執行
- ④職員の意識改革による政策形成能力の向上

◆令和2年度実施方針

- ① 公正の確保と透明性向上のため市民との情報の共有化を推進する。
- ② 鳴門市自治基本条例第25条に定める行政評価結果を予算編成に反映させる。
- ③ 市民にとって分かりやすく、シンプルな行政評価を実施する。
 - i 評価の対象：事務事業
 - ii 評価の機関：内部
 - iii 評価の時期：令和元年度に実施した事務事業に対する事後評価

◆評価対象となる事務事業

令和元年度総合計画実施計画（H31-33）に掲載されている事務事業

145事業

◆令和3年度の予算及び事業の推進との関係

行政評価結果については、令和3年度の予算編成及びその事業の推進に反映する。

◆評価結果の公表

市議会及び市公式ウェブサイト等にて公表する。

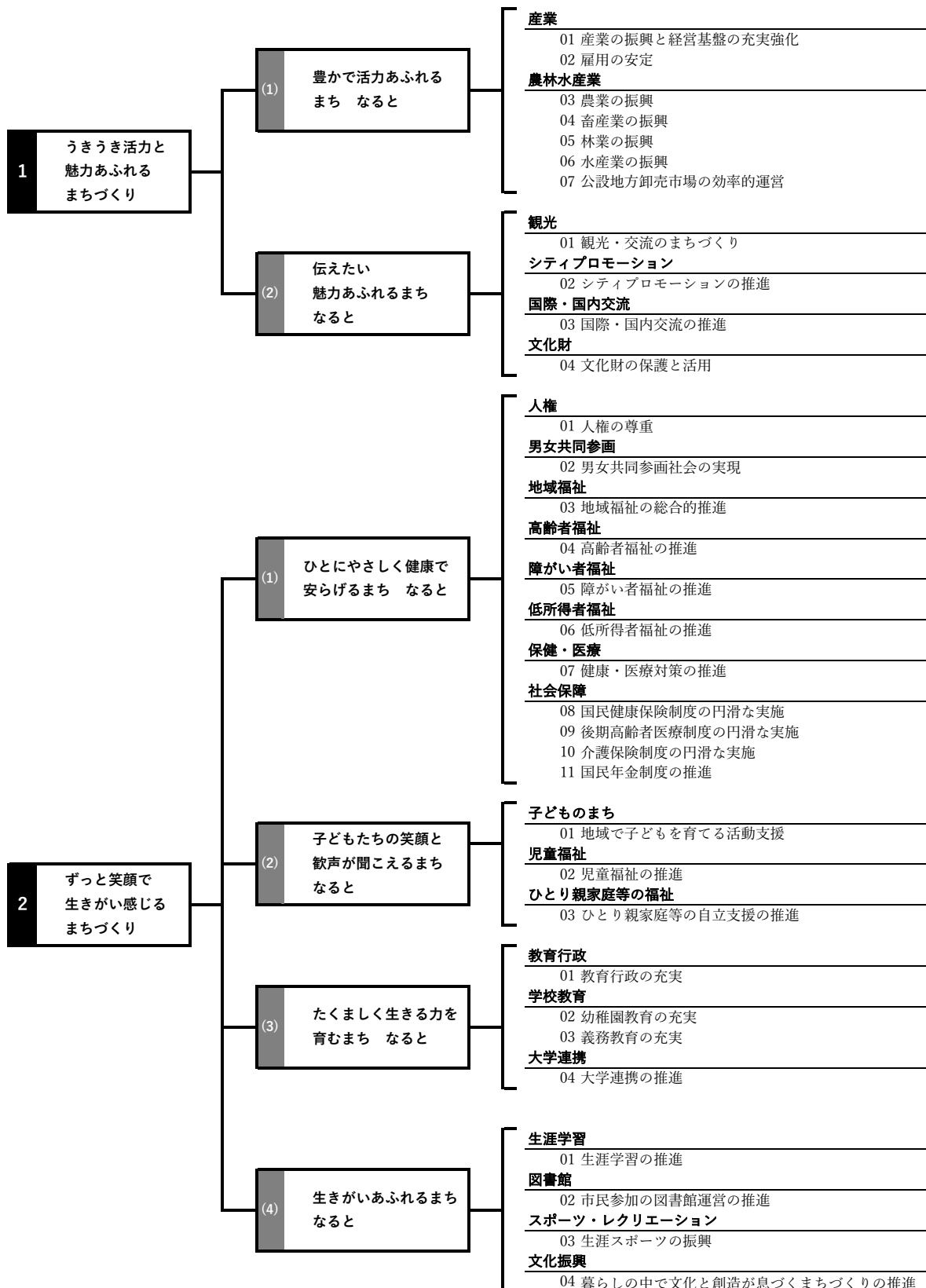
将来都市像

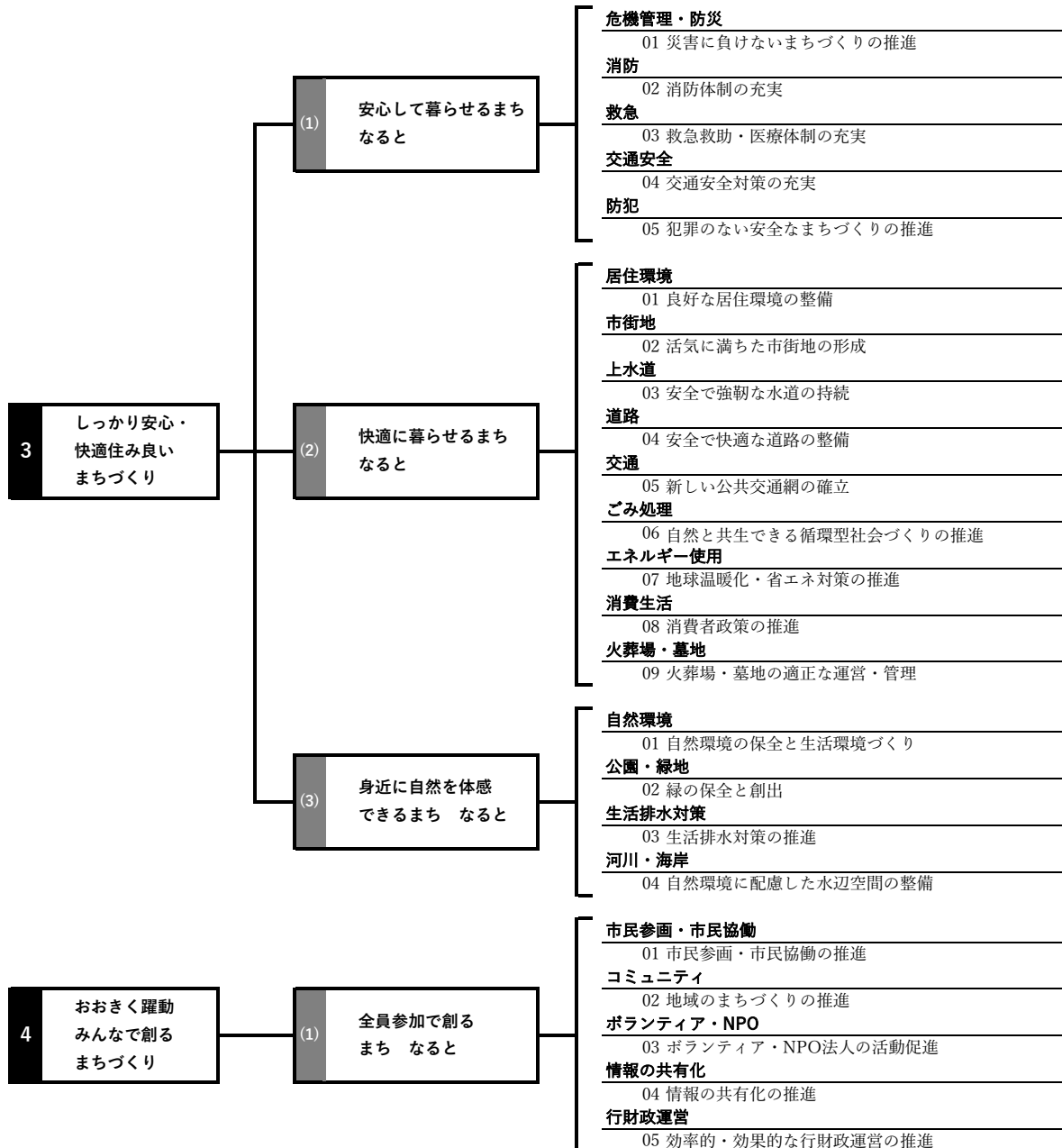
結びあう絆が創る 笑顔と魅力うずまく鳴門

【基本政策(大項目)】

【政策(中項目)】

【小項目・施策】





戦略1 地域の資源を活かし市民が誇れる 魅力づくり

～地域の魅力があふれるまち なんと～

1 ブランド力の向上

1 鳴門の魅力づくり

- ① 鳴門海峡の渦潮の世界遺産化推進
- ② 観光ブランドづくり
- ③ 農水産物のブランド化の推進
- ④ アジア初演「なんと第九」ブランド化プロジェクトの推進
- ⑤ 四国八十八箇所霊場と遍路道、世界遺産化への協力

2 鳴門の魅力発信

- ① 「橋を渡れば感動の国」セールスプロモーション
- ② イメージアップの推進
- ③ 鳴門ブランドの情報発信強化

3 イベント等の活用

- ① 鳴門市阿波おどり・花火大会のさらなる活性化
- ② 民間事業者との連携強化
- ③ 大型イベント等の誘致・開催の検討

2 誘客の促進とにぎわいと交流の創出

1 基盤整備

- ① 鳴門駅周辺の整備
- ② 外国人観光客の誘客促進
- ③ 文化財の保護と活用
- ④ 公園の整備

2 誘客の促進

- ① 体験型・滞在型観光の振興
- ② にぎわいと交流の創出
- ③ 国際・国内交流の推進
- ④ コンベンションの誘致

戦略2 住んでみたい 住み続けたいまちづくり

～だれもが満足するまち なんと～

1 いきいきと働くことができるまちづくり

1 新たな産業の創出

- ① まちづくりエリア活用による雇用創出
- ② 企業誘致の推進
- ③ 新たなビジネス展開
- ④ 農漁業における新たな商品開発と六次産業化の推進

2 市内産業の振興

- ① エコノミックガーデニングの推進
- ② ブランド産地生産増進対策
- ③ 農業の高度化
- ④ 農業・漁業経営の安定化
- ⑤ ふるさと納税を活用した地場産品のPR
- ⑥ 広域連携による産業振興
- ⑦ 道の駅の活用と設置の検討

3 雇用支援と後継者対策

- ① 市内企業への就職支援
- ② 農漁業の後継者対策

2 住み心地の良いまちづくり

1 移住者への支援

- ① 移住交流の促進
- ② 政府関係機関の誘致及び企業本社機能の移転誘致

2 社会資本等の整備

- ① 危機管理・防災体制の強化
- ② 消防・救急体制の充実
- ③ 道路の整備・維持管理
- ④ 公共下水道事業の推進と水洗化率の向上
- ⑤ 合併処理浄化槽の普及促進
- ⑥ 浸水対策の実施
- ⑦ 安心・快適な給水の確保

3 住環境の整備

- ① 公共交通機関の確保と整備
- ② 住宅ストックの有効活用
- ③ 住宅のリフォーム支援の実施
- ④ 木造住宅の耐震診断支援・改修支援の実施
- ⑤ 空き家の適正管理及び除却の促進
- ⑥ 都市計画マスタープランの推進
- ⑦ 商店街等の基盤強化
- ⑧ 公共施設等総合管理の検討
- ⑨ 地域医療を考える医療連携強化（鳴門病院等）

4 循環型社会の形成

- ① 循環型社会への取り組み
- ② 地球温暖化・省エネ対策の推進

戦略3 健やかで元気に笑顔あふれる ひとづくり

～一人ひとりが主役のまち になると～

1 健やかで元気に笑顔あふれる ひとづくり

1 恋愛・出産の支援

- ① 恋愛・婚活の支援
- ② 妊産婦健康管理事業
- ③ 出産前の子育てサポート

3 保護者への支援

- ① 子どもの医療費助成
- ② 女性子ども支援センター事業の推進
- ③ 子育て施策のPR
- ④ 保育料の軽減

5 市民の健康づくり

- ① 健康なと21の推進
- ② がん検診の実施
- ③ 特定健診・特定保健指導の推進
- ④ 国民健康保険被保険者に対する保健事業の実施

2 子育ての環境支援

- ① 子ども・子育て支援事業計画の推進
- ② 子育て相談・支援のワンストップ窓口の設置
- ③ 子どものまちの推進

4 仕事と子育ての両立支援

- ① 保育所・認定こども園における子どもの発達支援
- ② 民間保育施設の施設整備への支援
- ③ 保育環境のさらなる充実
- ④ 健診・発達相談の実施
- ⑤ 幼児教育の推進
- ⑥ 児童クラブでの児童の預かり支援

6 福祉サービスの充実

- ① 高齢者福祉の推進
- ② 地域包括ケアシステムの構築
- ③ 障がい者福祉の推進

2 鳴門のまちを担う ひとづくり

1 教育の充実

- ① 教育行政の充実
- ② 就学前教育の充実
- ③ 義務教育の充実
- ④ 校種間連携の充実
- ⑤ 小中学校における学力向上の取り組み

3 生きがいづくり

- ① 生涯学習の推進
- ② 各種学級（女性・成人・高齢者学級）の開設
- ③ スポーツ活動の推進

2 教育環境の充実

- ① 鳴門教育大学と連携した教育環境の整備
- ② 多様な教育環境の研究
- ③ 学校や幼稚園での防災
- ④ 幼・小・中における給食の実施
- ⑤ 学校（園）施設の耐震化及び教育環境の改善等

3 人が輝く仕組みづくり

1 環境づくり

- ① 市民参画・協働の推進
- ② 情報の共有化の推進
- ③ 男女共同参画社会の実現

2 活動の促進

- ① ボランティア・NPO法人の活動促進
- ② コミュニティビジネスの推進
- ③ 大学連携の推進

2. 令和元年度決算の概要

令和元年度は、「スーパー改革プラン2020」に掲げる財政健全化目標との整合性に留意しつつ、更なる市政発展を目指し、「だれもが住み続けたい、訪れたいと思える、だれもが笑顔になる鳴門づくり」に取り組む、未来志向のまちづくりを着実に推進するための各種施策を実施した。

特に、本市の将来都市像を実現するためには、行政内部の改革だけではなく、地域経済の活性化を両輪と捉え、「鳴門市総合戦略」に基づく地域活性化施策を積極的に展開するとともに、新庁舎建設事業や、四国のゲートウェイ推進事業など、市政発展に資する事業のほか、幼児教育無償化や子どもの居場所づくり推進事業などの子ども子育て施策の充実などに引き続き重点をおいて取り組んだ。

(1) 各会計の決算額の状況

(単位：千円)

年 度 会計区分	令和元年度			平成30年度		
	歳入決算額	歳出決算額	差引残高	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
一般会計	26,031,235	25,123,829	907,406	25,721,785	24,664,725	1,057,060
特別会計	24,633,750	24,276,196	357,554	25,173,184	24,802,180	371,004
国民健康保険事業 特別会計	7,408,532	7,377,343	31,189	7,907,230	7,841,372	65,858
後期高齢者医療 特別会計	939,432	915,628	23,804	906,434	882,556	23,878
介護保険事業 特別会計	6,704,107	6,437,814	266,293	6,657,059	6,406,185	250,874
公共下水道事業 特別会計	911,359	880,010	31,349	944,382	919,043	25,339
公設地方卸売市場 事業特別会計	-	-	-	19,958	19,958	-
住宅新築資金等 貸付事業特別会計	7,431	2,512	4,919	10,863	5,808	5,055
光熱水費等支出 特別会計	568,848	568,848	-	567,476	567,476	-
給与費等管理 特別会計	4,937,896	4,937,896	-	4,789,043	4,789,043	-
公債費管理 特別会計	3,156,145	3,156,145	-	3,370,739	3,370,739	-
合 計	50,664,985	49,400,025	1,264,960	50,894,969	49,466,905	1,428,064

(2) 普通会計決算の概要

① 普通会計決算規模等

令和元年度普通会計（地方財政統計上便宜的に用いられる会計区分として総務省が定めたもの。本市においては、一般会計から借換債を除し、住宅新築資金等貸付事業特別会計を加えるなどしたもの。）の歳入決算額は、約259億9千万円であり、前年度に比べて約3億5千万円の増となっている。その主な要因は、市債が約3億円の減となっている一方で、地方交付税が約1億2千万円の増、財政調整基金などの繰入金が約2億3千万円の増、繰越金が約2億8千万円の増、などの影響による。

一方、歳出決算額は、約250億8千万円であり、前年度に比べて約5億円の増となっている。その主な要因は、公債費の減などにより義務的経費が約3千万円の減となっている一方で、庁舎整備基金等への積立金の増（約3億2千万円の増）、プレミアム付商品券事業などによる補助費等の増（約1億2千万円の増）、繰出金の増（約9千万円の増）、などの影響による。

歳入決算額と歳出決算額との差引額である、形式収支は約9億1千万円の黒字、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額である、実質収支は約7億2千万円の黒字となっている。

実質収支から前年度実質収支を差し引いた額である、単年度収支は約9百万円の赤字となっている。また、単年度収支から実質的な黒字要素や赤字要素を加除した額である、実質単年度収支は、約1億9千万円の赤字となっている。

積立金残高は約40億2千万円であり、前年度に比べて約5億5千万円の増、地方債現在高は約268億8千万円であり、同約3億6千万円の減、臨時財政対策債を除く地方債現在高は約163億3千万円であり、同約3億7千万円の減となっている。

（単位：千円）

区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度
歳入決算額（A）	25,988,660	25,642,818	26,584,867
歳出決算額（B）	25,076,335	24,580,703	25,798,862
歳入歳出差引額【形式収支】（C） （A）－（B）	912,325	1,062,115	786,005
翌年度へ繰り越すべき財源（D）	191,182	331,583	120,638
実質収支（E） （C）－（D）	721,143	730,532	665,367
単年度収支（F） （E）－前年度（E）	▲ 9,389	65,165	150,359
財政調整基金への積立（G）	423,152	908,866	522,981
地方債繰上償還金（H）	-	-	17,953
財政調整基金からの取崩（I）	608,463	206,524	600,000
実質単年度収支 （F）＋（G）＋（H）－（I）	▲ 194,700	767,507	91,293
積立金残高（年度末時点）	4,019,370	3,465,618	2,995,336
地方債現在高（年度末時点）	26,884,613	27,249,978	27,456,661
※臨時財政対策債除く	16,334,077	16,703,712	17,133,199

◆普通会計歳入決算額

(単位：千円)

区 分	令和元年度		平成30年度 B	差引増減額 A - B = C	増減率 C / B × 100
	A	構成比			
市 税	7,488,588	28.8%	7,550,779	▲ 62,191	▲ 0.8%
地 方 譲 与 税	202,928	0.8%	201,295	1,633	0.8%
利 子 割 交 付 金	8,239	0.0%	19,289	▲ 11,050	▲ 57.3%
配 当 割 交 付 金	56,472	0.2%	51,501	4,971	9.7%
株式譲渡所得割交付金	29,189	0.1%	44,289	▲ 15,100	▲ 34.1%
地方消費税交付金	959,639	3.7%	1,033,395	▲ 73,756	▲ 7.1%
ゴルフ場利用税交付金	42,668	0.2%	42,343	325	0.8%
自動車取得税交付金 自動車税環境性能割交付金	29,478	0.1%	44,553	▲ 15,075	▲ 33.8%
地方特例交付金	111,812	0.4%	26,167	85,645	327.3%
地 方 交 付 税	4,236,119	16.3%	4,118,945	117,174	2.8%
	うち普通交付税	14.4%	3,621,974	126,439	3.5%
	うち特別交付税	1.9%	496,971	▲ 9,265	▲ 1.9%
交通安全対策特別交付金	7,581	0.0%	8,251	▲ 670	▲ 8.1%
分担金及び負担金	160,643	0.6%	168,331	▲ 7,688	▲ 4.6%
使 用 料	182,816	0.7%	226,068	▲ 43,252	▲ 19.1%
手 数 料	104,257	0.4%	105,796	▲ 1,539	▲ 1.5%
国 庫 支 出 金	3,702,596	14.3%	3,760,322	▲ 57,726	▲ 1.5%
県 支 出 金	2,063,568	8.0%	1,924,371	139,197	7.2%
財 産 収 入	269,910	1.0%	47,143	222,767	472.5%
寄 附 金	407,539	1.6%	327,319	80,220	24.5%
繰 入 金	2,060,784	7.9%	1,826,198	234,586	12.8%
繰 越 金	1,062,115	4.1%	786,005	276,110	35.1%
諸 収 入	556,619	2.2%	778,858	▲ 222,239	▲ 28.5%
地 方 債	2,245,100	8.6%	2,551,600	▲ 306,500	▲ 12.0%
合 計	25,988,660	100.0%	25,642,818	345,842	1.3%

◆普通会計歳出決算額（性質別）

（単位：千円）

区 分	令和元年度		平成30年度 B	差引増減額 A - B = C	増減率 C / B × 100
	A	構成比			
義 務 的 経 費	12,896,861	51.4%	12,924,471	▲ 27,610	▲ 0.2%
人 件 費	4,397,620	17.5%	4,293,704	103,916	2.4%
扶 助 費	5,723,119	22.8%	5,681,314	41,805	0.7%
公 債 費	2,776,122	11.1%	2,949,453	▲ 173,331	▲ 5.9%
物 件 費	3,390,238	13.5%	3,330,270	59,968	1.8%
維 持 補 修 費	279,328	1.1%	394,332	▲ 115,004	▲ 29.2%
補 助 費 等	1,145,740	4.6%	1,021,439	124,301	12.2%
うち水道事業会計への繰出金	18,330	0.1%	3,323	15,007	451.6%
うちモーターボート競走事業 会計への繰出金	16,680	0.1%	15,161	1,519	10.0%
積 立 金	1,510,414	6.0%	1,185,916	324,498	27.4%
うち財政調整基金への積立金	423,152	1.7%	908,866	▲ 485,714	▲ 53.4%
うち減債基金への積立金	222,127	0.9%	155	221,972	143,207.7%
投資及び出資金・貸付金	-	-	-	-	-
繰 出 金	3,150,039	12.6%	3,058,467	91,572	3.0%
投 資 的 経 費	2,703,715	10.8%	2,665,808	37,907	1.4%
うち普通建設事業費	2,703,715	10.8%	2,665,808	37,907	1.4%
うち災害復旧事業費	-	-	-	-	-
合 計	25,076,335	100.0%	24,580,703	495,632	2.0%

◆普通会計歳出決算額（目的別）

（単位：千円）

区 分	令和元年度		平成30年度 B	差引増減額 A - B = C	増減率 C / B × 100
	A	構成比			
議 会 費	232,061	0.9%	237,274	▲ 5,213	▲ 2.2%
総 務 費	4,081,098	16.3%	3,598,903	482,195	13.4%
民 生 費	9,401,895	37.5%	9,116,063	285,832	3.1%
衛 生 費	1,881,634	7.5%	1,803,836	77,798	4.3%
労 働 費	1,096	0.0%	1,141	▲ 45	▲ 3.9%
農 林 水 産 業 費	522,215	2.0%	513,448	8,767	1.7%
商 工 費	271,533	1.1%	218,587	52,946	24.2%
土 木 費	1,772,775	7.1%	1,742,740	30,035	1.7%
消 防 費	905,997	3.6%	836,541	69,456	8.3%
教 育 費	3,213,229	12.8%	3,547,556	▲ 334,327	▲ 9.4%
災 害 復 旧 費	-	-	-	-	-
公 債 費	2,776,122	11.1%	2,949,453	▲ 173,331	▲ 5.9%
諸 支 出 金	16,680	0.1%	15,161	1,519	10.0%
合 計	25,076,335	100.0%	24,580,703	495,632	2.0%

② 各種財政指標の推移

区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度
経常収支比率 （財政構造の弾力性。低いほど良い）	96.7%	95.8%	95.7%
財政力指数（3カ年平均） （財政力の強さ。高いほど良い）	0.65	0.64	0.64
実質収支比率 （財政の健全性。3～5％が望ましい）	5.4%	5.5%	5.0%
実質公債費比率（3カ年平均） （地方債返済額等の大きさを指標化し、資金繰りの程度を表す指標。低いほど良い）	14.0%	14.9%	15.3%
将来負担比率 （地方債など将来負担すべき実質的な負債の現時点での残高を表す指標。低いほど良い）	128.1%	116.5%	122.5%

経常収支比率は96.7％であり、前年度に比べて0.9ポイント上昇、財政力指数は0.65であり、同0.01ポイント上昇、実質収支比率は5.4％であり、同0.1ポイント低下している。実質公債費比率は14.0％であり、前年度に比べて0.9ポイント低下、将来負担比率は128.1％であり、同11.6ポイント上昇している。

3.実施計画兼評価シート

(1) 実施計画兼評価シートの見方

個別の事業ごとに「実施計画兼評価シート（令和元年度事業分）」により、「計画ベース」と「実績ベース」として整理を行った。

①【計画ベース】の見方

i 基本情報について

新規事業又は継続事業の別や総合計画体系中の分類など、事業の基本的な情報を示している。

ii 事業概要について

事業の目的・指針・内容等を示したもの。なお「当初からの変更点」については、補正予算などにおいて当初予定の事業内容から変更があった場合に変更点について示している。

また、事業の評価指標となる、成果指標等の目標値を示している。

iii 積算基礎について

事業の予算費目、財源となる補助制度（事業期間）等を示している。

iv 事業費推移について

令和2年度及び令和3年度の事業費については、「第六次鳴門市総合計画実施計画令和2年（2020年）度～令和4年（2022年）度」に記載している事業費を示している。

②【実績ベース】の見方

i 実施結果について

令和元年度に実施した事業の内容、成果、今後の目標等について示したもの。

なお、「事業費推移」中の「最終事業費」については、「決算額（前年度からの繰越額含む）」と「令和2年度への繰越額」の合計額を示したもの。

ii 進捗状況欄の評価区分について

令和元年度に実施した事業の内容、結果についての評価を示したもの。

なお、「今年度の進捗状況欄」及び「事業全体の進捗状況欄」における進捗状況の区分については、次のとおりである。

(1) 前倒し実施

次年度以降の目標を前倒して達成したもの

(2) 計画どおり

当初の予定どおり、目標や計画内容が達成に向かっているもの

(3) ほぼ計画どおり

当初の予定よりは達成状況がやや下回っているが、目標や計画内容の達成が見込まれるもの

(4) 遅れている（事業全体の進捗状況欄のみに適用）

当初の予定より達成状況が下回っており、目標や計画内容の達成が困難と見込まれるもの

(5) 未達成

取り組み目標や計画内容が達成できなかったもの

(6) 未着手

計画内容に着手できなかったもの

iii 成果指標に対する評価区分について(成果指標の目標達成率目安)

A:目標を達成できた(100%以上のもの)

B:おおむね目標を達成できた(70%以上のもの)

C:あまり目標を達成出来なかった(50%～70%間のもの)

D:目標を達成出来なかった(50%未満のもの)

iv 今後の方向性について

令和元年度の事業全体の課題を記入するとともに、向こう2年間の事業の方向性を

【廃止】、【要改善】、【現状維持】、【拡充】の4区分により示したもの。

【廃止】：事業の廃止を検討するもの。

【要改善】：事業の対象・目標・内容が適切でなく、見直し（縮小）の必要があるもの。

【現状維持】：事業の対象・目標・内容等が適切で見直しの必要がないもの。

【拡充】：成果向上のため事業の対象・目標・内容等を拡大・充実すべきもの。

(2) 掲載事業一覧表【組織機構順】

総事業数	145事業
前倒し実施	0事業
計画どおり	76事業
ほぼ計画どおり	61事業
未達成	3事業
未着手	0事業
完了	3事業
終了	2事業

成果指標に対する評価		今後の方向性	
A	80事業	廃止	0事業
B	51事業	要改善	2事業
C	10事業	現状維持	114事業
D	4事業	拡充	24事業
令和元年度完了（終了）事業			5事業

※ 新型コロナウイルスにより、事業の進捗、成果に対して大きな影響を受けた事業については「新コ」と表記

(単位：千円)

No.	担 当 課	事 務 事 業 名	令和元年度 事業費	令和元年度 決算	進捗状況	成果指標に 対する評価	今後の方向性	新型コロナ による影響
1	総務課	情報公開・個人情報保護事務	709	561	ほぼ計画どおり	B	拡充	
2	総務課	電子申請等共同受付システム構築事業	574	574	ほぼ計画どおり	A	現状維持	
3	契約検査室	入札改革推進事業	3,022	2,838	計画どおり	A	現状維持	
4	人事課	職員人財育成研修事業	6,484	4,711	計画どおり	B	現状維持	
5	人事課	組織・機構の簡素合理化事業	—	—	終了	A	—	
6	税務課	市税徴収率向上対策事業	15,142	13,315	計画どおり	A	現状維持	
7	秘書広報課	広報なると・テレビ広報実事業	12,807	12,761	計画どおり	A	拡充	
8	情報化推進室	イメージアップ戦略推進事業	3,629	3,115	計画どおり	A	現状維持	
9	情報化推進室	電子自治体情報化戦略推進事業	—	—	計画どおり	A	現状維持	
10	戦略企画課	鳴門産品販路開拓支援事業	657	648	計画どおり	A	現状維持	
11	戦略企画課	なるとビジネスプランコンテスト開催事業	1,055	905	計画どおり	A	現状維持	
12	戦略企画課・スポーツ課	ASAトライアングルを結ぶサイクリングツーリズム推進事業	33,570	26,889	計画どおり	D	拡充	新コ
13	戦略企画課・情報化推進室・特定事業推進課	四国のゲートウェイ推進事業	250,560	59,896	計画どおり	A	現状維持	
14	戦略企画課	地域婚活支援事業	800	292	ほぼ計画どおり	C	現状維持	新コ
15	戦略企画課	大学リレーマラソン実施事業	500	263	計画どおり	A	現状維持	
16	戦略企画課	公共交通対策事業	147,622	146,761	計画どおり	A	拡充	
17	戦略企画課	総合戦略推進事業	2,000	396	計画どおり	A	現状維持	
18	戦略企画課	行政評価推進事業	117	117	計画どおり	A	現状維持	
19	戦略企画課	「ふるさと納税寄附金」推進事業	195,000	188,604	計画どおり	A	拡充	
20	財政課	スーパー改革プラン推進事業	—	—	計画どおり	A	現状維持	
21	特定事業推進課	新庁舎建設事業	140,300	23,311	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
22	危機管理課	地震等災害対策普及啓発事業	776	203	計画どおり	A	現状維持	
23	危機管理課	自主防災活動等促進事業	6,064	5,826	計画どおり	A	現状維持	
24	危機管理課	災害用備蓄事業	6,682	5,411	計画どおり	A	拡充	
25	危機管理課	ハザードマップ作成・見直し事業	28,061	60	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
26	市民協働推進課	消費者相談窓口充実事業	5,821	5,226	計画どおり	B	現状維持	
27	市民協働推進課	市民協働のまちづくり推進事業	2,933	2,601	計画どおり	A	現状維持	
28	市民協働推進課	自治振興会連携促進事業	11,004	10,947	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
29	市民協働推進課	コミュニティ助成事業	1,500	1,500	計画どおり	A	現状維持	
30	スポーツ課	「頑張れ！徳島ヴェルデス」なると観光ブランド化・ホームタウン連携事業	2,539	1,769	計画どおり	A	現状維持	
31	スポーツ課・観光振興課	スポーツ大会・合宿誘致推進事業	3,920	2,666	計画どおり	A	拡充	
32	スポーツ課	鳴門市スポーツ協会運営支援事業	1,245	1,245	計画どおり	A	現状維持	
33	スポーツ課	総合型地域スポーツクラブ支援事業	200	200	計画どおり	A	現状維持	
34	スポーツ課	市民総参加型スポーツイベント実施事業	300	300	計画どおり	A	現状維持	
35	スポーツ課	マルチスポーツ・障がい者スポーツ推進事業	1,800	1,800	ほぼ計画どおり	A	現状維持	
36	文化交流推進課	第2期鳴門市文化のまちづくり基本計画策定事業	1,208	1,029	計画どおり	A	現状維持	
37	文化交流推進課	文化振興事業	1,164	1,131	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
38	文化交流推進課・観光振興課	国際・国内交流推進事業	10,161	9,332	計画どおり	B	拡充	
39	文化交流推進課・戦略企画課・学校教育課	アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進事業	9,378	8,453	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
40	文化交流推進課・ドイツ館	ユネスコ「世界の記憶」登録推進事業	5,581	4,400	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
41	環境政策課	環境学習推進事業	288	256	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
42	環境政策課	再生可能エネルギー導入推進事業	—	—	終了	C	—	
43	環境政策課	地球温暖化対策実行計画推進事業	91	89	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
44	環境政策課	水域環境改善・浄化対策事業	3,186	1,846	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
45	クリーンセンター廃棄物対策課	ごみ減量対策事業	52,302	42,399	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
46	クリーンセンター廃棄物対策課	資源ごみ対策事業	11,996	9,820	計画どおり	A	現状維持	
47	クリーンセンター廃棄物対策課	不法投棄監視市民パトロール支援事業	780	410	計画どおり	A	拡充	
48	保険課	国民健康保険料収納対策事業	11,176	9,616	計画どおり	A	現状維持	
49	保険課	国保保健事業	23,564	18,408	計画どおり	A	現状維持	
50	保険課	特定健診・特定保健指導事業	41,000	30,832	ほぼ計画どおり	B	現状維持	

(2) 掲載事業一覧表【組織機構順】

総事業数	145事業
前倒し実施	0事業
計画どおり	76事業
ほぼ計画どおり	61事業
未達成	3事業
未着手	0事業
完了	3事業
終了	2事業

成果指標に対する評価		今後の方向性	
A	80事業	廃止	0事業
B	51事業	要改善	2事業
C	10事業	現状維持	114事業
D	4事業	拡充	24事業
		令和元年度完了(終了)事業	5事業

※ 新型コロナウイルスにより、事業の進捗、成果に対して大きな影響を受けた事業については「新コ」と表記

(単位：千円)

No.	担 当 課	事 務 事 業 名	令和元年度 事業費	令和元年度 決算	進捗状況	成果指標に 対する評価	今後の方向性	新型コロナ による影響
51	健康増進課	市民の健康づくり対策事業	1,182	998	計画どおり	B	現状維持	
52	健康増進課	がん検診事業	22,264	20,334	未達成	B	要改善	
53	健康増進課	子育て世代支援事業（鳴門市版ネウボラ及び妊産婦健康診査事業）	48,874	42,967	計画どおり	A	現状維持	
54	健康増進課	子どもの発達支援事業	1,366	853	計画どおり	B	現状維持	
55	健康増進課	救急医療対策事業	14,671	14,671	計画どおり	A	現状維持	
56	健康増進課	地域医療連携強化事業	323	254	ほぼ計画どおり	A	現状維持	
57	長寿介護課	老人クラブ活性化促進事業	3,082	3,082	ほぼ計画どおり	A	現状維持	
58	長寿介護課	高齢者無料バス優待事業	6,446	6,446	ほぼ計画どおり	A	現状維持	
59	長寿介護課	第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定事業	2,500	2,090	計画どおり	A	現状維持	
60	長寿介護課	地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）	226,134	195,719	ほぼ計画どおり	A	現状維持	
61	長寿介護課	地域支援事業（包括的支援事業及び任意事業）	100,764	90,982	ほぼ計画どおり	C	現状維持	
62	長寿介護課	基幹型地域包括支援センター事業	28,900	27,816	ほぼ計画どおり	D	現状維持	新コ
63	長寿介護課・社会福祉課	災害時要援護者避難支援事業	1,576	1,364	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
64	人権推進課	人権啓発推進事業	303	280	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
65	人権推進課	男女共同参画推進事業	3,124	2,434	計画どおり	A	現状維持	
66	人権推進課	女性子ども支援事業	1,952	1,320	計画どおり	A	現状維持	
67	人権福祉センター	人権文化祭開催事業	1,136	916	ほぼ計画どおり	C	拡充	
68	社会福祉課	地域生活支援事業	73,263	65,513	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
69	社会福祉課	心身障害者等無料バス優待事業	1,673	1,672	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
70	社会福祉課	生活困窮者自立支援事業	19,790	19,258	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
71	子どもいきいき課	子どものまち推進事業	265	265	ほぼ計画どおり	C	現状維持	
72	子どもいきいき課	放課後児童健全育成事業	142,922	140,143	計画どおり	A	拡充	
73	子どもいきいき課	地域子育て支援拠点事業（民間施設活用）	14,542	14,542	計画どおり	B	現状維持	
74	子どもいきいき課	子育て支援体制整備事業	585	577	計画どおり	B	現状維持	
75	子どもいきいき課	ファミリーサポートセンター事業	9,466	9,466	ほぼ計画どおり	A	現状維持	
76	子どもいきいき課	子ども医療費助成事業	201,582	201,485	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
77	子どもいきいき課	子どもの居場所づくり推進事業	2,120	362	ほぼ計画どおり	C	現状維持	
78	幼保連携推進室	第2次鳴門市子ども・子育て支援事業計画策定事業	2,878	2,537	完了	A	—	
79	まちづくり課	市営住宅改善事業	53,610	53,292	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
80	まちづくり課	木造住宅耐震化促進事業	53,050	11,582	ほぼ計画どおり	B	拡充	
81	まちづくり課	住宅安心リフォーム支援事業	8,014	7,813	計画どおり	A	現状維持	
82	まちづくり課	空家等対策事業	12,250	12,010	計画どおり	A	拡充	
83	土木課	排水機場樋門整備事業	270,447	124,290	計画どおり	A	現状維持	
84	土木課	道路照明LED化更新事業	-	-	計画どおり	A	現状維持	
85	土木課	道路橋梁長寿命化事業	282,555	225,297	ほぼ計画どおり	A	拡充	
86	土木課	河川改良事業	13,000	12,997	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
87	下水道課	公共下水道維持管理事業（雨水）	171,624	44,550	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
88	下水道課	公共下水道整備事業（汚水）	504,284	89,827	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
89	下水道課	下水道普及促進事業	13,064	10,704	計画どおり	A	現状維持	
90	下水道課	合併処理浄化槽普及促進事業	6,116	5,311	ほぼ計画どおり	C	現状維持	
91	公園緑地課	ドイツ村公園整備事業	5,997	5,997	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
92	公園緑地課	鳴門ウチノ海総合公園活用推進事業	4,876	3,975	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
93	商工政策課	地域経済活性化推進事業（エコノミックガーデニング）	7,828	7,472	計画どおり	A	現状維持	
94	商工政策課	地場産品振興対策事業	1,795	1,299	計画どおり	A	現状維持	
95	商工政策課	就職マッチング事業	1,345	1,054	ほぼ計画どおり	C	現状維持	
96	商工政策課	企業誘致推進事業	389	265	計画どおり	A	現状維持	
97	商工政策課	移住交流支援事業	2,973	149	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
98	商工政策課	中心市街地活性化推進事業	700	700	計画どおり	A	現状維持	
99	観光振興課	なると観光ブランド化推進事業（鳴門海峡の世界遺産化に向けて）	3,000	2,683	計画どおり	B	現状維持	
100	観光振興課	阿波踊り振興事業	14,228	14,223	ほぼ計画どおり	B	拡充	

(2) 掲載事業一覧表【組織機構順】

総事業数	145事業
前倒し実施	0事業
計画どおり	76事業
ほぼ計画どおり	61事業
未達成	3事業
未着手	0事業
完了	3事業
終了	2事業

成果指標に対する評価		今後の方向性	
A	80事業	廃止	0事業
B	51事業	要改善	2事業
C	10事業	現状維持	114事業
D	4事業	拡充	24事業
令和元年度完了（終了）事業			5事業

※ 新型コロナウイルスにより、事業の進捗、成果に対して大きな影響を受けた事業については「新コ」と表記

(単位：千円)

No.	担 当 課	事 務 事 業 名	令和元年度 事業費	令和元年度 決算	進捗状況	成果指標に 対する評価	今後の方向性	新型コロナ による影響
101	観光振興課	「鳴門で鳴ちゅうどんを食べよう！」観光PR事業	462	310	ほぼ計画どおり	D	要改善	新コ
102	観光振興課	観光ボランティアガイド育成事業	300	300	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
103	観光振興課	「橋を渡れば感動の国」セールスプロモーション事業	3,694	3,061	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
104	観光振興課	広域観光推進事業	3,202	3,202	計画どおり	A	現状維持	
105	観光振興課	コンベンション誘致支援事業	2,000	1,858	ほぼ計画どおり	A	現状維持	
106	観光振興課	鳴門駅前環境整備事業	38,630	11,104	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
107	農林水産課	農漁業6次産業化推進事業	1,675	801	ほぼ計画どおり	C	現状維持	
108	農林水産課	ブランド産地推進事業（農業）	2,409	1,938	計画どおり	A	拡充	
109	農林水産課	コウノトリブランド推進事業	4,159	2,260	ほぼ計画どおり	B	拡充	
110	農林水産課	農業担い手育成対策事業	—	—	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
111	農林水産課	農業担い手育成対策事業（農業人材力強化総合支援事業）	13,500	13,500	ほぼ計画どおり	B	拡充	
112	農林水産課	多面的機能支払交付金事業	51,892	51,892	計画どおり	A	現状維持	
113	農林水産課	鳥獣被害対策事業	412	412	ほぼ計画どおり	A	現状維持	
114	水産振興室	海面環境保全推進事業	2,070	2,070	計画どおり	A	現状維持	
115	水産振興室	ブランド産地推進事業（水産）	1,782	1,369	未達成	D	現状維持	新コ
116	消防総務課・消防署	消防車両・消防資機材等整備事業	23,635	22,316	計画どおり	A	現状維持	
117	消防総務課	消防施設耐震化推進事業	167,523	137,213	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
118	予防課	救急救命士等養成事業	4,348	3,858	計画どおり	A	現状維持	
119	予防課	応急手当普及啓発事業	1,602	1,019	計画どおり	B	現状維持	
120	水道企画課	水道事業経営基盤強化推進事業	—	—	計画どおり	A	現状維持	
121	水道事業課・浄水場	浄水場更新事業	94,000	9,656	計画どおり	A	現状維持	
122	ボートレース企画課・ボートレース事業課	モーターボート競走事業健全経営安定化推進事業	205,162	204,545	計画どおり	A	拡充	
123	教育総務課	地場産品の活用と食育の推進事業	40	28	計画どおり	A	現状維持	
124	教育総務課	学校施設耐震化推進事業	1,028,802	103,083	完了	A	—	
125	教育総務課	学校安全施設整備事業	9,000	8,982	計画どおり	A	現状維持	
126	教育総務課	危険箇所対策事業	43,400	7,265	計画どおり	A	現状維持	
127	教育総務課	幼稚園空調設備整備事業	55,333	49,890	完了	A	—	
128	学校教育課	学校づくり計画推進事業	830	711	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
129	学校教育課	幼児教育支援センター事業	120	120	計画どおり	A	現状維持	
130	学校教育課	一時預かり事業	37,818	28,331	計画どおり	A	現状維持	
131	学校教育課	学力向上対策推進事業	2,578	2,414	計画どおり	A	現状維持	
132	学校教育課・教育支援室	特別支援教育推進事業	35,069	32,743	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
133	学校教育課	鳴門市学校・幼稚園防災対策事業	150	129	計画どおり	A	現状維持	
134	学校教育課	学校図書館サポート推進事業	4,986	4,794	計画どおり	A	現状維持	
135	学校教育課	学園都市化構想連携協力推進事業	438	239	計画どおり	A	現状維持	
136	教育支援室	外国語教育推進事業	39,474	38,347	計画どおり	A	現状維持	
137	教育支援室	ICT環境整備事業	196,910	26,402	計画どおり	B	現状維持	
138	生涯学習人権課	福永家住宅・塩田保存活用事業	2,131	1,810	ほぼ計画どおり	B	拡充	
139	生涯学習人権課	史跡等地域文化財保存活用事業	2,174	1,418	ほぼ計画どおり	B	拡充	
140	生涯学習人権課	人権教育推進事業	2,519	2,414	ほぼ計画どおり	B	現状維持	
141	生涯学習人権課	各種学級（女性・成人・高齢者学級）開設事業	466	395	計画どおり	A	拡充	
142	生涯学習人権課	公民館活用推進事業	28,078	27,568	ほぼ計画どおり	B	拡充	
143	生涯学習人権課	公民館耐震化事業	27,830	13,976	ほぼ計画どおり	A	現状維持	
144	生涯学習人権課	放課後子供教室推進事業	5,930	5,893	計画どおり	A	拡充	
145	図書館	NPO法人との協働による図書館運営事業	25,410	25,410	未達成	C	現状維持	新コ
合 計		145事業	5,596,039	3,022,614				

各実施計画兼評価シート

企 画 総 務 部

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.1

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	情報公開・個人情報保護事務		担当部署	企画総務部総務課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	鳴門市情報公開条例・鳴門市個人情報保護条例 鳴門市情報公開・個人情報保護審査会条例	
基本政策(大項目)		4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		事業 期間	開始	平成 14 年度
政策(中項目)		1	全員参加で創るまち なんと				
(小項目)			情報の共有化				
施策		4	情報の共有化の推進				
基本事業		2	公正の確保と透明性の向上			終期	未定
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無							
<input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無							
<input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求							
<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的		公正で開かれた市政の推進のため、より利用しやすい情報公開制度の実現を図るとともに、個人情報保護制度の適正な運用に努める。		事業内容 (R1)	①公文書の開示手続の円滑な執行に努めるとともに、不服申立て等に対し、情報公開・個人情報保護審査会を開催する。 ②文書量の削減を含めた現行のファイリングシステムによる文書管理の方法の見直しを行う。				
実施方針		①開示請求等に対する情報開示 ②適正文書管理の推進 ③情報公開・個人情報保護審査会の開催			当初からの 変更点				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	情報公開開示請求件数		84	93	－	－	－	件
	2	保有個人情報開示請求件数		8	18	－	－	－	件
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	審査請求件数			5	4	0	0	0	件
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	各年度の実施（予定）内容	①開示請求等に対する情報開示 ②適正文書管理の推進 ③情報公開・個人情報保護審査会の開催	①開示請求等に対する情報開示 ②適正文書管理の推進 ③情報公開・個人情報保護審査会の開催	継続		継続		継続	
事業費推移 （千円）	年 度	令和元年度				令和2年度	令和3年度		
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額					
	計	709	0	709	8,868	9,260			

事務事業名 情報公開・個人情報保護事務

【実績ベース】

◎實施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		情報公開については163件、保有個人情報については23件(職員採用試験結果等15件の簡易開示含む)の開示請求に対し、開示等を行った。なお、情報公開に係る2件の諮問案件については、令和2年度に情報公開・個人情報保護審査会を開催する予定となっている。 また、各所属のファイリングシステム維持管理状況について点検を実施し、ファイリングシステムの適正な維持管理を目指すとともに、文書の引継ぎ、書庫の整備等に取り組んだ。 「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」で義務付けられている「特定個人情報保護評価」については、公表した日から5年経過ごとの再実施を努めるものとされていることから、再実施を行った。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	情報公開開示請求件数	93	163	-	-	-	件
	2	保有個人情報開示請求件数	18	23	-	-	-	件
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	審査請求件数		4	2	-	-	-	件
	目標達成率(実績/目標)			0.0	-	-	-	件
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		746,948	0	560,143	0	560,143	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	61,695	0	95,464	0	95,464	
一般財源		685,253	0	464,679	0	464,679		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	審査請求件数		成果指標に対する所見	2件の審査請求については、同一人から以前より同事案について繰返し審査請求されているものであり、総評すると概ね目標は達成できている。		
	目標	0	件				
	実績	2	件				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>全庁的にファイリングシステムを導入し、文書管理に取り組んでいるが、文書量が年々増加する中、情報の更新方法及び文書の検索方法、全庁的な情報の共有という面での課題がある。</p> <p>また、維持管理のためのファイル基準表の作成、文書の引継ぎ及び廃棄文書の処理等についても、所属により作業にばらつきが見られ、新庁舎への移転に向け、執務室内の文書量の削減も必要となったことから、不要な紙文書の削減、現行のファイリングシステムによる文書管理の方法を見直し、将来的な働き方改革を見据え、より効率的に業務が遂行でき、適正文書管理を可能とした制度を再構築する必要がある。</p>				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	<p>引き続き、適切な公文書の開示と、不服申立等に対する情報公開・個人情報保護審査会の開催及びファイリングシステムの適正な維持管理、備品・消耗品の供給等を行い、文書管理に努め、併行して文書管理制度の再構築を図る。</p> <p>また、番号法における「特定個人情報保護評価」の実施が義務付けられている事務について、随時「特定個人情報保護評価」を実施又は必要に応じて修正する。</p>			
	令和3年度	<p>引き続き、適切な公文書の開示と、不服申立等に対する情報公開・個人情報保護審査会の開催及びファイリングシステムの適正な維持管理、備品・消耗品の供給等を行い、文書管理に努め、併行して文書管理制度の再構築を図る。</p> <p>また、番号法における「特定個人情報保護評価」の実施が義務付けられている事務について、随時「特定個人情報保護評価」を実施又は必要に応じて修正する。</p>			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	電子申請等共同受付システム構築事業		担当部署	企画総務部総務課	
総合計画体系					根拠法令計画など	高度情報通信ネットワーク社会形成基本法	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり			事業期間	開始	平成 14 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと					
(小項目)		情報の共有化					
施策	4	情報の共有化の推進					
基本事業	3	ICTを活用した市民サービスの推進				終期	未定
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	行政上サービスの向上と行政事務の効率化・高度化のため、オンラインによる申請・届出システムを確立する。		事業内容 (R1)	①電子申請が利用可能な手続の周知を行い、届出利用件数の増加を図る。 ②電子申請が利用可能な手続の拡大に取り組み、利用者の利便性の向上を図る。				
実施方針	①電子申請利用の推進 ②電子申請手続メニュー増加に向けた検討			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	手続件数	25	34	35	36	37	件
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	電子申請・届出利用件数		155	340	170	170	170	件

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①電子申請利用の推進 ②電子申請手続メニュー増加に向けた検討	①電子申請利用の推進 ②電子申請手続メニュー増加に向けた検討	継続	継続	継続

事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	574	0	574	576	576

事務事業名	電子申請等共同受付システム構築事業
-------	-------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容		令和元年度実施内容		昨年度の状況を踏まえ、手続件数を増加させるために電子申請に適しているような手続きはないか調査を行い、既存の手続きに関しても、より利用しやすいものになるよう見直しを行った。また、N*CAPの参加申込やヤング検診の受診申込等の5件の手続きについて、電子申請の受付を開始した。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	手続件数		34	37	36	37	38	件
	2								
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	電子申請・届出利用件数			340	407	－	－	－	件
	目標達成率(実績/目標)				239.4	－	－	－	%
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
		計		570,663	0	573,166	0	573,166	
		財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
			県支出金	0	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
一般財源		570,663	0	573,166	0	573,166			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	電子申請・届出利用件数		成果指標に対する所見	申請件数の増加に加え、電子申請が活用できる申請については手続きを開始するなど、一定の成果を上げている。		
	目標	170	件				
	実績	407	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本市においては、既に手続きのひとつとして根付いているものであり、必要な手続きとなっている。更なる申請件数の増加を図るため、若年層や中年層のインターネット利用率が高い世代に電子申請が普及するよう努めるとともに、子育てワンストップサービス等のマイナンバー制度を活用したワンストップサービスによる電子申請についても有効に活用していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	前年度の利用状況を踏まえ、手続件数及び届出利用件数の増加をはかる。			
	令和3年度	前年度の利用状況を踏まえ、手続件数及び届出利用件数の増加をはかる。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.3

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	入札改革推進事業		担当部署	企画総務部 契約検査室	
総合計画体系					根拠法令 計画など	地方自治法	
基本政策(大項目)		4	大きく躍動みんなで創るまちづくり		事業 期間	開始	平成 <div>▼</div> 21 年度
政策(中項目)		1	全員参加で創るまち なんと				
(小項目)			情報の共有化				
施策		4	情報の共有化の推進				
基本事業		2	公正の確保と透明性の向上			終期	<div>▼</div>
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	①入札業務の透明性・公平性の確保 ②入札業務の競争性の確保		事業 内容 (R1)	1. 建設工事及び測量コンサルタント業務 ①電子入札による指名競争入札及び制限付一般競争入札の継続実施 ②建設工事における発注情報の公表 ③入札情報及び入札結果のウェブサイトでの公開 2. 物品等 ①応募型指名競争入札又は制限付き一般競争入札の継続実施 ②入札情報及び入札結果のウェブサイトでの公開				
実施 方針	①建設工事及び測量・コンサルタント業務の電子入札を推進する ②入札情報及び入札結果の公表を推進する ③入札不調の低減に取り組む			当初 からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	工事等入札件数	227	221	200	200	200	件
	2	物品等入札件数	133	124	110	110	110	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	工事等の電子入札の割合		100	100	100	100	100	%

事業の 実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①電子入札の実施 ②工事発注情報の公開 ③入札結果のウェブサイトでの公開	①電子入札の実施 ②工事発注情報の公開 ③入札情報及び入札結果のウェブサイトでの公開	①電子入札の実施 ②工事発注情報の公開 ③入札情報及び入札結果のウェブサイトでの公開	継続	継続
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	3,022	0	3,022	2,838	2,890

事務事業名	入札改革推進事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容		令和元年度実施内容		建設工事及び測量・コンサルタント等業務においては、電子入札を継続し、金額や内容に応じて指名競争入札又は制限付一般競争入札における執行を継続した。また、入札情報や入札結果のウェブサイトでの公開を継続し、半期ごとに発注情報を公開した。 物品等については、内容等に応じて応募型指名競争入札又は制限付一般競争入札による執行を継続した。また入札情報や入札結果のウェブサイトでの公開を行った。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	工事等入札件数		221	198	200	200	200	件
	2	物品等入札件数		124	124	110	110	110	件
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	工事等の電子入札の割合			100	100	100	100	100	%
	目標達成率(実績/目標)				100.0				%
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
		計		3,044,700	0	2,837,940	0	2,837,940	
		財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
			県支出金	0	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
一般財源		3,044,700	0	2,837,940	0	2,837,940			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	工事等の電子入札の割合		成果指標に対する所見	工事及び測量・コンサルタント等業務における電子入札の完全実施を継続することで、透明性・競争性・公平性が確保できた。		
	目標	100	%				
	実績	100	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本市では、市内業者の振興及び育成の観点から、市内業者を優先した発注を行っているが、競争性を高めることと、市内業者の受注確保は相反するものであり、迅速な事業の執行の観点から、工事等の全ての案件で制限付一般競争入札を執行することは難しい。当面の間は、市内業者の受注機会確保を優先した運用を行う。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	市内業者の受注機会の確保を優先しつつ、国や県の動向に合わせ、入札改革を進めていく。			
	令和3年度	市内業者の受注機会の確保を優先しつつ、国や県の動向に合わせ、入札改革を進めていく。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.4

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	職員人材育成研修事業		担当部署	企画総務部 人事課					
総合計画体系					根拠法令計画など	鳴門市「人財」育成基本方針					
基本政策(大項目)		4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		事業期間	開始	平成 12 年度				
政策(中項目)		1	全員参加で創るまち なんと								
(小項目)			行財政運営			終期	未定				
施策		5	効率的・効果的な行財政運営の推進								
基本事業		4	適正な人事管理の推進								
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無							<input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無		<input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無		
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求							<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	市民満足度の高い行政サービスを提供できる職員を育成する。		事業内容(R1)	第3次鳴門市『人財』育成基本方針に基づいた研修計画を策定し、市独自の研修を行うとともに、県自治研修センターが実施する研修を活用する。専門的な知識や能力の向上を図るものについては、市町村アカデミー、自治大学校等へ積極的に職員を派遣する。						
実施方針	「職員として求められる能力」等の習得及び向上を図るため職員研修を実施する。			当初からの変更点						
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位		
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	派遣研修等への派遣職員数	208	199	230	230	230	人		
	2	庁内研修の受講者数	2543	1955	1700	1700	1700	人		
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位		
	アンケート中「役立つ」「やや役立つ」の比率		96	93.6	95	95	95	%		
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	各年度の実施(予定)内容	①研修計画に基づく市主催研修の実施 ②市町村アカデミー等への職員派遣研修の実施	①研修計画に基づく市主催研修の実施 ②市町村アカデミー等への職員派遣研修の実施	①研修計画に基づく市主催研修の実施 ②市町村アカデミー等への職員派遣研修の実施	継続	継続				
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度				
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額						
	計	6,484	0	6,484	7,667	7,684				

事務事業名	職員人材育成研修事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容		第3次鳴門市『人財』育成基本方針に基づいた研修計画を策定し、接遇研修をはじめ公務員倫理研修や認知症サポーター養成講座等、状況に応じた市独自の研修を行うとともに、県自治研修センターが実施する研修に多くの職員が参加した。 また、市町村アカデミー及び全国建設研修センター等の外部研修機関が実施する研修へ積極的に職員を派遣し、専門的な知識の習得や能力の向上を図った。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	派遣研修等への派遣職員数		199	185	230	230	230	人
	2	庁内研修の受講者数		1955	2207	1700	1700	1700	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	アンケート中「役立つ」「やや役立つ」の比率			93.6	92.1	95	95	95	%
	目標達成率(実績/目標)				96.9				%
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
		計		5,477,638	0	4,710,456	0	4,710,456	
		財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
			県支出金	0	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	0	0	0	0	0	
			その他	583,843	0	571,277	0	571,277	
一般財源		4,893,795	0	4,139,179	0	4,139,179			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	アンケート中「役立つ」「やや役立つ」の比率		成果指標に対する所見	目標数値は若干達成できていないが、より具体的に職員の研修ニーズを把握し、引き続き必要と思われる研修を効率的かつ効果的に実施していく必要がある。		
	目標	95	%				
	実績	92.1	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	職員数の減少に伴い、職員一人ひとりの業務量が増大しているため研修への参加を敬遠する傾向にあるが、より市民満足度の高い行政サービスを提供するには、専門的な知識の習得及び能力の向上を図ることは不可欠である。また、外部研修機関への派遣については、知識の習得だけでなく、他の自治体職員との情報や意見交換など交流を通じて得られるものも多いことから、研修への参加の意義やメリット等を積極的に周知し、より一層効果的かつ効率的な内容の研修を計画・実施していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	引き続き、第3次鳴門市『人財』育成基本方針に基づき研修計画を策定し、状況に応じた市独自の研修を行うとともに、市町村アカデミー等の外部研修機関への職員派遣を積極的に行う。また、職員が率先して研修を受講するよう各研修の意義及びメリット等の周知を積極的に行う。 さらに、「職員に求められる能力」を調査・研究し、市民サービスの向上に効果ある研修を今後も検討していく。			
	令和3年度	引き続き、取り組みを継続する。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	組織・機構の簡素合理化学業		担当部署	企画総務部人事課		
総合計画体系					根拠法令計画など	鳴門市事務分掌組織条例		
基本政策(大項目)		4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		事業期間	開始	平成 10 年度	
政策(中項目)		1	全員参加で創るまち なんと					
(小項目)			行財政運営					
施策		5	効率的・効果的な行財政運営の推進					
基本事業		4	適正な人事管理の推進					
第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無					次期総合戦略掲載予定の有無		<input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無	
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求					<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	職員数の削減や地方分権等に対応するため、簡素で効率的な組織体制を構築する。		事業内容(R1)	各所属長に対して次年度の事務執行体制に関する調査を実施し、現組織における課題等を踏まえ、機能的な組織・機構の再編案を検討する。				
実施方針	職員数の削減に応じた組織・機構の見直しを行う。			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	組織・機構の見直しの実施	0	0	0	-	-	件
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	部・課等の削減		-1	-1	1	-	-	数
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	各年度の実施(予定)内容	①次年度の事務執行体制に関する調査の実施 ②組織、機構の再編案の検討	①次年度の事務執行体制に関する調査の実施 ②組織、機構の再編案の検討	①次年度の事務執行体制に関する調査の実施 ②組織、機構の再編案の検討				
事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度		
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額				
	計	0	0	0	0	0		

事務事業名	組織・機構の簡素合理化事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容		各所属長に対して令和元年度の事務執行体制に関する調査を実施し、各所属の課題等を踏まえ、組織・機構の再編案を検討した。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	組織・機構の見直しの実施		0	0	-	-	-	件
	2								
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	部・課等の削減			-1	1	-	-	-	数
	目標達成率(実績/目標)				100.0				%
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額		決算額		令和2年度への繰越額
		計		0	0	0	0	0	0
		財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0
			県支出金		0	0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0	0
			使用料・手数料		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		一般財源		0	0	0	0	0	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		終了		事業全体の進捗状況		-
成果指標に対する評価	指標名	部・課等の削減		成果指標に対する所見	職員数の削減に応じた簡素で効率的な組織体制を構築するため、学校給食業務の一部を民間委託した。また、少子化の影響により、学校給食の提供食数が減少したことから、鳴門市学校給食センターと大麻学校給食センターを統合し、部・課等の削減を図った。	
	目標	1	数			
	実績	1	数			
	評価	A:目標を達成できた				

◎今後の方向性(ACTION)

課題	職員数の削減に応じた組織のスリム化を図ることを念頭に置いているが、本市行政の諸課題や市民ニーズへの対応、国による制度変更などのため、一定の分野については組織の新設等による執行体制の強化等の措置が必要となる場合があり、的確な状況の分析や判断が必要である。また、これまでの行政改革の結果、組織の規模を縮小してきた経緯があるため、現組織体制の更なる簡素合理化は、管理職員の負担の増大や各担当の連携不足などによる弊害が生じる可能性もあり、慎重に判断していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度				
	令和3年度				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.6

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	市税徴収率向上対策事業		担当部署	企画総務部 税務課	
総合計画体系					根拠法令計画など	国税徴収法、地方税法、鳴門市賦課徴収条例	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり			事業期間	開始	平成 13 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと					
(小項目)		行財政運営					
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進					
基本事業	2	財政の健全化				終期	未定
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的		主要財源の安定的な確保及び税負担の公平性確保を目的とする。		事業内容 (R1)	①徳島滞納整理機構との連携や滞納処分の早期着手、現年度収入未済額の早期 回収などにより、滞納繰越額の圧縮を進める。 ②口座振替の周知を行うなど口座振替加入率向上へ向けた継続的な取り組みを実施する。 ③未課税家屋について調査を進める。				
実施方針		①納税義務者が市税を完納し、税負担の公平性を保つ。 ②税収が確保された状態を目指す。			当初からの 変更点	△781(令和元年度3月補正)			
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	現年度収入未済額		83,416	59,539	100,000	100,000	100,000	千円
	2	口座振替件数		52,311	51,805	53,000	53,000	53,000	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	市税徴収率(現年+滞繰)			95.5	93.6	93.8	94.0	94.2	%
事業の実施内容 内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
	各年度の実施(予定)内容	①収入未済額の縮減に努める。 ②特に、現年度収入未済額の早期回収に取り組む。 ③未課税家屋について調査を進める。	①収入未済額の縮減に努める。 ②特に、現年度収入未済額の早期回収に取り組む。 ③未課税家屋について調査を進める。	①収入未済額の縮減に努める。 ②特に、現年度収入未済額の早期回収に取り組む。 ③未課税家屋について調査を進める。	①収入未済額の縮減に努める。 ②特に、現年度収入未済額の早期回収に取り組む。 ③未課税家屋について調査を進める。	継続			
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度			
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額					
計		15,923	△ 781	15,142	9,214	9,214			

事務事業名	市税徴収率向上対策事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容 ①未納者に対し早期納付を促す目的として、市税徴収員の個別訪問による納付催告を実施した。滞納整理では、税務調査による担税力の把握、その後の催告等によってもなお、納付に応じない者への滞納処分を実施した。また、高額・悪質案件については徳島滞納整理機構と連携し未済額の回収に努めた。 ②未課税家屋調査について、年次計画を基に調査を行い、課税を行った。						
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	現年度収入未済額	59,539	73,145	100,000	100,000	千円
	2	口座振替件数	51,805	50,089	53,000	53,000	件
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	市税徴収率(現年+滞繰)		96.6	96.0	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			102.3	—	—	%
事業費推移(円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		10,135,636	0	13,314,258	0	13,314,258
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源		10,135,636	0	13,314,258	0	13,314,258

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	市税徴収率(現年+滞繰)		成果指標に対する所見	取り組み目標を達成し、近年の県内8市の市税徴収率と比較しても、高い水準を維持、達成できていると考える。		
	目標	93.8	%				
	実績	96.0	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今後も、現年度収入未済額を着実に減少させるとともに、滞納繰越額の更なる圧縮を図っていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	現年度の未納をできるだけ減らし、当年度内で完納となる取組みをさらに進める。具体的には、税務調査により納税者の担税力を把握し、早期に滞納処分を実施し未済額の回収に努める。			
	令和3年度	現年度の未納をできるだけ減らし、当年度内で完納となる取組みをさらに進める。具体的には、税務調査により納税者の担税力を把握し、早期に滞納処分を実施し未済額の回収に努める。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.7

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	広報なると・テレビ広報充実事業		担当部署	企画総務部 秘書広報課	
総合計画体系					根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり			事業 期間	開始	昭和 26 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと				終期	未定
(小項目)		情報の共有化					
施策	4	情報の共有化の推進					
基本事業	1	広報活動の充実					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	市からの行政情報などをわかりやすく市民に周知するため、読みやすく魅力ある「広報なると」の紙面づくり、また、多くの市民に視聴してもらえる見やすく親しまれるテレビ広報番組づくりを行う。		事業 内容 (R1)	① 広報紙やテレビ広報、その他情報発信媒体において、効果的な情報発信を推進し、市民等の関心や満足度を高めるため、「鳴門市広報戦略プラン」及び同プランを推進するための職員の実践指針である「鳴門市パブリシティマニュアル」の改訂を行う。 ② 広報モニターにおいては、引き続き、幅広い意見を抽出し、紙面・テレビ番組づくりに生かす。				
実施方針	効率的で見やすく、伝わりやすい広報活動の実施			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	広報紙での市政の特集実施回数	7	8	8	8	8	回
	2	テレビ広報での市長の施策紹介回数	2	2	3	3	3	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	広報モニターの肯定的評価		84.8	86.3	70.0	70.0	70.0	%

事業の 実施内 容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	市制施行70周年にあたり、市民の祝賀機運を高める紙面・テレビ番組を制作。	スマートフォンやタブレット端末を活用した新たな情報発信手段の調査を開始。	先進的な広報活動を行う他市町村の取り組みについての調査・研究。	継続	継続
事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	12,807	0	12,807	13,730	13,730

事務事業名	広報なると・テレビ広報充実事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		「鳴門市広報戦略プラン」及び「鳴門市パブリシティマニュアル」については、「鳴門市広報戦略本部」及び「鳴門市広報戦略推進検討部会」において、現状の広報戦略についてさまざまな課題等の抽出・見直しを行い、第一次改訂版を作成した。広報紙においては、市民の方に見てもらいやすい、伝わりやすいレイアウトとなるよう広報モニターからの意見も参考にしながら、文字の大きさや配色、イラストの挿入などデザイン面の改善を行い、定型枠であった「市からのお知らせ」をリニューアルした。また、テレビ広報のお知らせコーナーと広報紙を連携(「KOBA☆トレ」や「新型コロナウイルス感染症への対策」など)させることで、市民の方により伝わる情報発信に努めた。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	広報紙での市政の特集実施回数	8	9	8	8	8	回
	2	テレビ広報での市長の施策紹介回数	2	2	3	3	3	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	広報モニターの肯定的評価		86.3	85.1	70.0	70.0	70.0	%
	目標達成率(実績/目標)			121.6				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		12,065,760	0	12,760,730	0	12,760,730	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	780,118	0	838,118	0	838,118	
	一般財源		11,285,642	0	11,922,612	0	11,922,612	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	広報モニターの肯定的評価		成果指標に対する所見	評価とする目標は達成したため、A評価とするが、今後も内容をより充実させ、一層の効率化を図れる可能性があるため市民や、広報モニターの評価を向上させるように努力する。		
	目標	70	%				
	実績	85.1	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	広報紙においては、市民の方から「内容が難しい」「わかりにくい」との声がある。また、情報を受け取る市民は、若年層から高齢層まで幅広い世代であることから、その世代に適した情報発信や市民等の目線に立ったわかりやすい情報発信に取り組む必要がある。								
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持		4.拡充		4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。									
実施内容	令和2年度	改定した「鳴門市広報戦略プラン」と「鳴門市パブリシティマニュアル」に基づき、効果的かつ分かりやすい情報発信に努め、広報・広聴活動のさらなる充実を図る。特に、若年層に対してはSNSの積極的な活用、高齢者・聴覚障がい者に対してはテレビ広報の字幕対応など、ターゲットを意識した情報発信を進める。							
	令和3年度	改定した「鳴門市広報戦略プラン」と「鳴門市パブリシティマニュアル」に基づき、効果的かつ分かりやすい情報発信に努め、広報・広聴活動のさらなる充実を図る。							

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.8

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	イメージアップ戦略推進事業		担当部署	情報化推進室	
総合計画体系					根拠法令計画など	なし	
基本政策(大項目)		1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間	開始	平成 ▼ 27 年度
政策(中項目)		2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと				
(小項目)			シティプロモーション				
施策		2	シティプロモーションの推進				
基本事業		2	イメージアップの推進				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的		さまざまなツールを活用した広報を戦略的に展開し、本市のイメージアップと定住人口の拡大を目指す。		事業内容 (R1)	①イメージアップ小冊子「鳴門やけん」を作成するとともに、バックナンバーについても増刷し、市内外に配布する。 ②イメージアップカレンダーを作成し、市内外へ配布する。 ③写真投稿アプリのInstagramを活用した参加型プロモーション事業である写真動画コンテスト「Narustagram(ナルスタグラム)」を実施する。 ④鳴門市内で開催される、まちづくりに資するイベントなどへの、更なる集客を図り地域活性化を推進するため、広報活動に要する経費に対し補助金を交付する。				
実施方針		①イメージアップ小冊子「鳴門やけん」の作成 ②イメージアップカレンダーの作成 ③写真動画コンテスト「Narustagram(ナルスタグラム)」の実施 ④広報活動支援補助事業の実施			当初からの変更点				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	「鳴門やけん」制作巻数		2	2	1	1	1	巻
	2	「Narustagram」応募数		654	1203	1200	1200	1200	点
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	イメージアップ事業実施数			4	4	4	3	3	件

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①「鳴門やけん」の作成 ②イメージアップカレンダーの作成 ③「Narustagram」の実施 ④広報活動支援補助事業	①「鳴門やけん」の作成 ②イメージアップカレンダーの作成 ③「Narustagram」の実施 ④広報活動支援補助事業	①「鳴門やけん」の作成 ②イメージアップカレンダーの作成 ③「Narustagram」の実施 ④広報活動支援補助事業	①「鳴門やけん」の作成 ②イメージアップカレンダーの作成 ③「Narustagram」の実施	①「鳴門やけん」の作成 ②イメージアップカレンダーの作成 ③「Narustagram」の実施
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	3,629	0	3,629	3,689	3,689

事務事業名	イメージアップ戦略推進事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①イメージアップ小冊子「鳴門やけん」の魚編を新たに作成するとともに、バックナンバーについても増刷し、市内外に配布した。 ②イメージアップカレンダーを作成し、市内外へ配布した。 ③写真投稿アプリのInstagramを活用した参加型プロモーション事業である写真動画コンテスト「Narustagram(ナルスタグラム)」を開催した。 ④イベント広報活動支援補助事業を実施した。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	「鳴門やけん」制作巻数	2	1	1	1	1	巻
	2	「Narustagram」応募数	1203	1281	1200	1200	1200	点
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	イメージアップ事業実施数		4	4	3	3	3	件
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		4,304,724	0	3,115,244	0	3,115,244	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	4,304,724	0	3,115,244	0	3,115,244	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	イメージアップ事業実施数		成果指標に対する所見	様々な媒体を通して多角的な情報発信ができた と考える。今後も継続的に実施することにより、効果 を高めていきたい。		
	目標	4	件				
	実績	4	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	事業実施5年目を終えて、鳴門市の主要な素材についてある程度取り上げてきたことから、今後、新たな素材の選定やテーマの変更等について検討していく必要があると考えている。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	①小冊子「鳴門やけん」を作成し、市内外へ配布。 ②イメージアップカレンダーを作成し、市内外へ配布。 ③写真動画コンテスト「Narustagram」を開催。				
	令和3年度	①小冊子「鳴門やけん」を作成し、市内外へ配布。 ②イメージアップカレンダーを作成し、市内外へ配布。 ③写真動画コンテスト「Narustagram」を開催。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.9

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	電子自治体情報化戦略推進事業	担当部署	情報化推進室	
総合計画体系				根拠法令計画など	なし	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		事業期間	開始	平成 24 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと			終期	未定
(小項目)		行財政運営				
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進				
基本事業	5	ICTを活用した行政運営の推進				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	情報化による業務の高度化や効率化を推進するため、鳴門市情報化計画「第5次なんとeープラン」に基づき、情報システムの全体最適化等を図る。		事業内容 (R1)	①「情報化投資事前協議書」等による情報化投資の一元管理体制の徹底を図る。 ②ICTを事務改善・効率化のツールとして有効活用できるよう、全庁的な視点による効果的なICT投資の推進に努める。 ③基幹業務システムの円滑な更新作業を実施する。 ④庁内ネットワーク端末の円滑な更新作業を実施する。				
実施方針	①情報化投資の一元管理体制の徹底を図る。 ②全庁的な視点による効果的なICT投資の推進を行う。 ③基幹業務システム更新。 ④庁内ネットワーク端末更新。			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	情報システム導入報告書により事後状態把握まで行った項目(事業)数	42	44	未定	未定	未定	項目
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	事前協議を経て全庁的な視点から実施した情報化投資の割合		100	100	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①情報化投資の一元管理体制の徹底 ②基幹業務システム更新 ③庁内ネットワーク端末更新	①情報化投資の一元管理体制の徹底 ②ペーパーレス会議システム導入	継続	継続	継続
事業費推移(千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	0	0	0	0	0

事務事業名	電子自治体情報化戦略推進事業
-------	----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①「情報化投資事前協議書」等による情報化投資の一元管理体制の徹底を図った。 ②ICTを事務改善・効率化のツールとして有効活用できるよう、全庁的な視点による効果的なICT投資の推進に努めた。 ③関係各課との連携を図りながら、基幹業務システムの円滑な更新作業を実施した。 ④庁内ネットワーク端末の更新作業について、目標スケジュールに沿った円滑な作業を実施した。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	情報システム導入報告書により事後状態把握まで行った項目(事業)数	44	72	未定	未定	未定	項目
	2							
成果指標 対象にどのような効果が ^{あったか} 示す指標	事前協議を経て全庁的な視点から実施した情報化投資の割合		100	100	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年 度		令和元年度予算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		0	0	0	0	0	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	0	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	事前協議を経て全庁的な視点から実施した情報化投資の割合		成果指標に対する所見	全庁的な視点での情報化投資の推進を図るとともに、基幹業務システム及び庁内ネットワーク端末の更新に関して、円滑な更新作業を実施した。		
	目標	100	%				
	実績	100	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	各業務システム間の情報連携が重要になっている状況であることから、今後も、引き続き、情報化投資の一元管理体制の徹底を図り、全庁的な視点での効果的な情報化投資の推進に努める必要がある。										
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持		4.拡充		3		
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。											
実施内容	令和2年度		①情報化投資の一元管理体制の徹底を図り、ICTを事務改善・効率化のツールとして有効活用できるよう、全庁的な視点による効果的な情報化投資の推進に努める。 ②事務改善や効率化を図ることを目的としたペーパーレス会議システムの導入を行う。								
	令和3年度		情報化投資の一元管理体制の徹底を図り、ICTを事務改善・効率化のツールとして有効活用できるよう、全庁的な視点による効果的な情報化投資の推進に努める。								

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.10

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	鳴門産品販路開拓支援事業		担当部署	戦略企画課	
総合計画体系					根拠法令計画など	鳴門市総合戦略	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			事業期間	開始	平成 28 年度
政策(中項目)	1	伝えたい 魅力あふれるまち なんと					
(小項目)		産業				終期	未定
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化					
基本事業	1	地場産業の育成と振興					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無					<input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無		<input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求					<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		

◎事業概要(PLAN)

目的	市内事業者の販路拡大を支援し、経営力向上を目指す		事業内容 (R1)	①地方銀行と協力し、本市地場産品の販路開拓を支援するため、地域商品に特化した専門商談会「地方銀行フードセレクション」や『食の魅力』発見商談会」にて、出展ブースを買い取り、本市内事業者が出展しやすい環境を整え、販路開拓の支援を行う。				
実施方針	地方銀行と協力・連携し、大規模商談会へ市内事業者が参加できるように、出展に係る費用等を市が負担し、市内事業者の販路開拓を支援する。			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	「地方銀行フードセレクション」出展事業者数	3	2	3	3	3	社
	2	『食の魅力』発見商談会」出展事業者数	2	2	2	2	2	社
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	事業活用事業者数		5	4	5	5	5	社

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施（予定）内容	フードセレクション出展3社 食の魅力発見商談会出展 2社	フードセレクション出展2社 食の魅力発見商談会出展 2社	フードセレクション出展4社 食の魅力発見商談会出展 2社	継続	継続

事業費推移 （千円）	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	657	0	657	657	657

事務事業名	鳴門産品販路開拓支援事業
-------	--------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容 地方銀行と協力し、本市地場産品の販路開拓を支援するため、地域商品に特化した専門商談会「地方銀行フードセレクション」や「『食の魅力』発見商談会」にて、出展ブースを買い取り、本市事業者が出展しやすい環境を整え、販路開拓の支援を行った。						
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	「地方銀行フードセレクション」出展事業者数	2	4	—	—	社
	2	「『食の魅力』発見商談会」出展事業者数	2	2	—	—	社
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	事業活用事業者数		4	6	—	—	社
	目標達成率(実績/目標)			120.0	—	—	%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		432,000	0	648,000	0	648,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源		432,000	0	648,000	0	648,000

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	事業活用事業者数		成果指標に対する所見	活用事業者数は増え、出展事業者からはおおむね好評を得ており、事業者の販路拡大に一定の効果があつた。		
	目標	5	社				
	実績	6	社				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	活用事業者数は増加し、事業者の販路拡大に一定の効果があつた。 しかしながら、出展希望する事業者が限られてきていること、希望する事業者自身が独自で販路拡大の手段確保ができつつあることから、市が出展費用を負担して行う今の形での事業の検討・見直しが必要。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	事業の検討を行う			
	令和3年度	事業の検討を行う			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.11

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	なるとビジネスプランコンテスト開催事業		担当部署	戦略企画課	
総合計画体系					根拠法令計画など	鳴門市総合戦略	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			事業期間	開始	平成 27 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なると					
(小項目)		産業					
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化					
基本事業	1	地場産業の育成・振興				終期	未定
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	鳴門の経済の活性化につながる新事業を創出させるため。		事業内容(R1)	①多くの応募者の確保のため、部門を分けたり、今まで以上に商工関係団体や金融機関等と連携し事業を実施する。 ②今までの受賞者・受賞プランを広報し、受賞者へのフォローを行うとともに、新たなビジネスプランの発掘を行う。				
実施方針	①なるとビジネスプランコンテストを開催する。 ②今までの受賞プランの紹介及び事業実現化に向けての支援を行う。			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	プラン応募者数	20	22	18	20	20	件
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	創業社数		0	0	1	1	1	社
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	各年度の実施(予定)内容	①募集 ②事業者説明会 ③プラン作成講座 ④最終選考会	①募集 ②事業者説明会 ③プラン作成講座 ④最終選考会	①募集 ②事業者説明会 ③プラン作成講座 ④最終選考会	継続	継続		
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度		
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額				
計		1,055	0	1,055	1,055	-		

事務事業名	なるとビジネスプランコンテスト開催事業
-------	---------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		応募者を増やすため、ビジネス部門と、地域課題解決部門の2部門に分けて参加者を募った。ビジネス部門9件と地域課題解決部門8件の合計17件のプランの応募があり、プラン作成講座書類審査の結果、6件を最終選考の対象とした。またプレゼンテーション講座の開催やプランのブラッシュアップを経て、最終選考を行った。 なお、最終選考会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、動画審査での選考となった。また、今までの受賞者について広報での周知を行うなどのフォローを行った。						
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	プラン応募者数	22	17	20	20	20	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	創業社数		0	1	1	1	1	社
	目標達成率(実績/目標)			100.0	－	－	－	%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		868,864	0	904,360	0	904,360	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		868,864	0	904,360	0	904,360	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	創業社数		成果指標に対する所見	ビジネス部門と地域課題解決部門に分て募集を行ったことにより、提案プランの内容の幅が広がった。創業者数については、目標数には至っていないが、新規創業の可能性に繋がっている。		
	目標	1	社				
	実績	1	社				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	部門を2部門に分けて募集したことにより従来の提案とは違う観点のプランの応募があり、幅の広がりがあった。また応募プラン数の増加にもつながり、事業として一定の効果があった。 しかしながら、新規創業までつながるところまではいかず、毎年に応募数の減少等の課題もある。事業開始から5年を経過して、今後の事業の方向性については関係機関と協議し、検討していく必要がある。						
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。							
実施内容	令和2年度	前年度の取り組みを継続しつつ、テーマ等事業の実施方法について検討していく。					
	令和3年度	令和2年度の実施状況を見ながら、令和3年度の内容を検討する。					

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ASAトライアングルを結ぶサイクリングツーリズム推進事業		担当部署	戦略企画課・スポーツ課	
総合計画体系					根拠法令計画など	鳴門市総合戦略	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			事業期間	開始	平成 28 年度
政策(中項目)	2	伝えたい魅力あふれるまちなると					
(小項目)		観光					
施策	1	観光・交流のまちづくり					
基本事業	4	にぎわいと交流の創出					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無					<input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無		<input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求					<input type="checkbox"/> ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		

◎事業概要(PLAN)

目的	①交流人口の増加及び地域経済活性化 ②市民の健康増進、地域活性化		事業内容(R1)	1. 自転車輸送事業の確立 ①サイクルバス、路線バスによる自転車輸送の実施検討 2. サイクリングコースの周知啓発 ①PR動画を活用した周知 3. 市民の自転車利用促進 ①レンタサイクルの利用促進 ②サイクリスト・企業等団体の活動への支援 4. 大鳴門橋サイクリング道整備早期実現への取り組み ①徳島県、兵庫県、南あわじ市との連携、情報共有 5. 健康づくり関連イベント実施 ①グルメライド等の実施				
実施方針	1. 自転車輸送事業の確立 2. サイクリングコースの周知啓発 3. 市民の自転車利用を促進する 4. 大鳴門橋サイクリング道整備早期実現に向けて取り組む 5. 健康づくり関連イベントの実施			当初からの変更点	海峡またぎ事業について路線バスによる輸送事業が実施できたことにより、事業費の削減につながった。 3月補正△3,000千円			
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	海峡またぎ(自転車輸送)利用者数	88	170	300	360	380	人
	2	レンタサイクル利用者数	-	23	200	300	300	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	関連イベントへの参加者数		498	2,063	8,000	10,000	10,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①自転車輸送の開始 ②レンタサイクル検討 ③関連イベント実施 ④PR動画製作	①自転車輸送の実施 ②レンタサイクル開始 ③関連イベント実施 ④PR動画製作	①サイクルバスの実施 ②路線バスでの自転車輸送 ③レンタサイクル継続 ④関連イベント実施 ⑤PR動画製作、周知	継続	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	36,570	△ 3,000	33,570	24,550	未定

事務事業名	ASATライアングルを結ぶサイクリングツーリズム推進事業
-------	------------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容		令和元年度実施内容		①鳴門海峡の自転車輸送について、4月～6月の間、サイクルバスによる輸送を実施し、10月以降は路線バスによる輸送を実施した。 ②コースマップやおもてなしスポットについて、ASAサイクリング特設ウェブサイトにて周知を行った。 ③ASAサイクリングコースや自治体の魅力について映像を用いて全国的に情報発信するため、PR動画を作成し、周知を行った。 ④レンタサイクル事業を継続して実施した。 ⑤関連イベントの実施、鳴門・南あわじ渦潮グルメライドについては新型コロナウイルス感染拡大による影響の為、開催を見送った。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	海峡またぎ(自転車輸送)利用者数		170	293	360	380	400	人
	2	レンタサイクル利用者数		23	213	300	300	300	人
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	関連イベントへの参加者数			2,063	1,774	10,000	10,000	10,000	人
	目標達成率(実績/目標)				22.2	－	－	－	%
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額		決算額		令和2年度への繰越額
		計		32,626,547	0	26,888,499	0	26,888,499	
		財 源 内 訳	国庫支出金	16,313,274	0	13,444,249	0	13,444,249	
			県支出金	0	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	0	0	0	0	0	
			その他	16,313,273	0	13,444,250	0	13,444,250	
一般財源		0	0	0	0	0			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	関連イベントへの参加者数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルスの影響により自転車イベントが中止となり、目標人数減となった。しかしながら、自転車輸送等の取り組みは、サイクルツーリズムの機運を高めることに一定の効果があった。		
	目標	8,000	人				
	実績	1,774	人				
	評価	D:目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	徳島県と兵庫県が「大鳴門橋の下部空間を活かした自転車道の整備」を検討しており、実現すれば多くの観光客増加や、地域の活性化が見込まれるが、実現されるまでに本市、南あわじ市含めサイクリストを呼び込めるための環境整備や積極的な広報活動、関係イベント等の各種施策を計画的に行っていく必要がある。また、レンタサイクルの手法についても検討が必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	サイクリストを呼び込むための環境整備や積極的な広報活動、関係イベント等の各種施策を引き続き行う。計画的な環境整備を行うため、自転車活用推進計画の策定検討を行う。			
	令和3年度	R2年度の状況を考慮しながら検討			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.13

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	四国のゲートウェイ推進事業		担当部署	戦略企画課・特定事業推進課・情報化推進室	
総合計画体系					根拠法令計画など	鳴門市総合戦略	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			事業期間	開始	平成 28 年度
政策(中項目)	2	伝えたい魅力あふれるまちなると					
(小項目)		観光					
施策	1	観光・交流のまちづくり					
基本事業	4	にぎわいと交流の創出					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無					<input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無		
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求					<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		
<input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							

◎事業概要(PLAN)

目的	四国の玄関口となるべく、四国内外から集客できるイベント等を開催し、四国の玄関口としてのブランド化を図り、交流人口の増加を目的とする。		事業内容(R1)	①四国ゲートフェスタ鳴門によるイベント(肉フェス、イルミネーション)の開催検討。 ・肉フェスについては地元団体、各関係機関と連携しながらの開催を検討する。 ・イルミネーションについては市所有のLED等を活用し開催を検討。 ②四国の拠点(ゲート)の施設整備の検討。 ・道の駅なると(仮称)の基本設計。 ③広報 ・鳴門市プロモーション動画「Beyond Naruto」を活用して県内外への情報発信				
実施方針	①四国ゲートフェスタ鳴門の開催(肉フェス・ゲートアートイルミネーション) ②四国の拠点施設整備の検討 ③広報(なるとCM動画の活用)			当初からの変更点	四国のゲートイベント委託料:3月補正△3,000千円 道の駅開設運営準備支援業務:9月補正25,600千円、12月補正6,760千円、3月補正△4,000千円			
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	施策実施数	4	3	3	3	3	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	交流人口の増加数		38,000	28,000	8,000	10,000	10,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①肉フェスの実施 ②イルミネーションの実施 ③拠点施設整備の検討等 ④広報(CM動画の作成等)	①肉フェスの実施 ②イルミネーションの実施 ③道の駅の基本計画の策定等 ④広報(CM動画の作成等)	①肉フェスの実施 ②イルミネーションの実施 ③道の駅の基本設計図書の策定等 ④広報(CM動画の活用)	①肉フェス・イルミなどイベント開催の検討 ②道の駅の用地買収、実施設計図書の策定等 ③広報(CM動画の活用)	継続 道の駅の建築工事開始、竣工
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	202,200	48,360	250,560	13,500	未定

事務事業名	四国のゲートウェイ推進事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①「四国の肉グルメフェス」や「光のイルミネーション」など県内外からの集客を図るイベントを行った。肉フェスについては会場をポートレース鳴門へ移し実施。懸念された交通渋滞についても、十分な対策を講じたことにより、大きな混乱なく実施することができた。 ②道の駅については平成30年度末に実施した対話型市場調査の結果等を踏まえ、施設の管理運営を担う指定管理候補者の公募を行い、候補者を選定した。また、指定管理候補者も設計協議に参画し、民間事業者のノウハウやアイデアを反映した基本設計図書を策定した。 令和2年度の用地買収を見越し、基本設計図書の内容を踏まえた事業認定図書を作成し、事業認定庁に対して事業認定申請を行った。 ③広報については、ぐろ〜かるPR動画大賞を受賞した市プロモーション動画「Beyond Naruto」を活用し、広く県内外への情報発信を行った。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	施策実施数	4	4	3	3	3	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	交流人口の増加数		24,000	16,000	10,000	10,000	10,000	人
	目標達成率(実績/目標)			200.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)		年 度	平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額		決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
		計		59,059,987	22,670,280	59,904,044	161,237,000	243,811,324
		財源内訳	国庫支出金	24,691,404	0	23,637,222	0	23,637,222
			県支出金	0	0	0	0	0
			地方債	0	0	5,400,000	142,900,000	148,300,000
			使用料・手数料	0	0	0	0	0
			その他	34,368,583	0	23,637,222	0	23,637,222
一般財源	0	22,670,280	7,229,600	18,337,000	48,236,880			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	交流人口の増加数		成果指標に対する所見	大型イベントの実施により県内外から多くの集客があった。「道の駅」に関しても、当初の予定通り、引き続き関係機関等と連携しながら、事業を進捗させる。 市プロモーション動画「Beyond Naruto」については、ぐろ〜かるPR動画大賞を受賞し、県内外への情報発信に一定の効果があった。		
	目標	8,000	人				
	実績	16,000	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	集客のための各種大型イベントについては、費用対効果の観点から市主体で行うやり方を見直す必要がある。 道の駅の整備については引き続き、関係機関と連携しながら事業進捗を行う必要がある。 また、四国の玄関口としてのブランド化・定着化をよりいっそう高めるため、プロモーション動画等を活用するなど費用対効果の高い方法により、情報発信等を行っていく必要がある。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	①交流拠点施設となる道の駅の整備を進める。 ②民間主体が実施する大型イベントへの支援という形での開催を検討する。 ③県内外へ注目度の高い情報発信や、広報を行う。				
	令和3年度	事業の見直しを行いながら継続して実施。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.14

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	地域婚活支援事業	担当部署	戦略企画課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市総合戦略	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	平成 <div>▼</div> 27 年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと				
(小項目)		子どものまち				
施策	1	地域で子どもを育てる活動支援				
基本事業	1	まちぐるみの子育て支援				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	未婚化・晩婚化に歯止めをかける一助とする。		事業 内容 (R1)	1.周知広報 ①広報なると及び市公式ウェブサイト等での周知 ②婚活イベント開催事業者への直接案内 2.補助金交付 ①鳴門市内で婚活イベントを行う事業者に対し、20万円を上限に補助金を交付					
実施方針	鳴門市内で婚活イベントを行う事業者に対し、補助金による支援を行い、市内での出逢いの場づくりを支援する。			当初からの 変更点					
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	婚活イベント支援数	2	3	3	3	3	件	
	2								
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	婚活イベント開催におけるカップル成立数		5	8	10	10	10	組	
事業の 実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
	各年度の実施(予定)内容	2件のイベントに補助金交付	3件のイベントに補助金交付	継続して婚活イベントへ補助を行う	継続して婚活イベントへ補助を行う	継続して婚活イベントへ補助を行う			
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度			
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額					
	計	800	0	800	800	800			

事務事業名	地域婚活支援事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		鳴門市内で婚活イベントを行う事業者に対し、市単独の補助により2件のイベントに補助金を交付し、市内での出逢いの場づくりを支援する。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	婚活イベント支援数	3	2	3	3	3	件
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	婚活イベント開催におけるカップル成立数		8	5	10	10	10	組
	目標達成率(実績/目標)			50.0	－	－	－	%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		421,000	0	292,000	0	292,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		421,000	0	292,000	0	292,000	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	婚活イベント開催におけるカップル成立数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルスの影響で補助イベントの回数が少なかったこともあり。カップル成立数についても目標値を下回った。しかし、1回あたりのイベント参加者は増加しており、一定の成果は出ている。		
	目標	10	組				
	実績	5	組				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	3月以降新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが実施しにくい状況となっているが、「新しい生活様式」に則して実施を予定している婚活イベントに対して、補助を検討する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じた上で、実施されるイベントに対して、補助を検討していく。			
	令和3年度	令和2年度の状態を見ながら、実施を検討していく。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.15

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	大学リレーマラソン実施事業		担当部署	戦略企画課	
総合計画体系					根拠法令計画など		
基本政策(大項目)		2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成 27 年度
政策(中項目)		3	たくましく生きる力を育むまち なんと				
(小項目)		大学連携		終期		未定	
施策		4	大学連携の推進				
基本事業		1	地域社会における連携				
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	交流人口の増大および市民等の健康増進につなげるとともに、鳴門市と鳴門教育大学の連携をより推進し、両者で鳴門の活性化を行う。		事業内容(R1)	1. 鳴門教育大学との連携 ①両者で実行委員会を組織し、鳴教大をコースとしてリレーマラソンを実施。 2. 交流人口の増大と市民等の健康増進 ①ゲストを招聘し、参加チームを増やす。 3. 地元協賛企業との連携 ①地元の企業の特産品を参加賞として配布し。鳴門の良いものをPRする。				
実施方針	1. 鳴門教育大学との連携 2. 交流人口の増大と市民等の健康増進 3. 地元協賛企業との連携			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	参加人数		783	626	500	500	500	人
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	各年度の実施(予定)内容	第3回鳴門リレーマラソンin鳴門教育大学実施	第4回鳴門リレーマラソンin鳴門教育大学実施	第5回鳴門リレーマラソンin鳴門教育大学実施	第6回鳴門リレーマラソンin鳴門教育大学実施	第7回鳴門リレーマラソンin鳴門教育大学実施		
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度		
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額				
	計	500	0	500	500	500		

事務事業名	大学リレーマラソン実施事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容		鳴門教育大学と連携し、「第5回鳴門リレーマラソンin鳴門教育大学」を実施し、過去最多の81チーム855名の参加があった。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1								
	2								
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	参加人数		626	855	500	500	500	人	
	目標達成率(実績/目標)			171.0	－	－	－	%	
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
		計		152,857	0	262,791	0	262,791	
		財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
			県支出金	0	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
一般財源		152,857	0	262,791	0	262,791			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	参加人数		成果指標に対する所見	5回目となる今大会においては、イベント参加者は過去最多となり、目標を大きく上回った。		
	目標	500	人				
	実績	855	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	リピーターも多く開催後の参加者アンケートでも継続実施の声をいただき大変好評なイベントとなっている。 開催準備及び運営やゲスト対応など事業実施にあたっては戦略企画課職員とボランティアの学生スタッフが主となり行っており、スタッフの人手が不足しがちである、学生スタッフへのアルバイト代の支出等も検討し、鳴門教育大学と調整していく必要がある。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、実施を検討する。				
	令和3年度	令和2年度の状況を踏まえ、実施を検討する。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.16

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	公共交通対策事業		担当部署	企画総務部 戦略企画課	
総合計画体系					根拠法令計画など	道路運送法・鳴門市地域バス運行条例	
基本政策(大項目)		3	しっかり安心・快適 すみよい町づくり		事業期間	開始	平成 20 年度
政策(中項目)		2	快適に暮らせるまち なんと			終期	未定
(小項目)							
施策		5	新しい公共交通網の確立				
基本事業		2	公共交通機関の確保と整備				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的		市民の日常生活の移動手段を確保するため、効率的で持続可能な公共交通網の構築を図る。		事業内容 (R1)	①地域バス並びに協定路線について、継続的に利用状況の把握に努め、必要に応じて運行内容等の見直しを行う。				
実施方針	①地域バス・協定路線(徳島バス)等の見直し ②新公共交通の検討		当初からの 変更点		協定路線バスの令和元年10月1日からの時刻改正(減便等)により、鳴門市乗合バス協定路線運行費等補助金に係る補助対象経費が減額となったことなどによる減額補正。				
				指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	地域バス・協定路線乗車人数	231,769	236,669	236,669	236,669	236,669	人	
	2								
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	再編済み路線数(全7路線)		7	7	7	7	7	本	

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①協定路線(北泊線・鳴門公園線・高島線)の便数見直し ②新公共交通の検討	①協定路線(大麻線・鳴門公園線)の時刻見直し ②協定路線(北泊線)の便数見直し検討	①協定路線(北泊線・鳴門公園線・高島線)の便数見直し ②新公共交通の検討	①地域バス及び協定路線の運行内容見直し ②新公共交通の検討	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	147,770	△148	147,622	149,653	149,653

事務事業名	公共交通対策事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容							①協定路線の乗客調査を実施した。 ②協定路線北泊線の便数見直しについて住民説明会を2回開催し、住民の方から概ね了承をいただいたため、広報なると等で周知のうえ、令和元年10月1日より便数見直しを実施した。（第1回説明会4月20日、22日開催。第2回説明会6月15日開催。）						
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位						
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	地域バス・協定路線乗車人数		236,669	234,924	236,669	236669	236,669	人						
	2														
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	再編済み路線数(全7路線)			7	7	—	—	—	本						
	目標達成率(実績/目標)				100.0	—	—	—	%						
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算										
					前年度からの繰越決算額		決算額		令和2年度への繰越額	最終事業費					
		計		137,113,930	0	146,760,288	0	146,760,288							
		財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0						
			県支出金		0	0	0	0	0						
			地方債		0	0	0	0	0						
			使用料・手数料		1,085,421	0	1,021,727	0	1,021,727						
			その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		136,028,509	0	145,738,561	0	145,738,561							

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	再編済み路線数(全7路線)		成果指標に対する所見	路線再編に関しては完了したが、各路線において効率性向上の余地があるとの認識をもって取り組む。		
	目標	7	本				
	実績	7	本				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	乗客調査を行い、利用実態の把握に努め、路線の効率化を検討する。 市民との協働による新たな公共交通の検討を行いながら、地域が主体となって自らが作り育てるという意識の醸成に努める。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	見直しを行った路線も含め、利用状況等の調査を行い、実態把握に努める。 市民との協働による新たな公共交通を検討する。				
	令和3年度	見直しを行った路線も含め、利用状況等の調査を行い、実態把握に努める。 市民との協働による新たな公共交通の検討するとともに、公共交通計画の策定を目指す。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.17

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	総合戦略推進事業	担当部署	戦略企画課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市総合戦略	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		事業 期間	開始	平成 <div>▼</div> 28 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと				
(小項目)		市民参画・市民協働				
施策	1	市民参画・市民協働の推進				
基本事業	1	市民参画と協働の意識醸成と体制づくり				
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	地方版総合戦略を推進し、人口減少対策施策を実施するため。		事業 内容 (R1)	①鳴門市人口ビジョン・第2期鳴門市総合戦略の策定 ・アンケート、ワークショップ、総合戦略評価委員会等を経て策定 ②総合戦略事業の推進 ・必要に応じて各総合戦略実施事業の調査研究を行う				
実施方針	①鳴門市人口ビジョン・第2期鳴門市総合戦略の策定 ②総合戦略事業の推進及び調査・研究			当初 からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	人口ビジョンの策定	-	-	策定	-	-	
	2	第2期鳴門市総合戦略の策定	-	-	策定	-	-	
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	事業実施数(継続事業含む)		4	4	4	4	4	件
事業の 実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	各年度の実施(予定)内容	①総合戦略事業の推進 ②総合戦略事業の調査研究	①総合戦略事業の推進 ②総合戦略事業の調査研究	①総合戦略事業の推進 ②総合戦略事業の調査研究 ③人口ビジョン・総合戦略の策定	①総合戦略事業の推進 ②総合戦略事業の調査研究	①総合戦略事業の推進 ②総合戦略事業の調査研究		
事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度		
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額				
	計	2,000	0	2,000	2,000	2,000		

事務事業名	総合戦略推進事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容		平成28年度に調査検討を行い、第1期鳴門市総合戦略に位置付けられている各事業を実施した。 また、第2期鳴門市総合戦略及び人口ビジョンの策定を行い、事業の推進を行った。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	人口ビジョンの策定		-	策定	-	-	-	
	2	第2期鳴門市総合戦略の策定		-	策定	-	-	-	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	事業実施数(継続事業含む)			4	4	-	-	-	件
	目標達成率(実績/目標)				100.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算					
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費		
	計		0	0	396,000	0	396,000		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		使用料・手数料	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
		一般財源	0	0	396,000	0	396,000		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	事業実施数(継続事業含む)		成果指標に対する所見	第1期総合戦略に位置付けられた施策の実現に向けて、継続して事業を実施した。また、第2期鳴門市総合戦略及び人口ビジョンについて策定を行った。		
	目標	4	件				
	実績	4	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	総合戦略の事業分析及び効果検証を実施し、各施策の見直し等を行い、人口減少対策を推進するため、関係各課と調整していくことが必要。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	第1期総合戦略の5年間の効果検証を行った上で、第2期総合戦略の施策について調査研究し、推進する。			
	令和3年度	第2期総合戦略の施策について推進を行う。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	行政評価推進事業		担当部署	戦略企画課		
総合計画体系					根拠法令 計画など	鳴門市総合戦略		
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり			事業 期間	開始	平成 18 年度	
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと					終期	~令和元年度
(小項目)		情報の共有化						
施策	4	情報の共有化の推進						
基本事業	2	公正の確保と透明性の向上						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無								
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求								

◎事業概要 (PLAN)

目的	効率的、効果的な行政運営を行う。			事業 内容 (R1)	①内部評価を継続実施 ②総合計画審議会場で審議会委員による事業評価の実施 ③評価結果について市公式ウェブサイト上で公表					
実施方針	①総合計画実施計画に位置付けられた、事務事業について各所属において自己評価を行う。 ②評価結果について、外部委員に意見をもらい、意見反映したものを公表する。				当初からの 変更点					
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1									
	2									
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	行政評価実施事務事業数				151	146	145	145	145	件
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	各年度の実施(予定)内容	①内部評価を実施 ②外国人による外部評価を実施	①内部評価を実施 ②総合計画審議会による評価を実施	①内部評価を実施 ②総合計画審議会による評価を実施	継続	継続				
事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度				
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額						
計		117	0	117	117	117				

事務事業名	行政評価推進事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		総合計画実施計画に掲載されている145事業について行政評価を実施した。 それぞれの事務事業について、評価シートを用いて、各担当課で内部評価を行い、外部委員で構成される総合計画審議会において、事務事業評価を実施した。 その後、調製を行い評価シートを、市議会へ報告し、市公式ウェブサイト上への公表を行った。					
	指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	行政評価実施事務事業数		146	145	145	145	145	件
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		120,000	0	117,000	0	117,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	120,000	0	117,000	0	117,000	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	行政評価実施事務事業数		成果指標に対する所見	総合計画実施計画に掲載されているすべての事業を対象として事業の評価を行った。		
	目標	145	件				
	実績	145	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	毎年繰り返し実施してきたことにより、事務事業の改善点が少なくなっている。 平成30年度からは市民から募集した公募委員を含めた総合計画審議会委員による評価を行った。 今後も当面この方法で実施し、必要に応じて実施方法について見直していきたい。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	継続実施				
	令和3年度	継続実施				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.19

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	「ふるさと納税寄附金」等推進事業		担当部署	戦略企画課																							
総合計画体系					根拠法令 計画など	地方税法等の一部を改正する法律																							
基本政策(大項目)		4	大きく躍動みんなで創るまちづくり		事業 期間	開始	平成	▼	20 年度																				
政策(中項目)		1	全員参加で創るまち なんと																										
(小項目)						終期	未定																						
施策		5	効率的・効果的な行財政運営の推進																										
基本事業		2	財政の健全化																										
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無										<input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無										<input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無									
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求										<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求																			

◎事業概要(PLAN)

目的			本市を応援したい、本市に貢献したいという納税者の気持ちを活かすことのできるようなわかりやすい「ふるさと納税寄附金制度」の運用		事業内容 (R1)	1. 記念品の拡充による鳴門の地場産品のPR推進 ①市内事業所への記念品掲載の案内 2. 寄附金の事業化の推進 ①予算編成時における使い道の検討 ②寄附者への実績報告の実施 ③GCF実施の検討 3. ポータルサイト等での情報発信の強化 ①サイト掲載写真の更新等 ②サイトへの記念品詳細の充実や使い道の報告				
実施方針			1. 記念品の拡充による鳴門の地場産品のPR推進 2. 寄附金の事業化の推進 3. ポータルサイト等での情報発信の強化			当初からの変更点	寄付金額が想定よりも多く見込まれたため、報償費・委託料を増額補正した。 報償費 24,000千円、委託料 80,000千円			
指標名					平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ふるさと納税寄附件数			13,086	14,128	16,000	16,000	16,000	件
	2	リピーター数			2,180	1,732	2,500	2,500	2,500	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	寄附金額				318,346	317,188	320,000	320,000	320,000	千円
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	各年度の実施(予定)内容	①記念品の拡充 ②情報発信の強化	①記念品の拡充 ②情報発信の強化	①記念品の拡充 ②情報発信の強化	①記念品の拡充 ②情報発信の強化	①記念品の拡充 ②情報発信の強化				
事業費推移(千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度				
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額						
計		163,000	32,000	195,000	161,900	161,900				

事務事業名	「ふるさと納税寄附金」等推進事業
-------	------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容							ふるさと納税の記念品の品目を増やすことで寄附者の増加に努めた。 寄附金を財源として実施している市の事業について、周知等を行うことでリピーターの確保に努めた。 ふるさと納税寄附の多くは、ポータルサイト(インターネット)を介して手続きされる。ポータルサイトを通じての寄附については記念品の写真が重要視されることから、ポータルサイト上の写真を更新することで、寄附者の増加を図った。						
		指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位					
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	ふるさと納税寄附件数			14,128	18,306	16,000	16,000	16,000	件					
	2	リピーター数			1,732	2,288	2,500	2,500	2,500	件					
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	寄附金額				317,188	406,690	320,000	320,000	320,000	千円					
	目標達成率(実績/目標)					127.1	—	—	—	%					
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算										
					前年度からの繰越決算額		決算額		令和2年度への繰越額		最終事業費				
		計		142,758,746	0	188,603,649		0		188,603,649					
		財源内訳	国庫支出金		0	0	0		0		0				
			県支出金		0	0	0		0		0				
			地方債		0	0	0		0		0				
			使用料・手数料		0	0	0		0		0				
			その他		142,758,746	0	188,603,649		0		188,603,649				
		一般財源		0	0	0		0		0					

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	寄附金額		成果指標に対する所見	記念品の品目追加や、ポータルサイトの写真の更新等により、件数とリピーター数を増やすことにつながった。また、寄付金額についても前年を大きく上回ることができた。		
	目標	320,000	千円				
	実績	406,690	千円				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	ふるさと納税制度の市場は今後も広がることが予想され、より多くの寄附をいただけるように、新たな記念品の追加・拡充や、鳴門の地場産品のPRについて工夫しながら行っていく必要がある。また、ガバメントクラウドファンディングの活用や、ポータルサイトの追加等検討していく必要がある。しかしながら、件数業務にあたる担当職員の少なさという課題もある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	記念品の拡充により、鳴門の地場産品PRの推進を図り、継続した「なるとファン」づくりを行う。 寄附者の鳴門を応援したいという思いに迅速に応えていくため、寄附金の事業化を進めるとともに、寄附金活用報告を行うことで、寄附者の確保に努める。			
	令和3年度	前年度の取組みを継続実施するほか、諸般の情勢を勘案しつつ、ふるさと納税寄附金の拡充に向けて検討を進める。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	スーパー改革プラン推進事業		担当部署	企画総務部財政課	
総合計画体系					根拠法令計画など	なし	
基本政策(大項目)		4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		事業期間	開始	平成 22 年度
政策(中項目)		1	全員参加で創るまち なんと			終期	~令和2年度
(小項目)		行財政運営					
施策		5	効率的・効果的な行財政運営の推進				
基本事業		1	スーパー改革プラン2020の推進				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	市の全部門の全体最適を考慮しながら、財政健全化や行政運営の効率化、職員と組織の能力向上など、有限な資源を最大限に活用するとともに、市民や地場企業等との協働による取組の推進など、地域力のさらなる向上を図り、経営体としての本市の総合力を高める。		事業内容 (R1)	スーパー改革プラン2020に掲げる各種取り組み事項の着実な推進を図る。				
実施方針	スーパー改革プラン2020に掲げる各種取り組み事項の着実な推進を図り、目標に掲げる①実質収支黒字の維持・②次世代負担の軽減・③実質公債費比率の抑制・④基金残高の確保・⑤経常収支比率の抑制に取り組み、財政健全化を推進する。			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	普通会計地方債残高(臨時財政対策債除く)	17,133	16,704	17,989	17,060	-	百万円
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	普通会計基金残高		2,995	3,466	1,930	1,708	-	百万円
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	各年度の実施(予定)内容	スーパー改革プラン2020に掲げる各種取り組み事項の着実な推進を図る。	スーパー改革プラン2020に掲げる各種取り組み事項の着実な推進を図る。	スーパー改革プラン2020に掲げる各種取り組み事項の着実な推進を図る。	スーパー改革プラン2020に掲げる各種取り組み事項の着実な推進を図るとともに、次年度以降の新たな計画について検討を行う。	-		
事業費推移(千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度		
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額				
	計	0	0	0	0	0		

事務事業名	スーパー改革プラン推進事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容		令和元年度実施内容		計画の進捗管理を通じて、各担当課との情報共有を図るとともに、市長を本部長とする鳴門市行政改革推進本部において、行財政改革の推進に向けた課題等について議論を行った。 また、予算編成過程においても、計画に掲げる中期財政収支見通しや財政健全化指標に留意しつつ、本市の将来をしっかりと見据えた未来志向のまちづくりを着実に推進できる予算となるよう努めた。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	普通会計地方債残高(臨時財政対策債除く)		16,704	16,334	17,060	-	-	百万円
	2								
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	普通会計基金残高			3,466	4,019	1,708	-	-	百万円
	目標達成率(実績/目標)				208.2	-	-	-	%
事業費推移 (円)		年 度		令和元年度予算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
		計		0	0	0	0	0	
		財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
			県支出金	0	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
一般財源	0		0	0	0	0			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	普通会計基金残高		成果指標に対する所見	普通会計基金残高について、目標を上回る額を確保することができた。		
	目標	1,930	百万円				
	実績	4,019	百万円				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本市の財政状況は、市税収入が減少傾向にある一方、歳出面でも「扶助費の増大」や「公債費の高止まり」に加え、「公共施設の耐震化」や「防災対策」の推進など緊急性の高い施策に対しては可能な限り早急な対応に迫られているなど、依然として楽観視できる状態ではないことから、引き続き着実な行財政改革に取り組む必要がある。また、これまでの継続した行財政改革の結果、全庁的な取り組みや市民等に新たな負担を求めていくような難しい課題が多く残っているため、効果的かつ効率的なアプローチを検討する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	スーパー改革プラン2020に掲げる各種取り組み事項の着実な推進を図るとともに、次年度以降の新たな計画について検討を行う。			
	令和3年度				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.21

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	新庁舎建設事業	担当部署	特定事業推進課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市新庁舎建設基本計画		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業 期間	開始	平成	29 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと				終期	未定
(小項目)		危機管理・防災					
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進					
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	「市民の安全安心をまもり、絆をはぐむ鳴門らしい庁舎」を実現した新庁舎の建設		事業 内容 (R1)	①基本設計業務 ②基本設計CM業務 ③オフィス環境整備業務 ④各種調査業務(地質調査・現況測量・境界確定測量・アスベスト含有調査) ⑤市民会館解体設計業務					
実施 方針	基本計画に記載した五つの基本方針のもと、新庁舎建設を推進する。 ①誰もが利用しやすく、質の高い市民サービスを提供する庁舎 ②防災拠点にふさわしい、安全安心な庁舎 ③市民がつどい、親しまれる庁舎 ④経済的で将来の変化に対応できる庁舎 ⑤環境にやさしく、周辺環境と調和した庁舎			当初 からの 変更点	9月補正予算にて、市民会館解体設計業務を計上し実施。基本設計業務がプロポーザルの不調や各種調整に時間を要したため、基本設計CM業務とともに、契約期間を令和2年5月まで延長した。				
指標名			平成30年度実績	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1								
	2								
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成30年度実績	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位	
	新庁舎の建設		基本計画策定	基本設計策定	実施設計着手	実施設計策定 施工着手			

事業の 実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①庁内検討	①基本計画の策定	①基本設計の策定 ②各種調査業務の 実施 ③DB事業者の選定	①実施設計着手	①実施設計の策定 ②施工着手
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	36,500	103,800	140,300	10,156	未定

事務事業名	新庁舎建設事業
-------	---------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		新庁舎建設に係る基本設計の策定に向け、庁内・庁外の関係機関等から意見の聴取、協議を行い、施設の配置や構造、平面レイアウトや地震・津波浸水対策、機械・電気設備の検討、及びそれらの検討結果に基づく事業費の積算作業などに取り組んだが、更なる延床面積の削減や事業費の積算調整作業などを慎重に進めた結果、当初の想定より時間を要したため、基本設計CM業務とともに、契約期間を令和2年5月まで延長した。 そのほか、地質調査、測量、アスベスト含有調査といった各種調査業務や、オフィス環境整備業務、市民会館等の解体設計業務を行った。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	新庁舎の建設		基本計画策定	各種調査業務実施 市民会館等の解体設計策定	基本設計策定 実施設計着手	実施設計策定 施工着手		
	目標達成率(実績/目標)			—				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		15,245,560	18,225,900	23,311,371	95,835,000	137,372,271	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	14,700,000	8,900,000	0	23,600,000	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	14,630,560	1,825,000	13,315,495	95,835,000	110,975,495	
	一般財源	615,000	1,700,900	1,095,876	0	2,796,776		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	新庁舎の建設		成果指標に対する所見	基本設計業務がプロポーザルの不調や各種調整に時間を要したため、基本設計の策定を令和2年5月まで延長したが、延床面積の削減や事業費の積算調整など、基本設計の精度向上に努めた。		
	目標	基本設計策定	0				
	実績	各種調査業務実施 市民会館等の解体設計策定	0				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新庁舎建設にあたっての有利な地方債制度である「市町村役場機能緊急保全事業」の活用には、令和2年度中の実施設計着手が絶対条件となっている。通常でも4～6か月程度をかけて行うDB事業者の選定であるが、新型コロナによる影響で、ゼネコン・設計事務所の業務にも大きな影響が出ている中、年度内の契約締結、実施設計着手に向け、事業者の意見や新型コロナの動向にも注視しながらの慎重な事業者選定が求められている。						
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。							
実施内容	令和2年度	基本設計策定 実施設計着手					
	令和3年度	実施設計策定 施工着手					

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.22

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	地震等災害対策普及啓発事業		担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	市地域防災計画	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			事業期間	開始	平成 <div>▼</div> 16 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと				終期	<div>▼</div>
(小項目)		危機管理・防災					
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進					
基本事業	1	危機管理・防災意識の高揚					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的		①防災意識の高揚を図る ②「自助」「共助」「近助」の意識の高揚を図る		事業内容 (R1)	各地区自主防災会における防災訓練実施を促進するとともに、防災の日である9月1日に市総合防災フェアを開催するなど、市民の防災意識の高揚を図る。また、危機管理課職員や県立防災センターを活用し、防災知識の普及啓発を図るとともに、広報なるとや市公式ウェブサイト等を活用し、市民に防災に関する有益な情報を発信する。さらに、各地域の実情に即した災害への対応や市の防災対策について説明するとともに、市民と意見交換を行う「地域出前防災教室」を実施する。				
実施方針		①各地区自主防災会への防災訓練実施の促進 ②出前講座、地域出前防災教室の実施			当初からの 変更点	令和2年3月に鳴門市ドイツ館周辺を会場に「ぼうさいファミリーミーティング」と題した啓発イベントを計画した			
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	出前講座の回数		13	21	30	30	30	回
	2								
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	自主防災会避難訓練・防災啓発実施組織数			34	42	42	42	42	組織数

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①自主防災会防災訓練 ②総合防災訓練 ③出前講座 ④地域出前防災教室	①自主防災会防災訓練 ②総合防災訓練 ③出前講座 ④地域出前防災教室	①自主防災会防災訓練 ②総合防災フェア ③ぼうさいファミリーミーティング ④出前講座 ⑤地域出前防災教室	①自主防災会防災訓練 ②総合防災フェア ③ぼうさいファミリーミーティング ④出前講座 ⑤地域出前防災教室	①自主防災会防災訓練 ②総合防災フェア ③ぼうさいファミリーミーティング ④出前講座 ⑤地域出前防災教室
事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	276	500	776	1,159	1,159

事務事業名	地震等災害対策普及啓発事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		各地区自主防災会において防災訓練を実施するとともに、防災の日である9月1日にこれまでの総合防災訓練に体験型ブース等を設けた、融合型イベント「鳴門市総合防災フェア」を鳴門ウチノ海総合公園で開催、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて中止となったが、3月にはドイツ館周辺を会場に「ぼうさいファミリーミーティング」と銘打った、よりファミリー層の参加を意識したイベントを企画した。また、出前講座や県立防災センターを活用し、防災知識の普及啓発を図るとともに、広報なるとや市公式ウェブサイト等を活用し、市民に防災に関する有益な情報を発信した。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	出前講座の回数	21	18	30	30	30	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	自主防災会避難訓練・防災啓発実施組織数		42	42	42	42	42	組織数
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		271,047	0	202,719	0	202,719	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		271,047	0	202,719	0	202,719		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	自主防災会避難訓練・防災啓発実施組織数		成果指標に対する所見	すべての自主防災組織で訓練を実施することができており、防災意識の高揚が図られている。		
	目標	42	組織数				
	実績	42	組織数				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	地域によって防災に対する意識や被害想定も異なることから、各地域の実情や特色を把握し、それらを考慮した啓発活動の実施が課題である。また、訓練参加者が固定化している傾向があるため、幅広い世代に訴求できるような工夫が必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	従来の出前講座や情報発信等の啓発活動に加え、各地域の実情に即した災害への対応や市が進めている防災対策について説明し、市民と意見交換を行う「地域出前防災教室」を引き続き実施する。また、幅広い世代が参加しやすい、興味をもってもらえるような防災イベントを企画し、実施する。			
	令和3年度	従来の出前講座や情報発信等の啓発活動に加え、各地域の実情に即した災害への対応や市が進めている防災対策について説明し、市民と意見交換を行う「地域出前防災教室」を引き続き実施する。また、幅広い世代が参加しやすい、興味をもってもらえるような防災イベントを企画し、実施する。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.23

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	自主防災組織活動促進事業		担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課	
総合計画体系					根拠法令計画など	鳴門市地域防災計画 鳴門市地震津波対策推進計画	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			事業期間	開始	平成 <div>▼</div> 17 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと				終期	未定 <div>▼</div>
(小項目)		危機管理・防災					
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進					
基本事業	2	危機管理・防災体制の強化					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	①自主防災組織活動の活性化 ②防災意識の高揚や訓練等の自主的な防災活動の推進		事業内容(R1)	①コミュニティ助成事業の実施主体となる組織を選定するための要件を、各地区自主防災会に示し、各自主防災会の活動目標を明確化し、積極的な組織活動を促す。 ②防災組織の普及啓発 ③地域内の安全点検				
実施方針	①組織運営等の各種助成金の交付を行うとともに、自主防災組織活動活性化助成金制度の活用を促し、組織活動の活性化を図っていく。 ②幅広い世代に自主防災会の会合や訓練に参加してもらい、活動意欲の高揚を図る。			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	自主防災会連絡協議会の開催	3	2	3	3	3	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	訓練・啓発等実施組織数		34	42	42	42	42	組織数

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	自主防災組織活動推進事業助成事業	継続	継続	継続	継続

事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	6,064	0	6,064	5,905	5,905

事務事業名	自主防災組織活動促進事業
-------	--------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		組織活動の活性化に向け、組織運営や資機材整備、避難路等整備に係る助成金の交付を行うとともに、自主防災組織活動活性化助成金制度の活用を促し、組織活動の活性化を図った。また、自主防災会の会合や訓練に参加し、活動意欲の高揚を行った。さらに、コミュニティ助成事業に市が推薦する組織を選定するための要件を、①防災組織の普及啓発、②地域内の安全点検、③防災訓練等の実績とし、市自主防災会連絡協議会において各地区自主防災会に示し、活動目標を明確にすることで、自主防災会の積極的な活動を促し、活性化を図った。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	自主防災会連絡協議会の開催	2	1	3	3	3	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	訓練・啓発等実施組織数		42	42	42	42	42	組織数
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		5,361,784	0	5,825,468	0	5,825,468	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	2,000,000	0	2,000,000	0	2,000,000	
一般財源		3,361,784	0	3,825,468	0	3,825,468		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	訓練・啓発等実施組織数		成果指標に対する所見	すべての自主防災組織で訓練を実施することができており、防災意識の高揚が図られている。		
	目標	42	組織数				
	実績	42	組織数				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	さらなる自主防災組織の活動推進に向けて、組織の財政的不安を解消する対策や組織活動の意欲の減少を防ぐ対策が必要				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	組織活動の活性化に向け、組織運営や資機材整備、避難路等整備に係る助成金の交付を行うとともに、自主防災組織活動活性化助成金制度の活用を促し、組織活動の活性化を図る。また、自主防災会の会合や訓練に参加し、活動意欲の高揚を行う。さらに、コミュニティ助成事業に市が推薦する組織を選定するための要件を基に、平成31年度の組織選定を行うとともに、次年度の組織選定に向け市自主防災会連絡協議会において同要件を各地区自主防災会に示し、自主防災会活動の活性化を図る。			
	令和3年度	組織活動の活性化に向け、組織運営や資機材整備、避難路等整備に係る助成金の交付を行うとともに、自主防災組織活動活性化助成金制度の活用を促し、組織活動の活性化を図る。また、自主防災会の会合や訓練に参加し、活動意欲の高揚を行う。さらに、コミュニティ助成事業に市が推薦する組織を選定するための要件を基に、平成31年度の組織選定を行うとともに、次年度の組織選定に向け市自主防災会連絡協議会において同要件を各地区自主防災会に示し、自主防災会活動の活性化を図る。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	災害用備蓄事業	担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課		
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市地域防災計画・鳴門市地震津波対策推進計画・国民保護法第146条・災害対策基本法第49条		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間	開始	平成 17 年度	
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと					
(小項目)		危機管理・防災			終期	未定	
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進					
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	災害時に避難所での生活を余儀なくされた市民等が少しでも安心して過ごせるよう、計画的に災害用備蓄物資を整備する。		事業内容 (R1)	①災害用備蓄品の買い替え ②賞味期限切れ間近となったアルファ化米を防災訓練や出前講座等に活用 ③災害用備蓄物資等の啓発 ④災害用備蓄資機材の整備				
実施方針	①生命維持や生活に必要な食糧・飲料水等のほか、携帯トイレや生理用品などの避難生活に必要な物資について備蓄を進める。 ②市民への災害用備蓄物資の啓発や、災害用備蓄資機材の整備等についても継続して取り組んでいく。			当初からの変更点	携帯トイレ購入の入札において、請負差額が生じたため減額補正を行った。			
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	携帯トイレ累計備蓄数	51,300	101,400	151,200	199,900	250,100	枚
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	携帯トイレ累計備蓄数		51,300	101,400	151,200	199,900	250,100	枚
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	各年度の実施(予定)内容	①携帯トイレ ②生理用品 ③紙おむつ ④尿もれパッド ⑤飲料用備蓄コップ ⑥トイレットペーパー等	①携帯トイレ ②生理用品 ③紙おむつ ④尿もれパッド ⑤飲料用備蓄コップ ⑥トイレットペーパー等	①携帯トイレ ②生理用品 ③紙おむつ ④尿もれパッド ⑤飲料用備蓄コップ ⑥トイレットペーパー等	①携帯トイレ ②生理用品 ③紙おむつ ④尿もれパッド ⑤飲料用備蓄コップ ⑥トイレットペーパー等	①携帯トイレ ②生理用品 ③紙おむつ ④尿もれパッド ⑤トイレットペーパー等	継続	
事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度		
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額				
	計	10,793	△4,111	6,682	7,062	7,062		

事務事業名	災害用備蓄事業
-------	---------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容							県と市町村の役割分担や備蓄目標を定めた「南海トラフ地震等に対応した備蓄方針」で示された備蓄目標の中で、アルファ化米・粉ミルクなどすでに目標を達成している。 また、賞味期限切れ間近となったアルファ化米を活用し、市民への災害用備蓄について啓発を行うとともに、災害用備蓄資機材の整備等についても継続して取組んだ。						
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位						
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	携帯トイレ累計備蓄数			101,400	151,200	199,900	250,100	300,410	枚					
	2														
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	携帯トイレ累計備蓄数			101,400	151,200	199,900	250,100	300,410	枚						
	目標達成率(実績/目標)				100.0				%						
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算										
					前年度からの繰越決算額	決算額		令和2年度への繰越額		最終事業費					
		計		4,744,274	0	5,410,374		0		5,410,374					
		財源内訳	国庫支出金		0	0	0		0		0				
			県支出金		738,000	0	1,661,000		0		1,661,000				
			地方債		0	0	0		0		0				
			使用料・手数料		0	0	0		0		0				
			その他		3,000,000	0	3,000,000		0		3,000,000				
一般財源		1,006,274	0	749,374		0		749,374							

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	携帯トイレ累計備蓄数		成果指標に対する所見	携帯トイレについては、令和4年度までに30万回分の備蓄を目標としており、令和元年度末時点での目標数の確保はできた。		
	目標	151,200	枚				
	実績	151,200	枚				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	災害時に被災した市民が避難所等で安心した生活が送れるように、備蓄計画にある物資以外の備蓄の含め、本市の備蓄計画の見直しを検討する必要がある。 また、現在計画的な物資の備蓄を行う体制が整備されているが、災害時により迅速に対応するためには、保管場所や運搬方法等について検討を要する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	予算の確保に努め、従前より備蓄を行ってきた市災害対策本部13支部に加え、災害時に、地域住民の有効な避難所となる小・中学校に備蓄を行うなど、分散備蓄に努める。			
	令和3年度	予算の確保に努め、従前より備蓄を行ってきた市災害対策本部13支部に加え、災害時に、地域住民の有効な避難所となる小・中学校に備蓄を行うなど、分散備蓄に努める。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.25

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ハザードマップ作成・見直し事業		担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課		
総合計画体系					根拠法令 計画など	水防法・土砂災害警戒区域等における土砂災害対策の推進に関する法律 など		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			事業 期間	開始	平成 27 年度	
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと						
(小項目)								
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進						
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備			終期	未定		
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無								
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求								

◎事業概要 (PLAN)

目的	①平時は市民等に各種災害の危険性や対応方法等の周知啓発 ②発災時に迅速かつ的確な避難行動に繋がるよう各種ハザードマップを作成する(見直し含む)。			事業内容 (R1)	①新池川の浸水想定の見直し結果の検証 ②防災重点ため池のハザードマップ検討+W48				
実施方針	①各災害の被害想定を基にハザードマップを作成する。 ②市民に向けて周知啓発を行い、発災時に迅速な避難行動につなげる。 ③作成したハザードマップは、新しい情報等に基づいて適宜見直しを行う。			当初からの 変更点	農村地域防災減災事業補助金を活用し、ため池マップ及びため池浸水想定区域図の作成に取り掛かった。				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ハザードマップの周知		○	○	○			
	2								
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	ハザードマップの作成			①ため池HMの印刷・配布 ②土砂・洪水HMの見直し・印刷・配布	①新池川HMの改訂、高潮HM作成に向けての調査研究	①各HM(新池川・ため池・高潮)作成に向けての調査研究	①新池川HMの改訂 ②防災重点ため池浸水想定区域図の作成 ③高潮HMの作成	①各HM(新池川・ため池・高潮)の見直し	-
事業の実施内容 内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
	各年度の実施(予定)内容	①ため池HMの印刷・配布 ②土砂・洪水HMの見直し・印刷・配布	①新池川HMの改訂、高潮HM作成に向けての調査研究	①各HM(新池川・ため池・高潮)作成に向けての調査研究	①新池川HMの改訂 ②防災重点ため池浸水想定区域図の作成 ③高潮HMの作成	①各HM(新池川・ため池・高潮)の見直し			
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度			
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額					
	計	61	28,000	28,061	1,800	0			

事務事業名	ハザードマップ作成・見直し事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	ハザードマップについて、市民課窓口や危機管理課等で配布をするとともに、自治会等の地域住民の集まりや事業所職員を対象とした出前講座においても参加者に配布し、講座のテーマに応じて説明のなかで使用するなどした。 ハザードマップの更新については、県の説明会に出席するなどして、新池川及び高潮の被害想定の情報収集を行った。						
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ハザードマップの周知	○	○	○		
	2						
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	ハザードマップの作成		①新池川HMの改訂、高潮HM作成に向けての調査研究	①新池川HMの改訂、高潮HM作成に向けての調査研究	①新池川HMの改訂 ②防災重点ため池浸水想定区域図の作成 ③高潮HMの作成	①各HM(新池川・ため池・高潮)の見直し ①各HM(新池川・ため池・高潮)の見直し	-
	目標達成率(実績/目標)			-			%
事業費推移(円)	年度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		0	0	59,400	28,000,000	28,059,400
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	28,000,000	28,000,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源		0	0	59,400	0	59,400

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	ハザードマップの作成		成果指標に対する所見	新たなハザードマップの作成はなかったが、国の補助事業として防災重点ため池マップ、浸水想定区域図の作成に着手したことや、県が新池川の想定最大規模での浸水想定区域を公表したことを受けて、令和2年度でのハザードマップの更新について予算化を行うなど、事業は進んでいる。		
	目標	①各HM(新池川・ため池・高潮)作成に向けての調査研究	-				
	実績	①新池川HMの改訂、高潮HM作成に向けての調査研究	-				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新池川に加えて、令和2年1月に県が公表した高潮浸水想定に基づくハザードマップ作成について検討が必要となる。また、防災重点ため池においては、国の補助事業としては、浸水想定区域図の作成までであるため、今後結果に基づくハザードマップ化の検討を行う必要がある。既存の土砂災害、吉野川・旧吉野川洪水ハザードマップについても、記載情報の更新等の検討を要する。						
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。							
実施内容	令和2年度	防災重点ため池の浸水想定区域図の作成を完了させるとともに、ハザードマップ化の検討を行う。 想定最大規模の浸水想定に基づく新池川のハザードマップの改訂を行う。 公表された高潮浸水想定に基づく、ハザードマップ作成の検討を行う。					
	令和3年度	新たな被害想定等の情報収集及び既存ハザードマップの記載情報の見直しを検討する。					

各実施計画兼評価シート

市 民 環 境 部

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.26

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	消費者相談窓口充実事業		担当部署	市民環境部 市民協働推進課	
総合計画体系					根拠法令計画など	消費者安全法	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			事業期間	開始	昭和 50 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと					
(小項目)		消費生活					
施策	8	消費者政策の推進					
基本事業	1	消費生活センターの充実				終期	未定
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	市民の消費生活の安定と向上を図るため、市民から消費生活に関する苦情・相談を受け、解決に向けた助言や情報提供等を行う。		事業内容 (R1)	1. 消費生活相談員 市消費生活センターにおいて、専門的知識を持った相談員が常時2名体制で市民から消費生活に関する苦情・相談を受けている。スムーズな解決に向けた助言や情報提供のために、国民生活センター等での消費者研修に参加する。 2. 啓発活動 広報等への啓発記事の掲載や市公式ウェブサイトでの周知・啓発、若者への啓発のほか、相談員による出前講座や講演などを実施する。 3. 見守りネットワーク 高齢者等の見守りネットワークの全体会議を開催し、消費者トラブルの状況や対処方法等を周知することにより、地域の見守り体制の強化を図る。 4. 食品ロス削減 エシカル消費の一つである食品ロス削減を推進する。					
実施方針	①消費生活に関する苦情・相談等の解決を図る。 ②消費者トラブル防止に向けた啓発を行う。 ③「鳴門市消費者被害防止見守りネットワーク」を活用した見守り体制の強化を図る。 ④エシカル消費の一つである食品ロス削減を中心に、消費に関する施策についても充実を図る。			当初からの変更点					
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	研修会等への参加回数	27	17	20	20	20	回	
	2	出前講座啓発活動等実施回数	6	4	10	10	10	回	
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	消費生活センター相談件数		363	354	300	300	300	件	

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①国民生活センター等での消費者研修の受講 ②出前講座の開催 ③啓発グッズの作成	継続	①国民生活センター等での消費者研修の受講 ②出前講座の開催 ③集会等での啓発活動の実施 ④啓発グッズの作成 ⑤食品ロス削減に関する施策の推進	継続	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
	計	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
		5,821	0	5,821	7,581	7,581

事務事業名	消費者相談窓口充実事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①市消費生活センターにおいて、専門的知識を持った相談員が、市民から消費生活に関する苦情・相談を受け、解決に向けた助言や情報提供等を行った。また、消費者行政に関する研修等に積極的に参加し、相談知識を深めた。②消費者被害防止見守りネットワークにおいて特殊詐欺の現状を報告すると共に、センターを活用していただけるよう依頼した。さらに、鳴門市基幹型地域包括支援センターが構成員として加わり、体制の強化を図ることができた。③広報なるとや市公式ウェブサイト等に啓発記事を掲載したほか、啓発グッズの作成・配付、相談員による出前講座、職員による講話等を実施し、消費者トラブル防止に向けた啓発を行った。④より多くの市民に消費者問題への関心を深めてもらえるよう、食品ロス削減に関する講演会を他のイベントと同時開催するとともに、家庭に眠っている食品を提供いただきフードバンク等にお渡しし、活用いただく「フードドライブ」を実施した。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	研修会等への参加回数	17	27	20	20	20	回
	2	出前講座啓発活動等実施回数	4	11	10	10	10	回
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	消費生活センター相談件数		354	292	—	—	—	件
	目標達成率(実績/目標)			97.3	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		5,229,246	0	5,225,416	0	5,225,416	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	1,674,000	0	1,583,000	0	1,583,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	3,555,246	0	3,642,416	0	3,642,416	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	消費生活センター相談件数		成果指標に対する所見	架空請求など明らかに詐欺と判別できる相談が大幅に減少し、通信販売等の契約トラブルに関する相談が主になった。相談件数は目標に少し届かなかったが、地道な周知等の結果、架空請求などに対し、市民が相談することなく自身で詐欺と判断できるようになってきたのではないと思われる。		
	目標	300	件				
	実績	292	件				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	消費者安全法の改正により、市消費生活センターに「消費生活相談員（有資格者）」を置くことが法定化されたことから、相談員の継続的な確保（報酬の引き上げや代替要員等）が課題となる。相談に対応するだけでなく、市民がトラブルに遭わない賢い消費者になるよう、広報なるとや市公式ウェブサイト等を活用した情報発信を強化するとともに、地域での出前講座やチラシ配付、「鳴門市消費者被害防止見守りネットワーク」の活用などで周知・啓発強化に努め、消費者教育の充実を継続して図る必要がある。啓発等に関しては、現状は県の補助金を活用して事業を実施しているため、補助期間が終了した場合における予算の確保が必要である。また、近年消費者トラブル防止以外にもエシカル消費や食品ロス削減といった新たな課題への対応が叫ばれているが、同センターは消費者トラブルへの相談・啓発等を主としているため、これらの課題に対しどのように関わっていくのかを検討する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	市消費生活センターにおいて、原則、常時2名体制で相談に応じる体制を維持し、市民から消費生活に関する苦情・相談を受け、解決に向けた助言や情報提供を行う。また、出前講座の実施や啓発グッズの配付、消費者トラブル防止に向けた啓発を行うと共に、「鳴門市消費者被害防止見守りネットワーク」を活用した見守り体制の強化を図る。 食品ロスに関し、フードドライブをイベント時だけでなく常時行えるよう、市庁舎内にフードポストを設置する。また、講演会等を開催するなど、積極的な周知・啓発を図る。			
	令和3年度	令和2年度と同様			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.27

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	市民協働のまちづくり推進事業		担当部署	市民環境部 市民協働推進課		
総合計画体系					根拠法令 計画など	鳴門市自治基本条例 市民との協働のまちづくり行政行動指針		
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり			事業 期間	開始	平成	23 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと						
(小項目)		市民参画・市民協働						
施策	1	市民参画・市民協働の推進						
基本事業	3	協働によるまちづくりの推進				終期	未定	
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無								
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input checked="" type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求								

◎事業概要(PLAN)

目的	鳴門市自治基本条例の周知を図るとともに、地域課題の解決に向けて市民等と行政が適切な役割分担のもと、互いに補い合いながら協働事業に取り組んでいくための環境づくりを行う。		事業 内容 (R1)	①「WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金」の交付 ②音響機器、テント、車両等の無償貸し出し ③広報紙や市公式ウェブサイト「市民協働のまちづくり」等による情報発信 ④市民活動交流研修会の開催 ⑤市民協働推進本部会議の開催と職場内研修の実施 ⑥飛び込み型出前市長室の開催 ⑦NPO法人の設立・運営や市民活動の相談支援 ⑧市公式ウェブサイト「地域デビュー」の更新 ⑨ボランティア活動に係る補助金交付				
実施 方針	①市民活動団体等が主体的に取り組む公益的活動・まちづくり活動の支援 ②自治基本条例や協働のまちづくりの周知啓発 ③地域活動への参加促進・人材発掘 ④ボランティア活動支援			当初 からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市民協働のまちづくりウェブサイト更新回数	47	68	70	70	70	回
	2	まちづくり・飛び込み型出前市長室開催回数	1	1	1	1	1	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	市民との協働事業数		161	165	150	150	150	事業

事業の 実施内 容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金事業 ②市民活動相談支援 ③市民活動交流研修会 ④出前市長室	①WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金事業 ②市民活動相談支援 ③市民活動交流研修会 ④出前市長室	①WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金事業 ②市民活動相談支援 ③市民活動交流研修会 ④出前市長室	継続	継続
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
	計	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
		2,933	0	2,933	3,412	3,433

事務事業名	市民協働のまちづくり推進事業
-------	----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①「WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金」について、行政提案型部門制度を継続し、地域の課題解決に向けた支援を行った。 ②地域活動を支援するため、地域の団体に備品の貸し出しを行うとともに、市公式ウェブサイト等で周知を図った。 ③広報紙や市公式ウェブサイト内「市民協働のまちづくりコーナー」等を通じて、まちづくりに関する情報の集約・発信を行った。 ④市民活動交流研修会を開催し、市民活動団体によるパネル展示や活動報告をしていただいた。 ⑤市民協働推進本部会議及びワーキンググループを開催し、職場内研修の実施内容等について検討した。 ⑥地域デビューの促進を図るため、市公式ウェブサイトにおいて各種団体等の情報を掲載するとともに、地域デビュー手引きの周知に努めた。また、「町内会加入促進チラシ」を配付し、町内会への加入や地域活動への参加促進に努めた。 ⑦予定していた飛び込み型出前市長室については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。 ⑧市ボランティアセンターに対し補助金を交付するなど、市内のボランティア活動の普及等の推進に努めた。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市民協働のまちづくりウェブサイト更新回数	68	54	70	70	70	回
	2	まちづくり・飛び込み型出前市長室開催回数	1	0	1	1	1	回
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	市民との協働事業数		165	160	—	—	—	事業
	目標達成率(実績/目標)			106.7	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		3,294,569	0	2,600,995	0	2,600,995	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	2,492,000	0	2,250,000	0	2,250,000	
		一般財源	802,569	0	350,995	0	350,995	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	市民との協働事業数		成果指標に対する所見	今後も、市民との情報共有を図りながら各種事業を進めていきたい。		
	目標	150	事業				
	実績	160	事業				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	自治基本条例の理念の浸透を図るため、引き続き、広く周知・啓発を行っていくとともに、職員についても研修の充実を図るなどにより意識改革を進める。 地域活動への参加促進を図るための、効果的な周知方法を検討する必要がある。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	引き続き、「WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金」を活用するなど、地域の課題解決に向けた支援を行う。また、広報紙や市公式ウェブサイト内「市民協働のまちづくりコーナー」等を通じて、まちづくりに関する情報の集約・発信を行う。 市民協働推進本部会議等を開催し、協働のまちづくりのさらなる拡充について検討を行う。 「町内会加入促進チラシ」を配付し、町内会への加入や地域活動への参加促進に努める。				
	令和3年度	令和2年度と同様。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.28

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	自治振興会連携促進事業	担当部署	市民環境部 市民協働推進課	
総合計画体系				根拠法令計画など	地域づくり事業活性化補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		事業期間	開始	平成 22 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと			終期	未定
(小項目)		コミュニティ				
施策	2	地域のまちづくりの推進				
基本事業	1	コミュニティ活動の推進				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	各地区の実情や特色などに合わせた地域住民による主体的な地域づくりの充実を図るため、協働のパートナーと位置づけた地区自治振興会との連携を促進し、活動を支援する。		事業内容(R1)	①「地域づくり事業活性化補助金」を活用した地域づくり事業を支援する。 ②自治振興連合会と連携のうえ、地区自治振興会の活動等を広報紙や市公式ウェブサイトなどで広く市民に発信する。 ③町内会等への加入促進パンフレットを転入者等に配付するとともに、加入の取り次ぎを行う。				
実施方針	①地区自治振興会との信頼関係強化に向け、地域づくり活動を支援する。 ②地区自治振興会の行事や活動を広く市民に周知する。 ③町内会等への加入促進を図る。			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	地区自治振興会会長の開催	9	9	9	9	9	回
	2	鳴門のまつり参加人数	8,000	15,000	8,000	8,000	8,000	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	地区自治振興会と協働して実施している事業		24	24	25	25	26	回

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①地区自治振興会会長の開催 ②鳴門のまつり開催	①地区自治振興会会長の開催 ②鳴門のまつり開催	①地区自治振興会会長の開催 ②鳴門のまつり開催	継続	継続

事業費推移(千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	11,004	0	11,004	11,004	11,004

事務事業名	自治振興会連携促進事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①市民の主体性を尊重しながら地域の課題解決を図るため、各地区自治振興会に「地域づくり事業活性化補助金」を交付し、各地区におけるまちづくり活動を支援した。また、随時、地区自治振興会会長会を開催するなど地域が抱える課題等の把握や情報共有に努めた。 ②市公式ウェブサイト等を活用し、各地区自治振興会が行う活動・行事等を広く市民に周知した。 ③町内会（自治会）への加入促進チラシを転入者等に配付・取次ぎを行い、加入促進を図った。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	地区自治振興会会長会の開催	9	9	9	9	9	回
	2	鳴門のまつり参加人数	15,000	10,000	8,000	8,000	8,000	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	地区自治振興会と協働して実施している事業		23	23	－	－	－	回
	目標達成率(実績/目標)			92.0	－	－	－	%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		11,004,000	0	10,946,735	0	10,946,735	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		11,004,000	0	10,946,735	0	10,946,735	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	地区自治振興会と協働して実施している事業		成果指標に対する所見	地区自治振興会との情報共有を図りながら、協働による取り組みを継続していく。		
	目標	25	回				
	実績	23	回				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	市民の主体性を尊重しながら協働によるまちづくりを推進するため、引き続き、「地域づくり事業活性化補助金」を各地区自治振興会に交付し、各種の活動を支援していく必要がある。 また、自治振興連合会とも連携しながら、町内会への加入促進や地域コミュニティ活動の担い手育成などの課題に対して検討をする必要がある。						
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。							
実施内容	令和2年度	①引き続き、「地域づくり事業活性化補助金」を交付し、各地区におけるまちづくり活動を支援する。 ②各地区自治振興会が行う活動・行事等を広く市民に周知していく。 ③町内会（自治会）への加入促進チラシを転入者等に配付・取次ぎを行い、加入促進を図る。					
	令和3年度	令和2年度と同様。					

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.29

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	コミュニティ助成事業		担当部署	市民環境部 市民協働推進課	
総合計画体系					根拠法令計画など	コミュニティ助成事業補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり			事業期間	開始	平成 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと					
(小項目)		コミュニティ					
施策	2	地域のまちづくりの推進					
基本事業	1	コミュニティ活動の推進			終期	未定	
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	「一般コミュニティ助成事業」を活用し、地域コミュニティ活動の充実・強化を図る。		事業内容(R1)	コミュニティ活動の充実と地域の活性化を促進するため、コミュニティ団体の活動に必要な備品等の整備に対して支援を行う。				
実施方針	(一財)自治総合センターが助成している「一般コミュニティ助成事業」を活用し、地域に密着して活動している団体が実施するコミュニティ活動に直接必要な設備等の整備に関する事業に補助金を交付する。			当初からの変更点	予算額と実際に交付した金額との間に差があったため、減額補正している。			
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	助成を行った団体数	1	1	1	1	1	団体
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	助成を受けた団体数		35	36	37	-	-	団体

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	高島秋祭り実行委員会の神輿・屋台の修繕、衣装の新調に対して助成を行った。	木津神観音おどり保存会が行う「観音おどり」を継承するため、櫓の新調に対する助成を行った。	北灘地区自治振興会が行う地域活動のために使用する備品購入の助成を行った。	県を通じて、同事業が実施されることが確認され次第、申請等の手続きを順次進める。	県を通じて、同事業が実施されることが確認され次第、申請等の手続きを順次進める。
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	2,700	△ 1,200	1,500	2,400	2,500

事務事業名	コミュニティ助成事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		北灘地区自治振興会に対し、地域におけるコミュニティ活動の活性化を図るため、必要な備品(パソコン、プロジェクター、スクリーンなど)に対して助成を行った。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	助成を行った団体数	1	1	1	1	－	団体
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	助成を受けた団体数		36	37	－	－	－	団体
	目標達成率(実績/目標)			100.0	－	－	－	%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		2,500,000	0	1,500,000	0	1,500,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	2,500,000	0	1,500,000	0	1,500,000	
一般財源		0	0	0	0	0		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	助成を受けた団体数		成果指標に対する所見	毎年1団体ずつではあるが、コミュニティ活動の活性化に寄与しているものと考えている。		
	目標	37	団体				
	実績	37	団体				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	当該補助金の財源である宝くじの普及広報事業の実施は流動的な部分もあるが、（一財）自治総合センターが同事業を継続する限りは、地域の要望に基づき、応募を続けていきたい。						
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。							
実施内容	令和2年度	長江地区コミュニティ交流会に対し、地域におけるコミュニティの活性化を図るため、必要な備品（カラーリング用品）に対して助成を行う。					
	令和3年度	県を通じて、同事業が実施されることが確認され次第、申請等の手続きを順次進める。					

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.30

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	「頑張れ！徳島ヴォルティス」なると観光ブランド化・ホームタウン連携事業		担当部署	市民環境部 スポーツ課			
総合計画体系					根拠法令計画など				
基本政策(大項目)		1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間	開始	平成	18	年度
政策(中項目)		2	伝えたい 魅力あふれるまち なると						
(小項目)			観光						
施策		1	観光・交流のまちづくり						
基本事業		4	にぎわいと交流の創出			終期	未定		
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無					<input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無		<input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無		
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求					<input type="checkbox"/> ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的		徳島ヴォルティスやホームタウン協議会加盟市町と連携し、イベント出展やPR事業を行い、鳴門市民のみならず他県から観光客が訪れることで新たな地域間交流の創出を目指す。		事業内容 (R1)	①ホームゲームイベントで市の特産品PRや東京2020オリンピックの機運醸成を図るイベントを実施する。 ②アウェイゲーム会場で市の特産品PRや観光パンフレット配布等を行う。 ③プロスポーツ応援ナンバープレートの交付や転入者のホームゲーム無料招待、JR鳴門駅をはじめとした市内の装飾など応援機運を醸成する企画を実施する。 ④高齢者向けの健康教室や幼稚園児・小学生向けの運動教室を実施する。				
実施方針		①ホームゲームイベント実施によるにぎわい創出 ②アウェイゲームを活用した観光PR ③応援機運を醸成する企画の実施			当初からの 変更点				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	市民の機運醸成を図るイベント		9	9	8	8	8	回
	2	アウェイゲームでの観光PR		4	5	4	4	4	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	ホームゲーム平均観客数			4,979	4,997	5,600	6,000	6,400	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①ホームゲーム開催時にイベントを実施 ②アウェイ会場で観光PRを実施 ③応援機運醸成企画を実施	①ホームゲーム開催時にイベントを実施 ②アウェイ会場で観光PRを実施 ③応援機運醸成企画を実施	①ホームゲーム開催時にイベントを実施 ②アウェイ会場で観光PRを実施 ③応援機運醸成企画を実施	継続	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	2,539	0	2,539	2,678	2,678

事務事業名	「頑張れ！徳島ヴォルティス」なると観光ブランド化・ホームタウン連携事業
-------	-------------------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容							①東京2020オリンピックの機運醸成を図るイベントや市の特産品PR、市内施設等で割引などの特典が受けられる「NARUTOスポーツパス」の配布をホームゲームイベントで実施。 ②アウェイゲーム会場(岡山県・京都府・愛媛県・岐阜県)で市の特産品PRや観光パンフレットの配布を実施。 ③7月から新たにプロスポーツ応援ナンバープレートの交付を開始。また、昨年度に引き続き、転入者のホームゲーム無料招待やホームゲーム時におけるJR鳴門駅周辺の装飾を実施。 ④高齢者向けの健康教室や幼稚園児・小学生向けの運動教室を実施。 ⑤J1参入プレーオフ進出決定時は、市民から応援メッセージを募集し、プレーオフ進出記念横断幕と共に市本庁舎2階渡り廊下に掲示。						
		指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位						
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市民の機運醸成を図るイベント		9	8	8	8	8	回						
	2	アウェイゲームでの観光PR		5	4	4	4	4	回						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	ホームゲーム平均観客数			4,997	5,736	—	—	—	人						
	目標達成率(実績/目標)				102.4	—	—	—	%						
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算										
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費							
		計		1,805,999	0	1,768,316	0	1,768,316							
		財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0							
			県支出金	0	0	0	0	0							
			地方債	0	0	0	0	0							
			使用料・手数料	0	0	0	0	0							
			その他	1,805,999	0	1,768,000	0	1,768,000							
一般財源		0	0	316	0	316									

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	ホームゲーム平均観客数		成果指標に対する所見	今年度は目標を達成したが、今後の目標を達成していくためにも継続的に事業を実施し、ホームゲーム平均観客数を増加させるとともに、「プロスポーツのあるまち鳴門」を浸透させていく必要がある。		
	目標	5,600	人				
	実績	5,736	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和元年度のホームゲーム平均観客数は、前年と比較しおよそ800人増加したが、さらなる観客数の増加を図るためにもホームゲーム会場が本市にあることを活かし、今後も周知や啓発活動を通じて徳島ヴォルティスへの興味・関心を一層高める必要がある。また、鳴門市民デー・徳島県民デー・四国ダービー等のホームゲームにおいては、集客を図ることが出来る企画を徳島ヴォルティスと連携して実施し、さらなる応援機運の醸成を図る必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	継続して鳴門市民デー・徳島県民デー・四国ダービー等のイベントを実施する。また、市民参加型のイベントやヴォルティスロードの整備などを通して、プロスポーツを身近なものとして認識してもらい、応援機運の醸成を図る。併せて、観光PR等を実施し、来場者数の増加やにぎわいの創出に努める。			
	令和3年度	令和2年度と同様。			

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	スポーツ大会・合宿誘致推進事業		担当部署	市民環境部 スポーツ課		
総合計画体系					根拠法令 計画など			
基本政策(大項目)		1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業 期間	開始	令和	元 年度
政策(中項目)		2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと					
(小項目)			観光					
施策		1	観光・交流のまちづくり					
基本事業		4	にぎわいと交流の創出			終期	未定	
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無								
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求								

◎事業概要(PLAN)

目的	スポーツを「産業」として捉え、スポーツ大会・合宿を誘致開催することにより、スポーツの振興と交流人口の拡大による地域・経済の活性化を図る。		事業 内容 (R1)	①関西圏の旅行代理店等を訪問し、大学の体育会部活動・サークルをメインターゲットにスポーツ大会・合宿を誘致する。 ②徳島インディゴソックスと連携し、中国・韓国等野球の盛んな東アジア圏からのインバウンド合宿を誘致する。 ③Tリーグの本市開催を目指し、県市卓球協会と連携しながら、Tリーグ事務局へのアプローチをすすめる。				
実施方針	①大学等のスポーツ大会・合宿を誘致し、地域・経済の活性化を図る。 ②インバウンド合宿の誘致に取り組み、市内の子どもたちの国際交流を推進する。 ③「卓球」による健康づくりをすすめるため、卓球のプロリーグ「Tリーグ」の誘致・開催を目指す。			当初 からの 変更点	卓球Tリーグ開催のため、9月補正を行った。 需用費 214,000円(印刷製本費) 委託料 1,500,000円 計 1,714,000円			
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	旅行代理店等訪問回数		4	4	4	4	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	スポーツ大会・合宿誘致実績			1	5	7	9	回

事業の 実施内 容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容			①大学等スポーツ大会・合宿誘致 ②インバウンド合宿誘致 ③Tリーグ開催誘致	継続	継続

事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	2,206	1,714	3,920	1,327	1,327

事務事業名	スポーツ大会・合宿誘致推進事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容	大学の体育会やサークルをメインターゲットとして、関西圏の旅行代理店等を訪問し、5件の大会・合宿を誘致・開催した。 インバウンド合宿誘致としては、2年連続となる韓国・フィムン高校の野球チームや徳島インディゴソックスと連携することにより、中国・北京市星火小学校が合宿に訪れた。合宿期間中は市内観光はもちろん、地域の方や子どもたちの国際交流が図られた。 また9月には、四国初となる卓球「Tリーグ」の男子公式戦が開催され、市内外より多くの人が観戦に訪れ、にぎわいを創出した。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	旅行代理店等訪問回数	2	4	4	4	4	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	スポーツ大会・合宿誘致実績		1	8	7	9	11	回
	目標達成率(実績/目標)			160.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額		最終事業費
	計			0	2,665,620	0		2,665,620
	財源内訳	国庫支出金		0	0	0		0
		県支出金		0	0	0		0
		地方債		0	0	0		0
		使用料・手数料		0	0	0		0
		その他		0	700,000	0		700,000
		一般財源		0	1,965,620	0		1,965,620

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	スポーツ大会・合宿誘致実績		成果指標に対する所見	誘致活動の成果が出てきており、実績が積みまれている。		
	目標	5	回				
	実績	8	回				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成30年度より大会・合宿誘致に取り組み始め、実績が上がってきてはいるが、今後、市民会館の取り壊しや県営施設改修に伴う運動施設の減少などキャパシティ不足により、合宿数の伸び悩みや先細りが懸念される。大会・合宿の満足度を高め、リピーターを確保するほか、本市で大会・合宿を行うことの付加価値を高める取り組みが必要となる。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	スポーツによる地域活性化を継続的に推進していくための基盤整備として、スポーツ団体や観光産業など官民一体となった組織「スポーツコミッション」設立に向けて調査・研究をすすめる。			
	令和3年度	今年度の実施状況により、次年度以降検討する。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.32

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳴門市スポーツ協会運営支援事業		担当部署	市民環境部 スポーツ課	
総合計画体系					根拠法令計画など	鳴門市スポーツ振興事業補助金交付要綱	
基本政策(大項目)		2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成 5 年度
政策(中項目)		4	生きがいあふれるまち なんと			終期	平成 5 年度
(小項目)			スポーツ・レクリエーション				未定
施策		3	生涯スポーツの振興				
基本事業		2	スポーツ活動の推進				
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	鳴門市スポーツ協会は、市内のスポーツ競技団体を統括する唯一の団体であり、継続的に運営できるように支援を行うことで、各競技団体の活動を推進し、スポーツの振興を図る。		事業内容(R1)	①国民体育大会等に出場する者に対して激励金を支出する。 ②スポーツ活動に貢献した者やスポーツ大会で優秀な成績を残した者を表彰する。 ③各競技団体において、市民体育祭など大会を開催するとともに、スポーツサイトで各団体の活動・大会スケジュールを紹介する。 ④各競技団体へ活動補助金を支出することで、加盟団体の普及活動や競技力向上の取り組みを促進する。				
実施方針	①国民体育大会等の出場者に対して、激励金を支出するとともに、優秀な成績を残した者等を表彰することでスポーツ振興を図る。 ②各競技団体の活動等をスポーツサイトで紹介するとともに、各団体の活動を補助することで競技スポーツ・生涯スポーツを推進する。			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	スポーツ協会加盟競技者数	6,488	6,216	6,400	6,400	6,400	人
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	全国大会出場回数		34	36	20	20	20	回

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施（予定）内容	①国民体育大会等の出場者への激励金支出 ②各競技団体への活動補助金の支出 ③鳴門市スポーツ協会表彰式の実施	①国民体育大会等の出場者への激励金支出 ②各競技団体への活動補助金の支出 ③鳴門市スポーツ協会表彰式の実施	①国民体育大会等の出場者への激励金支出 ②各競技団体への活動補助金の支出 ③鳴門市スポーツ協会表彰式の実施	継続	継続

事業費推移（千円）	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計		1,245	0	1,245	1,245

事務事業名	鳴門市スポーツ協会運営支援事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	各競技団体において市民体育祭をはじめとする大会等を開催した。国民体育大会等のスポーツ大会へ出場する者に対し、激励金の支出を行った。1月末に表彰式を行い、体育・スポーツに貢献した者やスポーツ大会で優秀な成績を残した者の功績を称え、スポーツに対する意欲を喚起し、スポーツ振興を図った。卓球協会による「Tリーグ」開催など各加盟団体への活動助成により、各団体の普及活動や競技力向上の取り組みを促進するとともに、市スポーツサイトに各団体のスケジュール等を掲載し、団体の活動PRを行い競技人口の増加を図った。					
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	スポーツ協会加盟競技者数	6,216	6,349	6,400	6400	6,400 人
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	全国大会出場回数		36	35	20	20	20 回
	目標達成率(実績/目標)			175.0			%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		1,245,000	0	1,245,000	0	1,245,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,245,000	0	1,245,000	0	1,245,000

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	全国大会出場回数		成果指標に対する所見	各競技、さまざまな種目において全国大会に出場し、目標を達成することができた。		
	目標	20	回				
	実績	35	回				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成27年度より加盟団体への新たな助成制度を導入し、大会の開催や学校への指導者派遣、生涯スポーツの推進等積極的な活動を行っている団体への補助を手厚くしている。今後も支援目的を明確にすることで、加盟団体の普及活動や競技力向上の取り組みの促進につながるよう、現状と課題を把握し、対応していく必要がある。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	加盟団体の助成制度について、各競技団体の意見も聞きながら、より良い支援ができるよう検討していく。 各競技団体の活動等をスポーツサイト(市公式ウェブサイト)で紹介し、宣伝啓発の支援をすることで、市民のスポーツに対する関心を高める。				
	令和3年度	今年度の実施状況により、次年度以降検討する。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.33

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	総合型地域スポーツクラブ支援事業		担当部署	市民環境部 スポーツ課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	鳴門市スポーツ振興事業補助金交付要綱	
基本政策(大項目)		2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成 21 年度
政策(中項目)		4	生きがいあふれるまち なんと				
(小項目)			スポーツ・レクリエーション				
施策		3	生涯スポーツの振興				
基本事業		2	スポーツ活動の推進			終期	未定
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	生涯スポーツ社会の実現を目指して、誰もが気軽に参加できる住民主体の総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。		事業 内容 (R1)	①総合型地域スポーツクラブへ活動支援として補助金の支出や施設使用料の減免を行う。 ②将来的に自主財源でクラブを運営できる自立した組織となるよう取り組みをすすめる。 ③チャレンジデーを共同で実施するなど連携を図りながら、総合型地域スポーツクラブの知名度向上、普及促進を図る。				
実施方針	総合型地域スポーツクラブに対して、活動支援として補助金の支出や活動施設の使用料の減免等を行うとともに、将来的には自主財源を主とする、自立した総合型地域スポーツクラブを目指す。			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	プログラム開催回数	2,571	2,789	2,700	2,700	2,700	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	参加人数(のべ)		29,740	31,161	30,000	30,000	30,000	人
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	各年度の実施(予定)内容	①補助金の支出 ②活動施設の使用料の減免等	①補助金の支出 ②活動施設の使用料の減免等	①補助金の支出 ②活動施設の使用料の減免等	継続	継続		
事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度		
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額				
	計	200	0	200	200	200		

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ支援事業
-------	------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容		令和元年度実施内容		NARUTO総合型スポーツクラブ及び一般社団法人NICEに対して、活動支援として補助金の支出や活動施設の使用料の減免等を行うとともに、将来的には自主財源を主とする、自立した総合型地域スポーツクラブとなるよう支援を行った。 また、チャレンジデーでのイベント等を通じて、総合型地域スポーツクラブの普及や活動の支援も行った。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	プログラム開催回数		2,789	2,498	2,700	2,700	2,700	回
	2								
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	参加人数(のべ)			31,161	30,471	30,000	30,000	30,000	人
	目標達成率(実績/目標)				101.6				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算					
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費		
	計		200,000	0	200,000	0	200,000		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		使用料・手数料	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
		一般財源	200,000	0	200,000	0	200,000		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	参加人数(のべ)		成果指標に対する所見	高齢者向けの健康教室や子ども向けの運動教室など様々なプログラムを実施し、参加のべ人数も目標を達成した。		
	目標	30,000	人				
	実績	30,471	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	総合型地域スポーツクラブが地域に根ざしたクラブとなり、自主財源を主として継続的に自立した活動ができるための方策及び支援のあり方を、両団体を交えて協議しながら考えていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	引き続き、両団体が自主財源を主とし、継続的に自立した活動ができる総合型地域スポーツクラブとなるよう方策及び支援のあり方を検討していく。			
	令和3年度	今年度の実施状況により、次年度以降検討する。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.34

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	市民総参加型スポーツイベント実施事業		担当部署	市民環境部 スポーツ課			
総合計画体系					根拠法令計画など	鳴門市スポーツ振興事業補助金交付要綱			
基本政策(大項目)		2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成	22 年度	
政策(中項目)		4	生きがいあふれるまち なんと						
(小項目)			スポーツ・レクリエーション						
施策		3	生涯スポーツの振興						
基本事業		2	スポーツ活動の推進		事業期間	終期	未定		
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無							<input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無		
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無							<input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無		
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求							<input type="checkbox"/> ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		

◎事業概要 (PLAN)

目的	「チャレンジデー」への参加を通じて日常的なスポーツの習慣化や市民の健康増進、地域活性化を図る。		事業内容 (R1)	①チャレンジデーの開催にあたり、市内の学校や企業、各団体への周知活動を行う。 ②実行委員会や地域団体が主催するスポーツイベントを開催することで参加率の向上を図る。 ③市まちづくりアドバイザー木場克己氏による体幹バランストレーニング「KOBA☆トレ」を実施し、より多くの市民参加を促す。				
実施方針	5月最終水曜日の午前0時から午後9時までの間に15分以上継続して運動やスポーツを行った住民の数を、人口規模がほぼ同じ自治体間で競うスポーツイベント「チャレンジデー」に参加する。			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	参加者数	38,115	37,235	35,000	35,000	35,000	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	参加率		64.0	63.6	60.0	60.0	60.0	%

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①ワールドチャレンジデーへの参加	①市スポーツアドバイザー里崎智也さんによるイベント会場訪問 ②第九とコウノトリの展示会及び抽選会	①チャレンジデーへの参加	継続	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	300	0	300	300	300

事務事業名	市民総参加型スポーツイベント実施事業
-------	--------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容		令和元年度実施内容		①チャレンジデーの開催にあたり、市内の学校や企業、各団体へ作成したチラシ等を配布し周知。 ②市内各地で様々な団体にご協力いただき、イベントを実施。 ③市まちづくりアドバイザー木場克己氏による体幹バランストレーニング「KOBASトレ」を実施。 ④南あわじ市との「うずしおダービー」として開催。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	参加者数		37,235	38,479	35,000	35,000	35,000	人
	2								
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	参加率			63.6	66.6	60.0	60.0	60.0	%
	目標達成率(実績/目標)				111.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算					
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額		最終事業費	
	計		300,000	0	300,000	0		300,000	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0		0	
		県支出金	0	0	0	0		0	
		地方債	0	0	0	0		0	
		使用料・手数料	0	0	0	0		0	
		その他	0	0	0	0		0	
一般財源		300,000	0	300,000	0		300,000		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	参加率		成果指標に対する所見	各団体への呼びかけ等を積極的に行い、参加率の目標を達成。市民の認知も高まってきている。		
	目標	60	%				
	実績	66.6	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	チャレンジデーの認知度は高まってきていると実感しているが、イベント開催当日のみならず、運動を日常的に習慣化させるための施策を盛り込んでいく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	東京2020オリンピックの応援機運を盛り上げる企画等、従来の取り組みに加えチャレンジデーの注目度を向上させる施策を盛り込み、参加率の増加を目指す。			
	令和3年度	令和2年度の実施状況により、令和3年度の実施内容を検討する。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.35

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	新規	事務事業名	マルチスポーツ・障がい者スポーツ推進事業		担当部署	市民環境部 スポーツ課	
総合計画体系					根拠法令計画など	鳴門市スポーツ推進計画	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業期間	開始	令和 元 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと					
(小項目)		スポーツ・レクリエーション					
施策	3	生涯スポーツの振興					
基本事業	2	スポーツ活動の推進				終期	未定
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無					<input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無		
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求					<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		
<input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							

◎事業概要(PLAN)

目的	子どもから高齢者、障がいの有無を問わず、スポーツ・運動する機会を創出することで、「生涯スポーツ社会」の実現を目指す。		事業内容(R1)	①幼児期におけるマルチスポーツの推進 ・市内幼稚園、認定子ども園で陸上・体操・リトミック等の運動教室を実施する。 ・幼児の運動能力調査を実施し検証を行う。 ②障がい者スポーツの推進 ・車いすスポーツを体験する障がい者ふれあい交流授業を市内の小中学校で実施する。 ・定期的に車椅子バスケットボール・車椅子ソフトボールを実施し障がい者と健常者がともに交流し活動する場を創出する。					
実施方針	①幼児期にさまざまな運動・スポーツを体験する機会を創出することにより、しっかりと体を動かす土台を作り、児童期以降での運動能力向上につなげる。 ②障がい者スポーツの普及・促進により、障がいのある人となない人が一緒に活動できる地域社会を目指す。			当初からの変更点					
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	幼児期におけるマルチスポーツ推進事業実施回数			85	85	85	回	
	2	障がい者スポーツ推進事業実施回数			3	3	3	回	
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	訪問指導・教室実施回数				88	88	88	回	
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
	各年度の実施(予定)内容			①幼児期におけるマルチスポーツの推進 ②障がい者スポーツの推進	継続	継続			
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度			
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額					
	計	1,800	0	1,800	1,800	1,800			

事務事業名	マルチスポーツ・障がい者スポーツ推進事業
-------	----------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容		令和元年度実施内容		幼児期におけるマルチスポーツ推進事業では、市内の幼稚園・認定子ども園7園に指導者を派遣して陸上・体操・ダンス等の運動指導を85回実施し、運動能力向上を図るとともに、スポーツへの関心を高めた。また、事業実施後には測定員を派遣して運動能力調査を実施し効果測定を行った。 障がい者スポーツ推進事業では、小学生に障がい者スポーツを知ってもらうため、市内3小学校において障がい者ふれあい交流授業を実施した。また、定期的に車いすバスケットボール等を実施し、障がい者と健常者が交流し活動する場を提供した。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	幼児期におけるマルチスポーツ推進事業実施回数		85	85	85	85	回	
	2	障がい者スポーツ推進事業実施回数		3	3	3	3	回	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	訪問指導・教室実施回数			88	88	88	88	回	
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%	
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
		計			0	1,800,000	0	1,800,000	
		財 源 内 訳	国庫支出金		0	0	0	0	
			県支出金		0	0	0	0	
			地方債		0	0	0	0	
			使用料・手数料		0	0	0	0	
			その他		0	0	0	0	
一般財源			0	1,800,000	0	1,800,000			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	訪問指導・教室実施回数		成果指標に対する所見	マルチスポーツ・障がい者スポーツ推進事業を実施し、目標としていた訪問指導回数に達した。		
	目標	88	回				
	実績	88	回				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	幼児期におけるマルチスポーツ推進事業を実施していく上で、訪問する各幼稚園等と総合型地域スポーツクラブとの間で訪問日数・回数など綿密な連絡・調整が必要となる。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	子どもから高齢者、障がいの有無を問わず、さまざまなカテゴリーでスポーツ振興を図る観点から、総合型地域スポーツクラブと連携し、運動の機会を十分に提供できていない就学前の子どもや障がいのある方を対象とした事業を実施する。				
	令和3年度	今年度の実施状況により、次年度以降検討する。				

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	第2期文化のまちづくり基本計画策定事業		担当部署	市民環境部 文化交流推進課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	鳴門市文化のまちづくり条例	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業 期間	開始	平成 29 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと					
(小項目)		文化振興					
施策	4	暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進					
基本事業	1	「第2期鳴門市文化のまちづくり基本計画」の策定					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	平成19年4月に施行した「鳴門市文化のまちづくり条例」に基づき、本市の文化芸術の振興を計画的に推進するため、「第2期鳴門市文化のまちづくり基本計画」を策定する。			事業内容 (R1)	①審議会の開催 ・「鳴門市文化のまちづくり審議会」の開催(1回)				
実施方針	計画策定にあたり、市民の文化活動の状況やニーズ等を把握するため、市民を対象としたアンケート調査、及び市内文化活動団体等へのヒアリング調査を実施し、審議会にて調査結果報告を行う。				当初からの変更点	①審議会の追加開催 ・「鳴門市文化のまちづくり審議会」の開催(3回) ②市民アンケートの実施 ③市民会議委員の募集			
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	審議会開催		0	1	1	5	-	回
	2	パブリックコメント実施		-	-	-	実施	-	実施
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	第2期基本計画策定			-	-	-	策定	-	

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	計画の推進	①審議会の開催 ②第1期計画実績報告	①審議会の開催 ②アンケート調査の実施 ③市民会議委員の募集	①審議会の開催 ②市民会議の開催 ③パブリックコメント実施 ④第2期計画の策定	計画の推進

事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	75	1,133	1,208	2,470	-

事務事業名	第2期文化のまちづくり基本計画策定事業
-------	---------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①審議会の開催 ・「鳴門市文化のまちづくり審議会」の開催(3回) ②市民アンケートの実施(市内在住の18歳以上の市民2,000人を無作為抽出) ・市民の文化活動の状況や要望を把握するとともに、既設の文化施設(特に文化会館)に関する市民の考えを集計分析し、市の現状に即した今後の方針や施策を検討するための基礎資料を得ることを目的として、アンケート調査を実施 ③市民会議委員の募集 ・「鳴門市文化のまちづくり市民会議」委員を募集					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	審議会開催	1	2	3	-	-	回
	2	パブリックコメント実施	-	-	実施	-	-	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	第2期基本計画策定		-	-	策定	-	-	
	目標達成率(実績/目標)			-				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		70,000	0	1,028,336	0	1,028,336	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	70,000	0	1,028,336	0	1,028,336	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	第2期基本計画策定		成果指標に対する所見	新型コロナウイルスの影響で、3回目の審議会が開催できなかったが、目標をおおむね達成できた。		
	目標	-					
	実績	-					
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	市民の文化活動の状況や課題を把握するために実施したアンケート調査の結果及び市民会議の開催により、市民の意見や要望等を集約・分析したうえで、今後の方針及び計画に広く取り入れる必要がある。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	市民や市内文化芸術活動団体等の意見・要望等を集約をし、審議会開催、パブリックコメントを実施し、「第2期鳴門市文化のまちづくり基本計画」を策定する。				
	令和3年度	計画の推進				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.37

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	文化振興事業	担当部署	市民環境部 文化交流推進課	
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市文化のまちづくり基本計画	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	昭和 <div></div> 46 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと				
(小項目)		文化振興				
施策	4	暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進				
基本事業	2	市民が参加・体験する機会づくり		終期	未定 <div></div>	
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的		市民が文化・芸術に接し、発表することのできる機会の拡充や、文化の掘り起こしにより、多くの人が文化・芸術を通じて交流し、にぎわいづくりを推進する。		事業内容 (R1)	5月に文化展、10月に市展、11月に芸能祭を開催し、3月に市民文芸を発刊する。また、文化月間(5月15日～6月14日)協賛イベントを募集し、決定した協賛イベントについて広報活動を実施したほか、年間を通して市民ギャラリーなどの文化事業を実施し、周知に努める。文化芸術活動の活性化のため、文化活動サポート事業として音響・照明・映像機器の貸し出しなどを行う。さらに、令和3年度に文化協会創立50周年を迎えるにあたり、記念事業の実施を検討し、さらなる文化振興活動の推進を図る。					
実施方針		1. 鳴門市文化展・市展・芸能祭の開催及び市民文芸の発刊や市民ギャラリーその他文化事業を推進する。 2. 文化芸術活動の情報提供や音響・照明・映像機器の貸し出しなど、文化芸術活動を支援する。 3. まちづくりに取り組む文化芸術活動を広報等で紹介したり、助成金申請等の相談に応じることで、文化芸術活動の活性化をサポートする。 4. 文化のまちづくり基本計画を基礎とした文化振興活動を行う。			当初からの 変更点					
				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	芸術祭開催延べ日数		27	27	27	27	27	日	
	2	市民文化講座数		16	16	16	16	16	講座	
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	文化ボランティア団体数			24	24	30	30	30	団体	

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①芸術祭(文化展・市展・芸能祭)の開催 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート	①芸術祭(文化展・市展・芸能祭)の開催 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート	①芸術祭(文化展・市展・芸能祭)の開催 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート ④文化協会創立50周年記念事業実施の検討	①芸術祭(文化展・市展・芸能祭)の開催 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート ④文化協会創立50周年記念事業実施の準備	①芸術祭(文化展・市展・芸能祭)の開催 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート ④文化協会創立50周年事業の実施
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	1,164	0	1,164	1,138	1,138

事務事業名	文化振興事業
-------	--------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容 5月に文化展、10月に市展、11月に芸能祭を開催し、3月に市民文芸を発刊した。また、文化月間(5月15日～6月14日)協賛イベントを募集し、決定した協賛イベントについて広報活動を実施したほか、年間を通して市民ギャラリーなどの文化事業を実施し、周知に努めた。また、文化芸術活動の活性化のため、文化活動サポート事業として音響・照明・映像機器の貸し出しなどを行った。さらに、令和3年度に迎える文化協会創立50周年に向けて、記念事業検討会を開催した。						
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	芸術祭開催延べ日数	27	26	26	26	日
	2	市民文化講座数	16	17	17	17	講座
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	文化ボランティア団体数		24	24	24	24	団体
	目標達成率(実績/目標)			80.0			%
事業費推移(円)	年度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		1,067,760	0	1,130,768	0	1,130,768
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	1,800	0	1,200	0	1,200
	一般財源		1,065,960	0	1,129,568	0	1,129,568

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	文化ボランティア団体数		成果指標に対する所見	高齢化が進んでいる団体が多く、担い手を確保できない団体については活動継続が困難になりつつあり、目標に届かなかった。		
	目標	30	団体				
	実績	24	団体				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	高齢化が進み、担い手を確保できない団体が活動継続が困難になりつつある。既存の文化事業を継続して実施するとともに、さらなる文化振興、にぎわいづくりのため市内各課との連携を図り、NPO等関係団体の協力を得ていかなければならない。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	文化団体の活動を広報等で紹介したり、助成事業等の相談に応じたりすることで、文化ボランティア活動の活性化を図る。また市民が文化・芸術に接し、発表することのできる機会の拡充や、文化の掘り起こしにより、多くの人が文化・芸術を通じて交流する機会を創出し、にぎわいづくりを推進する。				
	令和3年度	前年度の検証を行い、引き続き文化・芸術を通じたにぎわいづくりを推進する。				

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	国際・国内交流推進事業	担当部署	市民環境部 文化交流推進課 経済建設部 観光振興課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	なし	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間	開始	昭和 <div>▼</div> 49 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと				
(小項目)		国際・国内交流				
施策	3	国際・国内交流の推進				
基本事業	1	交流のひとづくり		終期	未定 <div>▼</div>	
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要 (PLAN)

目的	鳴門市と姉妹都市をはじめとする友好都市との交流を推進することで、市民同士の相互理解・国際理解を深め、それぞれの都市との友好関係の強化を目指す。			事業内容 (R1)	①ドイツ姉妹都市リュネブルク市との交流 ・第23回鳴門市一般親善使節団を派遣し、両市民の交流の場を創出する。 ・第23回鳴門市青少年親善使節団を派遣し、次世代を担う人材育成を図る。 ②中国友好都市との交流 張家界市からの訪問団を受け入れるなど相互交流事業を推進し、友好親善を深める。 ③国内親善都市会津若松市との交流 ・親善交流都市盟約締結20周年記念使節団の派遣。 ・会津若松市市制施行120周年式典へ出席。 ④その他国外・国内都市との交流					
実施方針	①ドイツ姉妹都市リュネブルク市との交流を図る ②中国友好都市との交流を図る ③国内親善都市会津若松市との交流を図る ④その他国外・国内都市との交流を推進する				当初からの 変更点					

指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	親善使節団参加者数 リュ市／鳴門市		32	54	35	35	35	人
	2	使節団への学生の参加者数 リュ市／鳴門市		12	11	12	12	12	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市			66	54	60	60	60	%

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定) 内容	①第22回鳴門市姉妹都市親善使節団の派遣 ②張家界市の相互訪問 ③会津若松市の相互訪問	①第22回リュネブルク市親善使節団の受入れ ②張家界市訪問団受入 ③会津若松市の相互訪問	①第23回鳴門市親善使節団の派遣 ②張家界市訪問団の受入 (未定) ③会津若松市への市民団の派遣	継続	継続

事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	10,161	0	10,161	3,969	3,969

事務事業名	国際・国内交流推進事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①ドイツ姉妹都市リュネブルク市との交流 ・第24回鳴門市姉妹都市親善使節団として、一般使節団員24名を10日間、青少年使節団員12名を8日間派遣し、両市民の友好交流を深め、次世代の国際交流を担う人材育成を図った。 ②中国友好都市との交流 新型コロナウイルス感染拡大により、張家界市から医療物資の支援要請を受け、医療用使い捨てゴム手袋を20,000枚、マスク2,000枚を送付した。 ③国内親善都市会津若松市との交流 親善交流都市提携20周年記念使節団18名が会津若松市を訪れ、記念調印式及び会津まつり等に参加した。 ④その他国外・国内都市との交流					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	親善使節団参加者数 リュ市／鳴門市	54	38	35	35	35	人
	2	使節団への学生の参加者数 リュ市／鳴門市	11	12	12	15	15	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市		54	58	60	60	60	%
	目標達成率(実績/目標)			96.7				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		2,715,037	0	9,331,955	0	9,331,955	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	300,000	0	1,400,000	0	1,400,000	
一般財源		2,415,037	0	7,931,955	0	7,931,955		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	使節団新規参加者の割合リュ市／鳴門市		成果指標に対する所見	リュネブルク市に派遣した使節団員の内、約6割が新規参加者であった。初参加の方は、帰国後も国際交流に対する高い意識を持ち、親善交流に積極的に取り組んでいる。また、帰国した青少年からは外国語学習への強い意欲が示された。		
	目標	60	%				
	実績	58	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	・親善使節団の青少年応募者が年々増えているが、現状では、書類及び面接試験を経て合格した12名が、市の補助金(旅費の半額程度)を受けて参加している状況である。ドイツ側との受け入れ可能枠の調整や、補助金の予算を考慮した上で、青少年の派遣枠を増やし、未来の国際交流を担う人材育成に積極的に取り組む必要がある。 ・張家界市との更なる交流を図るため、人材交流や観光資源等を活用した情報発信など友好交流促進への取り組みが必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	第23回リューネブルク市親善使節団を迎え、鳴門市民との交流を深める。青少年参加者については、市民の中学校・高校での授業参加や同学校に通う生徒宅でホームステイを行い、末永い交流の友情を築く機会を創出する。国政情勢や新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、張家界市からの訪問団を受け入れるなど、相互交流事業を推進し、友好関係の増進を図る。			
	令和3年度	第24回鳴門市親善使節団を派遣し、リューネブルク市民との交流を深める。青少年の派遣も継続して行うが、派遣枠を増やし、より多くの希望者が参加できるよう拡充を行う。引き続き、交流事業等を通じ、張家界市との交流を図ることで、友好関係の増進を図る。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.39

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進事業		担当部署	文化交流推進課	
総合計画体系					根拠法令計画など	なし	
基本政策(大項目)		1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり		事業期間	開始	平成 25 年度
政策(中項目)		2	伝えたい 魅力あふれるまち なると			終期	未定
(小項目)							
施策		2	シティプロモーションの推進				
基本事業		1	「鳴門ブランド」の戦略的な推進				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的		「第九」アジア初演に関連する観光・文化・歴史分野などの既存の資源を活用することで、「第九」アジア初演ブランドを推進し、地域活性化や文化振興に繋げる。		事業内容 (R1)	①松江豊寿顕彰シンポジウム(松江豊寿氏の功績を顕彰し、後世に引き継いでいくためのシンポジウムを開催) ②「第九」演奏会関連事業(第九交響曲演奏会、「第九」アジア初演100周年記念継承事業講演会) ③「なると第九」次世代育成事業(教育旅行誘致、第九合唱発表会、絵本読み聞かせ講演会、小学生合唱指導及び現地学習など) ④「なると第九」啓発事業(教育旅行パンフレット製作など)				
実施方針		①第九演奏会の開催。 ②なると「第九」の文化や歴史も合わせて学ぶ第九学習の実施。 ③「第九」アジア初演100周年記念継承事業の委託。			当初からの 変更点				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	「なると第九」講習を受けた市民の数		1,066	1,104	1,000	1,000	1,000	人
	2	PRイベント実施回数		24	51	20	20	20	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	ドイツ館周辺への来訪者数			82,829	81,417	87,000	90,000	90,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①第36回第九演奏会 ②小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ③美術館での演奏会 ④観光イベントにおける「なると第九」PR など	「第九」アジア初演100周年記念事業 ①開幕イベント ②記念式典及びレセプション ③松江豊寿所長銅像建立除幕式 ④よみがえる「第九」演奏会 ⑤第37回第九演奏会 など	①第38回第九演奏会 ②小学校で合唱講習実施 ③松江豊寿シンポジウム ④「なると第九」教育旅行誘致 など	継続	継続

事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	9,378	0	9,378	3,331	3,331

事務事業名	アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進事業
-------	-----------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容							①松江豊寿顕彰シンポジウム ②「第九」演奏会関連事業(第九交響曲演奏会、「第九」アジア初演100周年記念継承事業講演会など) ③「なると第九」次世代育成事業(教育旅行誘致、小学生合唱指導及び現地学習) ④「なると第九」啓発事業(教育旅行パンフレット製作)
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	「なると第九」講習を受けた市民の数	1,104	446	1,000	500	500	人
	2	PRイベント実施回数	51	16	20	20	20	回
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	ドイツ館周辺への来訪者数		81,417	76,718	87,000	87,000	87,000	人
	目標達成率(実績/目標)			88.2				%
事業費推移(円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		45,005,491	0	8,452,053	0	8,452,053	
	財源内訳	国庫支出金	15,807,373	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	20,900,000	0	6,000,000	0	6,000,000	
	一般財源		8,298,118	0	2,452,053	0	2,452,053	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	ドイツ館周辺への来訪者数		成果指標に対する所見	目標には達しなかったものの、ほぼ近い実績となった		
	目標	87,000	人				
	実績	76,718	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	「なると第九」のブランド化を推し進めていくにあたり、より効果的で効率的な方法について検討していきたい。 また、新型コロナウイルスの長期化や再流行を見越した、感染拡大防止策を講じた企画についても考える必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	①第39回第九演奏会を開催 ②小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ③「第九」アジア初演100周年記念継承事業講演会委託 (全日本「第九を歌う会」連合会へ委託) ④ベートーヴェン生誕250周年企画展の開催			
	令和3年度	①小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ②「第九」関連イベントの実施			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ユネスコ「世界の記憶」登録推進事業		担当部署	市民環境部 文化交流推進課 ドイツ館	
総合計画体系					根拠法令 計画など	ユネスコ世界の記憶プログラム	
基本政策(大項目)		1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり		事業 期間	開始	平成 28 年度
政策(中項目)		2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと				
(小項目)		シティプロモーション					
施策		2	シティプロモーションの推進				
基本事業		1	「鳴門ブランド」の戦略的な推進			終期	未定
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレス鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的		「板東俘虜収容所記録資料」をユネスコ「世界の記憶」に登録する。		事業内容 (R1)	①ユネスコ「世界の記憶」へ申請するための資料抽出と申請書作成およびその他 資料の台帳整理。 ②申請対象資料を公開する手段としてデジタル化作業およびレプリカ作成 ③館外における周知活動および企画展の開催 ④館内における企画展示とイベントの実施。					
実施方針		①徳島県と共同し、県内外での周知啓発活動と、ユネスコへの申請書作成を進める。 ②ドイツ館における資料保存環境および展示内容を改善する。			当初からの変更点 ユネスコ「世界の記憶」周知啓発のための館外展示会の開催。					
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	調査検討委員会及び資料保存管理 調査検討委員会の開催回数		3	3	2	2	2	回	
	2	周知啓発回数		6	11	10	10	10	回	
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	ドイツ館周辺へ来訪者数			82,829	81,417	87,000	90,000	90,000	人	

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①保存管理計画策定 ②資料目録作成 ③レプリカ作成 ④資料整理	①保存管理計画策定 ②図録製作と販売 ③レプリカ作成 ④東京・京都での館外展 ⑤資料整理	①ドイツ兵の慰霊碑建設 100周年記念事業 ②館外展 ③レプリカ作成 ④資料整理	継続	継続

事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	4,658	923	5,581	3,078	3,078

事務事業名	ユネスコ「世界の記憶」登録推進事業
-------	-------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容 <p>①ドイツ兵の慰霊碑建設100周年記念に伴う講演会および記念式典・演奏会・企画展の開催。 ②徳島県立博物館での館外展示および周知啓発活動の実施。 ③申請対象資料を公開する手段としてデジタル化作業およびレプリカ作成 ④ユネスコ「世界の記憶」へ申請するための資料抽出と申請書作成およびその他資料の台帳整理。 ⑤県外での館外展示については、新型コロナウイルスの感染拡大による影響により中止した。</p>						
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	調査検討委員会及び資料保存管理調査検討委員会の開催回数	3	1	2	1	回
	2	周知啓発回数	11	8	10	8	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	ドイツ館周辺へ来訪者数		81,417	76,718	87,000	87,000	人
	目標達成率(実績/目標)			88.2			%
事業費推移(円)	年度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		10,318,466	0	4,399,357	0	4,399,357
	財源内訳	国庫支出金	2,250,000	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	2,500,000	0	2,500,000	0	2,500,000
		一般財源	5,568,466	0	1,899,357	0	1,899,357

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	ドイツ館周辺へ来訪者数		成果指標に対する所見	ユネスコの「世界の記憶」登録の新たな方針が決まらず申請書を提出することができなかった。 新型コロナウイルスの影響で、県外展等を中止せざるを得なかったが、目標をおおむね達成できた。		
	目標	87,000	人				
	実績	76,718	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①ユネスコ「世界の記憶」登録申請対象となる「記録資料」の安全な保存活用に向けて検討を行う必要がある。 ②①を考慮しながら資料活用に重点を置き、新型コロナウイルス感染拡大対策を講じた事業企画の推進。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	①企画展・講演会等を通した事業の周知広報活動、②申請対象外資料の台帳整理、③ユネスコ「世界の記憶」への登録申請準備				
	令和3年度	令和2年度と同様				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.41

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	環境学習推進事業		担当部署	市民環境部 環境局 環境政策課	
総合計画体系					根拠法令計画など	鳴門市リサイクルプラザ環境学習館条例、鳴門市リサイクルプラザ環境学習館条例施行規則、鳴門市環境基本計画、なると環境プラン推進計画2017	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			事業期間	開始	平成 20 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと				終期	未定
(小項目)		ごみ処理					
施策	6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進					
基本事業	2	クリーンセンターの運営及びごみ対策					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	市民の環境問題への意識高揚		事業内容 (R1)	1. 環境学習・環境教育促進 ①絵手紙教室、エコッキング等環境学習講座の開催 ②施設内見学ならびに紙漉き体験の実施 ③親子天体観測会等人気イベントの実施継続				
実施方針	環境学習・環境教育を促進する			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	クリーンセンター視察数	13	40	40	40	40	件
	2	イベント・講座実施数	30	35	35	35	35	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	環境学習館利用者数		7,134	8,300	8,300	8,300	8,300	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①環境学習講座の開催 ②施設見学、紙漉き体験 ③親子天体観測会開催	①環境学習講座の開催 ②施設見学、紙漉き体験 ③親子天体観測会(うずしおふれあい公園で開催)	①環境学習講座の開催 ②施設見学、紙漉き体験 ③親子天体観測会(うずしおふれあい公園で開催)	①環境学習講座の開催 ②施設見学、紙漉き体験 ③親子天体観測会	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	288	0	288	323	323

事務事業名	環境学習推進事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容						①環境学習講座の開催 ②施設見学、紙漉き体験 ③親子天体観測会(うずしおふれあい公園で開催)			
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位			
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	クリーンセンター視察数	12	12	40	40	40	件			
	2	イベント・講座実施数	26	27	35	35	35	件			
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	環境学習館利用者数		7,147	7,244	8,300	8,300	8,300	人			
	目標達成率(実績/目標)			87.3				%			
事業費推移	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算							
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費				
	計		279,235	0	255,217	0	255,217				
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0				
		県支出金	0	0	0	0	0				
		地方債	0	0	0	0	0				
		使用料・手数料	0	0	0	0	0				
		その他	3,600	0	2,400	0	2,400				
	一般財源		275,635	0	252,817	0	252,817				

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	環境学習館利用者数		成果指標に対する所見	利用者数について、目標数には届かないまでも昨年度に比べわずかながら増加しており、概ね達成したと判断する。		
	目標	8,300	人				
	実績	7,244	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	イベントや講座数の増加については課題となっているが、担当職員1名が主体となって運営している現状では難しい。天体観測等人気が高いイベントの継続・拡大等事業の効率性を考慮しながら、利用者数増加についての方策を今後も検討していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	前年度事業の精査や新規取組等、利用者数増加に向けた方策について検討する。			
	令和3年度	令和2年度と同様			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.42

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	再生可能エネルギー導入推進事業	担当部署	市民環境部 環境局 環境政策課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	地球温暖化対策の推進に関する法律、エネルギー使用の合理化等に関する法律、第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画、鳴門市環境基本計画	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間	開始	平成 26 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと				終期
(小項目)		エネルギー使用				
施策	7	地球温暖化・省エネ対策の推進				
基本事業	1	再生可能エネルギーの導入				
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要 (PLAN)

目的	本市における再生可能エネルギーの導入推進		事業内容 (R1)	1.太陽光発電の利用継続 ①屋根貸し・土地貸しによる太陽光発電の効率的な利用継続 2.再生可能エネルギーの導入検討 ①再生可能エネルギーの導入可能性について検討				
実施方針	1. 太陽光発電の効率的な利用を行う 2. 再生可能エネルギーの導入について検討する			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	鳴門市での再生可能エネルギー導入に関する協定者との会議(H27・28)	0	0	0			回
	2	洋上ゾーニング評価マップ作成業務検討会議(H28,29年の2ヶ年事業)	12	0	0			回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	太陽光発電導入箇所		2	2	2			箇所

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①里浦町沖の洋上風力導入の可能性についての調査・検討 ②市有地等活用による自然エネルギーの利用継続 ③再生可能エネルギーの導入可能性について検討	①市有地等活用による自然エネルギーの利用継続 ②再生可能エネルギーの導入可能性について検討	①市有地等活用による自然エネルギーの利用継続 ②再生可能エネルギーの導入可能性について検討	「地球温暖化対策実行計画推進事業」に統合	
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	0	0	0		

事務事業名	再生可能エネルギー導入推進事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①市有地等活用による自然エネルギーの利用継続 ②再生可能エネルギーの導入可能性について検討					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	鳴門市での再生可能エネルギー導入に関する協定者との会議(H27・28)	0	0				回
	2	洋上ゾーニング評価マップ作成業務検討会議(H28,29年の2ヶ年事業)	0	0				回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	太陽光発電導入箇所		0	1				箇所
	目標達成率(実績/目標)			50.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		0	0	0	0	0	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		0	0	0	0	0		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		終了		事業全体の進捗状況		-	
成果指標に対する評価	指標名	太陽光発電導入箇所		成果指標に対する所見	太陽光発電導入箇所について目標には至らなかったが、既設の市有地等活用による自然エネルギーの継続利用ならびに他の再生可能エネルギーについての検討を行った。		
	目標	2	箇所				
	実績	1	箇所				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本市の現状としては太陽光エネルギー利用は継続して行っているものの、風力発電においては陸上、洋上ともに現実的に導入は難しい状況であることが判明している。今後は太陽光エネルギーの継続利用と併せて、他の再生可能エネルギー導入や太陽光発電の導入箇所増加の可能性について検討する必要がある。 なお、本事業は令和2年度より「地球温暖化対策実行計画推進事業」と統合し、その中で進行管理を行っていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	-
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	「地球温暖化対策実行計画推進事業」と統合し、その中で進行管理を行っていく。			
	令和3年度				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.43

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地球温暖化対策実行計画推進事業		担当部署	市民環境部 環境局 環境政策課			
総合計画体系					根拠法令計画など	地球温暖化対策の推進に関する法律、第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画、鳴門市環境基本計画			
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			事業期間	開始	平成	13	年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと							
(小項目)		エネルギー使用							
施策	7	地球温暖化・省エネ対策の推進							
基本事業	2	地球温暖化・省エネ対策の率行的実行				終期	未定		
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無									
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求									

◎事業概要 (PLAN)

目的	本市の温室効果ガス排出量の削減			事業内容 (R1)	①「第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく温暖化対策継続 ②ゴーヤ苗の配布ならびに「緑のカーテンコンテスト」の実施				
実施方針	「鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく温暖化対策を実施する				当初からの変更点				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	電力使用量		21,953	21,400	21,400	21,400	21,400	千kWh
	2	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)		19,631.8	20,610.7	20,610.7	20,610.7	20,610.7	t
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)			19,631.8	20,610.7	20,610.7	20,610.7	20,610.7	t
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
	各年度の実施(予定)内容	①市役所内でのクールビズ・ウォームビズ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ゴーヤ苗の配布、緑のカーテンコンテストの開催	①市役所内でのクールビズ・ウォームビズ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ゴーヤ苗の配布、緑のカーテンコンテストの開催	①市役所内でのクールビズ・ウォームビズ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ゴーヤ苗の配布、緑のカーテンコンテストの開催	①市役所内でのクールビズ・ウォームビズ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ゴーヤ苗の配布、緑のカーテンコンテストの開催	①市役所内でのクールビズ・ウォームビズ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ゴーヤ苗の配布、緑のカーテンコンテストの開催 ④「第5次鳴門市地球温暖化対策実行計画」の策定 ⑤市有地等活用による自然エネルギーの利用継続 ⑥再生可能エネルギーの導入可能性について検討	①市役所内でのクールビズ・ウォームビズ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ゴーヤ苗の配布、緑のカーテンコンテストの開催 ④市有地等活用による自然エネルギーの利用継続 ⑤再生可能エネルギーの導入可能性について検討		
事業費推移(千円)	年度	令和元年度				令和2年度	令和3年度		
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額					
	計	91	0	91	223	223			

事務事業名	地球温暖化対策実行計画推進事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①市役所内でのクールビズ・ウォームビズ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ゴーヤ苗の配布、緑のカーテンコンテストの開催					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	電力使用量	21,462	20,898	21,400	21,400	21,400	千kWh
	2	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)	20,518.1	21,270.3	20,610.7	20,610.7	20,610.7	t
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)		20,518.1	21,270.3	20,610.7	20,610.7	20,610.7	t
	目標達成率(実績/目標)			96.9				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		69,189	0	88,424	0	88,424	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		69,189	0	88,424	0	88,424	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)		成果指標に対する所見	クリーンセンターから排出される一酸化炭素濃度などの測定値を制限する機能が設定されていた問題について、廃ガス濃度を安定させるために、灯油使用量が増えたこと等により二酸化炭素換算排出量の増加につながった。		
	目標	20,610.7	t				
	実績	21,270.3	t				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	地球温暖化対策推進にあたり、職員一人一人の行動の変容が必要なため、クールビズ等の啓発を継続していくとともに、施設や設備の更新時期を捉えて各所属に国や県の補助金情報を提供していく。また、市職員が率先して節電等環境に配慮した行動をすすめていくことにより、職員自身の意識啓発ならびに市民・事業所等団体の自主的な取り組みを促していく。 令和2年度においては、「第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画」最終年度となるため、上記課題も鑑みた「第5次鳴門市地球温暖化対策実行計画」を策定する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	「第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく取り組みを推進することで、地球温暖化対策に市民とともに取り組んでいく。 「第5次鳴門市地球温暖化対策実行計画」(計画期間:R3年度～R7年度)の策定に向けた調査・検討を行い、同計画を策定する。 「再生可能エネルギー導入推進事業」合併により、市有地等活用による自然エネルギーの利用継続ならびに再生可能エネルギーの導入可能性について検討する。			
	令和3年度	「第5次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく取り組みを推進することで、地球温暖化対策に市民とともに取り組んでいく。 市有地等活用による再生可能エネルギーの利用継続と導入可能性について検討するとともに、事業者から問い合わせがあれば対応する。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.44

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	水域環境改善・浄化対策事業		担当部署	市民環境部 環境局 環境政策課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	EM活性液培養装置貸与実施要綱・水質汚濁防止法	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			事業 期間	開始	昭和 <div>▼</div> 51 年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまちなると					
(小項目)		河川・海岸					
施策	4	自然環境に配慮した水辺空間の整備					
基本事業	2	水辺環境の保全と再生			終期	未定 <div>▼</div>	
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的			市内の河川や水路の水域環境改善・浄化		事業 内容 (R1)	1. 水質調査の実施 ①市内各所における水質調査の実施継続 2. EM活用による水質浄化 ①EM活性液培養装置設置未設置地区への周知促進 ②機器の更新や培養に必要な資材等の提供					
実施方針			①生活雑排水等で汚濁が進んでいる河川や水路の水質調査を実施するとともに水質改善の方法を検討する ②身近な水路において、EMを活用した水質浄化に取り組む			当初 からの 変更点					
指標名					平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	EM培養装置貸与団体地区数			8	10	11	12	13	箇所	
	2	EM資材費			951	1,200	1,250	1,300	1,350	千円	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	EM培養装置貸与団体地区数				8	10	11	12	13	箇所	

事業の実 施内容推 移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①市内各所の水質調査継続 ②必要とする地区(黒崎)でEM培養装置機器更新、未設置地区への周知促進 ③市民団体等と協働での新池川の水辺環境改善事業	①市内各所の水質調査継続 ②必要とする地区(川東)でEM培養装置機器更新、未設置地区への周知促進 ③市民団体等と協働での新池川の水辺環境改善事業	①市内各所の水質調査継続 ②必要とする地区(里浦)でEM培養装置機器更新、未設置地区への周知促進 ③市民団体等と協働での新池川の水辺環境改善事業	①市内各所の水質調査継続 ②必要とする地区でEM培養装置機器更新、未設置地区への周知促進 ③市民団体等と協働での新池川の水辺環境改善事業	継続
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	3,186	0	3,186	3,280	3,280

事務事業名	水域環境改善・浄化対策事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容		令和元年度実施内容		①市内各所の水質調査継続 ②必要とする地区(里浦)でEM培養装置機器更新、未設置地区への周知促進 ③市民団体等と協働での新池川の水辺環境改善事業					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	EM培養装置貸与団体地区数		8	8	12	13	13	箇所
	2	EM資材費		1,006	973	1,300	1,350	1,350	千円
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	EM培養装置貸与団体地区数			8	8	12	13	13	箇所
	目標達成率(実績/目標)				72.7				%
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
		計		1,899,322	0	1,845,474	0	1,845,474	
		財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
			県支出金	0	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	0	0	0	0	0	
			その他	1,000,000	0	1,262,000	0	1,262,000	
一般財源		899,322	0	583,474	0	583,474			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	EM培養装置貸与団体地区数		成果指標に対する所見	EM培養装置について1地区にて機器を更新したもの の新規貸与はなかった。また、貸与団体地区 においては継続的にEM活性液製造に取り組んだ。		
	目標	11	箇所				
	実績	8	箇所				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	EM普及のため、継続してEM培養装置の新規貸与について、未設置の地域に対して働きかけを行っているが、未だ市内全域には達していない。このことから全域設置を目指して今後も周知と促進を図っていく。						
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。							
実施内容	令和2年度	前年度の取り組みを継続し、市全域の水質改善を目指す。					
	令和3年度	令和2年度と同様					

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.45

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ごみ減量対策事業	担当部署	市民環境部 クリーンセンター廃棄物対策課		
総合計画体系				根拠法令計画など	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間	開始	平成 11 年度	
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと					
(小項目)		ごみ処理			終期	未定	
施策	6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進					
基本事業	1	循環型社会形成への取り組み					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	ごみの減量や発生抑制、再資源化について具体的な取り組みや実効性のある啓発の推進		事業内容(R1)	1. 生ごみ減量施策の推進 ①EMボカシの無料配布 ②コンポストの斡旋 ③電気式生ごみ処理機の購入補助 2. ごみ減量等の周知啓発 ①オリジナルマイバッグ作成募集 ②社会科読本「くらしとごみ」配布 ③ごみ減量スローガンコンクール実施 ④出前講座などでの周知啓発					
実施方針	1. 生ごみ減量施策の実施及び普及を図る 2. ごみの減量や発生抑制、再資源化について啓発を行う			当初からの変更点					
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	EMボカシ無料配布	185	164	190	190	190	世帯	
	2	コンポスト斡旋＋電気式生ごみ処理機購入補助	47	42	50	50	50	世帯	
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	全体のごみ排出量(資源ごみ集団回収を除く)		17,707	17,845	17,355	17,186	17,024	t	
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
	各年度の実施(予定)内容	1. ごみ減量施策の推進 2. ごみ減量等の周知啓発	継続	継続	継続	継続			
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度			
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額					
	計	52,302	0	52,302	54,622	54,622			

事務事業名	ごみ減量対策事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容 コンポスト17個 140,000円 EMボカシ154個 177,520円 電気式生ごみ処理機19基 365,700円 計683,220円 小学4年生に社会科副読本「くらしとごみ」を配布。ごみ減量スローガンコンクールを実施。入賞作品をクリーンセンター多目的コーナーに展示し、ごみ減量の啓発を行った。 オリジナルマイバッグ運動を呼び掛け、ごみ減量への啓発を図った。雑がみ回収専用手提げ袋を作成し、資源ごみ回収団体へ配布を行い雑がみの回収促進、啓発を行った。						
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	EMボカシ無料配布	164	154	190	190	世帯
	2	コンポスト斡旋＋電気式生ごみ処理機購入補助	42	36	50	50	世帯
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	全体のごみ排出量(資源ごみ集団回収を除く)		17,845	17,793	—	—	t
	目標達成率(実績/目標)			97.5	—	—	%
事業費推移	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		46,940,906	0	42,398,898	0	42,398,898
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	46,940,906	0	42,398,898	0	42,398,898
		一般財源	0	0	0	0	0

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	全体のごみ排出量(資源ごみ集団回収を除く)		成果指標に対する所見	継続してごみ減量補助制度と啓発を行い、全体のごみ排出量が概ね目標値に達成したため、B評価とする。		
	目標	17,355	t				
	実績	17,793	t				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	コンポスト、電気式生ごみ処理機の購入補助制度の利用者数について、一定数の利用は継続してあるものの、減少傾向が見られるため、継続した広報活動により利用者増加への取り組みを強化する必要がある。 さらなるごみ減量に向けて各家庭における意識向上が図られるよう、今後も取り組みを進めていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	現在の事業を継続していくことに加えて、生ごみの水切りや雑がみ回収などについて、各地域団体へ出向いて説明と啓発を行い、ごみ減量に向けた取り組みがより一層強化できるよう働きかけていく。			
	令和3年度	同上			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.46

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	資源ごみ対策事業	担当部署	市民環境部 クリーンセンター廃棄物対策課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市資源ごみ回収事業報奨金交付要綱	
基本政策(大項目)		3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業 期間	開始	平成 5 年度
政策(中項目)		2	快適に暮らせるまち なんと			
(小項目)			ごみ処理			
施策		6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進			
基本事業		1	循環型社会形成への取り組み	終期	未定	
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的			①資源ごみ回収団体に対する支援 ②市民の廃棄物に対する意識の高揚		事業 内容 (R1)	1. 資源ごみの集団回収を実施している団体へ回収実績に応じた報奨金の交付 2. 資源ごみ回収に係る周知及び促進 ①資源ごみ回収制度の周知徹底 ②資源ごみ回収団体への支援及び新設に係る周知 ③資源ごみ回収業者に指定品目の回収処分を委託				
実施 方針			1. 資源ごみ回収団体へ報奨金を交付する。 2. 資源ごみ回収制度の周知及び資源の有効化とリサイクルの促進を図る			当初 からの 変更点				
指標名					平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	資源ごみ回収団体回収量			1,714	1,669	1,815	1,804	1,795	t
	2									
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	資源ごみ回収団体数				195	196	197	198	198	団体

事業の 実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①資源ごみ回収報奨金 ②資源ごみ回収団体への支援・新設 ③資源ごみ回収業者委託	継続	継続	継続	継続

事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	11,996	0	11,996	11,590	11,590

事務事業名	資源ごみ対策事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		資源ごみ回収団体にに対し、指定品目（新聞・雑誌・ダンボール・雑がみ・スチール缶・アルミ缶・古布類）の回収量に応じた報奨金（1kgあたり5円）を交付するとともに、雑がみ回収促進や啓発を図るため、雑がみ回収専用手提げ袋と、缶類の回収に必要なビニール袋を提供した。 また、資源ごみ回収業者に指定品目の回収処分を委託した。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	資源ごみ回収団体回収量	1,669	1,569	1,815	1,804	1,795	t
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	資源ごみ回収団体数		196	197	—	—	—	団体
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		10,395,408	0	9,819,186	0	9,819,186	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	10,395,408	0	9,819,186	0	9,819,186	
	一般財源		0	0	0	0	0	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	資源ごみ回収団体数		成果指標に対する所見	広報等で周知を図り、1団体の新規結成に至った。		
	目標	197	団体				
	実績	197	団体				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本事業を進めることで、資源の有効活用はもとより、ごみ減量化によるごみ処理経費の削減やごみ処理施設への負担軽減等様々な効果が期待されることから、今後も引き続き取り組みは必要だと考えられる。 今後の課題としては、資源ごみ回収量が近年減少傾向にあることから、資源ごみ回収団体や市民の意見を取り入れながら、継続して制度の周知、資源ごみ回収団体へのきめ細やかな支援策を検討していく必要がある。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	引き続き、資源ごみ回収制度の周知を図るとともに、各団体の抱える課題や問題の解決に向け個別に支援していく。 また、資源ごみ回収団体の新設に努める。				
	令和3年度	同上				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.47

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	不法投棄監視市民パトロール支援事業		担当部署	市民環境部 クリーンセンター廃棄物対策課	
総合計画体系					根拠法令計画など	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
基本政策(大項目)		3	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間	開始	平成 <div>▼</div> 17 年度
政策(中項目)		2	快適に暮らせるまち なんと				
(小項目)			ごみ処理				
施策		6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進				
基本事業		2	クリーンセンターの運営及びごみ対策			終期	未定 <div>▼</div>
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	廃棄物不適正処理の早期発見及び未然防止		事業内容(R1)	1. パトロール隊への活動支援 ①補助金や資材の提供 ②回収物の受け入れ支援 ③一斉撤去活動の実施 2. パトロール隊の新規結成支援				
実施方針	不法投棄監視パトロール隊に対して活動の支援を行う			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	不法投棄連絡協議会の開催数	4	5	5	5	5	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	パトロール隊認定団体数		11	12	13	13	13	団体
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	各年度の実施(予定)内容	①補助金や資材の提供 ②回収物の受け入れ支援 ③一斉撤去活動の実施	継続	継続	継続	継続		
事業費推移(千円)	年度	令和元年度				令和2年度	令和3年度	
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額				
	計	780	0	780	785	785		

事務事業名	不法投棄監視市民パトロール支援事業
-------	-------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容		令和元年度実施内容		市内各地の不法投棄監視/パトロール隊の活動に対して資材の提供や回収物の受入の支援を行うとともに、「鳴門市不法投棄監視/パトロール連絡協議会」が実施する不法投棄の未然防止のための事業に対して補助金を交付し、活動の支援を行っている。同協議会が主催する不法投棄物一斉撤去作業では、県道徳島北灘線を137人の参加により、2,290kgの不法投棄物の撤去を行った。 また、矢倉地区にてパトロール隊が新しく結成され、市内7町すべてでパトロール隊が活動することとなった。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	不法投棄連絡協議会の開催数		5	5	5	5	5	回
	2								
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	パトロール隊認定団体数			12	13	13	13	13	団体
	目標達成率(実績/目標)				100.0				%
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額	決算額		令和2年度への繰越額	最終事業費
		計		280,640	0	409,867		0	409,867
		財源内訳	国庫支出金	0	0	0		0	0
			県支出金	0	0	0		0	0
			地方債	0	0	0		0	0
			使用料・手数料	0	0	0		0	0
			その他	0	0	0		0	0
			一般財源	280,640	0	409,867		0	409,867

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	パトロール隊認定団体数		成果指標に対する所見	未結成地域にて一団体新規結成に至った。既存のパトロール隊では、不法投棄を未然に防ぐためのネットや看板の設置、不法投棄物の回収など、活発な活動が行われた。		
	目標	13	団体				
	実績	13	団体				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	不法投棄の未然防止策や回収、撤去をパトロール隊が積極的に行っているにもかかわらず、不法投棄が続いているのが現状である。そのため、パトロール隊への支援を継続的に行うとともに、防護ネットや啓発看板、監視カメラ等の設置など、未然防止のための取り組み強化が必要である。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	関係機関との連絡調整や資材の提供などを継続して行うとともに、補助金を支出することにより活動の幅が広がるよう支援していく。				
	令和3年度	同上				

各実施計画兼評価シート

健康福祉部

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.48

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	国民健康保険料収納対策事業	担当部署	健康福祉部 保険課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	国民健康保険法、鳴門市国民健康保険条例等	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成 12 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち になると			終期	未定
(小項目)						
施策	8	国民健康保険制度の円滑な実施				
基本事業	1	健全財政の確立				
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要 (PLAN)

目的	国民健康保険及び介護保険、後期高齢者医療制度にかかる保険制度の安定経営を図るため、保険料収納率の向上及び納付義務者の利便性向上を図るための対策を講じる。		事業 内容 (R1)	①納付勧奨の実施 滞納者に対して、文書による催告及び夜間を利用した納付相談窓口の開設等により納付交渉を随時行うとともに、嘱託収納員による臨戸徴収を実施し、収入未済額の縮減を図る。 ②口座振替利用の促進 当初納付書及び保険料更正通知書等に口座振替郵送用依頼書を同封し、口座振替加入促進を図る。 ③財産調査の実施 財産調査実施により納付者の納付能力の把握に努める。				
実施 方針	①納付勧奨の実施 ②口座振替利用の促進 ③財産調査の実施			当初 からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	催告等発送数(国保)	11,423	10,921	13,000	13,000	13,000	枚
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	国民健康保険料収納率(現年度)		95.9	95.9	94.3	94.3	94.3	%

	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業の 実施内容 推移	各年度の実施 (予定)内容	①納付勧奨の実施 ②口座振替利用の促進 ③財産調査の実施	①納付勧奨の実施 ②口座振替利用の促進 ③財産調査の実施	①納付勧奨の実施 ②口座振替利用の促進 ③財産調査の実施	継続	継続
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	11,176	0	11,176	7,803	7,803

事務事業名	国民健康保険料収納対策事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①滞納者に対して、電話催告や臨戸訪問等による納付交渉を随時行い、収入未済額の縮減を図った。 また、通年的に嘱託収納員による臨戸徴収を実施するとともに、収納状況等の情報交換を行う「定期的ミーティング」を行うなど、職員との連携強化や技術の向上を図った。 ②口座振替郵送用依頼書を窓口及び郵送等で配布し、納付者に保険料納付の利便性や納め忘れ防止効果のある口座振替への切り替えを促した。 ③夜間を利用した納付相談窓口を開設するなど滞納者との接触を図り、生活状況や収入状況の把握に努め、滞納者の状況に即した柔軟な対応の実施につなげた。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	催告等発送数(国保)	10,921	11,192	13,000	13000	13,000	枚
	2							
成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標	国民健康保険料収納率(現年度)		95.9	95.3	94.3	94.3	94.3	%
	目標達成率(実績/目標)			101.1				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		7,984,118	0	9,615,404	0	9,615,404	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		7,984,118	0	9,615,404	0	9,615,404		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	国民健康保険料収納率(現年度)		成果指標に対する所見	目標収納率は達成できたものの、昨年度より減少していることから、今後も継続して収納率向上を図る必要がある。		
	目標	94.3	%				
	実績	95.3	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①夜間納付相談、電話催告などを継続し、滞納者との接触機会に努める。資力があひながら納付の求めに応じない滞納者については、生命保険や預貯金等の調査などを実施し、滞納整理を進める。 ②口座振替加入促進の取り組みを進めていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	①保険料納付コールセンターを開設し、民間事業者へ委託することにより、民間事業者ならではのスキルやノウハウを活用しつつ、累積滞納の未然防止に努める。 ②当初納付書及び保険料更正通知書等に口座振替郵送用依頼書を同封し、申込手続きの簡素化を図る。			
	令和3年度	収納率向上の取り組みの継続			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.49

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	国保保健事業		担当部署	健康福祉部 保険課		
総合計画体系					根拠法令 計画など	国民健康保険法 国保法に基づく保健事業の実施等に関する指針 鳴門市保健事業実施計画(データヘルス計画)		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業 期間	開始	平成	27 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと					終期	未定
(小項目)		社会保障						
施策	8	国民健康保険制度の円滑な実施						
基本事業	2	医療費適正化の推進						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無								
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求								

◎事業概要(PLAN)

目的	鳴門市保健事業実施計画(データヘルス計画)に基づき、効果的かつ効率的な保健事業を実施することにより、被保険者の生活の維持・向上を図りつつ医療費の伸びを抑制するとともに健康寿命の延伸を図る。		事業 内容 (R1)	①保健指導:脂質異常・高血糖・高血圧のいずれかのリスクが高い方を対象に受診や生活習慣改善等保健指導を行う。特定保健指導対象者で糖尿病が強く疑われる方を対象に75g糖負荷試験を行う。 ②糖尿病性腎症重症化予防:高額な医療費となる人工透析の導入が危惧される糖尿病性腎症の方に栄養指導等保健指導を実施する。 ③早期介入保健指導:30歳以上40歳未満の被保険者を対象に健康診査を実施し、生活習慣病予備群への保健指導を実施する。 ④生活習慣病の重症化により、医療等社会保障費の増大につながっている実態等について周知を行う。				
実施方針	①保健指導事業 ②糖尿病性腎症重症化予防事業 ③早期介入保健指導事業			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	重症化予防対象者の訪問実施人数	222	198	207	330	365	人
	2							
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	重症化予防対象者への訪問率		99.6	87.6	70.0	70.0	70.0	%

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①保健指導 ②糖尿病性腎症重症化予防 ③早期介入保健指導事業	①保健指導 ②糖尿病性腎症重症化予防 ③早期介入保健指導事業	継続	継続	継続
事業費推移(千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	23,564	0	23,564	25,243	25,243

事務事業名	国保保健事業
-------	--------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①保健師による保健指導及び受診勧奨において、具体例を用いた分かりやすい資料により、疾病への理解を深めた。 ②保健師及び管理栄養士による保健指導を実施するとともに、かかりつけ医と連携を図り、継続した支援・治療につなげた。また、糖尿病が強く疑われる方を対象に、75g糖負荷試験を実施し、発症及び重症化予防を図った。 ③広報誌やLINE等の活用により、若年からの健診の必要性を広く周知を行うとともに、健診申込者にアンケートを実施し、啓発手段の有効性の把握に努めた。また、健診の結果、生活習慣病予備群の方には保健指導を実施し、疾病の発症予防に繋げた。 ④医療費の現状や医療費を節約する方法について周知を行うなど医療費適正化のための啓発に努めた。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	重症化予防対象者の訪問実施人数	198	252	330	365	400	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	重症化予防対象者への訪問率		87.6	84.8	70.0	70.0	70.0	%
	目標達成率(実績/目標)			121.1				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額		最終事業費
	計		18,566,836	0	18,408,120	0		18,408,120
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0		0
		県支出金	1,742,000	0	1,724,000	0		1,724,000
		地方債	0	0	0	0		0
		使用料・手数料	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	16,824,836	0	16,684,120	0		16,684,120

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	重症化予防対象者への訪問率		成果指標に対する所見	事業対象者に対して概ね戸別訪問等による保健指導を実施することができた。		
	目標	70	%				
	実績	85	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①特定健診も治療も受けていない方は、重症化の実態が不明であり、効果的な方策により特定健診の受診者を増やしていく必要がある。 ②医療費が高額となる疾患(虚血性心疾患・脳血管疾患・糖尿病性腎症)や長期における入院の医療費の伸びを抑えることに加え、対象者の生活習慣病予防につなげていくための丁寧な保健指導を行い、治療や健診受診を継続していくための支援が必要である。 ③若年からの健診の必要性について、様々な媒体を活用してPRに努める。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	保健指導においては、健診データ等対象者の進捗管理を行い、必要に応じて医療機関と連携した保健指導を実施するとともに、特定健診未受診者に対しては受診勧奨を行い、継続受診者の増加を図る。 若年者健診の利用者拡大のため、効果的な周知方法を検討する。			
	令和3年度	事業内容の効果検証・分析を行いながら、被保険者の生活習慣の改善や疾病に対する意識変化に繋がりたい。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.50

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	特定健診・特定保健指導事業	担当部署	健康福祉部 保険課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	高齢者の医療の確保に関する法律 鳴門市特定健康診査等実施計画 鳴門市保健事業実施計画	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成 ▼ 20 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期	▼
(小項目)		社会保障				
施策	8	国民健康保険制度の円滑な実施				
基本事業	3	特定健診・特定保健指導の推進				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要 (PLAN)

目的	生活習慣病に着目した特定健康診査・特定保健指導事業を実施することにより、生活習慣病の予防・重篤化予防に努め、被保険者の生活の維持・向上を図りつつ医療費の伸びを抑制する。		事業内容 (R1)	①特定健康診査・特定保健指導の実施 対象者に受診券を送付する。受診者の内、マホリックシンドロームの該当者・予備群の者に対し特定保健指導を行う。 ②コールセンター方式による受診勧奨の実施 保健師等専門職をオペレーターに採用し、健康相談を兼ねたきめ細やかな受診勧奨を行い、対象者の受診意欲の高揚を図る。 ③鳴門市医師会と受診率向上についての協議・検討 みなし健診事業についての一定のルールを整備するなど、円滑な実施に向けて協議を図る。				
実施方針	①特定健康診査・特定保健指導の実施 ②コールセンター方式による受診勧奨の実施 ③鳴門市医師会と受診率向上の方策についての協議・検討			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	特定健康診査受診者数	3,081	3,329	4,411	4,916	5,411	人
	2	特定保健指導利用者数	288	279	355	396	436	人
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	特定健診受診率		28.6	31.7	40.0	45.0	50.0	%

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①コールセンター方式による受診勧奨の実施	①コールセンター方式による受診勧奨の実施	①コールセンター方式による受診勧奨の実施	①コールセンター方式による受診勧奨の実施 ②検査項目の拡充 ③みなし健診事業	継続
事業費推移(千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	41,000	0	41,000	52,786	52,786

事務事業名	特定健診・特定保健指導事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		特定健診対象者に対して、7月に特定健診受診券を送付し、受診を促した。広報なると、他課イベント等各種媒体の活用、大型商業店舗でのPRを行った。コールセンター方式による受診勧奨においては、取り組み時期を早め、既往症や受診歴等を有効活用した効果の高い受診勧奨通知を送付したほか、電話勧奨を行うオペレーターに看護師等専門職を採用し、健康相談の要素を兼ねたきめ細やかな受診勧奨を行うことで、対象者の受診意欲の高揚につながるように努めた。頸部エコー検査を組み合わせた巡回健診バスによる特定健診では、健康増進課所管のがん検診と同時実施とし、継続してPSA検査(前立腺がん検査)を実施するなど、健診内容の充実と男性利用者の拡大を図った。また、インターネットを介した電子申請による申込みを導入し、利用者の利便性の向上を図った。					
	指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	特定健康診査受診者数	3,329	3,294	4,916	5,411	5,897	人
	2	特定保健指導利用者数	279	360	396	436	475	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	特定健診受診率		31.7	32.1	45.0	50.0	55.0	%
	目標達成率(実績/目標)			80.3				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		31,760,975	0	30,831,732	0	30,831,732	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	21,460,000	0	20,222,000	0	20,222,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		10,300,975	0	10,609,732	0	10,609,732	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	特定健診受診率		成果指標に対する所見	受診率は増加したが、目標には届かなかった。		
	目標	40	%				
	実績	32	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	国民健康保険等各保険者に実施が義務化されているが、被保険者には義務化されていない制度である。生活習慣病は初期では自覚症状がないこと、現に生活習慣病治療中であっても健診対象となることなどから、受診の必要性が理解されにくい。 また、対象者の属性や受診歴等状況に応じたアプローチを行い、健康意識の醸成や受診行動を促す必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	コールセンター方式による受診勧奨について、対象者の細分化等これまでの実施結果を有効活用したより効果的な勧奨を実施する。鳴門市医師会との連携し、受診率向上に向けたみなし健診事業を開始するとともに、みなし健診の認知や特定健診の受診率向上の意義が伝わるような環境づくりに努める。他医療保険者と連携した受診率向上に向けた取り組みを行う。			
	令和3年度	勧奨手法の研究、工夫を行い、さらなる受診率向上につなげたい。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	市民の健康づくり対策事業		担当部署	健康福祉部 健康増進課	
総合計画体系					根拠法令計画など	健康増進法、自殺対策基本法、「健康なと21(第二次)」	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業期間	開始	平成 17 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康でやすらげるまち なると					
(小項目)		保健・医療					
施策	7	健康・医療対策の推進					
基本事業	1	健康増進計画「健康なと21(第二次)」の推進				終期	未定
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	「健康なと21（第二次）」計画に基づき、肥満予防、生活習慣病の発症予防と重症化予防を行い、市民の健康づくりを推進する。			事業内容（R1）	①健康相談、健康教育等各種保健事業を通して「健康なと21（第二次）」計画の後期アクションプランの取り組みを継続する。 ②ヘルスメイトの地域での自主活動を推進するため、研修会の実施や活動の支援を継続する。また「親子の食育教室」の継続実施等食育推進に積極的に取り組むとともに、広報等による「食からの健康づくりに関する情報発信」を行う。 ③自殺対策計画に基づき啓発活動を継続する。				
実施方針	①「健康なと21（第二次）」を推進し、市民の健康の維持・増進に取り組む。 ②食生活改善事業（栄養教室、食のネットワーク会議等）の実施及び食育推進のための人材を育成する。 ③「鳴門市自殺対策計画」に基づき、自殺予防の取り組みを推進する。				当初からの変更点				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	ヘルスメイトの地域での活動回数		12	12	12	12	12	回
	2	ワークショップの参加者数		19	19	21	21	21	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	ヘルスメイトの数			31	29	29	29	25	人
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
	各年度の実施（予定）内容	①健康なと21（第二次）ワークショップの開催 ②ヘルスメイトの活動支援・育成講座 ③親子ヘルシークッキング教室の開催 ④自殺予防の周知啓発	①健康なと21（第二次）ワークショップの開催 ②ヘルスメイトの活動支援・養成講座 ③親子ヘルシークッキング教室の開催 ④鳴門市自殺対策計画の策定	①健康なと21（第二次）ワークショップの開催 ②ヘルスメイトの活動支援・育成講座 ③親子ヘルシークッキング教室の開催 ④自殺対策計画の推進（自殺予防の周知啓発・講演会・進捗状況調査等）	継続	継続			
事業費推移（千円）	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度			
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額					
	計	1,182	0	1,182	1,309	1,309			

事務事業名	市民の健康づくり対策事業
-------	--------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		健康なると21推進ワークショップの開催等により、「健康なると21（第二次）」後期アクションプランや鳴門市自殺対策計画の啓発及び推進を図った。健康関連記事や自殺予防に関する内容を広報なるとに掲載し、市内量販店における自殺予防キャンペーンを実施。 食育推進のための若年世代を対象とした食ネット通信の発刊及び新規会員の養成講座の実施及び親子の食育教室、減塩推進活動等ヘルスメイト活動の支援を行った。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ヘルスメイトの地域での活動回数	10	10	10	10	10	回
	2	ワークショップの参加者数	21	21	21	21	21	人
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	ヘルスメイトの数		29	28	28	28	25	人
	目標達成率(実績/目標)			96.6				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		1,437,742	0	997,646	0	997,646	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	1,007,000	0	357,000	0	357,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	86,500	0	92,500	0	92,500	
		一般財源	344,242	0	548,146	0	548,146	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	ヘルスメイトの数		成果指標に対する所見	目標人数には及ばなかったが、ヘルスメイト会員が訪問活動に取り組むなど自主的な活動が展開できるようになった。		
	目標	29	人				
	実績	28	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	健康なと21(第二次)後期アクションプラン及び鳴門市自殺対策計画に基づき、市役所内外の関係者と共に広く市民へ健康増進への働きかけを強化していく必要がある。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	栄養改善事業を含む各種保健事業の継続実施を通じて健康なと21(第二次)を推進する。 鳴門市自殺対策計画を啓発し、市民の自殺予防に対する認識を深めるとともに、自殺予防対策の包括的な支援となる「生きる支援該当事業」の全庁的な推進について、進捗状況の把握等進行管理を行う。				
	令和3年度	上記取り組みを継続する。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.52

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	がん検診事業		担当部署	健康福祉部 健康増進課	
総合計画体系					根拠法令計画など	健康増進法、がん対策基本法	
基本政策(大項目)		2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	昭和 <div>▼</div> 57 年度
政策(中項目)		1	ひとにやさしく健康でやすらげるまち なんと				
(小項目)			保健・医療				
施策		7	健康・医療対策の推進				
基本事業		2	健康意識の高揚と保健予防活動の充実				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	市民のがん検診の受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及啓発を行い、健康の保持及び増進につなげる。		事業内容(R1)	①かかりつけ医や地縁団体、商工会等を通じた受診勧奨リーフレットの配布 ②子宮頸がん・乳がんの検診無料クーポン券を配布。 ③節目年齢や継続受診のない方へ個別通知による受診勧奨。 ④特定健診との同日実施や、介護予防事業開催に合わせたがん検診の実施。 ⑤尿中ピロリ菌検査やメッセージカード作成の機会を捉え、中学生またはその保護者に向けた啓発と受診勧奨				
実施方針	①かかりつけ医や関係機関と連携した受診勧奨 ②無料クーポン券の配布 ③個別通知による受診勧奨 ④受診の利便性を図る ⑤中学生またはその保護者への啓発・受診勧奨			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	がん検診受診者数(計)	3,418	4,000	3,500	3,500	3,500	人
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	各がん検診受診率の平均		6.9	7.0	10.0	10.0	10.0	%
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	各年度の実施(予定)内容	①新たなステージに入った総合支援事業の中でかかりつけ医を通じて行う受診勧奨としてリーフレットを作成・配布。②子宮がん・乳がん無料クーポン券の配布。③商工会議所・銀行・郵便局などに受診勧奨用のリーフレットを設置。④特定健診とがん検診の同日実施。⑤中学生を対象にピロリ菌検査を実施。	①節目年齢の方への検診受診勧奨通知の発送。②特定の年齢の方に子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポンの発送。③検診未受診者への受診勧奨通知の発送。④NHK番組とコラボしての受診勧奨。⑤医療機関や商工会等と連携し、啓発用リーフレットの配布。	前年度①～⑤に加え、テレビ広報を通じてのがん検診受診勧奨の実施。	継続	継続		
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度		
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額				
計		22,264	0	22,264	24,000	24,000		

事務事業名	がん検診事業
-------	--------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業に基づき、子宮がん・乳がん検診クーポン券の配布、受診勧奨の個別通知、受診勧奨用のリーフレットの作成・配布を実施。保険課と健保協会と協力し、特定健診とがん検診の同日実施は継続して実施した。がん検診を継続受診していない人を対象に個人通知や市開催事業に合わせた集団検診についても継続して実施。広報誌でのコラム掲載やテレビ広報で広く受診の呼びかけを行った。					
	指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	がん検診受診者数(計)	4,000	3,695	3,500	3500	3,500	人
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	各がん検診受診率の平均		7.4	7.4	10	10	10.0	%
	目標達成率(実績/目標)			74.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		20,370,542	0	20,333,084	0	20,333,084	
	財源内訳	国庫支出金	523,000	0	593,000	0	593,000	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	302,800	0	264,000	0	264,000	
		一般財源	19,544,742	0	19,476,084	0	19,476,084	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		未達成		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	各がん検診受診率の平均		成果指標に対する所見	受診者数及び受診率はほぼ横ばいの状態。それぞれの検診において少数の症例であるが早期がんの発見等に結びついたこともあり、検診そのものは有用性があったと考えられる		
	目標	10	%				
	実績	7.4	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	前年度に引き続いてのNHK番組とのタイアップや継続受診のない者への受診勧奨、健保協会との連携、介護予防事業にあわせたがん検診の実施に加え、テレビ広報での啓発活動等の取り組みにより、受診者の増加に繋がったと考える。一度も検診を受けたことのない方への働きかけと、継続受診に繋がるよう、保険課等他機関とも連携をとりながら、さらなる周知啓発が必要と考える。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	昨年度の取り組みを継続しながら、実施にあたっては、国が示す新型コロナウイルス感染症にかかる各種検診等における対応の指針に沿って実施する。			
	令和3年度	令和2年度の取り組みを継続して実施。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	子育て世代支援事業 (鳴門市版ネウボラ及び妊産婦健康診査事業)		担当部署	健康福祉部 健康増進課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	母子保健法、子ども子育て支援法 児童福祉法	
基本政策(大項目)		2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成 27 年度
政策(中項目)		1	ひとにやさしく健康でやすらげるまち なんと			終期	未定
(小項目)			保健・医療				
施策		7	健康・医療対策の推進				
基本事業		2	健康意識の高揚と保健予防活動の充実				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無					<input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無		
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求					<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		

◎事業概要(PLAN)

目的			妊娠期から就学前まで切れ目ない支援を行う拠点として、関係機関と連携を図りながら子育て支援を行うことにより、母親の不安や負担の軽減を図り、安心して子どもを産み育てることのできるまちづくりをめざす。		事業内容 (R1)	①母子保健コーディネーター(保健師及び助産師)による来所、電話、訪問相談・支援 ②妊産婦健診などの費用助成 ・妊婦一般健康診査費用助成(14回) ・多胎妊婦に対する超音波検査費用追加助成(2回) ・産婦健診(産後2週間・産後1か月)費用助成(2回) ③心身の不調等支援の必要な妊産婦への取り組み ・産前・産後ヘルパー派遣事業 ・産後ケア事業(産後デイサービス・産後ショートステイ) ④マタニティー教室(妊娠中の健康管理や出産育児の不安を軽減するため助産師・保健師、管理栄養士による具体的な関わり方などの実践指導を行う)					
実施方針			①母子保健コーディネーター(保健師及び助産師)による相談・支援を充実し、不安・負担の軽減を図る。 ②妊婦健診、産婦健診、多胎妊婦超音波検査費用を助成し妊産婦の健康管理と負担軽減を図る。 ③心身の不調等により支援の必要な妊産婦に対して、産前・産後ヘルパー派遣事業や産後ケア事業の利用を促し、不安・負担の軽減を図る。 ④育児困難を抱える保護者へ具体的に関わり方などの実践指導を行い不安・負担の軽減を図る。			当初からの 変更点	番号法に基づく妊産婦健診、乳幼児健診情報の情報連携開始に向けたシステム改修を行った。				
指標名						平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	子育て世代包括支援センター利用者数				2,398	1,778	1,680	1,750	1,780	人
	2	関係機関との連絡調整回数				-	14	20	20	20	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名					平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	鳴門市で子育てをしたい人の割合					95.7	94.6	94.6	94.7	94.7	%

事業の 実施内 容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①母子保健コーディネーター(保健師及び助産師)による相談・支援 ②妊産婦健診等の費用助成 ③産前・産後ヘルパー派遣事業、産後ケア事業	継続	継続	継続	継続
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	46,400	2,474	48,874	48,933	48,933

事務事業名	子育て世代支援事業 (鳴門市版ネウボラ及び妊産婦健康診査事業)
-------	------------------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容		令和元年度実施内容		①母子保健コーディネーター（保健師及び助産師）による来所、電話、訪問相談・支援 ②妊産婦健診などの費用助成 ・妊婦一般健康診査費用助成（14回） ・多胎妊婦に対する超音波検査費用追加助成（2回） ・産婦健診（産後2週間・産後1か月）費用助成（2回） ③心身の不調等支援の必要な妊産婦への取り組み ・産前・産後ヘルパー派遣事業 ・産後ケア事業（産後デイサービス・産後ショートステイ） ④マタニティー教室（妊娠中の健康管理や出産育児の不安を軽減し子育てができるよう助産師・保健師・管理栄養士による具体的な関わり方等の実践指導）					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	子育て世代包括支援センター利用者数		1,778	1,642	1,750	1780	1,800	人
	2	関係機関との連絡調整回数		14	18	20	20	20	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	鳴門市で子育てをしたい人の割合			94.6	94.5	94.7	94.7	94.8	%
	目標達成率(実績/目標)				99.9				%
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額		決算額		令和2年度への繰越額
		計		46,454,906	0	42,966,590	0	42,966,590	
		財源内訳	国庫支出金	3,806,000	0	5,271,000	0	5,271,000	
			県支出金	1,426,000	0	1,757,000	0	1,757,000	
			地方債	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
			一般財源	41,222,906	0	35,938,590	0	35,938,590	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	鳴門市で子育てをしたい人の割合		成果指標に対する所見	子育て世代包括支援推進協議会の開催により関係機関との連携を深めていくことができる。支援の方向性(時期や方法)について協議する養育支援会議を行うことで、要支援者に対する支援計画、進捗管理を行い早期に支援を行う体制づくりを進めている。		
	目標	94.6	%				
	実績	94.5	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染予防による外出自粛から、子育て世代包括支援センターへの来所の減少が見られる。来所だけでなく相談についても周知を行い、相談の機会をもつ。								
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持		4.拡充		3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。									
実施内容	令和2年度	令和元年度事業の継続。 来所以外の相談の機会の周知として、健診受診時、案内通知時などに、子育て世代包括支援センターの連絡先を伝える。(来所、メール、電話での相談)							
	令和3年度	継続							

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.54

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	子どもの発達支援事業		担当部署	健康福祉部 健康増進課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	母子保健法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業 期間	開始	平成 ▼ 22 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康でやすらげるまち なんと					
(小項目)		保健・医療					
施策	7	健康・医療対策の推進					
基本事業	2	健康意識の高揚と保健予防活動の充実			終期	未定 ▼	
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	子どもの健やかな成長・発達を支援するため、子どもへの継続的な支援体制の整備や保護者への啓発を行う。		事業 内容 (R1)	①保護者相談 ・行動観察や発達検査に基づく医師・臨床心理士等による個別相談の実施 ・2回目相談において必要児に発達検査(K-ABC)の実施 ②保育所・幼稚園・認定こども園等との連携 ・幼稚園等へ事業説明の実施 ・幼稚園等での集団生活の問診票などの作成 ・幼稚園等へ相談結果のフィードバック				
実施方針	①子どもの発達支援及び保護者の育児支援のため臨床心理士等による保護者相談を実施し子どもの発達特性や対応方法を知ることによって不安の軽減を図り、適切な対応行動につなげる。 ②保育所・幼稚園・認定こども園等と連携して就学に向けて支援する。			当初 からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	子どもの発達支援事業実施回数	4	6	6	4	4	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	相談事業参加者数		127	122	120	120	60	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①保護者相談、2回目相談必要児に発達検査(K-ABC)の実施 ②幼稚園等との連携	継続	継続	継続	継続

事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	1,366	0	1,366	1,639	1,639

事務事業名	子どもの発達支援事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容		対象者への個別通知とともに、継続的な支援を行うため幼稚園等に事業説明を行った。 集団場面での行動観察や個別の発達検査を行い、医師、臨床心理士による個別相談を実施することで保護者が子どもの発達段階や特性を知ることができ、発達特性に応じた育児ができるよう支援した。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	子どもの発達支援事業実施回数		6	6	7	4	4	回
	2								
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	相談事業参加者数			122	87	120	60	60	人
	目標達成率(実績/目標)				72.5				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算					
				前年度からの繰越決算額	決算額		令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		1,175,665	0	852,879		0	852,879	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0		0	0	
		県支出金	0	0	0		0	0	
		地方債	0	0	0		0	0	
		使用料・手数料	0	0	0		0	0	
		その他	0	0	0		0	0	
		一般財源	1,175,665	0	852,879		0	852,879	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	相談事業参加者数		成果指標に対する所見	事業参加者の8割以上の保護者が、2回目相談として、詳細な発達検査や検査結果に伴う相談の利用につながった事からも、発達支援・育児支援において成果があったと考える。		
	目標	120	人				
	実績	87	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	子どもの発達支援及び保護者の育児支援、また就学へ向けての連携は、より早期からの介入支援が望ましい。しかし従来の幼稚園年少相当児を対象とした実施では、事後相談を利用する頃には多くが5歳を過ぎており、効果的な対応を活かす期間が短いため、今後は就学に向けての支援・準備期間をより長く確保することが望ましい。 その他の課題として、新型コロナウイルス感染予防の観点から、参加自粛も予測される。						
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。							
実施内容	令和2年度	より早期からの介入支援を目的に事業対象年齢を令和2年度より引き下げ予定。令和2年度は移行期間とし、従来の対象年齢の実施に加え、順次年齢を(次年度年少相当児へ)引き下げ実施する予定。また、乳児期から2歳半頃までを対象とした子育て支援事業を開始し、育児支援や発達支援を要する保護者への介入、早期支援を行う。					
	令和3年度	継続					

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	救急医療対策事業		担当部署	健康福祉部 健康増進課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	鳴門市救急医療対策事業補助金交付要綱	
基本政策(大項目)		2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	昭和 52 年度
政策(中項目)		1	ひとにやさしく健康でやすらげるまち なんと				
(小項目)			保健・医療			終期	未定
施策		7	健康・医療対策の推進				
基本事業		4	地域医療の確保				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的		市民が安心できる地域医療体制を確保する。		事業 内容 (R1)	①救急医療の現状や適正利用について市民に向け、消防予防課や医師会とも連携をしながら、積極的に啓発を実施していく。また、啓発活動として、出生届時に「小児救急ハンドブック」を引き続き配布する。 ②災害時の医療救護所のスムーズな設置に向けて、医師会等関係機関と協議し、設置候補地での実地研修を行う。 ③地震災害に特化した4者協定(医師会、歯科医師会、薬剤師会、市)について協議する。 ④平成27年度に購入した資機材の4年目点検を行う。					
実施方針		①夜間休日当番医制度の維持 ②二次救急・小児救急医療体制の確保 ③関係者会議の実施 ④適正医療に関する啓発			当初からの 変更点	①地震災害に特化した4者協定については、災害時医療救護所設置候補地の見直しの作業が必要となったため、協定締結に至っていない。 ②休日当番日の増加や消費税増税により当初予算が不足し、流用対応を行った。				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	啓発活動(出前講座・連携事業等)		1	1	3	3	3	回	
	2									
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	軽度の救急搬送率			37	36	36	35	35	%	

事業の実施内容 内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①救急医療の適正利用に係る啓発 ②関係者会議の実施 ③医療救護所資機材の点検	継続	継続	継続	継続

事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計		14,560	111	14,671	14,364

事務事業名	救急医療対策事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容		令和元年度実施内容		①救急医療の適正利用に関する啓発を消防予防課や医師会と連携して実施した。啓発活動として、「小児救急ハンドブック」を作成し、出生届時等に配布した。また子育て世代へ向けて「母と子の防災ハンドブック」を配布した。 ②GW10連休中の対応について医師会と協議し、医療の確保、市民への周知に努めた。 ③東部Ⅱ圏域災害医療訓練に参加し医師会等関係者と共に、発災時の医療救護所対応について机上訓練を行った。 ④平成27年度購入の医療救護資機材(4セット)の4年目点検を行った。 ⑤関係者会議として「鳴門市医療懇話会」を開催し、意見交換・情報共有を行った。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	啓発活動(出前講座・連携事業等)		1	1	3	3	3	回
	2								
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	軽度の救急搬送率			36	36	36	35	35	%
	目標達成率(実績/目標)				100.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算					
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費		
	計		14,279,492	0	14,670,144	0	14,670,144		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	350,000	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		使用料・手数料	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
		一般財源	13,929,492	0	14,670,144	0	14,670,144		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	軽度の救急搬送率		成果指標に対する所見	救急医療体制を持続していく上で必要な対応ができていると考えるが、市民に対して、救急医療に関する情報提供や啓発活動を継続して実施することが必要である。		
	目標	36	%				
	実績	36	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	市民の安心・安全を守るために救急医療対策事業を継続していくことは重要である。夜間・休日在宅当番医制度の存続に関しては、地域の開業医の高齢化等の問題もあり、可能な限り現状を維持できるよう、引き続き市医師会と協議を進めていくことが必要である。災害時の対応を含めた新型コロナウイルス感染症対策についても、医師会等関係団体と協議し連携していくこととする。						
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。							
実施内容	令和2年度	①救急医療の適正利用に関する啓発(「小児救急ハンドブック」や「防災ハンドブック」の配布等)を実施する。 ②医師会等関係機関と協議し、災害時医療救護所や新型コロナウイルス感染症対策について体制を整備する。 ③医療救護資機材の点検を行う。					
	令和3年度	令和2年度に継続して、医療機関と連携し、救急医療対策事業を実施。					

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域医療連携強化事業		担当部署	健康福祉部 健康増進課	
総合計画体系					根拠法令計画など	鳴門市健康づくりの推進と地域の医療を守り育む条例	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業期間	開始	平成 <div>▼</div> 29 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康でやすらげるまち なんと					
(小項目)		保健・医療					
施策	7	健康・医療対策の推進					
基本事業	4	地域医療の確保					
<div><input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無</div> <div><input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無</div> <div><input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無</div>							
<div><input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求</div> <div><input checked="" type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求</div>							

◎事業概要 (PLAN)

目的	「鳴門市健康づくりの推進と地域の医療を守り育む条例」を広く市民に対して周知・啓発を行うことにより、市民の健康度の向上や地域医療に対する理解を深める。		事業内容 (R1)	①条例の進捗状況の把握のため、市民の健康づくりに関する取組調査を実施。 ②医療・保健・福祉・介護等関係団体の代表者、市民委員等で構成する協議会及び市の施策の検討、連絡・調整を行う庁内推進会議を開催。 ③鳴門病院との連携事業(市民向け実践講座)については、テーマや開催時期について協議を行い実施。				
実施方針	①条例の推進についての周知 ②条例推進協議会及び庁内推進会議の運営 ③鳴門病院との連携事業の継続実施			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	市民向け実践講座	1	1	1	1	1	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	連携事業の参加者数		300	100	150	150	150	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①条例の概要版を作成し、自治振興会等地区組織(42か所)への周知・啓発を行った。 ②鳴門病院との連携事業として鳴門病院医師による市民向け実践講座を実施した。	①条例推進シンポジウムと徳島県鳴門病院連携事業と合同実施 ②条例推進協議会及び庁内推進会議の設置	①健康づくりに関する取組調査実施 ②条例推進協議会及び庁内推進会議の開催 ③徳島県鳴門病院連携事業(市民公開講座)の開催	継続	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	323	0	323	275	275

事務事業名	地域医療連携強化事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容 ①条例の進捗状況の把握のため、市民の健康づくりに関する取組調査を実施。 ②医療・保健・福祉・介護等関係団体の代表者、市民委員等で構成する協議会及び市の施策の検討、連絡・調整を行う庁内推進会議を開催。 ③鳴門病院との連携事業(市民向け実践講座)開催。						
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市民向け実践講座	1	1	1	1	1	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	連携事業の参加者数		100	280	150	150	150	人
	目標達成率(実績/目標)			186.7				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		392,138	0	253,665	0	253,665	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		392,138	0	253,665	0	253,665	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	連携事業の参加者数		成果指標に対する所見	市民が身近に感じられるテーマであったため、目標値をはるかに超える参加者数だった。		
	目標	150	人				
	実績	280	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門病院との連携事業については、テーマや開催時期によって参加人数にバラつきがあるが、市民に定着しつつあるので、継続実施が必要と考える。 条例の推進については、推進協議会、庁内会議、健康なと21推進ワークショップと協議内容について共有しながら進めていく必要がある。						
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。							
実施内容	令和2年度	条例の推進については、出前講座等にてより広く市民に周知する。また、医療・保健・福祉・介護等関係団体の代表者、市民委員等で構成する協議会及び市の施策の検討、連絡・調整を行う庁内推進会議の運営を行う。 鳴門病院との連携事業（市民向け実践講座）については、テーマや開催時期について協議を行い継続実施とする。					
	令和3年度	継続					

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.57

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	老人クラブ活性化促進事業		担当部署	健康福祉部 長寿介護課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	老人福祉法	
基本政策(大項目)		2	ずっと笑顔で 生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成 14 年度
政策(中項目)		1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				
(小項目)			高齢者福祉				
施策		4	高齢者福祉の推進				
基本事業		1	生きがいと健康づくりの推進		終期	未定	
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	鳴門市老人クラブの育成や活動の活性化を通じ、高齢者の閉じこもりの防止や積極的な地域社会活動への参加を促し、健康づくり・生きがいづくりを進め、高齢者福祉、地域福祉の向上を図る。		事業 内容 (R1)	①老人クラブ運営費の助成 ②健康づくり・介護予防支援事業に対する支援 ③地域支え合い事業(世代交流活動の推進、友愛訪問活動の推進)に対する支援 ④運営や事業活動を担うリーダー育成への支援				
実施 方針	①老人クラブ連合会へ補助金を交付 ②老人クラブの介護予防・友愛活動に対する育成及び支援 ③県老連で研修を受けた介護予防リーダーを活用した企画・運営への支援 ④「ひとり暮らし高齢者連絡カード」(平成23年度作成)を活用した友愛訪問員活動と地域包括支援センターとの連携 ⑤単位老人クラブによる「いきいきサロン」設立・運営に向けた支援			当初 からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	会員数	2,804	2,638	2,800	2,800	2,800	人
	2	個別活動参加者数	824	798	840	840	840	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	個別活動参加率		29.3	30.2	30.0	30.0	30.0	%

事業の実 施内容推 移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①補助金の交付・活動支援 ②介護予防リーダー活動支援 ③単位クラブによる「いきいきサロン」設立・運営に向けた支援	①補助金の交付・活動支援 ②介護予防リーダー活動支援 ③単位クラブによる「いきいきサロン」設立・運営に向けた支援	①補助金の交付・活動支援 ②介護予防リーダー活動支援 ③単位クラブによる「いきいきサロン」設立・運営に向けた支援	継続	継続
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	3,082	0	3,082	3,082	3,082

事務事業名	老人クラブ活性化促進事業
-------	--------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①老人クラブ連合会への補助 ②介護予防事業の研修会や高齢者向けスポーツや体操普及のための活動、実施イベント等への講師・職員派遣 ③友愛訪問活動への支援、地域包括支援センターとの連携 ④単位クラブのいきいきサロン実施に向けた啓発活動					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	会員数	2,638	2,469	2,500	2,500	2,500	人
	2	個別活動参加者数	798	771	780	780	780	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	個別活動参加率		30.2	31.2	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)			104.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		3,082,000	0	3,082,000	0	3,082,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	2,054,000	0	2,054,000	0	2,054,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		1,028,000	0	1,028,000	0	1,028,000	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	個別活動参加率		成果指標に対する所見	各事業の開催を継続する中、前年度を上回る参加率を確保しており、目標を達成した。		
	目標	30.0	%				
	実績	31.2	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現会員に対する健康づくり・生きがいづくりへの活動支援はできていると考えているが、会員数の減少傾向が続いていることから、老人クラブ活動のさらなる周知や活動の充実を図ることにより、会員確保に繋げる必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	クラブ活動支援を介護予防事業とマッチングさせることにより魅力ある健康づくり、生きがいづくり活動の実施を促していく。また、会員数の確保に向けて、テレビ広報等を活用した老人クラブ活動の周知を支援するとともに、「いきいきサロン」の実施主体となっている単位クラブもあることから、今後も制度の周知等に努め、高齢者の自主的かつ積極的な参加への支援を行う。			
	令和3年度	同上			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.58

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	高齢者無料バス優待事業	担当部署	健康福祉部 長寿介護課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	老人福祉法 鳴門市高齢者等無料バス優待券の交付等に関する条例	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	昭和 49 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期	未定
(小項目)		高齢者福祉				
施策	4	高齢者福祉の推進				
基本事業	1	生きがいと健康づくりの推進				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的			日常生活において、交通弱者である高齢者の移動手段を確保することにより、生活圏の拡大を図り、閉じこもりの防止や社会活動参加の機会の増加を促し、高齢者の生きがいや健康づくりに役立てる。		事業内容 (R1)	①高齢者の移動手段の確保 市内のバス路線を利用する、鳴門市に住民登録を行っている満70歳以上の者に対し無料バス優待券を交付する。 ②実施状況、利用状況の把握 7月と10月に利用者数の調査を行う。また、窓口において簡易調査を実施する。					
実施方針			①高齢者の移動手段を確保する ②実施状況、利用状況を把握する			当初からの 変更点	7月と10月の利用実態調査の結果、利用者数が増加し、負担金が当初予算よりも増加したため、補正予算を措置する。				
指標名						平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1										
	2										
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	指標名					平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	鳴門市高齢者等無料バス券申請件数					363	370	350	350	350	件

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①市内バス路線における無料優待券の交付 ②7月10月に利用者数の調査を実施 ③窓口における簡易調査の実施	①市内バス路線における無料優待券の交付 ②7月10月に利用者数の調査を実施	①市内バス路線における無料優待券の交付 ②7月10月に利用者数の調査を実施 ③窓口における簡易調査の実施	継続	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	5,803	643	6,446	5,993	5,993

事務事業名	高齢者無料バス優待事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①高齢者の移動手段の確保 ・市内バス路線における無料優待券の交付 ②実施状況、利用状況の把握 ・7月と10月に利用者数の調査を実施 ・申請窓口において、優待券の利用について簡易調査を3月より実施					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	鳴門市高齢者等無料バス券申請件数		370	360	370	370	370	件
	目標達成率(実績/目標)			102.9				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		5,426,120	0	6,445,320	0	6,445,320	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		5,426,120	0	6,445,320	0	6,445,320	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	鳴門市高齢者等無料バス券申請件数		成果指標に対する所見	申請件数は目標数を達成し、新たに360人の方に無料バス優待券を交付し、高齢者の移動手段の確保に繋がった。		
	目標	350	件				
	実績	360	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	「第7期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」期間中の令和2年度までは引き続き実態を把握したうえで、必要に応じて本事業の評価・検討を行う必要がある。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	年2回の利用状況調査を行い事業の実施状況の把握等に努める。 「第7期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」の最終年度にあたることから、事業の課題等を検討しながら、「第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」の策定を目指す。				
	令和3年度	年2回の利用状況調査を行い事業の実施状況の把握等に努める。 「第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」期間の初年度にあたることから、実態に即した事業の実施について検討する。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.59

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定事業		担当部署	健康福祉部 長寿介護課			
総合計画体系					根拠法令計画など	介護保険法及び老人福祉法			
基本政策(大項目)		2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	令和 元 年度		
政策(中項目)		1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと						
(小項目)			高齢者福祉						
施策		4	高齢者福祉の推進						
基本事業		1	生きがいと健康づくりの推進		終期	～令和2年度			
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無									
<input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無									
<input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無									
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求									
<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求									

◎事業概要(PLAN)

目的	令和3年度から5年度を計画期間とした「第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」を策定する。		事業内容(R1)	第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定に向けた基礎調査の実施。 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の実施 (2) 在宅介護実態調査の実施				
実施方針	本市の地域特性を踏まえ、総合的な高齢者福祉施策の展開及び介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を図るため、第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を策定する。			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	計画策定に向けた基礎調査実施数			2	0		件
	2	策定委員会開催回数			0	5		回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定				基礎調査の実施	策定		-
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	各年度の実施(予定)内容			①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を実施 ②在宅介護実態調査を実施	計画の策定			
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度		
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額				
	計	2,500	0	2,500	4,133			

事務事業名	第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定事業
-------	-------------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定に向けた基礎調査の実施。 ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の実施 要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況などを調査し、地域の抱える課題を把握することなどを目的とした調査を、3,000人を対象に実施した。 ②在宅介護実態調査の実施 高齢者等の適切な在宅生活の継続と家族等介護者の就労継続の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的とした調査を、600人を対象に実施した。					
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	計画策定に向けた基礎調査実施数	2	0			件
	2	策定委員会開催回数	0	5			回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定		基礎調査の実施	策定			-
	目標達成率(実績/目標)		-				%
事業費推移(円)		年度	平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
		計		0	2,090,000	0	2,090,000
		財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
			県支出金	0	0	0	0
			地方債	0	0	0	0
			使用料・手数料	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0
			一般財源	0	2,090,000	0	2,090,000

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定		成果指標に対する所見	第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定に向けた基礎調査について、年度内に実施することができた。		
	目標	基礎調査の実施	－				
	実績	基礎調査の実施	－				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和元年度に実施した基礎調査結果や第7期計画の進捗状況、策定委員会での議論、さらには国の制度改正等を踏まえ、将来を見据えた第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を策定する。						
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。							
実施内容	令和2年度	第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定 (1)基礎調査等の分析及び課題の把握 (2)策定委員の委嘱、策定委員会の開催 (3)第1号被保険者(65歳以上の高齢者)の介護保険料額の設定					
	令和3年度						

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.60

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)		担当部署	健康福祉部 長寿介護課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	介護保険法第115条の45	
基本政策(大項目)		2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成 18 年度
政策(中項目)		1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				
(小項目)			社会保障				
施策		10	介護保険制度の円滑な実施				
基本事業		4	介護予防事業の拡充・推進		終期	未定	
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的			高齢になっても一人ひとりの市民が地域において自立した日常生活が営めるよう、介護予防・日常生活支援総合事業を実施し健康状態の維持・増進、介護予防に努める。	事業内容 (R1)	①介護予防・日常生活支援総合事業の実施 ②いきいき百歳体操の普及啓発 ③いきいきサロンの開設・運営支援				
実施方針									
				当初からの変更点					
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	介護予防教室参加者		1,594	1,721	1,550	1,550	1,550	人
	2	ボランティアポイント事業登録者		112	101	130	140	140	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	要介護(要支援)認定率を20%以内にする。			18.7	19.0	20.0	20.0	20.0	%

事業の実 施内容推 移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①総合事業の充実や普及啓発 ②いきいきサロンの開設支援	①総合事業の充実や普及啓発 ②いきいきサロンの開設支援(56箇所)や「いきいき百歳大交流大会」の開催、「いき百サポーターリーダー」の養成	①総合事業の充実や普及啓発 ②いきいき先生のメニュー増加によるいきいきサロン活動の充実 ③テレビ広報によるいきいきサロンの普及啓発や開設支援 ④「中級リーダー」の養成	①総合事業の充実や普及啓発 ②いきいき先生のメニュー増加によるいきいきサロン活動の充実 ③「中級リーダー」の養成	継続
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	226,120	14	226,134	214,581	214,581

事務事業名	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)
-------	-------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容	①介護予防・日常生活支援総合事業の充実や普及啓発 ②いきいき百歳体操の普及啓発 ・テレビ広報にて「いきいきサロンの旅」と題したサロン紹介シリーズを放映し、広くサロン活動の周知に取り組んだ。 ・令和元年度末時点で、58箇所のサロンが開設されており、全てのサロンでいきいき百歳体操に取り組んでいる。 ③いきいきサロン「中級リーダー」の養成 ・指導の補助などを行う「中級リーダ」の養成にむけて、各サロンでの実習を行い、令和元年度末時点において14名の養成が完了した。					
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	介護予防教室参加者	1,721	1,634	1,750	1750	1,750 人
	2	ボランティアポイント事業登録者	101	96	100	100	100 人
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	要介護(要支援)認定率を20%以内にする。		19.0	18.8	20.0	20.0	20.0 %
	目標達成率(実績/目標)			106.4			%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		200,941,914	0	195,718,065	0	195,718,065
	財 源 内 訳	国庫支出金	74,485,600	0	63,764,000	0	63,764,000
		県支出金	33,764,750	0	27,947,500	0	27,947,500
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	67,594,488	0	76,057,565	0	76,057,565
	一般財源		25,097,076	0	27,949,000	0	27,949,000

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	要介護(要支援)認定率を20%以内にする。		成果指標に対する所見	全体的な数値目標は達成できているものの、より効果的な予防活動の実施やその方法等を検討し実施する必要がある。		
	目標	20.0	%				
	実績	18.8	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染症の影響による長期間にわたる各種事業の中止・自粛に伴い、高齢者のフレイルが懸念されており、適切な対策を講じながら、段階的な事業の再開や活動の支援に取り組む必要がある。また、いきいきサロンについては、新規開設が減少傾向にあるため、さらなる周知・啓発を図る必要がある。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、各種事業の段階的な再開・活動支援を推進する。 いきいきサロンについては、いきいき先生のメニューを増やすなど、サロン活動の充実を図るとともに、指導の補助やサロン活動の活性化を行う「中級リーダー」の養成を継続して行う。 総合事業については、地域包括支援センター等と連携し、リハビリテーション専門職や栄養士等による短期集中サービスの利用促進を図る。				
	令和3年度	第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の初年度であり、計画に基づき介護予防・日常生活支援総合事業、いきいきサロンの活動支援等を推進しながら、地域包括ケアシステムの構築を図る。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.61

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	地域支援事業(包括的支援事業及び任意事業)		担当部署	健康福祉部 長寿介護課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	介護保険法第115条の45	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業 期間	開始	平成 18 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと					
(小項目)		社会保障					
施策	10	介護保険制度の円滑な実施					
基本事業	5	包括的支援事業及び任意事業の推進			終期	未定	
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	高齢になり介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域において自立した生活を継続できるよう、多様な主体が様々なサービスやサポートを提供する「地域包括ケアシステム」の構築を図る。		事業 内容 (R1)	①地域包括支援センターの機能強化 ②在宅医療・介護連携推進事業の実施 ③介護給付費等適正化の推進 ④生活支援体制整備事業の推進 ⑤権利擁護・成年後見制度の利用促進				
実施 方針	第7期高齢者保健福祉計画及び介護保健事業計画に基づき、医療関係者や介護サービス事業所、地域包括支援センター、行政など、各機関が連携し高齢者を支え合う仕組みづくりを推進する。			当初 からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ケアプラン・権利擁護等研修会の開催	8	5	8	8	8	回
	2	成年後見制度相談窓口開催	12	12	12	12	12	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	総合相談件数 (市の総合相談窓口＋地域包括支援センター)		2,056	1,700	2,450	2,450	2,450	件

事業の実 施内容推 移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①「いきいき支え合い地域づくりフォーラム」の実施 ②「鳴門市在宅医療・介護連携推進協議会(仮称)」の設置に向けた検討	①市内3箇所の暮らしのサポートセンター開設に向けた支援 ②在宅医療・介護連携推進協議会の設置、あんしん連絡帳の作成・活用	①顔の見える関係会議の開催及び地域資源マップの更新・全戸配布 ②暮らしのサポートセンターでの生活支援サービス提供への支援 ③成年後見制度の啓発	①顔の見える関係会議及び研修会の開催 ②暮らしのサポートセンターでの生活支援サービス提供への支援 ③成年後見制度の啓発	継続
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	102,571	△ 1,807	100,764	105,517	105,517

事務事業名	地域支援事業(包括的支援事業及び任意事業)
-------	-----------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①地域包括支援センターの機能強化を図るための支援を継続実施した。 ②多職種が一堂に会した「顔の見える関係会議」を開催するなど、関係づくりを進めるとともに、地域の在宅医療・介護の資源をまとめた「地域資源マップ(改訂版)」を全戸配布した。 ③介護給付費等適正化を図るため、ケアプランの全件点検を継続実施し、結果について市内事業所に対し個別の説明を行った。 ④生活支援コーディネーターを中心に市内3箇所の2層協議体の活動を支援し、暮らしのサポートセンター縁どころにおいて月1回の買い物支援サービスが開始された。 ⑤成年後見制度の利用促進を図るため、研修会の開催や利用促進計画策定に向けた関係機関による協議を進めた。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ケアプラン・権利擁護等研修会の開催	5	5	8	8	8	件
	2	成年後見制度相談窓口開催	12	12	12	12	12	回
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	総合相談件数 (市の総合相談窓口＋地域包括支援センター)		1,694	1,325	1,500	1,500	1,500	件
	目標達成率(実績/目標)			54.1				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		87,469,157	0	90,981,886	0	90,981,886	
	財源内訳	国庫支出金	42,109,910	0	45,489,335	0	45,489,335	
		県支出金	18,759,742	0	19,745,167	0	19,745,167	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	9,782,218	0	6,350,384	0	6,350,384	
	一般財源		16,817,287	0	19,397,000	0	19,397,000	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	総合相談件数 (市の総合相談窓口＋地域包括支援センター)		成果指標に対する所見	平成30年度の相談等報告基準の明確化に伴い、各地域包括支援センターへの相談件数が減少傾向にあり、令和2年度以降については現状を踏まえ目標の見直しを行った。		
	目標	2,450	件				
	実績	1,325	件				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	生活支援体制整備事業では、暮らしのサポートセンターでの生活支援サービスの提供開始に先駆け、暮らしのサポートセンター縁どころにおいて、買い物支援サービスを開始したが、3箇所すべてで定期的な生活支援サービスを提供するまでには至っていないため、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながら、各センターでの活動を継続的に支援する必要がある。また、在宅医療・介護連携推進事業では、顔の見える関係会議、市民向け研修会を開催することができたが、医師以外の医療職との顔の見える関係づくりが不十分である。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、暮らしのサポートセンターでの生活支援サービス提供に向けて、担い手の養成やサービスを開発するなど生活支援につながる取り組みの推進を支援する。また、在宅生活に必要な介護保険制度以外のサービス情報を取りまとめ、介護関係者等への周知を図る。在宅医療・介護連携推進事業においては、「顔の見える関係会議」を継続し、各専門職種間での連携強化を図るとともに、市民向けフォーラムや専門職向け研修会を実施する。				
	令和3年度	第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の初年度であり、計画に基づき生活支援体制整備、在宅医療・介護連携推進事業等を推進しながら、地域包括ケアシステムの構築を図る。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.62

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	基幹型地域包括支援センター事業		担当部署	健康福祉部 長寿介護課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	介護保険法第115条の45,46	
基本政策(大項目)		2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成 27 年度
政策(中項目)		1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				
(小項目)			社会保障				
施策		10	介護保険制度の円滑な実施				
基本事業		5	包括的支援事業及び任意事業の推進		終期	未定	
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的		基幹型地域包括支援センターを設置することにより、平成18年に市内5か所に委託設置した地域包括支援センターの機能強化及び後方支援を進め、地域包括ケアシステムの構築を図る。		事業内容(R1)	①自立支援ケア会議の開催 ②認知症対策の推進 ③介護予防ケアマネジメント業務の実施				
実施方針		高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるための地域の包括的な支援・サービスの提供体制の構築を図る。							
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	総合相談件数(困難事例)		199	200	200	200	200	件
	2								
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	自立支援ケア会議で検討されたケース			84	80	120	120	120	件

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①困難事例の同行訪問 ②事例検討会の実施 ③自立支援ケア会議 ④認知症対策 ⑤生活支援体制整備事業	①事例検討会の実施 ②地域包括・居宅介護支援事業所職員スキルアップ研修実施 ③自立支援ケア会議の改善 ④認知症ケアパスの作成・周知 ⑤SOSネットワーク会議の開催、メール配信の開始	①自立支援ケア会議の開催 ②認知症対策の推進 ③介護予防ケアマネジメントの向上	継続	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	28,900	0	28,900	27,407	27,407

事務事業名	基幹型地域包括支援センター事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①自立支援ケア会議については、年度当初に助言者との協議を行い、今年度の実施方針等について情報共有を図った上で、個々の事例1件ずつについて多職種連携による検証・改善の提案等を行い、対象者の自立支援につなげた。 ②認知症対策の推進 ・認知症高齢者等SOSネットワーク会議を開催し、関係機関の連携強化を図った。 ・市内小中学校での認知症サポーター養成講座を実施するとともに、市民に対しての普及啓発活動を行った。 ③介護予防ケアマネジメントの向上を図るため、各地域包括支援センターと共同で事例検討会を実施するとともに、地域包括支援センター・居宅介護支援事業所職員スキルアップ研修を実施した。						
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	総合相談件数(困難事例)	172	182	200	200	200	件	
	2								
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	自立支援ケア会議で検討されたケース		74	56	80	80	80	件	
	目標達成率(実績/目標)			46.7				%	
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算					
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費		
	計		26,859,009	0	27,815,985	0	27,815,985		
	財源内訳	国庫支出金	12,930,620	0	11,127,000	0	11,127,000		
		県支出金	5,760,523	0	5,563,000	0	5,563,000		
		地方債	0	0	0	0	0		
		使用料・手数料	0	0	0	0	0		
		その他	3,003,810	0	5,562,985	0	5,562,985		
		一般財源	5,164,056	0	5,563,000	0	5,563,000		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	自立支援ケア会議で検討されたケース		成果指標に対する所見	台風や新型コロナウイルス感染症の影響等により、会議を中止したことなどが影響し、検討したケース数は目標を大きく下回ったが、多職種連携により個々の事例1件ずつについて検証・改善の提案等を行った。また、県内他市町村でも自立支援型のケア会議の実施を予定しており、県内先進地として多数の視察受け入れを行った。		
	目標	120	件				
	実績	56	件				
	評価	D:目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	自立支援ケア会議については、対象者の選定基準等について助言者との検討を継続して行い、対象者の拡大に向けて見直しを図る必要がある。 また、認知症高齢者等SOSネットワーク事業や認知症初期集中支援チームなどの認知症対策事業については、さらなる周知啓発による認知度向上を図る必要がある。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	自立支援ケア会議の継続と、虐待等への対応を含めた権利擁護事業並びに認知症SOSネットワーク事業を中心に推進する。また、各地域包括支援センターの後方支援として、相談対応や地域の介護支援専門員に対する支援を継続して行う。				
	令和3年度	第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の初年度であり、地域型包括支援センターの後方支援や自立支援ケア会議、認知症啓発等を推進しながら、地域包括ケアシステムの構築を図っていく。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.63

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	災害時要援護者避難支援登録制度の推進		担当部署	健康福祉部 長寿介護課・社会福祉課		
総合計画体系					根拠法令計画など	災害対策基本法		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり			事業期間	開始	平成	24 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと					終期	未定
(小項目)		危機管理・防災						
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進						
基本事業	2	危機管理・防災体制の強化						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無								
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求								

◎事業概要 (PLAN)

目的	自ら避難することが困難な者の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、避難行動要支援者の把握に努める。また、支援を希望する要援護者の個別支援計画を作成するなど、避難支援者及び地域支援機関と連携し避難行動時の支援体制づくりを推進する。		事業内容(R1)	要援護者登録、個別支援計画の作成・更新を継続実施しながら、市民に当該制度について理解を深めていただき、必要とされている方が申請しやすい環境整備に向け、広報や出前講座による市民啓発等を行っていく。また、地域支援機関(各民生委員)に対する情報提供内容の整理を行う。				
実施方針	①避難行動要支援者名簿の作成及び更新を行う ②災害時要援護者避難支援計画(個別支援計画)の作成及び更新を行う ③避難支援体制の整備を推進する			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	申請者	3,325	3,158	3,200	3,250	3,300	人
	2	広報などで、制度の仕組みについて周知	1	1	1	1	1	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	個別支援計画作成件数		2,508	2,408	2,800	2,800	2,800	件

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①避難行動要支援者名簿及び個別支援計画の作成・更新 ②新システムの導入に向けて、プロポーザル等を実施。新システムの構築を行った。 ③制度周知	①避難行動要支援者名簿及び個別支援計画の作成・更新 ②新システムの導入に伴い登録内容の整理 ③制度周知	①避難行動要支援者名簿及び個別支援計画の作成・更新 ②地域支援機関(各民生委員)における情報提供内容の整理 ③広報による制度周知	①避難行動要支援者名簿及び個別支援計画の作成・更新 ②避難支援体制の整備 ③個別支援計画の点検・見直しの検討 ④広報による制度周知	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	1,576	0	1,576	1,593	1,593

事務事業名	災害時要援護者避難支援登録制度の推進
-------	--------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	要援護者登録、個別支援計画の作成・更新を継続実施しながら、市民に当該制度について理解を深めていただき、必要とされている方が申請しやすい環境整備に向け、広報による市民啓発等を行った。また、地域支援機関(各民生委員)に対する情報提供内容の整理を行うなど、避難支援体制の整備に努めた。					
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	申請者	3,158	2,882	3,000	3050	3,100 人
	2	広報などで、制度の仕組みについて周知	1	1	1	1	1 回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	個別支援計画作成件数		2,408	2,372	2,450	2,500	2,500 件
	目標達成率(実績/目標)			84.7			%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		1,374,662	0	1,363,643	0	1,363,643
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源		1,374,662	0	1,363,643	0	1,363,643

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	個別支援計画作成件数		成果指標に対する所見	住民基本台帳システムと連携した新システムによる死亡・転出等のデータ更新の結果、個別支援計画作成件数は目標を下回ったが、対象者通知・個別支援計画作成、支援機関への情報提供など、予定していた事務については予定通り実施できた。		
	目標	2,800	件				
	実績	2,372	件				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①避難行動要支援者名簿に掲載する者の範囲の適正化 ②避難支援者確保の推進 ③要支援者と避難支援等関係者の連携による防災訓練等の実施 ④登録された個別支援計画の内容の点検・見直しの検討					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	要援護者登録、個別支援計画の作成及び更新を継続実施しながら、制度の理解を深めていただき、必要とされている方が申請しやすい環境整備を行い、広報等で市民啓発等を行っていく。また、必要に応じて個別支援計画の点検・見直しを検討する。				
	令和3年度	同上				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.64

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	人権啓発推進事業		担当部署	人権推進課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	鳴門市人権条例、鳴門パートナーシッププランⅡ (セカンド)ステージ	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業 期間	開始	平成 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと					
(小項目)		人権					
施策	1	人権の尊重					
基本事業	1	人権行政の推進					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	「人権」に関して理解と認識を進めることで、人権侵害や差別問題を解決し、市民と行政が一体となって、互いに助け合い、支え合い、誰もが安心して暮らせる人権のまちづくりを進めていく。		事業 内容 (R1)	①人権セミナー(計3回) ②人権の花運動(瀬戸中学校区の小学校) ③人権スポーツ事業				
実施方針	国の人権啓発活動地方委託金を活用し、人権の花運動、人権セミナー、人権スポーツ事業等、各種人権啓発事業を実施する。			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	人権セミナー開催回数	3	3	3	3	3	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	人権セミナーへの参加者数		143	204	300	210	210	人

事業の 実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①人権セミナーの実施 ②人権の花運動の実施 ③ふれあい人権スポーツ教室の実施	①人権セミナーの実施 ②人権の花運動の実施 ③ふれあい人権スポーツ教室の実施	①人権セミナーの実施 ②人権の花運動の実施 ③人権スポーツ事業の実施	継続	継続
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額	全体予算額		
	計	303	0	303	337	337

事務事業名	人権啓発推進事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①隣保館・児童虐待・DVをテーマとして人権セミナーを各1回ずつ、計3回実施した。開催時期は他のイベントと重ならないよう調整して実施した。 ②人権の花運動は、対象となる瀬戸中学校校区の明神小学校にて実施した。 ③総合型地域スポーツクラブと連携して、放課後児童クラブ等を利用する児童を対象とした人権スポーツ事業を実施し、幼少期からの人権に対する意識啓発を行った。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	人権セミナー開催回数	3	3	3	3	3	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	人権セミナーへの参加者数		204	210	210	210	210	人
	目標達成率(実績/目標)			70.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		306,400	0	279,808	0	279,808	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	286,000	0	275,000	0	275,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		20,400	0	4,808	0	4,808	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	人権セミナーへの参加者数		成果指標に対する所見	チラシの増刷を行うとともにウェブサイト等でセミナーを周知したが、目標人数には達しなかった。参加者の増加を含む効果的かつ効率的な事業実施を目指し、今後も多角的な視点で人権セミナーを行う。		
	目標	300	人				
	実績	210	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	魅力ある人権セミナーを開催するために、市民が身近に感じられるテーマを設定するなどして効果的かつ効率的に啓発を行う必要がある。引き続き、人権啓発活動地方委託金を活用し継続実施できるよう、他課やスポーツ関係団体等とも連携しながら、市民・子ども等に対する人権啓発活動の充実を図っていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	引き続き、人権啓発活動地方委託金を活用し、多くの参加者が見込めるように、現在注目されている人権課題をテーマに、全3回の人権セミナーを実施する。また、各種関係団体等と連携して、人権の花運動や人権スポーツ事業を実施するなど、市民等への啓発活動の充実を図っていく。			
	令和3年度	人権セミナー・人権スポーツ事業等を開催し、人権啓発に努める。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.65

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	男女共同参画推進事業	担当部署	人権推進課	
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市男女共同参画推進条例 第2次鳴門市男女行動計画(鳴門パートナーシッププランセカンドステージ)	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成 13 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				
(小項目)		男女共同参画				
施策	2	男女共同参画社会の実現				
基本事業	2	あらゆる分野での男女共同参画の実践				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要 (PLAN)

目的	性別によらず、男女が自らの意思に基づき、個性と能力を十分に発揮できる、多様性に富んだ豊かで活力ある社会の実現をめざす。		事業内容 (R1)	①第3次鳴門市男女行動計画策定の基礎資料とするため、市民意識調査を実施する。 ②男女共同参画推進条例の説明パンフレット等を活用し、男女共同参画の周知啓発を行う。 ③女性人材バンクの活用について見直しを図る。				
実施方針	①鳴門市男女行動計画に基づき、男女共同参画社会づくりに向けた取組を実施する。 ②条例パンフレットや市公式ウェブサイトを活用し、男女共同参画の周知啓発を図る。							
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	条例・計画の周知啓発	14	10	10	10	10	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	条例・計画の周知啓発		14	10	10	10	10	回

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	男女共同参画社会づくりのための周知啓発	継続	①男女共同参画社会づくりのための周知啓発 ②第3次鳴門市男女行動計画の策定に向けた市民意識調査の実施	①男女共同参画社会づくりのための周知啓発 ②第3次鳴門市男女行動計画の策定	男女共同参画社会づくりのための周知啓発
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額	全体予算額		
	計	3,124	0	3,124	3,865	312

事務事業名	男女共同参画推進事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①2,000人の市民、700事業所を対象に、男女共同参画に関する意識調査を実施し、本市における現状・課題の把握に努めた。 ②男女共同参画推進条例の説明パンフレットを活用し、各種イベント等で配布を行うなど、男女共同参画の周知啓発を行った。 ③女性が審議会等の政策・方針決定等の場や講演会等における講師などに参加できる機会を増やし、その能力を発揮してもらえるように、女性人材バンクの見直しを図り、各関係機関に登録者募集を行った。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	条例・計画の周知啓発	10	10	10	10	10	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果が あったか示す指標	条例・計画の周知啓発		10	10	10	10	10	回
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		0	0	2,433,988	0	2,433,988	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		0	0	2,433,988	0	2,433,988		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	条例・計画の周知啓発		成果指標に対する所見	出前講座をはじめ、人権セミナーや成人式等で広く市民に条例パンフレットを配布し、周知啓発を行った。また、小学6年生を対象に子ども用パンフレットを配布し、若年層の意識啓発を図った。		
	目標	10	回				
	実績	10	回				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門市男女共同参画推進条例の周知啓発、鳴門市男女行動計画による施策を推進することで、性別的役割分担意識をなくし、地域生活や職場において性差なく活躍できる社会の実現をめざす。 特に、審議会や管理職の女性登用率を推進することで、政策・方針決定等の場での女性の活躍を図る。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	第2次鳴門市男女行動計画の達成状況や、前年度に実施した意識調査等を踏まえ、第3次鳴門市男女行動計画を策定する。 女性人材バンクへの登録や活用について周知啓発を行い、女性の審議会等への登用を促進する。			
	令和3年度	第3次鳴門市男女行動計画に基づき各種施策を推進する。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.66

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	女性子ども支援事業	担当部署	人権推進課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、鳴門市男女共同参画推進条例、第2次鳴門市男女行動計画（鳴門パートナーシッププランセカンドステージ）、児童福祉法、児童虐待防止法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成 13 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期	未定
(小項目)		男女共同参画				
施策	2	男女共同参画社会の実現				
基本事業	3	女性に対する暴力の防止・被害者支援の充実				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	DVおよび児童虐待問題について、問題の発生予防から被害者救済に至るまでの支援体制を確立することで安心・充実した市民生活を送れる社会の実現をめざす。		事業 内容 (R1)	①DVや児童虐待の救済と防止に向け、相談支援業務を継続して行う。 ②公認心理師によるカウンセリングを実施する。 ③スーパービジョンの開催により相談員の対応力向上を図り、問題解決への助言や支援を行う。 ④ケース会議等を通じて、関係機関と必要に応じた情報を共有する。 ⑤DVおよび児童虐待問題について、意識啓発や相談先の周知を図るためパンフレットを市内の協力事業所に設置する。 ⑥若年者がDVの被害者及び加害者になることを防止するため、デートDVの予防啓発を行う。					
実施方針	①女性子ども支援センター「ばあとなー」におけるDV被害者支援および児童虐待対応の充実を図る。 ②DV及び児童虐待防止に関する周知啓発を行う。			当初 からの 変更点					
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	協力事業者等数	28	30	35	40	45	件	
	2								
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	協力事業者等数		28	30	35	40	45	件	

事業の実施内容 内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	DV等被害者の相談業務の支援継続及び要保護児童対策地域協議会との連携による支援	継続	継続	継続	継続
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額	全体予算額		
	計	1,952	0	1,952	1,997	1,997

事務事業名	女性子ども支援事業
-------	-----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	①DVや児童虐待の救済と防止に向け、相談支援業務を継続して行った。 ②相談員との面談を通じて必要と判断された場合に、公認心理師によるカウンセリングを実施した。 ③スーパービジョンの開催により相談員の対応力向上を図り、問題解決への助言や支援を行った。 ④関係機関と連携し、ケース会議等を通じて必要に応じた情報を共有した。 ⑤女性子ども支援センターの情報パンフレットを市内全保育所に設置した。 ⑥市成人式においてデートDVに関するパンフレットを配布し、予防啓発を図った。					
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	協力事業者等数	30	47	40	45	50
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	協力事業者等数		30	47	40	45	50 件
	目標達成率(実績/目標)			134.3			%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		2,117,578	0	1,319,773	0	1,319,773
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	98,000	0	75,000	0	75,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	68	0	68
	一般財源		2,019,578	0	1,244,705	0	1,244,705

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	協力事業者等数		成果指標に対する所見	公的施設を中心に支援センターの情報パンフレット設置の協力依頼を行い、センターの周知に努めた。		
	目標	35	件				
	実績	47	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	DV及び児童虐待の未然防止・早期発見のために、協力事業所へのパンフレットの設置を進めるなど啓発活動に努めるとともに、被害者を発見したときには、速やかに関係機関で協議し、早期対応を図る。 DV被害者支援について広域的な対応を図るため、鳴門パートナーシップDV会議を通じて、県や藍住町、阿南市、その他関係団体との連携を強化する。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	DV及び児童虐待の早期発見のための啓発活動や相談先を広く周知するための広報活動を行う。 DV等被害者の相談業務の支援継続及び要保護児童対策地域協議会との連携による支援を行う。				
	令和3年度	DV及び児童虐待の早期発見のための啓発活動や相談先を広く周知するための広報活動を行う。 DV等被害者の相談業務の支援継続及び要保護児童対策地域協議会との連携による支援を行う。				

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	人権文化祭開催事業	担当部署	人権福祉センター		
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市人権条例・鳴門市隣保館条例		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	昭和 <div></div> 49 年度	
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				終期	未定 <div></div>
(小項目)		人権					
施策	1	人権の尊重					
基本事業	1	人権行政の推進					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的		保育所・認定子ども園・幼稚園・小・中・高等学校・社会福祉法人・NPO法人・市民等及び行政による人権問題に関する作品の展示や人権劇・講演会などを通じて、市民等の人権問題の存在とその解消に向けた取組みや人権尊重の大切さを訴えていくことにより、同和問題をはじめ、あらゆる人権問題が解消されるとともに人権が尊重されるまちづくりに取り組む。	事業内容(R1)	①人権問題に関する取組パネルおよび人権に関する作品の展示 ②人権劇 ③講演会 ④同和カルタ大会				
実施方針		①鳴門市人権文化祭を開催 ②小学生児童を対象にした同和カルタ大会を引き続き開催 ③少子化に伴う展示作品数の減少が懸念されることから、社会福祉法人からの作品展示への参加について協力を継続要請するとともに、パワーポイントによる取組パネル作成と投影など負担軽減策を試行しながら、展示の維持と内容充実に努める。		当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	人権文化祭展示作品数	1,832	1,528	2,200	2,200	2,200	件
	2	人権文化祭記念講演会来場者数	162	107	170	170	170	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	人権文化祭来場者数		7,660	4,240	9,500	5,000	5,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①人権問題に関する取組パネル、人権に関する作品の展示 ②人権劇 ③講演会 ④同和カルタ大会	継続	継続	継続	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額	全体予算額		
	計	1,136	0	1,136	1,273	1,273

【実績ベース】

【実績ベース】

事業実施内容		令和元年度実施内容						人権意識の普及・高揚を図る取り組みとして、第46回鳴門市人権文化祭を開催した。人権に関する作品等の展示や大麻中学校による人権劇、近畿大学教授を講師に招き、「差別の現実と運動の経験に学ぶ」と題して、記念講演会を開催したほか、毎年好評であった小学生児童を対象にした同和カルタ大会を引き続き実施した。また、近年注目されている人権課題である「インターネットと人権」に関するパネルを「あいぽーと徳島」から借受け、展示・啓発を行った。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位				
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	人権文化祭展示作品数		1,528	1,957	2,200	2,200	2,200	件				
	2	人権文化祭記念講演会来場者数		107	130	170	170	170	人				
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	人権文化祭来場者数			4,240	4,817	5,000	5,000	5,000	人				
	目標達成率(実績/目標)				50.7				%				
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算									
				前年度からの繰越決算額	決算額		令和2年度への繰越額		最終事業費				
	計		902,090	0	915,835		0		915,835				
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0		0		0				
		県支出金	677,000	0	321,000		0		321,000				
		地方債	0	0	0		0		0				
		使用料・手数料	0	0	0		0		0				
		その他	0	0	0		0		0				
一般財源		225,090	0	594,835		0		594,835					

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	人権文化祭来場者数		成果指標に対する所見	来場者数は増加したものの、成果目標のほぼ半数であったため、C評価とする。		
	目標	9,500	人				
	実績	4,817	人				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>部落差別解消推進法(平成28年12月施行)により、行政の責務が明確にされる中、未だ差別落書きやインターネットへの悪質な書き込みなど、さまざまな人権侵害の事象が発生しており、なお一層の人権教育・啓発が必要であることから、今後も、人権意識の普及と高揚のため、人権文化祭開催事業を継続する必要がある。</p> <p>また、平成29年度より開始したデイサービス事業などを通じて、地域に開かれたコミュニティセンターとしての役割を推進し、広く市民に開かれた人権文化祭の運営形態が求められている。</p> <p>平成29年10月に鳴門市隣保館運営審議会から答申が出されたことから、答申内容を反映できるような人権文化祭の運営形態を検討していく必要がある。</p>				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	令和2年度に限り、新型コロナウイルスの感染拡大防止策である学校関係の休校措置等に対し、各学校の履修状況を踏まえた作品出展とすることで負担軽減措置等を講じるものの、コンパクトでも魅力ある人権文化祭とする。			
	令和3年度	より一層の人権意識の普及・高揚を図るとともに、来場者数を維持しつつ、人権文祭開催イベントとして同和カルタ大会に加え、来場者が体験・参画できるようなイベントを企画するなど、新たな事業を検討する。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.68

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	地域生活支援事業	担当部署	健康福祉部 社会福祉課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため法律	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成 17 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				
(小項目)		障がい者福祉				
施策	5	障がい者福祉の推進				
基本事業	1	社会参加の促進			終期	未定
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	日常生活に関する相談や、社会参加のための支援など、障がい者(児)を対象とした障がい福祉サービスの充実を図ることにより、地域社会における共生の実現をめざす。		事業 内容 (R1)	①必須事業・・・相談支援事業、理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業、日常生活用具給付等事業、地域活動支援センター機能強化事業等。 ②任意事業・・・日中一時支援、訪問入浴サービス、レクリエーション活動等支援等。				
実施方針	①必須事業として、相談支援事業や理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業等を実施する。 ②任意事業として、日常生活支援に関する事業や社会参加支援に関する事業を実施する。			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	委託相談支援事業所(3カ所)相談件数		9,451	8,803	9,000	9,000	9,000	件

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	地域生活支援事業(平成18年度から実施)	地域生活支援事業(平成18年度から実施)	地域生活支援事業(平成18年度から実施)	継続	継続
事業費推移(千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	73,263	0	73,263	88,996	91,151

事務事業名	地域生活支援事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容		①必須事業・・・相談支援事業、理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業、日常生活用具給付等事業、地域活動支援センター機能強化事業等。 ②任意事業・・・日中一時支援、訪問入浴サービス、レクリエーション活動等支援等。					
指標名				平成30元年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1								
	2								
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	委託相談支援事業所(3力所)相談件数			8,803	7,789	9,000	9,000	9,000	件
	目標達成率(実績/目標)				86.5				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算					
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費		
	計		64,258,503	0	65,512,889	0	65,512,889		
	財源内訳	国庫支出金	13,808,000	0	14,032,000	0	14,032,000		
		県支出金	6,888,000	0	7,624,000	0	7,624,000		
		地方債	0	0	0	0	0		
		使用料・手数料	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
一般財源		43,562,503	0	43,856,889	0	43,856,889			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	委託相談支援事業所(3力所)相談件数		成果指標に対する所見	継続して相談対応していた障がい者が適切な支援機関や必要な障がい福祉サービス利用につながるなどしたため、相談件数は成果目標に達していないが、相談者に対して障がい特性や状況に合わせた対応が実施できている。		
	目標	9,000	件				
	実績	7,789	件				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	○ 共生社会の実現に向け、障がい者への理解促進に向けた啓発活動が必要。 ○ 困難事例も含めた多様な相談に対応できる相談支援体制の構築が必要。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	現在実施している事業の継続実施していくとともに、障がい者への相談支援体制を強化するため、基幹相談支援センターを設置する。 また、障がい者への理解促進に向けた研修等を実施する。				
	令和3年度	継続実施				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.69

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	心身障害者等無料バス優待事業		担当部署	健康福祉部 社会福祉課	
総合計画体系					根拠法令計画など	鳴門市高齢者等無料バス優待券の交付等に関する条例	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業期間	開始	昭和 48 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと					
(小項目)		障がい者福祉					
施策	5	障がい者福祉の推進					
基本事業	3	生活環境の整備充実				終期	未定
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的		障がい者に対して無料バス優待券を交付することにより、外出手段を確保し、生活圏の拡大を図ることを目的とする。		事業内容(R1)	1. 障がい者の移動手段の確保 【対象者】 ①身体障害者手帳の1級から4級の交付を受けている者 ②療育手帳の交付を受けている者 ③精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けている者 ④上記①～③に該当し、かつ介護を要する者の介護人 2. 窓口において、手帳交付時に情報提供を行い、利用促進を図る。				
実施方針		①障がい者の移動手段を確保する ②事業の周知啓発を図る			当初からの変更点	利用実績が、当初の見込みよりも多かったことから、負担金について増額補正を行った。			
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1								
	2								
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	鳴門市高齢者等無料バス券申請件数(障がい者対象分)				89	90	90	90	件

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	無料バス優待券交付(昭和48年度から実施)	無料バス優待券交付(昭和48年度から実施)	無料バス優待券交付(昭和48年度から実施)	継続	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	1,323	350	1,673	1,677	1,677

事務事業名	心身障害者等無料バス優待事業
-------	----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	事業対象者となる障害者手帳交付者への案内通知に申請時の必要書類を記載するとともに、障害者手帳交付時にも手帳取得により利用できる福祉サービスとして情報提供し、申請を促した。					
指標名		平成30元年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1						
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	鳴門市高齢者等無料バス券申請件数(障がい者対象分)		89	88	90	90	件
	目標達成率(実績/目標)			97.8			%
事業費推移(円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		1,317,862	0	1,671,642	0	1,671,642
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,317,862	0	1,671,642	0	1,671,642

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	鳴門市高齢者等無料バス券申請件数 (障がい者対象分)		成果指標に対する所見	障害者手帳交付時や、障害者手帳所持者から相談があった際に制度の案内を行っており、希望する方について申請につながっている。		
	目標	90	件				
	実績	88	件				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	路線変更など、バス運行状況の変化が利便性に影響を及ぼす可能性があるが、移動手段としてバスを必要とする方が利用できるよう、無料バス優待制度の案内・周知を行う。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓ 今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	障がい者の外出手段を確保し、生活圏の拡大を図ることで、障がい者が地域で安心していきいきと暮らすことができるよう、事業対象者となる障害者手帳交付者への案内通知に申請時の必要書類を記載するとともに、障害者手帳交付時にも手帳取得により利用できる福祉サービスとして情報提供するなど、利用促進に向けた取り組みを引き続き実施する。			
	令和3年度	継続			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	生活困窮者自立支援事業	担当部署	健康福祉部 社会福祉課		
総合計画体系				根拠法令計画など	生活困窮者自立支援法		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成	27 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと					
(小項目)		低所得者福祉					
施策	6	低所得者福祉の推進					
基本事業	2	低所得者福祉の充実					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	子どもの学習・生活支援事業を実施し、子どもたちの学力向上に加え、社会性や自立心を育むことにより、「貧困の連鎖」を防止する。		事業内容(R1)	1. 子どもの学習・生活支援事業の実施 ①継続して事業を実施する。 ②生活保護受給世帯への制度周知に加え、児童扶養手当、就学援助それぞれの受給世帯へ案内状を送付する。 ③制度への申請があった場合、対象世帯の要件を満たしているか確認を行い、承認(不承認)通知書を作成、送付する。					
実施方針	①子どもの学習・生活支援事業の実施 【対象者】市内の中学生の内、次の条件に当てはまる者とその保護者 ・生活保護受給世帯・ひとり親世帯のうち非課税世帯 ・自立相談支援センターへの相談者が属する世帯 ・児童扶養手当受給世帯・児童養護施設入所者世帯 ・就学援助受給世帯・その他市長が認める世帯			当初からの変更点					
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への学習支援事業案内通知の発送	1	1	1	1	1	回	
	2	生活保護受給世帯への学習支援事業案内通知の発送	0	2	2	2	2	回	
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	学習支援事業参加人数		18	18	40	40	40	人	

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①学習支援事業の実施 ②生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への案内状の送付 ③申請があつた者への承認(不承認)通知の作成、送付	①学習支援事業の実施 ②生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への案内状の送付 ③申請があつた者への承認(不承認)通知の作成、送付	①学習支援事業の実施 ②生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への案内状の送付 ③申請があつた者への承認(不承認)通知の作成、送付	継続	継続

事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	19,790	0	19,790	32,853	32,853

事務事業名	生活困窮者自立支援事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容	①学習支援事業の実施 ②生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への案内状の送付 ③申請があった者への承認(不承認)通知の作成、送付					
指標名			平成30元年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への学習支援事業案内通知の発送	1	2	1	1	1	回
	2	生活保護受給世帯への学習支援事業案内通知の発送	2	2	2	2	2	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	学習支援事業参加人数		18	29	40	40	40	人
	目標達成率(実績/目標)			72.5				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		19,165,481	0	19,257,604	0	19,257,604	
	財源内訳	国庫支出金	12,425,000	0	12,500,000	0	12,500,000	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		6,740,481	0	6,757,604	0	6,757,604		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	学習支援事業参加人数		成果指標に対する所見	実際に参加した子どもの反応は概ね良好であり、兄弟や友人を誘うようなこともあったため、参加人数は昨年度から大幅に増加した。		
	目標	40	人				
	実績	29	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今までは参加人数の確保が課題であったが、令和元年度は前年度までと比較して参加人数の大幅な増加があった。今後はこの参加人数の水準をいかに維持していくことが課題となる。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	子どもいきいき課、学校教育課の協力の下、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯に対して案内通知を発送する。加えて、生活保護受給世帯の内今年度中学校に入学した子どもがいる世帯や新規申請世帯に対しても、9月、3月に案内通知を発送すると同時に、担当ケースワーカーから積極的な働きかけを行う。			
	令和3年度	令和2年度の実施状況に応じて、事業の継続と課題に対する改善策を検討していく。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.71

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	子どものまち推進事業		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課		
総合計画体系					根拠法令 計画など	鳴門市子どものまちづくり推進協議会活動費補助金交付要綱 鳴門市子ども・子育て支援事業計画		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業 期間	開始	平成	13 年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと						
(小項目)		子どものまち						
施策	1	地域で子どもを育てる活動支援						
基本事業	3	子どもがすくすく育つまちづくり						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無								
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求								

◎事業概要(PLAN)

目的	鳴門市子どものまちづくり推進協議会を通して、子ども関係グループ・団体及び関係機関が相互連携を図りながら、子どもたちの主体的な活動を支援し、子どもが主役の「子どものまちづくり」を推進する。		事業 内容 (R1)	①子どものまちフェスティバルの開催 ②ホリデーフリーパス事業の推進 ③子どものまちづくり指導者養成講座の実施				
実施 方針	①子どものまちフェスティバル ②ホリデーフリーパス事業 ③子どものまちづくり指導者養成講座			当初 からの 変更点	新型コロナウイルス感染症感染予防のため、3月実施予定であった子どものまちづくり指導者養成講座を中止した。			
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	子どものまち推進協議会加入団体(市・市教委を除く)	66	66	66	66	66	団体
	2	子どものまちフェスティバル参加者数	8,000	15,000	12,000	12,000	12,000	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	子どものまちフェスティバル参加者数		8,000	15,000	12,000	12,000	12,000	人

事業の 実施内 容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①子どものまちフェスティバル ②なると再発見子どもバス ③ホリデーフリーパス事業 ④子どものまちづくり指導者養成講座	①子どものまちフェスティバル ②なると再発見子どもバス ③ホリデーフリーパス事業 ④子どものまちづくり指導者養成講座	①子どものまちフェスティバル ②ホリデーフリーパス事業 ③子どものまちづくり指導者養成講座	継続	継続
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	240	25	265	240	240

事務事業名	子どものまち推進事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容		令和元年度実施内容		子どものまちな主体的な体験活動の場として、子どものまちフェスティバルを実施した。子どものまちづくり推進協議会の多くの団体の協力を得て、各コーナーで伝統的な遊びや、ものづくりなど子どもたちの主体的な体験活動を支援し、親子でイベントを楽しむ姿が見られた。昨年度に引き続き、四国ゲートフェスタと同時開催となったが、開催場所がポートレース鳴門に変更となったことで鳴門のまつりとは別開催となり、来場者数は減少した。 子どものまちづくり推進協議会のもう1つのイベントである、子どものまちづくり指導者養成講座については、3月下旬に実施予定であったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者及び関係者の健康・安全を考慮し中止とした。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	子どものまち推進協議会加入団体 (市・市教委を除く)		66	66	68	68	68	団体
	2	子どものまちフェスティバル参加者数		15,000	6,000	10,000	10,000	10,000	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	子どものまちフェスティバル参加者数			15,000	6,000	10,000	10,000	10,000	人
	目標達成率(実績/目標)				50.0				%
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額		決算額		令和2年度への繰越額
		計		622,563	0	264,800	0	264,800	
		財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0
			県支出金		0	0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0	0
			使用料・手数料		0	0	0	0	0
			その他		45,000	0	0	0	0
一般財源		577,563	0	264,800	0	264,800			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	子どものまちフェスティバル参加者数		成果指標に対する所見	開催日・開催場所の変更により、鳴門のまつりと別開催となったこと及び不安定な天候も重なり、来場者数が伸びなかった。		
	目標	12,000	人				
	実績	6,000	人				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	子どものまちフェスティバルの開催場所がポートレース鳴門に変更となったことで、会場がコンパクトとなって全体が見渡せてよかったとの意見があった一方、参加団体からは鳴門のまつりとの同時開催を希望する声や、従来どおりのウチノ海公園で子どもたちがのびのびと遊べるような状況が良かったとの声が寄せられた。今後の実施についても、子どもたちの主体的な体験活動を支援し、各地域団体と子育て家庭とのつながりを創出するため、参加団体や関係機関の意見を取り入れながら実施していく。今後は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施の際の感染予防対策が徹底できるかを検討し、イベント開催についての可否を検討する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓ 今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	イベントの開催について、関係機関・団体と連携し、子どもたちの主体的な体験活動の支援や体験活動の充実を図ることができるよう、検討していく。			
	令和3年度	継続して実施する。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.72

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	放課後児童健全育成事業		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課			
総合計画体系					根拠法令計画など	子ども・子育て支援法 鳴門市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業期間	開始	平成	14	年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと							
(小項目)		児童福祉							
施策	2	児童福祉の推進							
基本事業	1	子どもの健やかな成長支援				終期	未定		
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無									
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求									

◎事業概要(PLAN)

目的		①放課後児童の安全・安心な居場所の確保 ②放課後児童の健全育成 ③子育て家庭の仕事と家庭の両立支援		事業 内容 (R1)	①事業運営 地域住民等で組織される運営委員会に委託を行い、昼間保護者のいない家庭の児童に放課後の安全・安心な居場所を提供した。また、新型コロナウイルス感染症感染予防のため小学校が臨時休業となったことから、子育て家庭の仕事と子育ての両立を支援するため、児童クラブの受入れ時間の拡大を図った。 ②受入れ拡大 利用希望者が増加している撫養児童クラブについて、支援の単位を増加させ、受入れ児童数の拡大を図った。 ③利用料免除 子育て家庭の経済的負担を軽減するため、低所得世帯及び多子世帯の利用児童の利用料を免除した。				
実施 方針		①昼間保護者のいない家庭の児童に放課後、学校の余裕教室等を活用し、遊びや生活の場を提供する。 ②学校及び教育委員会と協議・連携し、利用者のニーズに沿った提供体制を整備する。			当初 からの 変更点	新型コロナウイルス感染症感染予防のための小学校臨時休業に伴い、3月の開所時間を延長した(午前中からの開所とした)。			
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	児童クラブ(支援の単位)数		16	17	18	19	19	クラス
	2	利用料免除延べ児童数		849	1,132	1,477	1,500	1,500	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	児童クラブ平均登録児童数			630	634	630	650	650	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①事業運営 ②林崎・桑島児童クラブの受入れ体制拡充準備 ②利用料免除事業の実施	①事業運営 ②林崎・桑島児童クラブの受け入れ体制拡充 ③利用料免除事業の実施	①事業運営 ②撫養児童クラブの受け入れ体制拡充 ③利用料免除事業の実施	①事業運営 ②木津・撫養児童クラブの受け入れ体制拡充 ③利用料免除事業の実施	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	146,203	△3,281	142,922	140,380	139,980

事務事業名	放課後児童健全育成事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	地域の児童クラブ運営委員会に事業を委託し、放課後児童の安全と健全な育成を図った。低学年児童の利用ニーズが増加する撫養児童クラブについて、クラスを分割し、受け入れ体制を拡充した。また、撫養児童クラブ及び木津児童クラブについて、新たな事業実施場所を確保するために、教育委員会及び小学校と協議を進めた。					
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	児童クラブ(支援の単位)数	17	18	19	19	クラス
	2	利用料免除延べ児童数	1,132	1,350	1,500	1,500	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	児童クラブ平均登録児童数		634	651	650	650	人
	目標達成率(実績/目標)			103.3			%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		115,848,498	0	140,142,419	0	140,142,419
	財源内訳	国庫支出金	39,822,000	0	47,409,200	0	47,409,200
		県支出金	36,980,000	0	41,322,000	0	41,322,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	39,046,498	0	51,411,219	0	51,411,219

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	児童クラブ平均登録児童数		成果指標に対する所見	利用ニーズが増加するクラブについて、受入れ児童数の拡充に取り組んだ。 また、小学校休業という不測の事態においても児童クラブ運営委員会の協力のもと、開所時間の延長など柔軟に対応することができた。		
	目標	630	人				
	実績	651	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	小学校高学年の受入れができていないクラブについて、今後の児童数の推移を勘案しながら児童クラブ運営委員会、教育委員会及び小学校と協議のうえ受け入れ体制を整える。新型コロナウイルス感染症予防のための小学校臨時休業等、不測の事態に対応するため教育委員会と連携を図る必要がある。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4	
↓ 今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	継続して事業に取り組む。				
	令和3年度	継続して事業に取り組む。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.73

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	地域子育て支援拠点事業(民間施設活用)		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課	
総合計画体系					根拠法令計画など	子ども・子育て支援法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業期間	開始	平成 22 年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと					
(小項目)		児童福祉					
施策	2	児童福祉の推進					
基本事業	3	子育て家庭への支援					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的			①子育て家庭の負担感の軽減 ②子育て家庭の不安感の軽減 ③児童の健全育成の支援	事業内容 (R1)	①ひろば・出張ひろばの実施 在宅で子育てをする家庭の親子等が互いに交流する場、保育士に子育てに関する相談を行う場を提供する。 ②訪問事業の実施 生後4か月の子どものいる家庭を訪問し、子育てに関する相談や、子育て支援サービスの案内を行う。 ③マタニティ事業の実施 妊婦及びその家族の相談に応じ、子育てのアドバイスを行う。 ④赤ちゃん授業の実施 小学生等に赤ちゃん授業を実施し、自己肯定感を育む。				
実施方針			①ひろばの実施 ②出張ひろばの実施 ③おめでとう赤ちゃん訪問事業の実施 ④にこにこマタニティ事業の実施 ⑤赤ちゃん授業の実施		当初からの 変更点	新型コロナウイルス感染症感染予防のため、3月の事業実施を中断した。			
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	訪問乳児数		270	297	300	300	300	人
	2	ひろば・出張ひろば開催日数		327	312	330	330	330	日
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	ひろば・出張ひろば参加親子数			5,930	5,316	5,300	5,300	5,300	組

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①ひろばの実施 ②訪問事業の実施 ③マタニティ事業の実施	①ひろばの実施 ②訪問事業の実施 ③マタニティ事業の実施 ④実施場所移転	①ひろばの実施 ②訪問事業の実施 ③マタニティ事業の実施 ④赤ちゃん授業の実施	継続	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	14,480	62	14,542	14,542	14,542

事務事業名	地域子育て支援拠点事業（民間施設活用）
-------	---------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容		「にこにこ広場」は鳴門市内の子育て家庭に広く根付いてきている。また、「出張にこにこ広場」も地域の子育て家庭が気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で相互に交流を図る場となっている。 また、新たに赤ちゃん授業を実施することで、「自分が産まれたときの家族の気持ち」や「赤ちゃんへの接し方」を小学生等が知り、自己肯定感の醸成や命の大切さを学ぶ機会となった。 「赤ちゃん訪問事業」では、本市の子育て支援事業全般の案内を実施し、保護者の育児不安の軽減に繋がった。 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、3月に事業を中断したことで、在宅で子育てをする家庭からは事業の再開を望む声が寄せられた。					
指標名				平成30元年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	訪問乳児数		297	207	300	300	300	人
	2	ひろば・出張ひろば開催日数		312	283	330	330	330	日
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	ひろば・出張ひろば参加親子数			5,316	5,483	5,300	5,300	5,300	組
	目標達成率(実績/目標)				103.5				%
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額		決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
		計		14,400,000	0	14,542,000	0	14,542,000	
		財源内訳	国庫支出金		4,224,000	0	4,312,000	0	4,312,000
			県支出金		4,224,000	0	4,312,000	0	4,312,000
			地方債		0	0	0	0	0
			使用料・手数料		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源		5,952,000	0	5,918,000	0	5,918,000			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	ひろば・出張ひろば参加親子数		成果指標に対する所見	事業は子育て家庭同士の交流の場、子育て家庭の相談の場として定着している。令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響で事業を中断せざるを得ない状況となり、十分な事業を実施できなかった。		
	目標	5,300	組				
	実績	5,483	組				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今後も急な事業中断の可能性があり、利用者への周知方法について工夫が必要。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	継続して事業に取り組む。多くの方に利用してもらえるよう事業の周知等を図る。			
	令和3年度	継続して事業に取り組む。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.74

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	子育て支援体制整備事業(保育所における巡回相談事業)		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課	
総合計画体系					根拠法令計画など	鳴門市子ども・子育て支援事業計画	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業期間	開始	平成 22 年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと					
(小項目)		児童福祉					
施策	2	児童福祉の推進					
基本事業	2	就学前教育・保育環境の充実					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	①育児不安を抱える家庭の支援 ②保育士等、子育て支援者のスキルアップ ③軽度の障がい疑われる児童の早期発見、継続支援体制の構築		事業内容(R1)	実施希望保育施設のアンケート調査に基づき、8か所の保育所で巡回相談を実施する。 保育現場で気になる子どもの状況を観察し、日々の保育の中での具体的ななかかわり方について、エピソードを基に医師・臨床心理士の専門家から助言及び指導を受けることにより、保育士の保育スキルの向上に繋げ、また、保護者相談も行うことで、子育て当事者の育児不安の軽減にも繋げていく。 巡回相談を受けた対象児童・保護者に対し、継続的な支援ができるように、健康増進課との連携を図る。					
実施方針	①希望する公私立保育施設に対し、医師、臨床心理士及び保健師が訪問し、保護者や保育士等の子どもの発達に関する相談に応じる。 ②軽度の発達障がい疑われる児童について、継続的な支援に繋げる。			当初からの変更点					
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	実施施設数	8	8	8	7	7	施設	
	2	観察を受けた児童数	392	500	500	400	400	人	
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	適切な支援を受けた児童数		44	50	50	50	50	人	

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	巡回相談事業の実施	巡回相談事業の実施	巡回相談事業の実施	巡回相談事業の実施	巡回相談事業の実施
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	585	0	585	510	510

事務事業名	子育て支援体制整備事業(保育所における巡回相談事業)
-------	----------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容							市内8か所の保育施設で巡回相談を実施した。 支援が必要と思われる子どもの保護者に対しては、事業実施の保育施設で個別に声をかける等、保護者相談を積極的に呼びかけた。 子どものエピソードを基に、保育士が医師・臨床心理士などの専門家から指導を受けることにより、支援が必要な児童の保育の質の向上を図るほか、健康増進課の保健師等との連携を図った。						
		指標名			平成30元年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位					
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	実施施設数			10	8	7	7	7	施設					
	2	観察を受けた児童数			502	529	400	400	400	人					
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	適切な支援を受けた児童数				60	46	50	50	50	人					
	目標達成率(実績/目標)					92.0				%					
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算										
					前年度からの繰越決算額		決算額		令和2年度への繰越額		最終事業費				
		計		725,960	0	576,698		0		576,698					
		財源内訳	国庫支出金		0	0	0		0		0				
			県支出金		362,980	0	288,000		0		288,000				
			地方債		0	0	0		0		0				
			使用料・手数料		0	0	0		0		0				
			その他		0	0	0		0		0				
一般財源		362,980	0	288,698		0		288,698							

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	適切な支援を受けた児童数		成果指標に対する所見	保育の現場で気になる子どもの状況を観察し、具体的な関わり方について、エピソードを基に、専門家である医師・臨床心理士から助言及び指導を受けることにより、保育士の意識の向上や保育に関する自信に繋がりが、保護者相談では、保護者の育児不安の軽減に繋がった。		
	目標	50	人				
	実績	46	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	相談役である医師や臨床心理士との日程調整を関係課を交えながら綿密に行い、事業実施を希望するすべての保育施設で事業が実施できるように取り組んでいるが、前年度に日程調整を行う都合で、急遽、新年度入所児童の相談をしたい施設があった場合、対応が困難になっている。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	医師・臨床心理士・保健師・保育士等が連携し、育児不安を抱える保護者や発達障がい疑われる乳幼児に対し、継続した支援を行えるよう、引き続き事業を継続する。				
	令和3年度	継続して事業を実施する。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.75

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	ファミリーサポートセンター事業		担当部署	子どもいきいき課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	子ども・子育て支援法 鳴門市子ども・子育て支援事業計画	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業 期間	開始	平成 17 年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと					
(小項目)		児童福祉					
施策	2	児童福祉の推進					
基本事業	3	子育て家庭への支援					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	市内において「育児の援助を行いたい者」と「育児の援助を受けたい者」とを会員として登録し、育児の相互援助活動を行う。			事業 内容 (R1)	①ファミリー・サポート・センター事業を公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワークに委託し、事業を実施する。 ②事業の実施方法として、市広報紙や市公式ウェブサイト、LINEを使用した広報を行う。また、児童手当や子どもはぐみ医療費助成事業の申請時にリーフレットを配布する。 ③子育て親子が集まる場所での周知や同センター主催の交流会をNPOと共催し、広く市民に周知を図りながら活動を推進する。					
実施方針	依頼会員と提供会員、両方会員もそれぞれの役割や理解を得て、地域における子育て支援や仕事と育児の両立、安心して働くことができる環境づくりを目指す。				当初からの 変更点					
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	年間活動件数		2,359	1,735	2,000	2,000	2,000	件	
	2	交流会		14	14	14	14	14	回	
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	年度登録会員数(依頼・提供・両方会員)			1,030	1,065	1,100	1,100	1,100	人	
事業の 実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	各年度の実施 (予定)内容	①交流会の実施 ②活動の周知 ③活動内容の集計	①交流会の実施 ②活動の周知 ③活動内容の集計	①交流会の実施 ②活動の周知 ③活動内容の集計	継続	継続				
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度		令和3年度			
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額						
計		9,466	0	9,466	9,599		9,599			

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容		ファミリー・サポート・センター事業を公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワークに委託し、事業を実施した。 事業の実施方法として、市広報紙や市公式ウェブサイト、LINEを使用した広報を行った。また、子育て親子が集まる場所での周知や同センター主催の交流会をNPOと共催し、広く市民に周知を図りながら活動を推進した。 今年度は在宅育児応援クーポン事業が開始されたため、クーポンの対象となる親子イベントを開催した。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	年間活動件数	1,735	1,214	2,000	2,000	2,000	件	
	2	交流会	14	14	14	14	14	回	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	年度登録会員数(依頼・提供・両方会員)		1,065	1,108	1,100	1,100	1,100	人	
	目標達成率(実績/目標)			100.7				%	
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算					
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費		
	計		9,052,000	0	9,466,000	0	9,466,000		
	財源内訳	国庫支出金	2,953,000	0	2,953,000	0	2,953,000		
		県支出金	2,953,000	0	2,953,000	0	2,953,000		
		地方債	0	0	0	0	0		
		使用料・手数料	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
		一般財源	3,146,000	0	3,560,000	0	3,560,000		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	年度登録会員数(依頼・提供・両方会員)		成果指標に対する所見	年度登録会員数は依頼会員・提供会員ともに増加しており、子育て世帯から必要とされている。		
	目標	1,100	人				
	実績	1,108	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	事業についての周知を図ることにより、認知度を高め、依頼会員、提供会員の会員増加に努める。また、低年齢児の預かりや休日預かりなど様々なニーズに対応できる実働人数の増加を目指す。病児病後児預かりサービスについては、感染予防対策や提供会員への研修、医療機関との連携など、受け入れ体制をどう整えるかが課題となるため、他のセンターを参考に今後事業実施の方向性について研究していく。 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、3月は利用者が減少したが、今後もサービスが必要な家庭に提供できるよう、感染対策を講じていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	継続して事業を実施する。			
	令和3年度	継続して事業を実施する。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.76

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	子ども医療費助成事業		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	鳴門市子どもはぐくみ医療費の助成に関する条例	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業 期間	開始	平成 29 年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと					
(小項目)		児童福祉					
施策	2	児童福祉の推進					
基本事業	3	子育て家庭への支援					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的		子どもに係る医療費の一部をその保護者に助成することにより、その疾病の早期発見と治癒を促進し、子どもの保健の向上と福祉の増進を図ることを目的とする。		事業内容 (R1)	①子どもはぐくみ医療費助成事業 中学校修了までの子どもに対し入院・通院をしたときにかかる医療費の自己負担額を助成する。マイナンバーを活用した独自利用事務による情報連携を行い、受給者の利便性の向上や事務の簡素化を図る。 ②未熟児養育医療助成事業 養育医療を必要とする未熟児に対してその養育に必要な医療の給付を行う。				
実施方針		昨年度に引き続き、適切な医療費の助成と、医療の給付に努める。			当初からの 変更点				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	対象者数(H28年度までは12歳)		6,727	6,294	6,294	6,294	6,294	件
	2								
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	適切な医療費の助成			199,896	202,888	206,600	206,600	206,600	千円

事業の実施内容 内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①子どもはぐくみ医療費助成事業 ②未熟児養育医療助成事業	①子どもはぐくみ医療費助成事業 ②未熟児養育医療助成事業	①子どもはぐくみ医療費助成事業 ②未熟児養育医療助成事業	継続	継続
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	201,582	0	201,582	210,304	210,304

事務事業名	子ども医療費助成事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		子どもはぐくみ医療費助成事業について、中学校修了までの子どもに対し入院・通院をしたときにかかる医療費の自己負担額を助成した。今年度は、新元号に対応した受給者証を交付した。また、マイナンバーを活用し、受給者の地方税関係情報を取得するために、申請時や更新時に同意書を提出してもらうことにより、本来必要であった所得課税証明書の添付を省略し、受給者の負担を軽減した。未熟児養育医療費助成事業について、養育医療を必要とする未熟児に対して、養育に必要な医療の給付を行った。						
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	対象者数(H28年度までは12歳)	6,294	6,178	6,294	6,294	6,294	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	適切な医療費の助成		202,888	201,485	202,250	202,250	202,250	千円
	目標達成率(実績/目標)			97.5				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		202,820,585	0	201,485,101	0	201,485,101	
	財源内訳	国庫支出金	595,000	0	1,250,000	0	1,250,000	
		県支出金	93,550,000	0	91,477,000	0	91,477,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	27,000,000	0	0	0	0	
一般財源		81,675,585	0	108,758,101	0	108,758,101		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	適切な医療費の助成		成果指標に対する所見	子どもに係る医療費の一部を助成することにより、その疾病の早期発見と治療を促進し、子どもの保健の向上と福祉の増進、また子育て世代の経済的負担軽減を図ることができた。		
	目標	206,600	千円				
	実績	201,485	千円				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	県内の乳幼児医療費助成制度は、助成対象の子どもにかかった医療費の自己負担額を助成することで保護者の負担軽減や対象児童の健康増進を目的に実施されている地方単独事業であり、対象年齢や自己負担額などの制度内容は、市町村によって異なる。自治体が独自で自己負担の無料化や対象年齢の拡大を実施しているが、居住市町村によって格差が出ないよう、統一的な基準を国や県に要望する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	継続して実施する。			
	令和3年度	継続して実施する。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.77

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	新規	事務事業名	子どもの居場所づくり推進事業		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	鳴門市補助金等交付条例 鳴門市補助金等交付条例施行規則	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業 期間	開始	令和 年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと					
(小項目)		ひとり親家庭等の福祉					
施策	3	ひとり親家庭等の自立支援の推進					
基本事業	1	子育て支援及び生活の場の整備				終期	未定
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	子どもの地域の居場所づくりや子育て支援を目的とした「子ども食堂」を運営する団体に初期費用や運営に係る費用を補助する。			事業内容 (R1)	子どもたちが放課後等に食事や学習、団らんなどを通じた安心して過ごせる居場所づくりを行う団体に対し、鳴門市子どもの居場所づくり事業補助金を交付する。 ・対象団体 選考会を開催し、補助団体を決定（継続団体については書類審査のみ） ・対象経費（初期経費）備品、消耗品等で施設整備にかかる経費（運営経費）食事提供事業、学習支援事業					
実施方針	①子どもが放課後等に食事、学習、団らん等を通じて安心して過ごせる居場所づくりを実施する者に対し、補助金を交付し、子どもたちが健やかに生活できる環境整備をすすめる。 ②子どもの未来を応援する首長連合の組織ネットワークを活用し、情報収集や国への要望活動を行う。				当初からの変更点					
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	補助団体		-	-	4	4	4	箇所	
	2	参加者数		-	-	800	800	800	人	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	補助団体			-	-	4	4	4	箇所	

事業の実施内容 内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容		他の自治体の取り組みを参考にしながら施策の検討を図る。	①鳴門市子どもの居場所づくり事業補助金の創設 ②選考会を開催し、補助団体を決定	継続	継続
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	2,120	0	2,120	2,039	2,039

事務事業名	子どもの居場所づくり推進事業
-------	----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		子どもたちが放課後等に食事や学習、団らんなどを通した安心して過ごせる居場所づくりを行う団体に対し、鳴門市子どもの居場所づくり事業補助金を交付した。 ・市内で子どもの居場所を設置しようとする団体からの企画提案書を受け、選考会を開催し、補助団体を決定した。 ・令和元年度は1か所。6月以降毎月1回、子ども食堂と学習支援を実施した。大人と子どもを合わせて延べ451名が参加した。 (令和2年3月は新型コロナウイルス感染防止のため中止とした)					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	補助団体	-	1	4	4	4	箇所
	2	参加者数	-	451	800	800	800	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	補助団体		-	1	4	4	4	箇所
	目標達成率(実績/目標)			25.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		0	0	362,382	0	362,382	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		0	0	362,382	0	362,382	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	補助団体		成果指標に対する所見	地域における居場所の確保を提供してくれる団体の協力が必要不可欠な事業であり、実施箇所数の増加を図るため、今後も広く事業を周知する必要がある。		
	目標	4	箇所				
	実績	1	箇所				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	同一団体への補助は3回までとしているため、補助対象年度終了後は、運営をするための新たな財源の確保が必要となり、フードバンクを活用したり、地域住民から余剰食材を提供してもらえるようなつながりを作っていくことが必要とされる。また、継続して実施するためにはボランティアスタッフの確保も課題となる。新型コロナウイルス感染症や食中毒の対策も必要とされ、子ども食堂や居場所支援について、子どもの未来を応援する首長連合の加盟団体が実施しているワークショップ等で、情報収集をしながら、実施団体へ情報提供を行っていく。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	実施団体と連携し、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策や食中毒発生防止など安全面に気を配りながら、事業を実施する。				
	令和3年度	継続して事業を実施する。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.78

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	第2期鳴門市子ども・子育て支援事業計画策定事業		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課 幼保連携推進室		
総合計画体系					根拠法令計画など	子ども・子育て支援法		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業期間	開始	平成 30 年度	
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと						
(小項目)		子どものまち						
施策	1	地域で子どもを育てる活動支援						
基本事業	1	まちぐるみの子育て支援				終期	～令和元年度	
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無								
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求								

◎事業概要(PLAN)

目的		平成27年3月策定の「鳴門市子ども・子育て支援事業計画」が令和2年3月末をもって終了することから、国の動向及び第1期計画における成果と課題を十分に踏まえながら、引き続き、子ども・子育て支援制度を効果的に推進していくことを目的に、第2期計画を策定する。		事業内容(R1)	ニーズ調査結果を分析し、第2期鳴門市子ども・子育て支援事業計画を年度内に策定する。 計画策定に際しては、鳴門市児童福祉審議会を開催し、計画内容について調査・審議を行う。					
実施方針		①就学前児童及び小学3年生までの児童の保護者を対象にニーズ調査を行い、子ども・子育てに関する市民の実態とニーズを把握する。 ②有識者や教育・保育の関係者、市民等で構成された鳴門市児童福祉審議会に諮り、計画内容について調査・審議を行う。 ③パブリックコメントを実施し、幅広く市民の意見を聴取、反映する。			当初からの変更点					
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	鳴門市児童福祉審議会開催回数		-	2	5	2	2	回	
	2									
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	第2期鳴門市子ども・子育て支援事業計画の策定			-	20	100	-	-	%	

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	-	①鳴門市児童福祉審議会の開催 ②ニーズ調査の実施	①鳴門市児童福祉審議会の開催 ②パブリックコメントの実施 ③第2期計画の策定	-	-
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	2,878	0	2,878	0	0

事務事業名	第2期鳴門市子ども・子育て支援事業計画策定事業
-------	-------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①第2期計画をより質の高いものとするため、応募型プロポーサル方式により専門事業者と計画策定支援業務の委託契約を締結し、ニーズ調査結果の分析や課題の抽出などの支援を受けた。 ②広く有識者、関係団体及び子育て当事者の意見を第2期計画に反映させるために、鳴門市児童福祉審議会を4回開催し、計画内容について調査・審議を行った。 ③第2期計画素案について、幅広く市民の意見を聴取、反映するためパブリックコメントを実施した。 ④令和2年3月に第2期鳴門市子ども・子育て支援事業計画を策定した。					
	指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	鳴門市児童福祉審議会開催回数	2	4	2	2	2	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	第2期鳴門市子ども・子育て支援事業計画の策定		20	100	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		1,667,220	0	2,536,150	0	2,536,150	
	財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	1,667,220	0	2,536,150	0	2,536,150	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		完了		事業全体の進捗状況		-
成果指標に対する評価	指標名	第2期鳴門市子ども・子育て支援事業計画の策定		成果指標に対する所見	第2期鳴門市子ども・子育て支援事業計画を年度内に策定することができ、目標を達成できた。策定に際しては、児童福祉審議会の開催やパブリックコメントを実施するなど本市の実情に即した計画内容となるよう精査した。	
	目標	100	%			
	実績	100	%			
	評価	A:目標を達成できた				

◎今後の方向性(ACTION)

課題						
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充		
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度					
	令和3年度					

各実施計画兼評価シート

経 済 建 設 部

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	市営住宅改善事業	担当部署	経済建設部まちづくり課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市公営住宅長寿命化計画			
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間	開始	平成 18 年度		
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと				終期	未定	
(小項目)		居住環境						
施策	1	良好な居住環境の整備						
基本事業	1	住宅ストックの有効活用						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無							<input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無	<input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求							<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求	

◎事業概要(PLAN)

目的		今後も既存市営住宅を効率的に活用していくため、計画的な施設の改修を行っていく。		事業内容 (R1)	桑島第二団地B棟外部改修工事 矢倉団地A・B棟共有階段手摺設置工事					
実施方針		外壁改修等の改修は、市営住宅やその周辺の住環境を向上させるばかりでなく、今後の管理・修繕費を低減させる効果があるため、効果的な改修を実施する。 住宅入居者の高齢化が進行しているため、維持管理団地について共用階段に手摺り設置を行う。			当初からの 変更点	矢倉団地の手摺設置は2棟を予定していたが、国費補助額について減額があったため、A棟、1棟のみの施工に変更した。				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	改修棟数		1	1	1	1	1	棟	
	2									
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	市営住宅ストック改修・耐震診断棟数			1	1	1	1	1	棟	

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定) 内容	矢倉団地K棟外部改修工事	①桑島第二団地A棟外部改修工事 ②矢倉団地G・H棟共有階段手摺設置工事	①桑島第二団地B棟外部改修工事 ②矢倉団地A棟共有階段手摺設置工事	①明神第二団地外部改修工事 ②矢倉団地B～F棟共有階段手摺設置工事	高島団地A棟外部改修工事

事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計		52,850	760	53,610	56,540

【実績ベース】

【実績ベース】

◎評価(CHECK)

◎今後の方向性(ACTION)

課題	長寿命化計画の定める方向性に従い、外部改修工事等を計画的に実施し、建物の長寿命化及び設備の更新を進めていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	明神第二団地外部改修工事 矢倉団地B～F棟共有階段手摺設置工事			
	令和3年度	高島団地A棟外部改修工事			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.80

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	木造住宅耐震化促進事業		担当部署	経済建設部 まちづくり課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	社会資本整備総合交付金交付要綱	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			事業 期間	開始	平成 16 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと					
(小項目)		居住環境					
施策	1	良好な居住環境の整備					
基本事業	2	安全で安心な居住環境の整備					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	市民の防災意識の向上を図るとともに、大地震における住宅の倒壊等による被害を軽減し、災害に強いまちづくりを推進するため、耐震改修等を実施する市民に対し、その経費の一部について補助を行う。			事業 内容 (R1)	耐震診断100戸、補強計画10戸、耐震改修15戸、簡易耐震リフォーム15戸、耐震シェルター設置3戸、住宅の住替え5戸の助成を行う。				
実施方針	耐震診断の結果、評点が1.0未満の「倒壊する可能性がある」と判定された住宅の耐震改修、簡易耐震リフォーム、耐震シェルター設置支援及び評点が0.7未満の「倒壊する可能性が高い」と判定された住宅の住替えを支援し、耐震化を促進する。				当初からの 変更点	—			
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	木造住宅耐震診断等		55	71	110	76	76	戸
	2								
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	地震に強い安全な住宅への改修に着手した戸数			9	15	15	19	19	戸
事業の実 施内容推 移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
	各年度の実施 (予定)内容	①広報なると及び公式 ウェブサイト掲載などによる周知 ②戸別訪問などによる啓 発	①広報なると及び公式 ウェブサイト掲載などによる周知 ②戸別訪問などによる啓 発	継続	継続	継続			
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度			
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額					
	計	36,832	16,218	53,050	36,700	36,700			

事務事業名	木造住宅耐震化促進事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①広報なると及び公式ウェブサイト等に掲載し、事業実施をお知らせした。 ②戸別訪問による事業の説明やイベント等で相談会を設けたりチラシを配布するなど、啓発活動を実施した。 ③住宅安心リフォーム補助金も工事内容が重複しなければ併用することができ、負担が少なくできることを案内した。 ④耐震改修の補助上限額を引き上げたことをPRした。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	木造住宅耐震診断等	71	51	76	76	76	戸
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	地震に強い安全な住宅への改修に着手した戸数		15	11	19	19	19	戸
	目標達成率(実績/目標)			73.3				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額		決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		18,465,736	13,038,000	11,581,749	6,580,000	31,199,749	
	財源内訳	国庫支出金		2,569,000	6,069,000	5,478,000	3,040,000	14,587,000
		県支出金		6,481,250	3,634,500	3,158,500	1,820,000	8,613,000
		地方債		0	0	0	0	0
		使用料・手数料		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	一般財源		9,415,486	3,334,500	2,945,249	1,720,000	7,999,749	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		-	
成果指標に対する評価	指標名	地震に強い安全な住宅への改修に着手した戸数		成果指標に対する所見	成果指標である耐震改修について、実績戸数が目標戸数を下回ったため概ねの目標達成とし、B評価としたい。		
	目標	15	戸				
	実績	11	戸				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和元年度における補助事業(耐震改修)については、概ね目標を達成できた。一方、徳島県耐震改修促進計画及び鳴門市耐震改修促進計画において耐震化率100%を目指しているが、このままの推移でいくと目標達成には時間を要する状況である。 このことから、今後も耐震化支援事業の申し込み状況等を踏まえた予算配分を検討するなど、多くの方に事業を活用していただけるような取り組みが必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	戸別訪問等での啓発活動を実施し、耐震改修等に乗せ補助を拡充したことなどをPRするとともに、市広報誌や公式ウェブサイト等により補助制度を周知し、耐震化の促進に努める。			
	令和3年度	戸別訪問や自主防災会総会等での啓発活動を実施し、耐震改修等に乗せ補助を拡充したことなどをPRするとともに、市広報誌や公式ウェブサイト等により補助制度を周知し、耐震化の促進に努める。			

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	住宅安心リフォーム支援事業		担当部署	経済建設部 まちづくり課	
総合計画体系					根拠法令計画など		
基本政策(大項目)		3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間	開始	平成 <div>▼</div> 26 年度
政策(中項目)		2	快適に暮らせるまちなると				
(小項目)			居住環境				
施策		1	良好な居住環境の整備				
基本事業		2	安全で安心な居住環境の整備			終期	未定 <div>▼</div>
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	住宅・住環境の向上と良好な住宅ストック形成の促進を図るとともに、市民の消費活動と雇用機会の創出を促し地域経済の活性化を図る。		事業内容(R1)	補助率20%、補助限度額20万円で40戸の募集を行い、予算の範囲内で追加募集を行う。				
実施方針	市内に住民登録を行い、市税の滞納がない者。補助金の交付を受けようとする者の世帯全員の前年度所得合計金額が550万円未満の者などを対象に、住宅リフォーム経費を助成する。			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	広報誌等掲載	3	1	2	2	2	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	リフォーム実施戸数		49	44	40	40	40	戸
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	各年度の実施(予定)内容	広報誌や公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度を周知した。	広報誌や公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度を周知した。	継続	継続	継続		
事業費推移(千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度		
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額				
	計	8,014	0	8,014	8,014	8,014		

事務事業名	住宅安心リフォーム支援事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容	広報誌や公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度を周知した。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	広報誌等掲載	1	2	2	2	2	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	リフォーム実施戸数		44	45	40	40	40	戸
	目標達成率(実績/目標)			112.5	－	－	－	%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		7,887,334	0	7,812,816	0	7,812,816	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		7,887,334	0	7,812,816	0	7,812,816	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	リフォーム実施戸数		成果指標に対する所見	実施戸数が目標戸数を上回った。		
	目標	40	戸				
	実績	45	戸				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	目標戸数を上回る申し込みがあったが、今後は減少することも考えられるため、申込数の確保に向けた取り組みを継続する必要がある。								
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持		4.拡充		3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。									
実施内容	令和2年度	広報誌や公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度の周知に努める。申し込み方法を検討し、申請者の負担軽減を図る。							
	令和3年度	R2年度の課題を改善し、取り組みを進める。							

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	空家等対策事業	担当部署	経済建設部 まちづくり課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	空家等の推進に関する特別措置法		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	平成	26 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと				終期	未定
(小項目)		居住環境					
施策	1	良好な居住環境の整備					
基本事業	2	安全で安心な居住環境の整備					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的		①老朽空き家の除却の促進 ②空家等の適正管理の促進		事業 内容 (R1)	①老朽危険空き家除却支援事業の実施 ②著しく周辺に悪影響を及ぼしている特定空家等への助言・指導、勧告等 ③空き家除却後の跡地の固定資産税減免制度の周知 ④「とくしま回帰」住宅対策総合支援センターと連携した空き家相談会の実施					
実施 方針		①補助制度や減免制度による除却の促進 ②特に緊急を要する危険な空家等の特定空家等への認定・措置 ③所有者等への指導や意識啓発による、適正管理・除却の促進			当初 からの 変更点	R2年度実施予定である特定空き家等の略式代執行のため、工事設計業務を実施				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	広報なると掲載回数		1	1	1	1	1	回	
	2	補助(減免)申請相談人数		35	48	45	45	45	人	
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	除却補助実施戸数			12	12	15	15	15	戸	

事業の実 施内容推 移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①空き家等除却の促進 ②特定空家等の認定・措置 ③空き家等の適正管理・除却の促進	①空き家等除却の促進 ②特定空家等の認定・措置 ③空き家等の適正管理・除却の促進 ④固定資産税減免制度の周知	①空き家等除却の促進 ②特定空家等の認定・措置 ③空き家等の適正管理・除却の促進 ④固定資産税減免制度の周知 ⑤特定空家等の解体設計	①空き家等除却の促進 ②特定空家等の認定・措置 ③空き家等の適正管理・除却の促進 ④固定資産税減免制度の周知 ⑤特定空家等の略式代執行	①空き家等除却の促進 ②特定空家等の認定・措置 ③空き家等の適正管理・除却の促進 ④固定資産税減免制度の周知

事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	9,255	2,995	12,250	26,820	9,299

事務事業名	空家等対策事業
-------	---------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容							①老朽危険空き家除却支援事業を引き続き実施。 ②著しく周辺に悪影響を及ぼしている特定空家等について、助言・指導、勧告等を実施。 ③空き家除却後の跡地の固定資産税減免を周知。 ④「とくしま回帰」住宅対策総合支援センターと連携した空き家相談会を実施。 ⑤R2年度実施予定である特定空き家等の略式代執行のための工事設計業務を実施。
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	広報なると掲載回数	1	1	1	1	1	回
	2	補助(減免)申請相談人数	48	59	45	45	45	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	除却補助実施戸数		12	20	15	15	15	戸
	目標達成率(実績/目標)			133.3				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		6,765,330	0	12,009,800	0	12,009,800	
	財源内訳	国庫支出金	3,344,000	0	4,947,000	0	4,947,000	
		県支出金	1,597,000	0	2,174,000	0	2,174,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	1,824,330	0	4,888,800	0	4,888,800	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	除却補助実施戸数		成果指標に対する所見	募集戸数以上に実施することができた。		
	目標	15	戸				
	実績	20	戸				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①老朽危険空き家除却支援事業は、予算の範囲内でできる限り多く実績を増やしていく必要がある。 ②特定空家等候補についても、特定空家等となる前の段階での解決を目指すため、除却に繋がるよう進めていく必要がある。 ③空き家除却促進のため、空き家除却後の跡地の固定資産税減免やブロック塀等安全対策支援事業等の関連制度の活用について、引き続き周知を行う工夫が必要。										
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持		4.拡充		4		
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。											
実施内容	令和2年度		①老朽危険空き家除却支援事業の目標戸数を15戸とし、制度の周知を図る。 ②特定空家等の候補に対する指導を行う。 ③他の関係団体と連携した空き家相談会等により、意識啓発を行う。								
	令和3年度		R2年度に生じた課題に対し、改善を行う。								

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.83

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	排水機場樋門整備事業		担当部署	経済建設部 土木課	
総合計画体系					根拠法令計画など	河川法	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			事業期間	開始	平成 ▼ 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと				終期	未定 ▼
(小項目)		危機管理・防災					
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進					
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的		浸水被害を最小限に食い止める。 市民生活の安全確保。 住宅への浸水および道路への冠水被害の軽減。		事業 内容 (R1)	1. 長寿命化計画の策定 ①市内全排水機場の修繕計画策定 ②年次毎のロードマップ作成 2. 事業実施 ①立岩区画排水機場施設更新工事 ②明神第一排水機場更新工事 ③木津野排水機場改良工事 ④高島山路排水機場更新工事				
実施 方針		1. 現地調査等や定期点検結果の精査 2. 事業費の算出や計画年次の決定 3. 排水機場長寿命化計画の策定による適正な維持 管理			当初 からの 変更点	詳細な事業費を算出した結果、一部事業費が不足することが、判明し たため補正対応を行った。			
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動 動量を示す指標</small>	1	施設更新基数		1	5	4	4	4	基
	2	目標更新基数		4	4	4	4	4	基
成果指標 <small>対象にどのような効果 があったか示す指 標</small>	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	更新達成率			25	125	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	木津野排水機場水中ポンプ更新工事	①立岩区画排水機場施設更新工事 ②弁財天排水機場水中ポンプ更新工事 ③黒崎排水機場水中ポンプ更新工事 他2件	①立岩区画排水機場直流電源盤更新工事 ②明神第一排水機場更新工事 他2件	①市場排水機場水中ポンプ更新工事 ②大桑島排水機場水中ポンプ更新工事 他2件	長寿命化計画に沿って維持管理
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	230,000	40,447	270,447	230,000	230,000

事務事業名	排水機場樋門整備事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		○立岩区画排水機場直流電源盤更新工事 ○明神第一排水機場更新工事 ○木津野排水機場改良工事 ○高島山路排水機場水中ポンプ更新工事 ●鳴門市排水機場長寿命化計画(関連事業)					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	施設更新基数	5	4	4	4	4	基
	2	目標更新基数	4	4	4	4	4	基
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	更新達成率		125	100	100	100	100	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		236,933,600	52,111,120	124,290,440	93,156,560	269,558,120	
	財源内訳	国庫支出金	27,491,000	0	7,872,000	11,808,000	19,680,000	
		県支出金	13,500,000	0	0	0	0	
		地方債	178,800,000	45,200,000	111,700,000	57,300,000	214,200,000	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		17,142,600	6,911,120	4,718,440	24,048,560	35,678,120	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	更新達成率		成果指標に対する所見	必要な維持・改良は実施できている。今後も引き続き計画的に維持・改良を実施していく。		
	目標	100	%				
	実績	100	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	ポンプ1基を更新する費用は莫大である。このため、社会資本整備総合交付金を活用していた。しかし、採択基準の見直しや要望に対する交付率の低下が懸念されている。今年度は、初めて新たな交付金事業(緊急自然災害防止事業債)に着手した。今後も、計画的で戦略的な維持管理を行うためにも、様々な方策を模索していく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	○明神第四排水機場改良工事 ○大桑島排水機場水中ポンプ更新工事 ○市場排水機場水中ポンプ更新工事 ○林崎第一排水機場施設更新工事 ●鳴門市排水機場長寿命化計画(参考)			
	令和3年度	○長寿命化計画で策定された計画に基づき実施			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.84

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	道路照明LED化事業		担当部署	経済建設部 土木課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	道路法 等	
基本政策(大項目)		3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業 期間	開始	令和 年度
政策(中項目)		2	快適に暮らせるまち なんと			終期	～令和元年度
(小項目)			道路				
施策		4	安全で快適な道路の整備				
基本事業		2	道路環境の整備				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的			事業 内容 (R1)	○鳴門市道路照明灯等LED化事業					
実施 方針				当初 からの 変更点	リース事業開始を年度内に想定していたが、年度末の完了となった。 このため、リース事業開始を次年度としたことから、年度内予算の減 額補正を行った。				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活 動量を示す指標	1	取替数				4,713			基
	2	取替対象数				4,713			基
成果指標 対象にどのような効 果があったか示す指 標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	更新率					100			%

事業の実 施内容推 移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容			市内全ての道路照明灯 等をLED化	リース事業による維持 管理	リース事業による維持 管理
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	27,500	△ 27,500	0	27,500	26,620

事務事業名	道路照明LED化事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	○鳴門市道路照明灯等LED化事業					
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	取替数	4,713				基
	2	取替対象数	4,713				基
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	更新率		100				%
	目標達成率(実績/目標)		100.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計			0	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0
		県支出金		0	0	0	0
		地方債		0	0	0	0
		使用料・手数料		0	0	0	0
		その他		0	0	0	0
		一般財源		0	0	0	0

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	更新率		成果指標に対する所見	市内全ての道路照明灯等をLED化することができた。今後は、リース事業の対象として維持管理がスタートする。また、電気代の削減にも注視したい。		
	目標	100	%				
	実績	100	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	市内全ての道路照明灯等をLED化。今後は、リース事業として10年間は維持管理が行われる。10年後に市へ移管された場合に、どのような維持管理を行っていくか。また、耐用年数を迎える時期に再度事業を実施するかどうか。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	○リース事業開始			
	令和3年度	○リース事業継続			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	道路橋梁長寿命化事業		担当部署	経済建設部 土木課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	道路法	
基本政策(大項目)		3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業 期間	開始	平成 24 年度
政策(中項目)		2	快適に暮らせるまち なんと			終期	
(小項目)			道路				
施策		4	安全で快適な道路の整備				
基本事業		3	橋梁の整備				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的		既設橋梁は高度経済成長期に大量建設されており、今後急速に、老朽化が進んでいくことが現状である。このため、老朽化した橋梁の事後的な修繕・架替から、予防的な修繕・更新へと政策転換し、橋梁の延命化を図ることを目的とする。		事業 内容 (R1)	① 橋梁定期点検 ② 橋梁長寿命化修繕計画策定 ③ 橋梁長寿命化修繕設計 ④ 橋梁長寿命化修繕工事				
実施 方針		①橋梁の状態を把握するため、5年/回の点検を計画的に実施 ②計画的な修繕工事実施のため、計画の策定 ③計画に基づいた、修繕工事の実施			当初 からの 変更点	道路橋梁長寿命化事業は、防災安全交付金を活用し、行っている事業であるが、令和元年度当初は国からの交付金の内示率が低かったことに伴う減額補正となっている。			
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	橋梁長寿命化修繕計画策定率			40	78	100		%
	2	長寿命化修繕事業の発注橋梁数		8	8	10	14	19	橋
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	主要橋梁健全率			75	80	85	90	93	%

事業の 実施内 容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①橋梁耐震化工事 ②橋梁点検 ③橋梁長寿命化修繕設計 ④橋梁長寿命化修繕工事	①橋梁耐震化工事 ②橋梁点検・計画策定 ③橋梁長寿命化修繕設計 ④橋梁長寿命化修繕工事	①橋梁点検・計画策定 ②橋梁長寿命化修繕設計 ③橋梁長寿命化修繕工事	①橋梁点検・計画策定 ②橋梁長寿命化修繕設計 ③橋梁長寿命化修繕工事	①橋梁点検 ②橋梁長寿命化修繕設計 ③橋梁長寿命化修繕工事
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
	計	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
		311,555	△ 29,000	282,555	309,080	300,000

事務事業名	道路橋梁長寿命化事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		① 橋梁定期点検					
			② 橋梁長寿命化修繕計画策定					
			③ 橋梁長寿命化修繕設計					
			④ 橋梁長寿命化修繕工事					
指標名			平成30元年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	橋梁長寿命化修繕計画策定率	40	78	100			%
	2	長寿命化修繕事業の発注橋梁数	8	10	14	19	17	橋
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	主要橋梁健全率		80	85	90	93	96	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		273,355,720	15,877,080	225,296,940	30,000,000	271,174,020	
	財源内訳	国庫支出金	146,893,000	0	104,010,000	7,150,000	111,160,000	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	99,700,000	0	71,600,000	18,100,000	89,700,000	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	3,489,480	0	5,017,100	0	5,017,100	
	一般財源	23,273,240	15,877,080	44,669,840	4,750,000	65,296,920		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	主要橋梁健全率		成果指標に対する所見	主要橋梁の健全率については、実績が目標を満たすことができた。		
	目標	85	%				
	実績	85	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本事業は長寿命化修繕計画に基づき、老朽化橋梁の延命化を図っているが、PCB特措法により、PCBが含有した塗膜を使用している橋梁については、その塗膜を令和8年度までに処分しなければならないとされているため、老朽化対策に加え、計画的に対応を行う必要がある。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化対策を行うとともに、PCB対策にも取り組む。				
	令和3年度	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化対策を行うとともに、PCB対策にも取り組む。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.86

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	河川改良事業		担当部署	経済建設部 土木課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	河川法	
基本政策(大項目)		3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業 期間	開始	昭和 <div>▼</div> 不明 年度
政策(中項目)		3	身近に自然を体感できるまち なんと				
(小項目)			河川・海岸			終期	未定 <div>▼</div>
施策		4	自然環境に配慮した水辺空間の整備				
基本事業		1	河川整備				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的		市内の準用河川・普通河川の改良を行うことにより、以下の目的を達成する。 1.浸水被害を最小限に食い止める。 2.市民生活の安全確保 3.護岸崩壊や吸出しから背後地を守る。		事業内容 (R1)	1. 実施事業内容 ①南浜排水路改良工事 ②立岩排水路改良工事 ③徳長排水路改良工事 ④三ツ石地区排水路改良工事 ⑤島田川河川改良工事 ⑥粟田排水路改良工事 ⑦高島大水尾川河川改良工事 ⑧三ツ石護岸改良工事 ⑨大須地区排水路改良工事				
実施方針		1. 現地調査等や住民要望を集約し優先順位をつける 2. 事業費の算出や計画年次の決定			当初からの 変更点				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	事業要望箇所数		9	9	10	10	10	箇所
	2	事業実施箇所数		9	9	9	10	10	箇所
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	市民要望着手率			100	100	90	100	100	%

事業の実 施内容推 移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①南浜排水路改良工事 ②立岩排水路改良工事 ③徳長排水路改良工事 他6件	①南浜排水路改良工事 ②立岩排水路改良工事 ③徳長排水路改良工事 他6件	①南浜排水路改良工事 ②立岩排水路改良工事 ③徳長排水路改良工事 他6件	①要望箇所実施	継続実施
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	13,000	0	13,000	13,000	13,000

事務事業名	河川改良事業
-------	--------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		南浜排水路改良工事 三ツ石地区排水路改良工事 三ツ石地区排水路改良工事(その2) 明神護岸嵩上工事 立岩排水路改良工事 島田地区護岸改良工事 栗田排水路改良工事 徳長排水路改良工事 三ツ石護岸改良工事							計 9箇所 総工事費 12,996,180円	
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位			
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	事業要望箇所数	9	10	10	10	10	箇所			
	2	事業実施箇所数	9	9	10	10	10	箇所			
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	市民要望着手率		100	90	100	100	100	%			
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%			
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算							
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額		最終事業費			
	計		14,171,760	0	12,996,180	0		12,996,180			
	財源内訳	国庫支出金		0	0	0		0			
		県支出金	0	0	0	0		0			
		地方債	12,700,000	0	10,900,000	0		10,900,000			
		使用料・手数料	0	0	0	0		0			
		その他	0	0	0	0		0			
一般財源		1,471,760	0	2,096,180	0		2,096,180				

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	市民要望着手率		成果指標に対する所見	要望に対して、ほぼ事業に着手ができた。今後も市民要望を可能な限り達成していきたい。		
	目標	100	%				
	実績	90	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	市内には未整備水路(普通河川)が多く市街化が進み、生活雑排水の流入による生活環境悪化と排水能力の低下が進み、周辺住民からの整備要望が強い。このため、将来にわたり計画性・実行性のある事業を実施する必要がある。										
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持		4.拡充		3		
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。											
実施内容	令和2年度		地域住民の要望を聞き取り、現地調査を実施し計画的に改良・維持に努める。								
	令和3年度		地域住民の要望を聞き取り、現地調査を実施し計画的に改良・維持に努める。								

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.87

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	公共下水道維持管理事業(雨水)		担当部署	経済建設部 下水道課	
総合計画体系					根拠法令計画など	都市計画法・下水道法・鳴門市下水道条例	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			事業期間	開始	昭和 43 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと					
(小項目)		危機管理・防災					
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進					
基本事業	3	防災施設・資器材等の整備			終期	未定	
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的		台風・大雨時における市街地の浸水被害を未然に防止し、市民生活の機能維持と安全確保を図る。		事業内容 (R1)	①管路施設ストックマネジメント計画の策定に取り組む ②撫養排水区の長寿命化計画に基づき、優先度の高い管渠について長寿命化工事を実施する。				
実施方針		優先度の高い施設から耐震化、長寿命化を推進し、災害の未然防止や、施設の円滑な維持管理に努める。また、施設の適正な維持管理を図るため、ストックマネジメント計画の策定に取り組む。			当初からの変更点				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	管渠の耐震化・長寿命化割合		60	61	80	85	85	%
	2	ポンプ場の耐震化・長寿命化割合		4	18	18	18	32	%
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	ポンプ場および管きょ等の耐震化長寿命化割合			33	42	52	54	61	%

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	撫養ポンプ場の津波・耐震対策事業を実施	①撫養ポンプ場の津波・耐震対策事業を実施 ②優先度の高い管渠等の長寿命化工事を実施	①ストックマネジメント計画の策定に取り組む ②優先度の高い施設の耐震化長寿命化に取り組む	①ストックマネジメント計画の策定に取り組む ②優先度の高い施設の耐震化長寿命化に取り組む	①ストックマネジメント計画の策定に取り組む ②優先度の高い施設の耐震化長寿命化に取り組む
	事業費推移(千円)	年度	令和元年度		令和2年度	令和3年度
			当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額	
	計	100,322	71,302	171,624	100,331	100,331

事務事業名	公共下水道維持管理事業(雨水)
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容		国庫補助金(防災・安全社会資本整備交付金)を活用して、ストックマネジメント計画の策定に取り組むとともに、優先度の高い老朽管きよの長寿命化工事を実施した。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	管渠の耐震化・長寿命化割合		61	73	85	85	85	
	2	ポンプ場の耐震化・長寿命化割合		18	18	19	33	43	
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	ポンプ場および管きよ等の耐震化長寿命化割合			42	48	55	61	66	%
	目標達成率(実績/目標)				92.3				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算					
				前年度からの繰越決算額	決算額		令和2年度への繰越額		最終事業費
	計		116,483,846	57,801,760	44,550,135		55,720,800		158,072,695
	財源内訳	国庫支出金	58,099,400	28,900,600	22,140,000		27,860,000		78,900,600
		県支出金	0	0	0		0		0
		地方債	58,100,000	28,200,000	12,800,000		25,700,000		66,700,000
		使用料・手数料	0	0	0		0		0
		その他	0	0	0		0		0
	一般財源		284,446	701,160	9,610,135		2,160,800		12,472,095

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	ポンプ場および管きよ等の耐震化長寿命化割合		成果指標に対する所見	ストックマネジメント計画に着手するとともに、管きよの長寿命化工事が進捗したためB評価とした。		
	目標	52	%				
	実績	48	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現在、施設の長寿命化に着手しているのは撫養排水区のみである。今後は他の排水区である撫養西部排水区、高島排水区も同様に老朽化が課題となっている。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	今後、施設の適正な維持管理を図るためストックマネジメント計画の策定を行うとともに、優先度の高い施設から耐震化、長寿命化を推進し、災害の未然防止や、施設の円滑な維持管理に努める。			
	令和3年度	今後、施設の適正な維持管理を図るためストックマネジメント計画の策定を行うとともに、優先度の高い施設から耐震化、長寿命化を推進し、災害の未然防止や、施設の円滑な維持管理に努める。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.88

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	公共下水道事業(汚水)		担当部署	経済建設部 下水道課		
総合計画体系					根拠法令計画など	都市計画法・下水道法・鳴門市下水道条例		
基本政策(大項目)		3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間	開始	平成	13 年度
政策(中項目)		3	身近に自然を体感できるまち なんと			終期		
(小項目)			生活排水対策					
施策		3	生活排水対策の推進					
基本事業		1	公共下水道事業の推進					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無								
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求								

◎事業概要 (PLAN)

目的			下水道の整備を進めることにより、地域の生活環境や公共用水域の水質改善を図る。		事業内容 (R1)	汚水事業 ①第2期事業計画区域のうち、小桑島、大桑島、斎田、黒崎地区の整備を進める。 ②第3期事業計画区域の整備に着手する。				
実施方針			国庫補助金(社会資本整備総合交付金)を最大限に活用しながら、下水道整備を進めていく。			当初からの変更点				
指標名					平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	整備面積			156.4	159.8	171.6	179.2	186.8	ha
	2									
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	下水道普及率				9.7	10.1	10.8	11.3	11.7	%

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	第2期事業区域の整備を進める。	第2期事業区域の整備を進める。	第2期事業区域の整備を進め、第3期事業計画区域の整備に着手する。	第2期事業区域及び第3期事業区域の整備を進める。	第3期事業区域の整備を進める。
事業費推移(千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	306,426	197,858	504,284	341,368	341,368

事務事業名	公共下水事業(汚水)
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容		令和元年度実施内容		国庫補助金(社会資本整備総合交付金)を活用して、下水道整備にかかる管渠築造工事・舗装復旧工事を実施するとともに第三期事業計画の事業認可を取得した。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	整備面積		159.8	168.9	179.2	186.8	194.4	ha
	2								
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	下水道普及率			10.1	10.7	11.3	11.7	12.2	%
	目標達成率(実績/目標)				99.1				%
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
		計		267,076,037	165,776,060	89,827,119	245,584,043	501,187,222	
		財 源 内 訳	国庫支出金	98,030,420	60,000,000	20,173,870	107,850,000	188,023,870	
			県支出金	0	0	0	0	0	
			地方債	162,900,000	98,200,000	21,000,000	129,300,000	248,500,000	
			使用料・手数料	0	0	0	0	0	
			その他	6,136,000	5,651,817	2,989,318	8,354,782	16,995,917	
一般財源		9,617	1,924,243	45,663,931	79,261	47,667,435			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	下水道普及率		成果指標に対する所見	目標である下水道普及率の達成状況や有効性・効率性からB評価とした。		
	目標	10.8	%				
	実績	10.7	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今後も事業を推進するために、国庫補助等の財源確保を行うことが重要であり、課題となっている。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	国庫補助金(社会資本整備総合交付金)の内示額を基準とした事業規模で、下水道整備を進めていく。			
	令和3年度	国庫補助金(社会資本整備総合交付金)の内示額を基準とした事業規模で、下水道整備を進めていく。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.89

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	下水道普及促進事業	担当部署	経済建設部 下水道課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	都市計画法、下水道法、鳴門市下水道条例、鳴門市下水道普及促進対策助成金交付要綱	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業 期間	開始	平成 ▼ 13 年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なんと				
(小項目)		生活排水対策				
施策	3	生活排水対策の推進				
基本事業	2	公共下水道水洗化率の向上			終期	未定 ▼
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要 (PLAN)

目的		①環境衛生の向上及び都市の健全な発達、公共用水域の水質の保全に資する。 ②使用料収入の早期確保により、下水道事業の健全経営を実現		事業 内容 (R1)	①下水道接続工事の実施者への助成金の交付 ②普及促進員による水環境に関する普及啓発の実施				
実施方針		①下水道接続工事を実施する方へ助成金の交付 ②下水道供用開始区域に対し、普及促進員によるサポートを実施し、水環境に関する普及啓発に取り組む。 ③下水道水洗化率(加入率)の向上を図り、健全経営を図る。			当初からの 変更点	令和2年度から公営企業会計を導入するにあたり、令和元年度に打ち切り決算をするため、減額補正をした。			
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	下水道接続人口		2,160	2,263	2,219	2,343	2,461	人
	2								
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	水洗化率(加入率)			38.1	38.9	36.1	36.7	37.3	%

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施（予定）内容	①下水道接続工事の実施者への助成金の交付 ②普及促進員による水環境に関する普及啓発の実施	①下水道接続工事の実施者への助成金の交付 ②普及促進員による水環境に関する普及啓発の実施	①下水道接続工事の実施者への助成金の交付 ②普及促進員による水環境に関する普及啓発の実施	①下水道接続工事の実施者への助成金の交付予定 ②普及促進員による水環境に関する普及啓発の実施予定	①下水道接続工事の実施者への助成金の交付予定 ②普及促進員による水環境に関する普及啓発の実施予定
事業費推移（千円）	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	17,000	△ 3,936	13,064	17,000	17,000

事務事業名	下水道普及促進事業
-------	-----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容							下水道接続工事を実施に対し助成金を交付した。また、供用開始区域内にお住まいの市民に、普及推進員による戸別訪問を通して、下水道の接続に係る助成制度の内容や水環境について説明し、下水道への早期接続をお願いした。						
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位						
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	下水道接続人口		2,263	2,478	2,343	2,461	2,580	人						
	2														
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	水洗化率(加入率)			38.9	41.1	36.7	37.3	38.0	%						
	目標達成率(実績/目標)				113.9				%						
事業費推移(円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算										
					前年度からの繰越決算額		決算額		令和2年度への繰越額		最終事業費				
		計		10,939,160	0	10,703,960		0		10,703,960					
		財源内訳	国庫支出金		5,469,580	0	5,351,980		0		5,351,980				
			県支出金		0	0	0		0		0				
			地方債		0	0	0		0		0				
			使用料・手数料		0	0	0		0		0				
			その他		0	0	0		0		0				
一般財源		5,469,580	0	5,351,980		0		5,351,980							

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	水洗化率(加入率)		成果指標に対する所見	職員による周知啓発だけでなく、国庫補助金制度を活用したサポート事業により、効率性は高くなっている。 また、グループ申請制度の周知・普及により、下水道への接続者は増加しており、水洗化率の目標を達成することができた。		
	目標	36	%				
	実績	41	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今後とも更なる普及促進に向けて、助成金制度（グループ申請制度）の周知や水環境に関する啓発を行いながら、下水道事業に対する理解を得る必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	今後も下水道事業に対する理解を得ながら、水環境についての啓発や、助成金制度の周知に努める。			
	令和3年度	今後も下水道事業に対する理解を得ながら、水環境についての啓発や、助成金制度の周知に努める。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.90

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	合併処理浄化槽普及促進事業		担当部署	経済建設部 下水道課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	水質汚濁防止法、循環型社会形成推進交付金交付要綱、徳島県浄化槽整備事業補助金交付要綱、鳴門市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱、鳴門市環境基本計画	
基本政策(大項目)		3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間	開始	平成 5 年度
政策(中項目)		3	身近に自然を体感できるまち なんと			終期	未定
(小項目)			生活排水対策				
施策		3	生活排水対策の推進				
基本事業		3	合併処理浄化槽の普及促進				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	①生活環境の改善と水環境の保全 ②合併処理浄化槽の普及		事業 内容 (R1)	前年度と同様に、補助事業を実施するとともに、水環境の改善や単独処理浄化槽・合併処理浄化槽の違いや転換への補助制度など生活排水処理に関する内容について、広報なると等を通じて、啓発活動に努めた。				
実施方針	①合併処理浄化槽への転換補助の実施 ②汚水処理人口普及率の向上を図る。			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	転換補助申請受付数	29	29	29	29	29	基
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	転換補助基数		14	26	29	29	29	基

事業の実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①合併処理浄化槽への転換に係る補助事業の実施。 ②普及啓発活動として、市庁舎での啓発展示、鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示等を実施。 ③県環境技術センターと連携し、単独処理浄化槽の法定点検時や、市内量販店において啓発パンフレットの配布。	①合併処理浄化槽への転換に係る補助事業の実施。 ②普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示、鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示等を実施。 ③県環境技術センターと連携し、啓発パンフレットを配布。	①合併処理浄化槽への転換に係る補助事業の実施。 ②普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示、鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示等を実施。 ③「鳴門のまつり」の時、啓発パンフレットを配布。	①既存の合併処理浄化槽への転換に係る補助事業に加え、補助金の新設と増額改定を実施予定。 ②普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示、鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示等を実施予定。	①既存の合併処理浄化槽への転換に係る補助事業に加え、前年度に新設・増額改定した補助金を継続実施予定。 ②普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示、鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示等を実施予定。 ③県環境技術センターと連携し、啓発パンフレットを配布予定。
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計		10,906	△ 4,790	6,116	17,439

事務事業名	合併処理浄化槽普及促進事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容		前年度と同様に、合併処理浄化槽への転換に係る補助事業を実施した。また、普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示。鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示。「鳴門のまつり」の時には、啓発パンフレットの配布を実施した。							
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位		
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	転換補助申請受付数		26	14	29	29	29	基		
	2										
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	転換補助基数			26	14	29	29	29	基		
	目標達成率(実績/目標)				48.3				%		
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算							
				前年度からの繰越決算額		決算額		令和2年度への繰越額		最終事業費	
	計		9,446,204	0	5,310,912		0		5,310,912		
	財源内訳	国庫支出金		1,873,000	0	4,281,000		0		4,281,000	
		県支出金		2,456,000	0	1,108,000		0		1,108,000	
		地方債		0	0	0		0		0	
		使用料・手数料		0	0	0		0		0	
		その他		0	0	0		0		0	
一般財源		5,117,204	0	△ 78,088		0		△ 78,088			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	転換補助基数		成果指標に対する所見	転換のタイミングとしては、既存の単独処理浄化槽が壊れた時、家族構成やライフスタイルの変更によるリフォーム時に実施される場合が多いが、R1年度は例年に比べ件数が少なかった。 令和2年度からは、既存の補助制度の増額や、新たな国の制度を活用し、配管工事費の補助制度を新設し、それを実施していくことで、普及促進に向けた取り組みを強化し、目標に近づきよう転換補助基数を増やしていく。		
	目標	29	基				
	実績	14	基				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	汚水処理人口普及率の向上に向け、個別処理の大半を占める単独処理浄化槽等を合併処理浄化槽に転換していく必要があるが、転換には多額の個人負担を伴うことや、各家庭における設置スペース等の確保が困難な場合もあり、事業促進は容易ではない。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	水環境の改善に向けて、生活排水処理対策の推進や、合併処理浄化槽への転換の必要性等について、広報紙への折り込みなど、積極的に啓発活動に取り組んでいく。			
	令和3年度	令和2年度と同様に、補助事業の推進と啓発活動に積極的に取り組んでいく。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.91

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ドイツ村公園整備事業		担当部署	経済建設部 公園緑地課	
総合計画体系					根拠法令計画など	都市公園法・都市計画法	
基本政策(大項目)		3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間	開始	昭和 <div>▼</div> 51 年度
政策(中項目)		3	身近に自然を体感できるまち なんと				
(小項目)			公園・緑地			終期	未定 <div>▼</div>
施策		2	緑の保全と創出				
基本事業		1	公園の整備				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的		①第一次世界大戦当時のドイツ兵との交流の歴史を後世に伝えるためにドイツ村公園の整備を行う		事業内容(R1)	ドイツ村公園の環境整備 ①LED照明設置工事 ②ボランティア委託による管理 ③板東俘虜収容所跡環境改善				
実施方針		1. ドイツ村公園の環境整備			当初からの変更点				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	生涯学習人権課協議		4	4	4	4	4	回
	2	文化交流推進課協議		4	4	4	4	4	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	整備事業進捗率			75	75	80	80	80	%

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①LED照明設置工事 ②ボランティアによる管理 ③収容所跡環境改善	①LED照明設置工事 ②ボランティアによる管理 ③収容所跡環境改善	①LED照明設置工事 ②ボランティアによる管理 ③収容所跡環境改善	①ボランティアによる管理 ②収容所跡環境改善	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	5,867	130	5,997	1,923	1,923

事務事業名	ドイツ村公園整備事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果 (DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容							平成30年10月15日付け官報で板東俘虜収容所跡が国指定史跡に指定されたことから、国の史跡にふさわしい環境整備を行うために美化事業を実施した。			
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位				
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	生涯学習人権課協議	4	4	4	4	4	回				
	2	文化交流推進課協議	4	4	4	4	4	回				
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	整備事業進捗率		75	75	80	80	80	%				
	目標達成率(実績/目標)			93.8				%				
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算								
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費					
	計		4,629,655	0	5,996,738	0	5,996,738					
	財源内訳	国庫支出金	491,827	0	0	0	0					
		県支出金	0	0	0	0	0					
		地方債	0	0	0	0	0					
		使用料・手数料	0	0	0	0	0					
		その他	0	0	0	0	0					
	一般財源		4,137,828	0	5,996,738	0	5,996,738					

◎評価 (CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	整備事業進捗率		成果指標に対する所見	地元民間団体の協力を得て、公園内を良好な状態に維持管理することができた。		
	目標	80	%				
	実績	75	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	昭和51年度に総合公園として都市計画決定され、国土交通省の補助事業で整備している。54.3haの内、現在は10.6haが供用開始されている。基本的には実施基本計画の考え方によるが、今後の整備については、社会情勢や公園のニーズなどをもとに総合的に再度検討を加える。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	清掃活動について民間団体との協議を行い、観光資源としての魅力を維持できるように努める。			
	令和3年度	清掃活動について民間団体との協議を行い、観光資源としての魅力を維持できるように努める。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.92

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	鳴門ウチノ海総合公園活用推進事業		担当部署	経済建設部 公園緑地課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	徳島県鳴門ウチノ海総合公園・徳島県鳴門総合運動公園の管理運営に関する基本協定・年度協定	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			事業期間	開始	平成 ▼ 15 年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なんと					
(小項目)		公園・緑地					
施策	2	緑の保全と創出					
基本事業	1	公園の整備					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無					<input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無		<input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求					<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		

◎事業概要 (PLAN)

目的	①子どもの主体的な体験学習の支援 ②親子のふれあいの場の提供 ③公園利用者の拡大			事業 内容 (R1)	①子どもを対象とした事業の実施 ・U-10フットサル大会、キッズサッカー ・児童画作品コンクール展 ・鳴門ウチノ海総合公園季節イベント ②公園利用者を拡大する事業の実施 ・端午の節句、ひなまつり、パークセンターギャラリー ・婚活イベント					
実施 方針	①子どもを対象とした事業の実施 ②公園利用者を拡大する事業の実施				当初 からの 変更点					
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	活動(イベント)開催参加人数		27,270	32,639	18,000	18,000	18,000	人	
	2									
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	活動(イベント)開催件数			9	8	9	9	9	件	

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①U-10フットサル大会 ②わくわく夏・冬パーク ③パークセンターギャラリー ④鳴門のまつり ⑤婚活イベント 等	①U-10フットサル大会 ②わくわく夏・冬パーク ③パークセンターギャラリー ④鳴門のまつり ⑤婚活イベント 等	①U-10フットサル大会 ②わくわく夏・冬パーク ③パークセンターギャラリー ④婚活イベント ⑤キッズサッカー 等	①U-10フットサル大会 ②わくわく夏・冬パーク ③パークセンターギャラリー ④婚活イベント ⑤キッズサッカー 等	未定
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	4,876	0	4,876	4,068	未定

【実績ベース】

【実績ベース】

◎評価(CHECK)

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門ウチノ海総合公園の活用を推進するためには、利用者ニーズへの適切な対応が公園の利用増につながるため、モニタリングを通じて利用者ニーズの把握・分析を行うとともに、平成15年10月に公園の利用促進を図るために設立した「鳴門ウチノ海総合公園を育てる会」の意見も聞きながら、業務改善や新たな企画を立案していくことが不可欠である。 また、イベントを開催するにあたり、事故やけがをしないように十分に注意をはらうと共に、公園施設の日常点検等を実施して、安全管理の強化に努め、事故防止を徹底することが重要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	・U-10フットサル大会 ・ウチノ海総合公園まつり ・ひなまつり ・児童画作品コンクール ・キッズサッカー ・端午の節句 ・ウチノ海総合公園季節イベント ・パークセンターギャラリー ・婚活イベント			
	令和3年度	未定			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.93

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域経済活性化推進事業(エコノミックガーデニング)		担当部署	経済建設部 経済局 商工政策課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	鳴門市中小企業振興基本条例、鳴門市創業支援事業計画	
基本政策(大項目)		1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業 期間	開始	平成 24 年度
政策(中項目)		1	豊かで活力あふれるまち なんと			終期	未定
(小項目)			産業				
施策		1	産業の振興と経営基盤の充実強化				
基本事業		1	地場産業の育成と振興				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	地元の企業が活動しやすいビジネス環境を整え、成長意欲あふれる中小企業が多く存在することで、地域経済の活性化を図る施策であり、本市での雇用創出や税收拡大に繋げることを目的とする。		事業 内容 (R1)	①市内企業訪問を実施した。 ②鳴門市ががんばる中小企業応援パッケージ事業を実施した。 ③中小企業振興施策検討委員会を開催した。				
実施方針	①主に市内の企業訪問を実施し、直接、中小企業振興基本条例による企業支援の考え方と各種支援制度を周知していく。 ②新規施策の検討や推進事業の見直しのため、鳴門市中小企業振興施策検討委員会を開催する。 ③鳴門市ががんばる中小企業応援パッケージ事業を実施する。			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	企業訪問数(延べ)	100	115	150	150	150	件
	2	起業・創業相談件数(延べ件数)	16	15	5	5	5	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
指標名			14	9	5	5	5	件
ががんばる中小企業応援パッケージ事業利用件数								
事業の 実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	各年度の実施(予定)内容	①企業訪問の実施 ②中小企業振興施策検討委員会の開催 ③パッケージ事業の実施	①企業訪問の実施 ②中小企業振興施策検討委員会の開催 ③パッケージ事業の実施	①企業訪問の実施 ②中小企業振興施策検討委員会の開催 ③パッケージ事業の実施	継続	継続		
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度		
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額				
計		7,828	0	7,828	7,838	7,838		

事務事業名	地域経済活性化推進事業(エコミックガーデニング)
-------	--------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容	①市内企業訪問を実施した。 ②鳴門市ががんばる中小企業応援パッケージ事業を実施した。 ③中小企業振興施策検討委員会を開催した。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	企業訪問数(延べ)	115	124	150	150	150	件
	2	起業・創業相談件数(延べ件数)	15	23	5	5	5	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	がんばる中小企業応援パッケージ事業利用件数		9	10	5	5	5	件
	目標達成率(実績/目標)			200.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		4,007,297	0	7,472,018	0	7,472,018	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	4,007,297	0	7,472,018	0	7,472,018	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	がんばる中小企業応援パッケージ事業利用件数		成果指標に対する所見	企業訪問数は前年度と同程度であり、企業からの相談や問い合わせも多くなり、信頼関係の構築につながっている。また、がんばる中小企業応援パッケージ事業の種類によっては利用数の偏りが見受けられたため、企業の動向やニーズを分析し、事業を進めていく必要がある。		
	目標	5	件				
	実績	10	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和2年度については、令和2年1月に国内で初感染者が確認され、4月7日には日本全体に緊急事態宣言が発出され、新型コロナウイルス感染症拡大により市内企業へどのような影響を与えているか注視しながら、経済対策を実施していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	①市内企業訪問の実施。 ②鳴門市ががんばる中小企業応援パッケージ事業の実施。 ③新規施策の検討や事業の見直しのため、中小企業振興施策検討委員会を開催。			
	令和3年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.94

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地場産品振興対策事業	担当部署	経済建設部 経済局 商工政策課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	伝統的工芸品産業の振興に関する法律、同法 施行規則	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業 期間	開始	平成 ▼ 17 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと			終期	▼
(小項目)		産業				
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化				
基本事業	1	地場産業の育成と振興				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要 (PLAN)

目的		国の伝統工芸品に指定されている大谷焼、その他本市が誇る製塩業・製菓業・足袋製造業・アパレル業・粘土瓦製造業・酒醸造業・加工品製造業(わかめ加工)等の地場産品を振興するための施策を行う。		事業内容(R1)	①市内の地場産品PRイベントを後援した。(「大谷焼の里スプリングフェスタ」、「大谷焼窯まつり」等) ②鳴門市うずしお観光協会との連携により、第九アフター交流会・近畿県人会や桐生市の物産展で地場産品をPRした。 ③鳴門わかめの地域ブランドを保護するため、わかめの同位体検査を実施した。					
実施方針		①伝統的工芸品の大谷焼を振興するための補助を行う。 ②鳴門わかめの信頼を維持するため、徳島県と連携する。 ③他県へ出向き、地場産品のセールス活動を行う。 ④ふるさと名物応援宣言を活用し、地場産品の情報発信を行う。			当初からの変更点					
指標名					平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1									
	2									
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	地場産品のPRイベントへの参加及び支援件数				10	9	4	4	4	件

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①市内PRイベント支援 ②鳴門わかめの検査 ③県外でのPRイベント ④販路開拓のため、展示会出展の費用を補助	①市内PRイベント支援 ②鳴門わかめの検査 ③県外でのPRイベント ④販路開拓のため、展示会出展の費用を補助	①市内PRイベント支援 ②鳴門わかめの検査 ③県外でのPRイベント	継続	継続

事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	1,795	0	1,795	1,704	1,704

事務事業名	地場産品振興対策事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	①市内の地場産品PRイベントを後援した。〔大谷焼の里スプリングフェスタ〕、〔大谷焼窯まつり〕等 ②鳴門市うずしお観光協会との連携により、第九アフター交流会・近畿県人会や桐生市の物産展で地場産品をPRした。 ③鳴門わかめの地域ブランドを保護するため、わかめの同位体検査を実施した。					
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1						
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	地場産品のPRイベントへの参加及び支援件数		9	7	4	4	件
	目標達成率(実績/目標)			175.0			%
事業費推移(円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		2,491,998	0	1,298,545	0	1,298,545
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源		2,491,998	0	1,298,545	0	1,298,545

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	地場産品のPRイベントへの参加及び支援件数		成果指標に対する所見	目標を超える件数のPRイベントを開催し、又は支援することができた。その内容も、伝統的工芸品、物産、農産物といった地場産品をPRできた。		
	目標	4	件				
	実績	7	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	市内外の関連団体との連携による地場産品のPRを行っている一方で、市が実施する販路開拓支援制度の利用は減少している。これは、地場産品を取り扱う地元企業のマインドが、販路開拓に積極的でないことが要因であると考えられる。そこで、販路開拓支援制度を周知して、地元企業に販路開拓をしてもらうように促していくことで、PR活動の効果を高める。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	①市内外で開催される地場産品をPRするためのイベント等への参加及び開催の支援。 ②鳴門わかめのブランドの保護のため、わかめの同位体検査の実施。 ③販路開拓のための制度の周知及び助成・補助。			
	令和3年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.95

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	就職マッチング事業	担当部署	経済建設部 経済局 商工政策課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	雇用対策連携協定、鳴門市中小企業振興基本条例	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業 期間	開始	平成 ▼ 24 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと				終期
(小項目)		産業				
施策	2	雇用の安定				
基本事業	1	就職機会の拡大				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要 (PLAN)

目的	人材を求める市内企業と求職者とのマッチングを促進することで、地場産業の振興に寄与するとともに、地元企業を知る機会を創り出し、地元就職を促進させる。		事業 内容 (R1)	①ハローワークと連携し、合同就職面接会、子育て中の方や高齢者向けミニ面接会を開催した。 ②地元企業を知る機会を設け、勤労観を醸成することを目的に、市内の学校や関係機関と連携して事業を行い、その成果をまとめた冊子を作成した。				
実施 方針	①ハローワークと連携し、合同就職面接会等の開催 ②小中学生を対象にした、地元企業を知り、勤労観を醸成するような事業の実施 ③働き方に関する情報の発信や相談業務を行う			当初 からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	就職面接会の参加人数	57	38	40	40	40	人
	2							
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	就職者数(臨時雇用含む)		14	12	10	10	10	人

事業の 実施内 容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①合同就職面接会の開催 ②市内企業おしごと体験事業・ICT活用教育推進事業の実施 ③県外の移住交流センターへのチラシ配布	①合同就職面接会の開催 ②市内企業おしごと体験事業・ICT活用教育推進事業の実施 ③県外の移住交流センターへのチラシ配布	①合同就職面接会の開催 ②市内企業おしごと体験事業	①コロナウイルス感染症対策を踏まえた合同就職面接会の開催 ②市内企業おしごと体験事業	継続
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	1,345	0	1,345	893	893

事務事業名	就職マッチング事業
-------	-----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容							①ハローワークと連携し、合同就職面接会、高齢者向けミニ面接会を開催した。 ②地元企業を知る機会を設け、勤労観を醸成することを目的に、市内の学校や関係機関と連携して事業を行い、その成果をまとめた冊子を作成した。						
指標名			平成30年度実績		令和元年度実績		令和2年度目標		令和3年度目標		令和4年度目標		単位		
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	就職面接会の参加人数		38		34		40		40		40		人	
	2														
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	就職者数(臨時雇用含む)		12		6		10		10		10		人		
	目標達成率(実績/目標)				60.0								%		
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算		令和元年度決算									
						前年度からの繰越決算額		決算額		令和2年度への繰越額		最終事業費			
		計		1,106,138		0		1,053,558		0		1,053,558			
		財源内訳	国庫支出金		0		0		0		0		0		
			県支出金		0		0		0		0		0		
			地方債		0		0		0		0		0		
			使用料・手数料		0		0		0		0		0		
			その他		270,354		0		191,059		0		191,059		
一般財源		835,784		0		862,499		0		862,499					

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	就職者数(臨時雇用含む)		成果指標に対する所見	就職者数は前年度に比べて減少したが、雇用対策を行う上で、必要となる連携体制は概ね構築ができており、雇用状況や求職者のニーズを考慮し、今後もより効果的効率的に事業を進めていくことが重要である。		
	目標	10	人				
	実績	6	人				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和2年度については、令和2年1月に国内で初感染者が確認され、4月7日には日本全体に緊急事態宣言が発出され、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年のような面接会の実施が難しくなっているため、新しい生活様式に対応した面接会の実施を検討する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	①合同就職面接会、ミニ面接会の開催 ②おしごと体験事業			
	令和3年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.96

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	企業誘致推進事業	担当部署	経済建設部 経済局 商工政策課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市企業立地奨励条例、同条例施行規則 鳴門市工場立地法地域準則条例、同条例施行規則	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業 期間	開始	平成 ▼ 11 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと				終期
(小項目)		産業				
施策	2	雇用の安定				
基本事業	2	企業誘致の推進				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要 (PLAN)

目的	県内外の優良企業を誘致することにより、就業機会の増大や地域経済の活性化、市民所得の向上等を図り、活力あるまちづくりを推進する。		事業内容(R1)	①市内への立地希望企業へ、遊休資産情報の活用や宅建協会、金融機関、県担当課等と連携し、土地・建物及び手続き関連の情報を提供した。 ②企業立地奨励条例の奨励措置(固定資産税の課税免除)を実施した。 ③企業訪問等を行い、企業立地奨励条例の周知や企業の事業計画の把握を行った。				
実施方針	①市内への立地希望企業の要望に応えるため、関係機関と連携しながら、土地建物に関する情報等を収集し、把握する。 ②市外事業者等誘致制度や企業立地奨励条例を活用した、企業誘致に取り組む。 ③市内事業者が抱える事業承継に関する現状を認識する。			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	企業誘致相談対応案件数	7	11	5	5	5	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	企業進出件数(市内企業の増設を含む。)		2	1	1	1	1	件
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	各年度の実施(予定)内容	①関係機関と連携し、土地建物情報の提供 ②奨励条例による支援措置の実施	①関係機関と連携し、土地建物情報の提供 ②奨励条例による支援措置の実施 ③ソフトミックスパークB-1号地の分譲	①関係機関と連携し、土地建物情報の提供 ②奨励条例による支援措置の実施	継続	継続		
事業費推移(千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度		
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額				
	計	389	0	389	320	320		

事務事業名	企業誘致推進事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容		①市内への立地希望企業へ、遊休資産情報の活用や宅建協会、金融機関、県担当課等と連携し、土地・建物及び手続き関連の情報を提供した。 ②企業立地奨励条例の奨励措置(固定資産税の課税免除)を実施した。 ③企業訪問等を行い、企業立地奨励条例の周知や企業の事業計画の把握を行った。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	企業誘致相談対応案件数	11	10	5	5	5	
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	企業進出件数(市内企業の増設を含む。)		1	2	1	1	1	件
	目標達成率(実績/目標)			200.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		2,240,408	0	265,000	0	265,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	2,240,408	0	265,000	0	265,000	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	企業進出件数(市内企業の増設を含む。)		成果指標に対する所見	企業進出件数については目標値を達成できた。進出した企業の実績精査や効果の検証を引き続き行っていく必要がある。		
	目標	1	件				
	実績	2	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	大規模用地を求める企業については、市の産業団地の空きは無いので、引き続き民間資本による民有地の開発支援を行うが、市内には小規模の空き家が点在しているので、これらの地域資源を有効に活用して誘致が可能な小規模企業やより規模の小さな中小企業の誘致施策を検討することが必要となる。 企業立地奨励制度によって市外企業または市内企業の設備投資を支援することは重要であるが、財政負担との兼ね合いもあるため慎重に審査、運用を行っていく必要がある。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	①市内への立地希望企業へ、関係機関と連携し、土地・建物及び手続き関連の情報を提供する。 ②市外事業者等誘致制度及び企業立地奨励条例を活用して、誘致に取り組む。 ③企業立地奨励条例の奨励措置（固定資産税の課税免除、雇用奨励金の交付）の実施。				
	令和3年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.97

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	移住交流支援事業	担当部署	経済建設部 経済局 商工政策課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	空き家等対策の推進に関する特別措置法	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業 期間	開始	平成 ▼ 28 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと				終了
(小項目)		シティプロモーション				
施策	2	シティプロモーションの推進				
基本事業	3	移住・交流の推進				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的			市内への移住希望者(市内での創業のため店舗等の借り受けを希望する者を含む。)に対して、空き家等の情報提供を行うことで、空き家の有効活用を図るとともに、定住人口の増加につなげる。			事業内容(R1)		①移住相談者からの移住相談業務(ヒアリング、移住支援制度の紹介、就職先の企業情報提供等) ②空き家バンクに関する業務(現地調査、空き家所有者等との連絡調整、ウェブサイトにより市の魅力や空き家の情報発信) ③大阪府にて開催された移住交流相談会へ参加した。				
実施方針			①空き家バンクを活用する。 ②助成金や補助金を活用する。 ③県外での移住相談会に参加する。			当初からの変更点						
指標名						平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標		1	移住相談件数			61	95	15	15	15	件	
		2	移住者数			14	9	10	10	10	人	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
		空き家バンク登録件数				12	19	7	7	7	件	
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度						
	各年度の実施(予定)内容	①空き家バンクの新規登録及び賃貸・売買契約の成立 ②助成金の交付 ③県外での移住相談会に参加	①空き家バンクの新規登録及び賃貸・売買契約の成立 ②助成金の交付 ③県外での移住相談会に参加	①空き家バンクの新規登録及び賃貸・売買契約の成立 ②県外での移住相談会に参加	継続	継続						
事業費推移(千円)	年度	令和元年度					令和2年度	令和3年度				
		当初予算額		補正予算額・繰越額等		全体予算額						
	計	2,973	0	2,973	1,944	1,944						

事務事業名	移住交流支援事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①移住相談者からの移住相談業務(ヒアリング、移住支援制度の紹介、就職先の企業情報提供等) ②空き家バンクに関する業務(現地調査、空き家所有者等との連絡調整、ウェブサイトにより市の魅力や空き家の情報発信) ③大阪府にて開催された移住交流相談会へ参加した。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	移住相談件数	95	80	15	15	15	件
	2	移住者数	9	16	10	10	10	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	空き家バンク登録件数		19	6	7	7	7	件
	目標達成率(実績/目標)			85.7				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		3,239,093	0	148,743	0	148,743	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		3,239,093	0	148,743	0	148,743		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	空き家バンク登録件数		成果指標に対する所見	空き家バンク登録件数の目標値は概ね達成した。今後も空き家バンク登録件数を増やし、引き続き空き家バンク制度を主として移住者の増加につなげていく。		
	目標	7	件				
	実績	6	件				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	空き家バンクと移住交流施策の運用後3年が経過し、空き家登録件数や移住相談者数は徐々に増えてきており、今後も引き続き、空き家登録件数を増やし、空き家バンク利用者からの選択肢を増やすこと、さらには鳴門市の魅力の情報発信に注力することで、鳴門市への移住につなげていきたい。 令和2年度の移住相談については、4月7日に全国に緊急事態宣言が出された新型コロナウイルス感染症の影響を受け、例年のような対面での相談から電話やメールでの相談に努めている。今後の状況により、県外移住相談の実施が困難となることも想定される。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓ 今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	・移住相談の実施 ・空き家バンク制度の実施(現地調査、空き家所有者等との連絡調整、ウェブサイトによる市の魅力や空き家の情報発信) ・お試し滞在助成制度の実施 ・移住交流相談会への参加(コロナの状況による) ・徳島わくわく移住支援事業			
	令和3年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.98

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	中心市街地活性化推進事業		担当部署	経済建設部 経済局 商工政策課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	中心市街地活性化法、都市計画法、大店立地法、鳴門市中心市街地活性化基本計画	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			事業 期間	開始	平成 12 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと				終期	未定
(小項目)		市街地					
施策	2	活気に満ちた市街地の形成					
基本事業	2	中心市街地の賑わいの創出					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	中心市街地の活性化を図り、事業所の所得向上を目指す。		事業 内容 (R1)	大道商店街にて「100円商店街」(2回)・「納涼市」を開催し、商店街に立ち寄る機会を作った。				
実施方針	①中心市街地での賑わいの場を創出する。 ②鳴門商工会議所、大道商店街振興組合と連携し、中心市街地活性化事業を実施する。							当初からの 変更点
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	中心市街地での事業実施回数		5	4	3	3	3	件

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	中心市街地活性化事業の実施	中心市街地活性化事業の実施	中心市街地活性化事業の実施	継続	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	700	0	700	700	700

事務事業名	中心市街地活性化推進事業
-------	--------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	大道商店街にて「100円商店街」(2回)・「納涼市」を開催し、商店街に立ち寄る機会を作った。					
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1						
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	中心市街地での事業実施回数		4	3	3	3	件
	目標達成率(実績/目標)			100.0			%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		969,784	0	700,000	0	700,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源		969,784	0	700,000	0	700,000

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	中心市街地での事業実施回数		成果指標に対する所見	各事業の実施により、中心市街地のにぎわい創出につながっているが、効果が持続しない。そのため、事業のあり方や内容を見直す必要がある。		
	目標	3	件				
	実績	3	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	中心市街地活性化事業は、市民に親しまれている事業であるが、毎年同じような事業で、目新しさが薄れてきている。鳴門商工会議所や大道商店街振興組合などの関係機関の自主性や主体性を尊重しながら、新たな視点、考えに基づいた事業を検討していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	例年大道商店街において実施していた、「100円商店街」、「納涼市」などがコロナの影響で開催が厳しくなっている。新しい生活様式を参考に、実施可能なイベントを模索する。			
	令和3年度	前年度の実施内容・結果を基に新規事業等も視野に見直し、実施する。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.99

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	なると観光ブランド化推進事業 (鳴門海峡の世界遺産化に向けて)		担当部署	経済建設部 経済局 観光振興課		
総合計画体系					根拠法令 計画など	なし		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			事業 期間	開始	平成	21 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なると					終期	未定
(小項目)		観光						
施策	1	観光・交流のまちづくり						
基本事業	1	観光ブランドづくり						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無								
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレス鳴門まちづくり基金活用予算要求								

◎事業概要 (PLAN)

目的		広域エリアからの更なる誘客を図るため、「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産登録を目指す取り組みを進めるなど、市内における観光地のブランド化を推進する。		事業内容 (R1)	協議会においては、これまでの学術調査の内容を踏まえ、世界遺産暫定一覧表記載のための提案文書(素案)の作成に着手するとともに、機運醸成を図る普及啓発活動を実施する。市においては、引き続き、県内外でPRを行うとともに、世界遺産にチャレンジしている3つの遺産を巡るツアーに対する助成を行う。				
実施方針		兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会を中心に、民間の推進団体等と連携し、自然・文化両分野の学術調査や普及啓発活動など、世界遺産化に向けた取り組みを推進する。			当初からの 変更点				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	実施事業数		8	8	8	8	8	回
	2								
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	観光入込客数			1,885,894	1,909,641	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①学術調査(自然・文化) ②「鳴門の渦潮学」語り部養成講座 ③文化コンクール ④「島びらき」「渦開き」共同開催 ⑤各種キャンペーンでのPR ⑥ツアー助成 ⑦日本遺産申請 ⑧国際フォーラム	①学術調査(自然・文化) ②文化コンクール ③国際シンポジウム ④啓発グッズの作成 ⑤世界遺産化ツアー助成 ⑥各種キャンペーンでのPR ⑦「渦開き」「島びらき」共同開催 ⑧海岸清掃	①学術調査(自然・文化) ②①をもとに取り纏め文書を作成 ③講演会の開催 ④啓発グッズの作成 ⑤世界遺産化ツアー助成 ⑥各種キャンペーンでのPR ⑦「渦開き」「島びらき」共同開催 ⑧海岸清掃	①学術調査(自然・文化) ②学術講演会等の開催 ③普及啓発イベントの実施 ④啓発グッズの作成 ⑤世界遺産化ツアー助成 ⑥各種キャンペーンでのPR ⑦「渦開き」「島びらき」共同開催 ⑧海岸清掃	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	3,000	0	3,000	3,000	3,000

事務事業名	なると観光ブランド化推進事業(鳴門海峡の世界遺産化に向けて)
-------	--------------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		協議会においては、これまでの学術調査結果をもとに、鳴門海峡の渦潮の顕著な普遍的価値を訴求する文書(とりまとめ文書)を作成した。また、「鳴門の渦潮」をテーマにしたワークショップや、日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環イベントで小学生約40名に対し、鳴門の渦潮の世界遺産に向けた取組について授業を行った。「鳴門海峡の渦潮を世界遺産にする会」と連携した海岸清掃を実施するなど、普及啓発活動にも努めた。「徳島県文化振興財団主催の「とくしまレガシー」講座において、学術調査委員会、金田委員長より鳴門の渦潮の世界遺産登録に向けた取組について講演会を開催した。市においては、パンフレットを活用したPRキャンペーン等を県内外で実施するとともに、世界遺産化を目指している3つの遺産(鳴門の渦潮・四国遍路・板東俘虜収容所関係資料)を巡る旅行商品の企画・造成に対する助成を行うとともに、3つの世界遺産をモチーフにデザインしたラッピングバスを作成。また、本市の「渦開き」と南あわじ市の「島びらき」の共同開催を実施した。					
	指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	実施事業数	8	8	8	8	8	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	観光入込客数		1,909,641	2,333,625	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人
	目標達成率(実績/目標)			116.7				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		2,840,000	0	2,682,264	0	2,682,264	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		2,840,000	0	2,682,264	0	2,682,264	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	観光入込客数		成果指標に対する所見	世界遺産登録が実現すれば、観光資源のブランド化につながり、これまで以上に鳴門公園を中心とした観光入込客数の増加が期待できる。		
	目標	2,000,000	人				
	実績	2,333,625	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	文化庁は、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度においては、世界遺産に推薦する候補の選定作業を行わないことを発表している。ユネスコや国等の動向を注視しながら、長期的な視野に立った取り組みを進める必要がある。								
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持		4.拡充		3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。									
実施内容	令和2年度	協議会においては、鳴門海峡の渦潮の世界自然遺産としての顕著な普遍的価値を立証するための追加調査を行い、とりまとめ文書への追記を行うとともに、機運醸成を図る普及啓発活動を実施する。市においては、引き続き、県内外でPRを行うとともに、世界遺産にチャレンジしている3つの遺産を巡るツアーに対する助成を行う。							
	令和3年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。							

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.100

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	阿波踊り振興事業	担当部署	経済建設部 経済局 観光振興課	
総合計画体系				根拠法令計画など	なし	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間	開始	平成 21 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと				
(小項目)		観光				
施策	1	観光・交流のまちづくり				
基本事業	1	観光ブランドづくり			終期	未定
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	阿波おどりそのものの魅力向上や各種イベント開催、情報発信などを行うことで、県内外からの観光誘客を図り、阿波おどりの振興を通じた交流人口の増加と地域経済の活性化を推進する。また、関係団体と連携し、阿波おどりの担い手育成を推進する。		事業内容(R1)	① 吉本芸人などゲスト招聘による阿波踊りの充実 ② 納涼花火大会の開催 ③ 阿波おどりイベントの開催 など				
実施方針	関係団体等と連携し事業の充実を図るとともに、県内外への情報発信を推進する。 ①鳴門市納涼花火大会の開催 ②鳴門市選抜阿波おどり大会の開催 ③鳴門市阿波おどりの開催 ④県内外への情報発信 ⑤阿波おどり担い手育成			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	来場者数	4,870	4,572	6,000	6,000	6,000	人
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	鳴門市阿波おどり来場者数		67,000	83,000	80,000	80,000	80,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①納涼花火大会 ②選抜阿波おどり大会 ③鳴門市阿波おどり ④情報発信	①納涼花火大会 ②選抜阿波おどり大会 ③鳴門市阿波おどり ④情報発信	①納涼花火大会 ②選抜阿波おどり大会 ③鳴門市阿波おどり ④情報発信	①納涼花火大会 ②選抜阿波おどり大会 ③鳴門市阿波おどり ④情報発信 ⑤担い手育成	継続
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計		14,228	0	14,228	13,133

事務事業名	阿波踊り振興事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		① 鳴門市阿波おどりPR大使の石田靖氏等のゲストの招聘。 ② 鳴門市納涼花火大会の実施。 ③ 鳴門市阿波おどりのPRのための動画製作及びCM放映。					
	指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	栈敷入場者数	4,572	5,344	6,000	6,000	6,000	人
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	鳴門市阿波おどり来場者数		83,000	79,000	80,000	80,000	80,000	人
	目標達成率(実績/目標)			98.8				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		14,123,000	0	14,223,000	0	14,223,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	14,123,000	0	14,223,000	0	14,223,000	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	鳴門市阿波おどり来場者数		成果指標に対する所見	鳴門市阿波おどりの開催曜日に恵まれたが、それ以外にも、情報発信の強化を図ったことが、来場者数の獲得につながったのではないかと考える。 今後においても、継続して情報発信の強化を図り、来場者数の増加につなげたい。		
	目標	80,000	人				
	実績	79,000	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	更なるにぎわい創出を実現するためには、これまで以上に「鳴門市阿波おどり」の魅力創出や情報発信を行う必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	昨年度末に発生した新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、鳴門市阿波おどり等の開催の可否を検討する。実施できると判断した場合には、情報発信等に力を入れることで、鳴門市阿波おどりの周知・魅力発信に努め、県外観光客の誘客を図る。			
	令和3年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.101

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	「鳴門で鳴ちゆるうどんを食べよう！」観光PR事業		担当部署	経済建設部 経済局 観光振興課	
総合計画体系					根拠法令計画など	なし	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			事業期間	開始	平成 25 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと					
(小項目)		観光					
施策	1	観光・交流のまちづくり					
基本事業	1	観光ブランドづくり			終期	未定	
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的			県内外で観光キャンペーンを行うことにより、B級グルメ「鳴ちゆるうどん」のPRを行い、観光客の増加につなげる。		事業内容 (R1)	①観光パンフレット、鳴門ちゆるうどん割引券付チラシ等の年間を通した配布 ②県内外イベントへの出展				
実施方針			淡路SAなどの県外でのキャンペーン活動や徳島ヴォルティスのアウェイサポーターへのPRツールとしてクーポン券付きチラシを活用するとともに、「鳴門うどん研究会」と連携し、県内外のイベントへ出展する。 さらに、クーポン券を除いた県内向けのチラシを作成し、県内での鳴ちゆるうどんPR強化に努める。			当初からの 変更点				
指標名					平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	PRチラシ配布枚数			60,000	40,000	30,000	30,000	30,000	枚
	2									
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	割引券利用人数				702	410	500	500	500	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	① 鳴ちゆるうどんチラシ等の年間を通した配布 ② 県内外イベントへの出展	① 鳴ちゆるうどんチラシ等の年間を通した配布 ② 県内外イベントへの出展	① 鳴ちゆるうどんチラシ等の年間を通した配布 ② 県内外イベントへの出展	① 鳴ちゆるうどんチラシ等の年間を通した配布 ② 県内外イベントへの出展	① 鳴ちゆるうどんチラシ等の年間を通した配布 ② 県内外イベントへの出展
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	462	0	462	462	462

事務事業名「鳴門で鳴ちゆるうどんを食べよう！」観光PR事業

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①観光パンフレット、鳴門ちゆるうどん割引券付チラシ等の年間を通した配布 ②県内外イベントへの出展					
	指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	PRチラシ配布枚数	40,000	20,000	30,000	30,000	30,000	枚
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	割引券利用人数		410	161	500	500	500	人
	目標達成率(実績/目標)			32.2				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		545,560	0	309,852	0	309,852	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		545,560	0	309,852	0	309,852	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	割引券利用人数		成果指標に対する所見	目標は達成できなかったが、イベントや県外でのキャンペーン活動などで継続してPRしていることで、鳴ちゆるうどんの認知度は増加している。 今後は、目標を達成するために、より効果の高いPR手法などを検討していく。		
	目標	500	人				
	実績	161	人				
	評価	D:目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルスの影響により、イベント等での「鳴ちゆるうどん」のPRが難しくなっている中、多くの方に鳴門で「鳴ちゆるうどん」を食べてもらう、鳴ちゆるうどんを知ってもらうための、効果的な手法を検討する必要がある。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	昨年度末に発生した新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、実施できる効率的・効果的なPR手法を模索して実施する。				
	令和3年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.102

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	観光ボランティアガイド育成事業	担当部署	経済建設部 経済局 観光振興課	
総合計画体系				根拠法令計画など	なし	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間	開始	平成 19 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと				
(小項目)		観光				
施策	1	観光・交流のまちづくり				
基本事業	2	国内外の観光客受け入れ態勢の整備				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	団体旅行から個人を単位とした旅行に変化している中で、観光客のボランティアガイドに対するニーズが高まっている。こうしたことを踏まえ、観光客と触れあいながら本市の観光資源を紹介・案内できる、市民参加による「なると観光ボランティアガイド」の育成を図る。		事業内容 (R1)	観光ボランティアガイド養成講座を開催する。 若い世代にも養成講座に参加していただけるような工夫を行うなど、ボランティアガイドとして定着するような組織・体制づくりを進める。養成講座の受講者増を図るため、十分なPRを行う。				
実施方針	観光ボランティアガイドの人数増加を図るため、観光ボランティアガイド養成講座を実施する。 また、養成講座受講者がボランティアガイドとして定着するような組織、体制づくりを図るとともに、養成講座に興味をもってもらえるようなPR活動を行う。			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	観光ボランティア養成講座実施回数	10	10	10	10	10	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	観光ボランティアガイド数		36	39	50	50	50	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	養成講座の開催や、養成講座受講者増加に向けたPR活動	養成講座の開催や、養成講座受講者増加に向けたPR活動	養成講座の開催や、養成講座受講者増加に向けたPR活動	養成講座の開催や、養成講座受講者増加に向けたPR活動	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	300	0	300	300	300

事務事業名	観光ボランティアガイド育成事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容							・観光ボランティアガイド養成講座(全10回)を実施した。 ・養成講座の受講者を増やすため、テレビ鳴門で活動を周知するとともに、ポスターを掲示するなどPRを行った。				
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位					
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	観光ボランティア養成講座実施回数	10	10	10	10	10	回					
	2												
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	観光ボランティアガイド数		39	47	50	50	50	人					
	目標達成率(実績/目標)			94.0				%					
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算									
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額		最終事業費					
	計		300,000	0	300,000	0		300,000					
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0		0					
		県支出金	0	0	0	0		0					
		地方債	0	0	0	0		0					
		使用料・手数料	0	0	0	0		0					
		その他	0	0	0	0		0					
	一般財源		300,000	0	300,000	0		300,000					

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	観光ボランティアガイド数		成果指標に対する所見	会員数50名という目標には至らなかったものの、平成30年度からは大幅に会員数は増加した。会員増に向けたPR等は概ね成功しているといえる。		
	目標	50	人				
	実績	47	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	観光ボランティアガイドを効果的に活用していただくため、PRを十分に行う必要がある。また観光客のニーズを満たす人材を確保するため、継続して養成講座を開催する必要がある。特に、若い世代にも参加してもらえるような工夫が必要である。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	引き続き、観光ボランティアガイド養成講座を開催する。 養成講座の受講者増を図るため、十分なPRを行う。				
	令和3年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.103

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	「橋を渡れば感動の国」セールスプロモーション事業		担当部署	経済建設部 経済局 観光振興課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	なし	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			事業 期間	開始	平成 25 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと					
(小項目)	観光			終期		未定	
施策	1	観光・交流のまちづくり					
基本事業	3	観光情報の発信強化					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input checked="" type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	本市への観光客の大半を占める関西圏をターゲットとしたセールスプロモーションを実施することにより、観光客増加を図る。		事業 内容 (R1)	「ロケ誘致事業」では、関西圏のみならず東京をはじめ全国放送の番組へ積極的にアプローチを行い、本市の観光資源をPRする。全国のテレビ番組等制作会社が集う「全国ロケ地フェア」に参加する。 「走る広告塔事業」では、引き続き、ラッピングを施した高速バスを徳島～関西圏間にて運行し本市のPRを図る。バス1台分についてはより視覚に訴える新たなラッピングデザインを検討する。 「交通広告事業」では、納涼花火大会や阿波おどり事業だけでなく、鳴ちゆるうどんなどのチラシなどを南海なんば駅など関西圏の交通拠点に掲示することにより誘客を図る。JR四国と連携し、対象エリアを拡大するなど近隣からの誘客にも努める。				
実施方針	各種のセールスプロモーション事業を実施することにより、観光誘客を図る。 ①ロケ誘致事業 ②走る広告塔事業 ③交通広告事業			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	テレビ番組ロケ誘致数	0	4	4	4	4	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	観光入込客数		1,885,894	1,909,641	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①ロケ誘致事業 ②走る広告塔事業 ③交通広告事業	①ロケ誘致事業 ②走る広告塔事業 ③交通広告事業	①ロケ誘致事業 ②走る広告塔事業 ③交通広告事業	①ロケ誘致事業 ②走る広告塔事業 ③交通広告事業	①ロケ誘致事業 ②走る広告塔事業 ③交通広告事業
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	3,694	0	3,694	3,704	3,704

事務事業名	「橋を渡れば感動の国」セールスプロモーション事業
-------	--------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容		令和元年度実施内容		「ロケ誘致事業」では、地方での撮影を希望するテレビ番組等制作会社100～150団体が参加が一堂に会する「全国ロケ地フェア」に参加し、全国放送の番組へ積極的にアプローチを行い、本市の観光資源をPRした。 「走る広告塔事業」では、本市の観光資源やベートーヴェン「第九」アジア初演100周年をPRするラッピング、さらに3つの世界遺産をモチーフにデザインしたラッピングバス新たに施した高速バス等4台を徳島～関西圏間において運行し、本市のPRを図った。 「交通広告事業」では、納涼花火大会や阿波おどり事業だけでなく、鳴ちゆるうどんや島田島ハーフマラソンのポスター・チラシを南海なんば駅など関西圏の交通拠点に掲示することにより誘客を図った。また、四国管内の主要駅において、ポスターやパンフレットの掲出を行った。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	テレビ番組ロケ誘致数		4	3	4	4	4	回
	2								
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	観光入込客数			1,909,641	2,333,625	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人
	目標達成率(実績/目標)				116.7				%
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
		計		2,816,240	0	3,060,920	0	3,060,920	
		財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
			県支出金	0	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
一般財源		2,816,240	0	3,060,920	0	3,060,920			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	観光入込客数		成果指標に対する所見	国内観光客及び外国人観光客の入込客数とも に前年度より増加した。 引き続き、プロモーション活動を行い、更なる 誘客を図っている。		
	目標	2,000,000	人				
	実績	2,333,625	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	関西圏へのPRは、誘客を図るうえで有効であると思われるが、移動距離が短く容易に日帰りができる地域であることから、いかにして滞在時間を延ばし、宿泊につなげることができるかが課題である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	「走る広告塔事業」では、ラッピングバスによる本市の観光資源等のPRを継続する。「ロケ誘致事業」では、新たに「全国ロケ地フェア」に参加し、全国のテレビ番組等制作会社とのマッチングイベントを行う。「交通広告事業」では、引き続き、ポスター・チラシなどを関西圏を中心とした交通拠点等に掲示することにより誘客を図る。			
	令和3年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.104

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	広域観光推進事業		担当部署	経済建設部 経済局 観光振興課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	なし	
基本政策(大項目)		1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業 期間	開始	平成 15 年度
政策(中項目)		2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと				
(小項目)			観光				
施策		1	観光・交流のまちづくり				
基本事業		4	にぎわいと交流の創出		終期	未定	
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的			瀬戸内四都市広域観光推進協議会やイーストとくしま観光推進機構など広域連携を推進し、観光情報の効果的発信や周遊ルートの設定、受入環境の整備を進め、訪日外国人を含む全国からの観光客誘致を図る。		事業内容 (R1)	瀬戸内四都市広域観光推進協議会においては、引き続き、香港をターゲットにしたインバウンド施策を推進するとともに、効果的な情報発信等を行い、エリア内への観光誘客を進める。 とくしまDMOにおいては、引き続き、ワーキンググループなど地域の意見を吸い上げながら、観光プロモーションやコンテンツ造成、受入環境整備を進め、国内外からの観光客誘致を進める。					
実施方針			広域連携による取り組みを推進し、交流人口の増加による地域経済の活性化を推進する。 ①インバウンド事業の推進 ②国内観光客誘致事業の推進			当初からの変更点					
指標名						平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	実施事業数				2	2	2	2	2	回
	2										
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名					平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	観光入込客数					1,885,894	1,909,641	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①インバウンド事業 ②国内観光客誘致事業	①インバウンド事業 ②国内観光客誘致事業	①インバウンド事業 ②国内観光客誘致事業	①インバウンド事業 ②国内観光客誘致事業	継続
事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	3,200	2	3,202	3,110	2,300

事務事業名	広域観光推進事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		瀬戸内四都市広域観光推進協議会では、香港の30代女性個人旅行者を対象としたインバウンド事業を行った。現地の旅行会社やメディア関係者を招請したファミツアーを実施。またLCC及びFIT向け旅行社とタイアップして、旅行商品の造成及び販売を行うとともに、効果的に情報発信し、四都市への誘客促進を図った。 イーストとくしま観光推進機構では、ワーキンググループを行い、地域の意見を吸い上げるとともに、「食」・「文化・伝統」・「自然・体験」の3つのテーマにおける顧客ニーズにマッチしたコンテンツをSNS中心にプロモーションを行うことにより、観光コンテンツのブランディングを推進するなど、国内外からの観光誘致を図った。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	実施事業数	2	2	2	2	2	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	観光入込客数		1,909,641	2,333,625	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人
	目標達成率(実績/目標)			116.7				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		3,000,000	0	3,202,000	0	3,202,000	
	財源内訳	国庫支出金	1,000,000	0	888,000	0	888,000	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		2,000,000	0	2,314,000	0	2,314,000		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	観光入込客数		成果指標に対する所見	国内観光客の入込客数も伸び、外国人観光客の入込数も増加した。 引き続き、官民一体となった広域連携を進め、情報発信をはじめとする各種施策を推進する。		
	目標	2,000,000	人				
	実績	2,333,625	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染拡大により、インバウンド事業については、進めることができない状況であり、感染予防に対する国、県の施策を注視しながら、国内向けに観光誘客事業を進めていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	瀬戸内四都市広域観光推進協議会では、誘客キャンペーンや、HPなど情報発信を行い、誘客を図る。イーストとくしま広域観光推進機構においては、「食」「お土産」「藍」「お遍路」の4つのワーキンググループで徳島の魅力を生かした観光誘客を図るためのプランや事業化に向けた提言をまとめるなど、国内外からの観光客誘致する事業を展開する。			
	令和3年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.105

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	コンベンション誘致支援事業		担当部署	経済建設部 経済局 観光振興課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	鳴門市コンベンション開催支援助成金交付要綱	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			事業 期間	開始	平成 12 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと					
(小項目)		観光				終期	未定
施策	01	観光・交流のまちづくり					
基本事業	4	にぎわいと交流の創出					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	鳴門市内または県内で開催される会議や学会、スポーツ大会等のコンベンションのうち、市内宿泊を行うものを対象として、開催支援助成金を交付し、コンベンション誘致を図ることにより市内への交流人口増大及び地域経済の活性化を図る。		事業 内容 (R1)	① 新規のコンベンション等の誘致 ② 前年度助成を行わなかった持ち回りスポーツ大会等の誘致				
実施方針	新規コンベンションの誘致に努めるとともに、前年度に助成を行わなかった継続大会への助成を行う。 また、各スポーツ団体や文化活動団体、県内の大学などへ制度の紹介を行うなど、本市での各種会議や大会などの開催促進を行う。			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	助成交付件数	4	8	9	10	10	件
	2	コンベンション参加者数	3,210	2,649	5,000	5,000	5,000	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	コンベンション宿泊数		1,055	1,473	3,500	3,700	3,900	人

事業の実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①助成制度の見直し ②情報発信	①助成制度の見直し ②情報発信	①助成制度の見直し ②情報発信	①開催経費に対する 助成 ②情報発信	継続
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	2,000	0	2,000	2,000	2,000

事務事業名	コンベンション誘致支援事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	新たなコンベンションの開催支援に努めるとともに、前年度に助成を行わなかった継続大会への助成を行った。					
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	助成交付件数	8	12	10	10	件
	2	コンベンション参加者数	2,649	7,017	5,000	5,000	人
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	コンベンション宿泊数		1,473	3,849	3,700	3,900	人
	目標達成率(実績/目標)			110.0			%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		410,000	0	1,857,500	0	1,857,500
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源		410,000	0	1,857,500	0	1,857,500

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	コンベンション宿泊数		成果指標に対する所見	令和元年度より制度改正を行い、コンベンション誘致の強化を図ったことで、宿泊者数の増加につながった。今後も継続して、各団体にPRを行い、宿泊者の増加につなげる。		
	目標	3,500	人				
	実績	3,849	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	昨年度に比べ宿泊者数・助成件数ともに増加しているが、助成件数・宿泊者数を維持または増加させるためには、定期的な大会等を、引き続き本市で開催してもらえるよう、関係団体へのアプローチを行うとともに、関係機関と連携しながら本制度の周知及び鳴門市の魅力PRし、新規大会獲得に努める必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	新規団体を呼び込むため、継続的に県内外とわず、関係機関等へ本事業の周知や魅力のPRに努める。			
	令和3年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.106

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	鳴門駅前環境整備事業		担当部署	経済建設部 経済局 観光振興課	
総合計画体系					根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			事業期間	開始	平成 30 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと				終期	
(小項目)							
施策	2	活気に満ちた市街地の形成					
基本事業	1	市街地の整備					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	鳴門駅周辺はJRやバスを利用する市民や観光客が集まる場であり、公衆トイレの必要性が高いことから、鳴門駅前に公衆トイレを設置するもの。		事業内容 (R1)	JR鳴門駅舎の耐震化工事と一体的に公衆トイレを整備する。				
実施方針	関係機関や関係課との調整を行いながら、鳴門駅舎の耐震化が行われた後、速やかに建築工事に着工する。			当初からの変更点	設計業務完了に伴い、建築費用等の見込みがたつたため、建築費用等を補正予算に計上した。			
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	-						
	2	-						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	鳴門駅前公衆トイレ進捗状況			関係機関との調整	新築設計及び工事着工			-

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容		関係機関との調整	利便性の高い公衆トイレの整備	-	-

事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	2,800	35,830	38,630	未定	未定

事務事業名	鳴門駅前環境整備事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容		鳴門駅前公衆トイレを新築するため新築設計業務を行うとともに、着工に向けた関係機関との調整を行った。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	－							
	2	－							
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	鳴門駅前公衆トイレ進捗状況			関係機関との調整	新築設計	工事着工・竣工			－
	目標達成率(実績/目標)				－				%
事業費推移(円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算					
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額		最終事業費	
	計			0	11,104,000	26,530,000		37,634,000	
	財源内訳	国庫支出金		0	0	0		0	
		県支出金		0	0	0		0	
		地方債		0	9,900,000	23,900,000		33,800,000	
		使用料・手数料		0	0	0		0	
		その他		0	0	0		0	
一般財源			0	1,204,000	2,630,000		3,834,000		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	鳴門駅前公衆トイレ進捗状況		成果指標に対する所見	JR鳴門駅の耐震化工事の遅れや関係機関との調整が長引いたことで、工事を着工できなかったが、限られた敷地内で利便性の高い公衆トイレの新築を進めることができる。		
	目標	新築設計及び工事着工	－				
	実績	新築設計	－				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	JR鳴門駅や駅周辺を利用する方の利便性を高めるため、早期に公衆トイレを完成させる必要がある。						
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。							
実施内容	令和2年度	公衆トイレの早期完成に取り組む。					
	令和3年度						

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.107

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	農漁業6次産業化推進事業	担当部署	経済建設部 経済局 農林水産課	
総合計画体系				根拠法令計画など	6次産業化法 鳴門市農林水産振興補助金交付要綱 鳴門市農漁業6次産業化推進支援事業実施要領	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間	開始	平成 24 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと			終期	未定
(小項目)						
施策	3	農業の振興				
基本事業	2	農業の高度化				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的			農漁業の6次産業化や農商工連携の取り組みを推進し、生産者の所得確保と付加価値の拡大や新ビジネスの創出による産業の高度化を図る。	事業内容(R1)	①農漁業及び加工を視野に入れた消費地でのトップセールスに取り組む。 ②農漁業6次産業化推進支援事業補助金により、農漁業の付加価値の向上への取り組みを支援する。 ③JA大津松茂が進めている産直施設の販促備品の整備に向けた支援を実施する。				
実施方針			①ブランド化や付加価値の創出に向けたトップセールスを実施する。 ②さらに、市内において生産者・農協・漁協が主体となった直売等の推進や、本市農水産物を活用する意向のある事業者等と生産者・生産者団体との結び付けを支援し、新たな商品開発による産業の底上げを図る。 ③6次産業化サポートセンター等の関係機関とも連携し、制度の周知や生産者の取り組みを推進するとともに、要望をとりまとめ補助事業の可能性や取り組みについて支援を図る。		当初からの変更点				
指標名				平成29年度実績		平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	6次産業化に関する相談会等回数		1	1	1	1	1	回
	2	取り組み事業数		2	2	9	9	9	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	生産者等の自主的取り組み数			10	10	10	10	10	件

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①トップセールスの実施 ②6次産業化に向けた取り組みへの支援	①トップセールスの実施 ②6次産業化に向けた取り組みへの支援	①トップセールスの実施 ②6次産業化に向けた取り組みへの支援	①トップセールスの実施 ②6次産業化に向けた取り組みへの支援	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
	計	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額	1,325	1,325

事務事業名	農漁業6次産業化推進事業
-------	--------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容		①関西圏のイベント(大阪市東部中央卸売市場55周年記念市場まつり)及び関西圏の大手量販店に市関係者、鳴門市内JA、観光協会等と連携し、本市農水産物及び加工品等の販売・PR・キャンペーンに取り組んだ。 ②農漁業6次産業化推進支援事業により、農産物直売所えがおで特産物をアピールするための映像モニター等の機器整備を支援した。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	6次産業化に関する相談会等回数		1	2	1	1	1	回
	2	取り組み事業数		2	1	9	9	9	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	生産者等の自主的取り組み数			3	3	—	—	—	件
	目標達成率(実績/目標)				30.0				%
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
		計		1,087,103	0	800,800	0	800,800	
		財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
			県支出金	0	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
			一般財源	1,087,103	0	800,800	0	800,800	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	生産者等の自主的取り組み数		成果指標に対する所見	消費地でのセールスやPR活動を3回実施するとともに、6次産業化事業への支援を1件実施したが、六次産業化法による計画認定を目指す新たな生産者等については従前の3件にとどまった。		
	目標	10	件				
	実績	3	件				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	消費地でのセールスやPR活動について、新たな手法を検討する必要がある。また、6次産業化事業及び補助事業について、今後新たな展開を進めていけるよう、制度周知にも努めていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	①農漁業及び加工を視野に入れた消費地でのトップセールスに取り組む。 ②市内産直市との連携を図っていく。 ③農漁業六次産業化推進支援事業補助金により農漁業の付加価値の向上への取り組みを支援する。			
	令和3年度	R2年度と同様			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.108

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ブランド産地推進事業(農業)		担当部署	経済建設部 経済局 農林水産課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	鳴門市農林水産振興補助金交付要綱 鳴門市ブランド産地振興補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			事業期間	開始	平成 16 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと				終期	未定
(小項目)							
施策	3	農業の振興					
基本事業	1	農業経営の安定化とブランド化の推進					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	鳴門ブランドの堅持と更なる浸透を図っていくため、鳴門市ブランド戦略の基本方針や振興計画等を定めた「鳴門ブランド戦略計画書」に基づき、農協・関係機関等と連携しながら生産・流通・販売振興に継続的に取り組み、各品目ごとに生産者の所得を確保していくことで、本市農産物の総合ブランド化を図る。						事業内容 (R1)	全国に向け確固たる鳴門ブランド農産品を確立するため、農協と連携した農産物のPRの支援に取り組む。 れんこん食害対策によるブランド産地の生産振興を図る。 かんしょ栽培用の手入れ砂及びレンコン田の太陽熱消毒に要する被膜フィルム・石灰窒素の購入費に対する「鳴門市ブランド産地振興補助金」による支援を実施する。					
実施方針	農業協同組合・鳴門藍住農業支援センター等の関係機関と連携しながら、鳴門ブランドを確立するため生産から販売まで戦略的な取り組みを行い、農産物の有利販売や認知度向上を図る。 ブランド産地に甚大な被害を及ぼしている外来生物対策を実施する。 かんしょ栽培用の手入れ砂及びレンコン田の太陽熱消毒に要する被膜フィルム・石灰窒素の購入費に対する「鳴門市ブランド産地振興補助金」による支援を実施する。							当初からの 変更点	ブランド産地振興補助金について事前確認した際に、当初予算で計上した金額以上に取組の実施があることが分かったため、補正予算を計上した。				
指標名								平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	農産物品目取り組み数						5	5	5	5	5	件
	2	産直・ブランド化イベントへの支援						3	3	3	3	3	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名							平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	農産物品目取り組み数							5	5	5	5	5	品目

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
各年度の実施(予定)内容		①農産物のPRの支援 ②れんこん食害対策 ③ブランド産地振興補助金	①農産物のPRの支援 ②れんこん食害対策 ③ブランド産地振興補助金	①農産物のPRの支援 ②れんこん食害対策 ③ブランド産地振興補助金	①農産物のPRの支援 ②れんこん食害対策 ③ブランド産地振興補助金	継続
事業費推移(千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	1,987	422	2,409	2,225	2,225

事務事業名	ブランド産地推進事業（農業）
-------	----------------

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和元年度実施内容		全国に向け確固たる鳴門ブランド農産品を確立するため、農協と連携した農産物のPRの支援に取り組んだ。 れんこん食害対策によるブランド産地の生産振興を図った。 かんしょ栽培用の手入れ砂及びレンコン田の太陽熱消毒に要する被膜フィルム・石灰窒素の購入費に対する「鳴門市ブランド産地振興補助金」による支援を実施した。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	農産物品目取り組み数	5	5	5	5	5	件
	2	産直・ブランド化イベントへの支援	3	3	3	3	3	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	農産物品目取り組み数		5	5	—	—	—	品目
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		2,363,663	0	1,937,909	0	1,937,909	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	317,000	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		2,046,663	0	1,937,909	0	1,937,909		

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	農産物品目取り組み数		成果指標に対する所見	主要ブランド農産品目及び市内全ての農協での取り組みがあることから、A評価としたい。		
	目標	5	品目				
	実績	5	品目				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性（ACTION）

課題	更なる農産物のブランド化を図っていくためには、農協等の生産者団体をはじめ、県市関係機関の協力体制や連携強化による事務事業の効率性を高めていくことが重要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	農協・生産者等と連携し、主要消費地や市内でのPRをはじめ、生産振興策に取り組むとともに、「鳴門市ブランド産地振興補助金」として、かんしょ栽培用の手入れ砂及びレンコン田の太陽熱消毒に要する被膜フィルム・石灰窒素の購入費に対する補助を実施する。			
	令和3年度	R2年度と同様			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	コウノトリブランド推進事業		担当部署	経済建設部 農林水産課	
総合計画体系					根拠法令計画など	なし	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			事業期間	開始	平成 28 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと					
(小項目)		農林水産業					
施策	3	農業の振興					
基本事業	1	農業経営の安定化とブランド化の推進			終期	未定	
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	本市に飛来している特別天然記念物「コウノトリ」に着目した、地元農産物の生産振興とブランド化を図るため、生産支援を行う。		事業内容 (R1)	「コウノトリ定着推進連絡協議会」の活動の中で、マナー対策等を実施するとともに、巣周辺対策警備業務を見直しを行いながら、引き続き実施した。新たな商品のブランド化に向けた検討等に取り組む。				
実施方針	地元農産物の生産振興とブランド化を図るため、「鳴門市コウノトリブランド認証制度」をもとに、鳴門藍住農業支援センター、JAと連携し、ブランド認証の条件となる「エコファーマー」のさらなる認定推進を図る。県や地元住民等で構成する「コウノトリ定着推進連絡協議会」の活動の中で、 ①マナー対策②餌場確保対策③新たな商品のブランド化に向けた検討等に取り組む。			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	コウノトリブランド認証延べ件数	22	22	30	40	50	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	コウノトリブランド認証延べ件数		22	22	30	40	50	件

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①巣周辺対策警備業務の見直し検討 ②新たな商品のブランド化に向けた検討	①巣周辺対策警備業務の見直し検討 ②新たな商品のブランド化に向けた検討	①巣周辺対策警備業務の見直し検討 ②新たな商品のブランド化に向けた検討	①巣周辺対策警備業務の見直し検討 ②新たな商品のブランド化に向けた検討	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	4,159	0	4,159	4,207	4,207

事務事業名	コウノトリブランド推進事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容							「コウノトリ定着推進連絡協議会」の活動の中で、マナー対策等を実施するとともに、巢周辺対策警備業務を見直しを行いながら、引き続き実施した。 新たな商品のブランド化も視野に入れて、豊岡市との協議を実施した。						
指標名			平成30年度実績		令和元年度実績		令和2年度目標		令和3年度目標		令和4年度目標		単位		
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	コウノトリブランド認証延べ件数		22		22		30		40		50		件	
	2														
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	コウノトリブランド認証延べ件数		22		23		－		－		－		件		
	目標達成率(実績/目標)				76.7		－		－		－		%		
事業費推移 (円)			年 度		平成30年度決算		令和元年度決算								
							前年度からの繰越決算額		決算額		令和2年度への繰越額		最終事業費		
			計		1,942,581		0		2,259,896		0		2,259,896		
			財 源 内 訳	国庫支出金		0		0		0		0		0	
				県支出金		0		0		0		0		0	
				地方債		0		0		0		0		0	
				使用料・手数料		0		0		0		0		0	
				その他		1,800,000		0		2,259,896		0		2,259,896	
一般財源		142,581		0		0		0		0					

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	コウノトリブランド認証延べ件数		成果指標に対する所見	コウノトリブランド認証制度の運用の推進をさらに強化する必要があると思われる。		
	目標	30	件				
	実績	23	件				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	巢周辺に県内外から観察者が訪れるようになったため、交通状況やマナーの悪化など、付近の営農者や地元住民に負担がかかっている状況となっていることから、周辺対策警備業務の見直しをするか更なる充実を図るか検討する必要がある。 また、コウノトリブランド認証制度について、さらなる推進を図れるよう、今後取り組んで行く必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	ブランド認証制度の更なる推進を図るとともに、周辺対策についても引き続き実施する。			
	令和3年度	R2年度と同様			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.110

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	農業担い手育成対策事業		担当部署	経済建設部 経済局 農林水産課	
総合計画体系					根拠法令計画など	農業経営基盤強化促進法	
基本政策(大項目)		1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間	開始	平成 6 年度
政策(中項目)		1	豊かで活力あふれるまち なんと			終期	未定
(小項目)							
施策		3	農業の振興				
基本事業		1	農業経営の安定化とブランド化の推進				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的		本市農業の将来を担う、認定農業者等の担い手の育成・確保により、産業としての足腰の強い農業を行い、観光客の増加につなげる。		事業内容 (R1)	①新規・継続を対象とした認定農業者の認定審査会などを開催。 ②農業の担い手促進のため、支援内容を含めた説明や情報の提供を行う。				
実施方針		認定農業者及び農地所有適格法人等の担い手の育成・確保による農業・農村の活性化と農地の効率的利用促進、耕作放棄地の解消を目指し、引き続き、経営改善計画の作成指導や優良農地の担い手への利用促進と農業の高度化を進める。また、農地所有適格法人等の多用な形態による農業の担い手の確保を目指し、支援内容を含めた説明や情報の提供を行う。							
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1								
	2								
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	認定農業者数			394	403	430	432	437	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	認定農業者の認定審査にあたっては、地域内各JA・県農業支援センターと協力し、効率的な経営改善計画の作成指導に努めた。	認定農業者の認定審査にあたっては、地域内各JA・県農業支援センターと協力し、効率的な経営改善計画の作成指導に努めた。	認定農業者の認定審査にあたっては、地域内各JA・県農業支援センターと協力し、効率的な経営改善計画の作成指導に努めた。	認定農業者の認定審査にあたっては、地域内各JA・県農業支援センターと協力し、効率的な経営改善計画の作成指導に努める。	認定農業者の認定審査にあたっては、地域内各JA・県農業支援センターと協力し、効率的な経営改善計画の作成指導に努める。
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	0	0	0	0	0

事務事業名	農業担い手育成対策事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容							認定農業者に関しては、認定審査会を年3回(5月・7月・3月)開催し、従来より認定を受けられている農家の認定更新を推進しつつ、市内各農協等と連携して、新規で認定を受けられる農家を確保した。また認定審査にあたっては、地域内各JA・県農業支援センターと協力し、効率的な経営改善計画の作成指導に努めた。						
指標名			平成30年度実績		令和元年度実績		令和2年度目標		令和3年度目標		令和4年度目標		単位		
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1														
	2														
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	認定農業者数		403		394		432		437		437		人		
	目標達成率(実績/目標)				91.6								%		
事業費推移(円)		年 度		平成30年度決算		令和元年度決算									
						前年度からの繰越決算額		決算額		令和2年度への繰越額		最終事業費			
		計		0		0		0		0		0			
		財源内訳	国庫支出金		0		0		0		0		0		
			県支出金		0		0		0		0		0		
			地方債		0		0		0		0		0		
			使用料・手数料		0		0		0		0		0		
			その他		0		0		0		0		0		
一般財源		0		0		0		0		0					

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	認定農業者数		成果指標に対する所見	目標に到達できなかったが、今後も各JA・県農業支援センターと協力しながら認定農業者数の増加に向けた取り組みを増やしていきたい。		
	目標	430	人				
	実績	394	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	認定農業者等担い手の育成状況は、特産物等の産地化が定着している地域においては毎年度増加し、新規認定者も確保できている。しかし、山間部や高齢化が進行している集落では担い手の確保が困難であり、農業生産や農地保全に対する合意形成が得られにくい。					
今後の方向性		1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	認定農業者及び農地所有適格法人等の担い手の育成・確保による農業・農村の活性化と農地の効率的利用促進、耕作放棄地の解消を目指し、引き続き、経営改善計画の作成指導や優良農地の担い手への利用促進と農業の高度化を進める。また、農地所有適格法人等の多様な形態による農業の担い手の確保を目指し、支援内容を含めた説明や情報の提供を行う。また、認定の要件を満たしている新規認定候補者の精査を行い、各農協と連携し農家への働きかけを推進することにより認定農業者の増加に向けた取組を進める。				
	令和3年度	認定農業者及び農地所有適格法人等の担い手の育成・確保による農業・農村の活性化と農地の効率的利用促進、耕作放棄地の解消を目指し、引き続き、経営改善計画の作成指導や優良農地の担い手への利用促進と農業の高度化を進める。また、農地所有適格法人等の多様な形態による農業の担い手の確保を目指し、支援内容を含めた説明や情報の提供を行う。また、認定の要件を満たしている新規認定候補者の精査を行い、各農協と連携し農家への働きかけを推進することにより認定農業者の増加に向けた取組を進める。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.111

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	農業担い手育成対策事業(農業人材強化総合支援事業)		担当部署	経済建設部 経済局 農林水産課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	なし	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			事業 期間	開始	平成 21 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと				終期	未定
(小項目)							
施策	3	農業の振興					
基本事業	1	農業経営の安定化とブランド化の推進					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	新たに本市で就農を希望する人や農業に興味のある人、法人等に対して広く就農機会や農地を紹介、生産に必要な知識等を指導・普及し、幅広い分野より重層的に本市農業の担い手を確保する。		事業内容 (R1)	①農業次世代人材投資資金・青年等就農資金(※)による支援 ②経営体育成支援事業による支援等により具体的な新規就農支援 ※平成26年度から新設された制度で、新たに農業経営を営もうとする青年等に対し、農業経営を開始するために必要な資金を長期無利子で貸し付ける制度(借入限度額3,700千円)				
実施方針	国補助制度を活用し、新規就農者への支援事業に取り組み新規就農者の確保と営農の継続を図る。			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	支援チーム関係者数	5	5	5	5	5	人
	2	HP等掲載回数	2	2	2	2	2	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	新規就農希望者相談・指導件数 (経営継承除く)		15	17	14	14	14	人

事業の実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	新規就農者への支援事業に取り組み新規就農者の確保と営農の継続を図る	新規就農者への支援事業に取り組み新規就農者の確保と営農の継続を図る	新規就農者への支援事業に取り組み新規就農者の確保と営農の継続を図る	新規就農者への支援事業に取り組み新規就農者の確保と営農の継続を図る	新規就農者への支援事業に取り組み新規就農者の確保と営農の継続を図る
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	13,500	0	13,500	18,000	18,000

事務事業名	農業担い手育成対策事業(農業人材力強化総合支援事業)
-------	----------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		新規就農者への支援に総合的に取り組んだ。具体的には①農協・県等と連携した農業技術・経営に関する指導②耕作農地の紹介、あっせん③農業委員等との連携、連動による就農相談④経営資金、助成制度、農業関連法の紹介や問い合わせへの対応等に総合的に取り組んだ。 農業次世代人材投資資金では、具体的な支援に取り組み、令和元年度においては新規就農者（独立・自営就農者）は3件となり、新規就農者の増加が実現した。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	支援チーム関係者数	5	5	5	5	5	人
	2	HP等掲載回数	2	1	2	2	2	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	新規就農希望者相談・指導件数（経営継承除く）		17	5	14	14	14	人
	目標達成率(実績/目標)			35.7				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		12,375,000	0	13,500,000	0	13,500,000	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	12,375,000	0	13,500,000	0	13,500,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	0		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	新規就農希望者相談・指導件数(経営継承除く)		成果指標に対する所見	相談件数は目標を達成していないが、新規就農者への支援事業である農業次世代人材投資資金を通じて新規就農者3名が加わるなど、新規就農への支援は実現した。		
	目標	14	人				
	実績	5	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	農業の新規参入には、農地の確保・設備投資等の壁があり困難が伴うが、国補助制度等を活用しながら新規就農者の支援に取り組み自立できる農業経営を図るためには、事務体制の整備と関係機関等の協力が必要不可欠となっている。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	国補助制度を活用しながら、新規就農者に対する支援として①農協・県等と連携した農業技術・経営に関する指導②耕作農地の紹介、あっせん③農業委員等との連携、連動による就農相談④経営資金、助成制度、農業関連法の紹介や問い合わせへの対応等に総合的に取り組む。(1)地区ごとの人・農地プランの作成(2)農業次世代人材投資資金(旧・青年就農給付金)・青年等就農資金による支援(3)強い農業・担い手づくり総合支援事業による支援等で具体的な新規就農支援に取り組むことで新規就農者の確保と営農定着を図る。			
	令和3年度	国補助制度を活用しながら、新規就農者に対する支援として①農協・県等と連携した農業技術・経営に関する指導②耕作農地の紹介、あっせん③農業委員等との連携、連動による就農相談④経営資金、助成制度、農業関連法の紹介や問い合わせへの対応等に総合的に取り組む。(1)地区ごとの人・農地プランの作成(2)農業次世代人材投資資金(旧・青年就農給付金)・青年等就農資金による支援(3)強い農業・担い手づくり総合支援事業による支援等で具体的な新規就農支援に取り組むことで新規就農者の確保と営農定着を図る。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.112

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	多面的機能支払交付金事業		担当部署	経済建設部 農林水産課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	多面的機能支払交付金実施要綱 多面的機能支払交付金交付要綱 徳島県多面的機能支払交付金交付要綱	
基本政策(大項目)		1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間	開始	平成 ▼ 26 年度
政策(中項目)		1	豊かで活力あふれるまち なんと				
(小項目)			農林水産業			終期	未定 ▼
施策		3	農業の振興				
基本事業		4	農業生産基盤の整備				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	老朽化が進む農地周りの農業用排水路、農道などの施設の長寿命化のための補修・更新等を行うことにより、農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図り、地域の農業者だけでなく地域住民や都市住民も含めた多様な主体の参加を得て、地域ぐるみでの効果の高い活動へ支援を行う。		事業内容 (R1)	令和元年度に引き続き全17地区が活動。 全17地区 対象面積836.01ha 里浦地域農地・水・環境保全会運営委員会 徳長地区資源保全協議会 段岡地区資源保全向上活動協議会 小森グリーンネット 大代地区資源保全協議会 馬詰地区資源保全協議会 木津野地域自然保全協議会 矢倉地区資源保全協議会 鳴門町地区資源保全協議会 大幸地区資源保全協議会 長江地区自然保全協議会 折野地区資源保全協議会 三俣地区資源保全協議会 池谷資源保全会 備前島地区資源保全協議会 吉永地区資源保全協議会 市場地区資源保全協議会					
実施方針	一定のまとまりのある地域を対象に、農業者やその他の地域住民を中心とし、JAや土地改良区等の関係団体で組織され、地域ぐるみで農地・農業用水等の保全活動を行っている団体に対し、支援を行う。			当初からの 変更点	令和元年度転用等調査により、対象農用地面積62a減少。				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	活動回数	951	908	803	803	803	回	
	2								
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	活動人数		12,551	11,651	10,698	10,698	10,698	人	

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	鳴門市内17団体において農村資源(農道・水路・パイプライン)などの保全管理や農村環境の向上として植栽活動等を行った。	鳴門市内17団体において農村資源(農道・水路・パイプライン)などの保全管理や農村環境の向上として植栽活動等を引き続き行う。	継続	継続	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	53,939	△ 2047	51,892	54,373	54,373

事務事業名	多面的機能支払交付金事業
-------	--------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容		鳴門市内17組織において農村資源(農道・水路・パイプライン)などの保安全管理や農村環境の向上を目的とした植栽活動を行った。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	活動回数		908	888	803	803	803	回
	2								
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	活動人数		11,651	11,158	10,698	10,698	10,698	人	
	目標達成率(実績/目標)			104.3				%	
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算					
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費		
	計		50,448,508	0	51,891,673	0	51,891,673		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	37,829,621	0	38,828,744	0	38,828,744		
		地方債	0	0	0	0	0		
		使用料・手数料	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	120,000	0	120,000		
一般財源		12,618,887	0	12,942,929	0	12,942,929			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	活動人数		成果指標に対する所見	地区生産者組織による主体的な取り組みが行われた。		
	目標	10,698	人				
	実績	11,158	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	多面的機能支払交付金は農業振興地域農用地区域の農地が補助対象であることから、補助対象外の地区等においては市単独での対策が必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	●農地維持支払交付金 17団体 ●資源向上支払交付金(共同活動) 17団体 ●資源向上支払交付金(長寿命化) 16団体 里浦地域農地・水・環境保全会運営委員会 徳長地区資源保全協議会 段関地区資源保全向上活動協議会 小森グリーンネット 大代地区資源保全協議会 馬詰地区資源保全協議会 木津野地域自然保全協議会 矢倉地区資源保全協議会 鳴門町地区資源保全協議会 大幸地区資源保全協議会 長江地区自然保全協議会 折野地区資源保全協議会 三保地区資源保全協議会 池谷資源保全会 備前島地区資源保全協議会 吉永地区資源保全協議会 市場地区資源保全協議会			
	令和3年度	●農地維持支払交付金 17団体 ●資源向上支払交付金(共同活動) 17団体 ●資源向上支払交付金(長寿命化) 17団体 里浦地域農地・水・環境保全会運営委員会 徳長地区資源保全協議会 段関地区資源保全向上活動協議会 小森グリーンネット 大代地区資源保全協議会 馬詰地区資源保全協議会 木津野地域自然保全協議会 矢倉地区資源保全協議会 鳴門町地区資源保全協議会 大幸地区資源保全協議会 長江地区自然保全協議会 折野地区資源保全協議会 三保地区資源保全協議会 池谷資源保全会 備前島地区資源保全協議会 吉永地区資源保全協議会 市場地区資源保全協議会			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.113

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳥獣被害対策事業(捕獲檻等の設置)	担当部署	経済建設部 経済局 農林水産課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	徳島県農林水産政策関係事業補助金交付要綱、鳴門市農林水産振興補助金交付要綱		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間	開始	平成	12 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと					
(小項目)		農林水産業					
施策	5	林業の振興					
基本事業	1	緑豊かな森林の整備		終期	未定		
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	有害鳥獣の捕獲・侵入防止に努め、農作物被害を軽減させる。		事業内容 (R1)	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、有害鳥獣の捕獲・侵入防止に努め、農作物被害を軽減させる。				
実施方針	1. 鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会への委託 2. 捕獲檻の設置			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	サル・イノシシ捕獲頭数		435	450	450	450	450	頭

事業の実施内容 内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器により、サルやイノシシの有害駆除を行った。	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器により、サルやイノシシの有害駆除を行う。	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器により、サルやイノシシの有害駆除を行う。	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器により、サルやイノシシの有害駆除を行う。	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器により、サルやイノシシの有害駆除を行う。

事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	412	0	412	412	412

事務事業名	鳥獣被害対策事業（捕獲檻等の設置）
-------	-------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容		鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器により、サルやイノシシの有害鳥獣駆除を行った。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1								
	2								
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	サル・イノシシ捕獲頭数		367	658	450	450	450	頭	
	目標達成率(実績/目標)			146.2				%	
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算					
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費		
	計		709,514	0	412,000	0	412,000		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	633,000	0	412,000	0	412,000		
		地方債	0	0	0	0	0		
		使用料・手数料	0	0	0	0	0		
		その他	7,000	0	0	0	0		
一般財源		69,514	0	0	0	0			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	サル・イノシシ捕獲頭数		成果指標に対する所見	捕獲目標頭数において達成、内訳としてもイノシシ601頭・サル57頭と捕獲頭数も増加し農作物被害軽減に繋がっている。 市内各地に捕獲檻を設置することは有効性があつたため引き続き継続していく。		
	目標	450	頭				
	実績	658	頭				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	主に導入している捕獲檻(スナガ式)については、イノシシ等、四足鳥獣に対して特化しているため、サルの場合になると檻自体になかなか入らないため、捕獲が困難である。 サル捕獲に有効とされる地獄檻等の設置を検討していきたいが、檻の価格が高額、大型になるため、設置箇所、予算配分等を考えていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に活動を委託し、捕獲檻による有害鳥獣駆除、また防護柵設置などにより、農作物被害を軽減させていく。			
	令和3年度	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に活動を委託し、捕獲檻による有害鳥獣駆除、また防護柵設置などにより、農作物被害を軽減させていく。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	海面環境保全推進事業		担当部署	経済建設部 経済局 水産振興室	
総合計画体系					根拠法令 計画など	徳島県補助金交付規則 徳島県水産関係事業費補助金交付要綱 鳴門市農林水産振興事業補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			事業 期間	開始	平成 55 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと					
(小項目)		農林水産業					
施策	6	水産業の振興					
基本事業	1	漁業生産基盤の整備					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	海底に沈降している堆積物や海岸漂着物を除去し、生産基盤である漁場の保全及び漁業生産の向上を図る。		事業 内容 (R1)	①漁場環境の悪化や水産資源の枯渇による漁獲量の減少対策として、漁場環境の保全を図るため、小型底曳網漁船を使用して堆積物を除去し、廃棄物処理業者に引き渡し処理を行う。 ②市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動に対し、支援を行う。				
実施 方針	漁場環境の悪化や水産資源の枯渇による漁獲高の減少対策として、漁場の環境保全に努めるため、海底にある堆積物除去作業を継続して実施するとともに、海岸漂着物除去活動の支援を行う。			当初 からの 変更点	小型底曳網漁船を使用した海底堆積物の除去を実施した結果、回収された廃棄物が見込みより少なかったため、処理に要する経費が減額となった。			
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	活動回数	13	13	12	12	12	回
	2	参加延人数	549	564	520	520	520	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	廃棄物処理量		198	236	220	220	220	m³

事業の 実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①小型底曳網漁船を使用した海底堆積物の除去 ②廃棄物処理業者による処理	①小型底曳網漁船を使用した海底堆積物の除去 ②廃棄物処理業者による処理	①小型底曳網漁船を使用した海底堆積物の除去 ②廃棄物処理業者による処理	①小型底曳網漁船を使用した海底堆積物の除去 ②廃棄物処理業者による処理 ③市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動の支援	継続
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	3,600	△ 1,530	2,070	3,600	3,600

事務事業名	海面環境保全推進事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	① 小型底曳網漁船を使用して堆積物の処理を行った。 ② 市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動の支援を行った。					
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 活動回数	13	12	12	12	12	回
	2 参加延人数	564	521	520	520	520	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	廃棄物処理量	236	226	220	220	220	m ³
	目標達成率(実績/目標)		102.7				%
事業費推移 (円)	年度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		3,376,080	0	2,069,600	0	2,069,600
	財源内訳	国庫支出金	2,869,000	0	1,249,000	0	1,249,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源		507,080	0	820,600	0	820,600

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	廃棄物処理量		成果指標に対する所見	各団体の積極的な取組により、成果目標を達成することができた。		
	目標	220	m ³				
	実績	226	m ³				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	目標数値である海底堆積物の除去量は、台風・大雨等の自然災害や気象条件に左右される場合が多いが、海底・海面環境を保全し、漁業経営の安定化を図るため、今後も実施していく必要がある。 また、市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動についても、海洋ごみに対する意識啓発という面からも継続して実施していく必要がある。 しかしながら、いずれも参加者の高齢化が進んでおり、後継者の育成・確保に取り組まなければならない。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	漁場環境の悪化や水産資源の枯渇による漁獲高の減少対策として、漁場の環境保全に努めるため、海底にある堆積物除去作業を継続して実施する。 また、市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動の支援を行う。			
	令和3年度	前年度に同じ。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.115

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ブランド産地推進事業(水産)		担当部署	経済建設部 経済局 水産振興室	
総合計画体系					根拠法令 計画など	鳴門市農林水産振興事業補助金交付要綱 徳島県農林水産政策関係事業補助金交付要綱	
基本政策(大項目)		1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業 期間	開始	平成 19 年度
政策(中項目)		1	豊かで活力あふれるまち なんと				
(小項目)			農林水産業				
施策		6	水産業の振興				
基本事業		2	漁業経営の安定化とブランド化の推進		終期	未定	
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	本市の特産物「鳴門鯛」「鳴門わかめ」等の販売の促進及び販路の拡大により、本市の基幹産業である水産業の振興を図る。		事業内容 (R1)	①新鮮な水産物の捌き方を生産者が直接指導する「旬の魚の捌き方教室」や、「鳴門わかめの料理教室」、県内外でのPR活動等を実施する。 ②若手漁業者の活動を支援し、水産物のPR及び消費拡大、後継者育成を推進する。				
実施方針	本市水産物の消費促進及び販路拡大のため、市内での料理教室や県内外でのPR活動等を実施する。また、若手漁業者の活動を支援し、水産物のPR及び消費拡大、後継者育成を推進する。			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	県内外PR活動	6	5	5	5	5	回
	2	料理教室等イベント開催回数	7	6	7	7	7	回
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	県内外PR活動来場者数		10,000	3,400	5,000	5,000	5,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援	継続
事業費推移(千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	1,782	0	1,782	1,782	1,782

事務事業名	ブランド産地推進事業（水産）
-------	----------------

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		本市水産物のPRのため、県内外でのイベントの開催等を行うとともに、魚のさばき方教室を実施した。 東京で実施している鳴門市農水産物フェアについては、新たな試みとして、従来のイベント会場での販売形式から形を変え、市内生産者と現地の事業者との試食商談会という形で実施した。 ただし、2月、3月のわかめ収穫期に予定していたイベントや料理教室については、新型コロナウイルス感染症の関係で中止となった。 また、市内の若手漁業者の活動として、ハマチの餌やり体験や水産物のPRや販路開拓に取り組んだ。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	県内外PR活動	5	3	6	6	6	回
	2	料理教室等イベント開催回数	6	6	7	7	7	回
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	県内外PR活動来場者数		3,400	2,030	5,000	5,000	5,000	人
	目標達成率(実績/目標)			40.6				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		3,189,790	0	1,368,461	0	1,368,461	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	3,189,790	0	1,368,461	0	1,368,461	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況		未達成		事業全体の進捗状況		未達成	
成果指標に対する評価	指標名	県内外PR活動来場者数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響で、わかめ収穫期に開催予定としていたイベントが中止となったことや、東京で実施している「農水産物フェア」について、例年と形を変え、市内生産者と現地事業者との試食商談会という形で実施したため、来場者数としては減少する結果となった。		
	目標	5,000	人				
	実績	2,030	人				
	評価	D:目標を達成できなかった					

◎今後の方向性（ACTION）

課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、わかめ収穫期の2月、3月に開催予定としていたイベントや料理教室が中止となったことや、東京でのフェアの形態を変更したことから、指標である来場者数は減少する結果となった。 ただし、東京での試食商談会という形で実施した農水産物フェアでは、本市の生産者と現地事業者との新たな結びつきを構築するとともに、関東圏への出荷の際の配送料の問題など、販路拡大に向けた課題も確認され、一定の成果をあげることができたことから、これらの結果を踏まえ、より効果的な本市水産物のPR方法について、検討を進める必要がある。 また、新型コロナウイルス感染症により、特にタイやハモなどの高級魚の魚価に大きな影響が出ていることから、インターネット販売の支援など、あらたな販売促進に向けた支援施策が必要となる。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援 ④インターネット販売拡充の支援			
	令和3年度	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援 ④インターネット販売拡充の支援			

各実施計画兼評価シート

消 防 本 部

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.116

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	消防車両・消防資機材等整備事業		担当部署	消防本部 消防総務課	
総合計画体系					根拠法令計画など	消防法・消防組織法	
基本政策(大項目)		3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間	開始	平成 23 年度
政策(中項目)		1	安心して暮せるまち なんと				
(小項目)			消防				
施策		2	消防体制の充実				
基本事業		2	消防力の強化		終期	未定	
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備え、消防車両や資機材の整備により地域防災力の充実強化を図る。		事業内容 (R1)	①消防団配備の消防ポンプ及び積載車の状況を踏まえ、以下の3分団の 小型ポンプ付積載車等を更新。 土佐泊分団・大幸分団・木津野分団 ②エンジンカッター・チェーンソーを各8台配備。 撫養・里浦・鳴門・瀬戸・大津・北灘・堀江・板東の8地区に1台ずつ 配備 ③高圧力空気ポンベ・呼吸器用高圧エアコンプレッサーの整備				
実施方針	消防車両・資機材等を計画的に更新し、消防力の強化を図る。			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	小型ポンプ付き積載車更新台数	3	3	3	3	3	台
	2	消防資機材整備数			9	8	4	式
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	小型動力ポンプ付積載車更新達成率		100	100	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	小型ポンプ付積載車更新	小型ポンプ付積載車更新	①小型ポンプ付積載車更新 ②消防団資機材整備 ③高圧力空気ポンベ等整備	①小型ポンプ付積載車更新 ②消防団資機材整備	継続

事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	23,635	0	23,635	18,293	未定

事務事業名	消防車両・消防資機材等整備事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①令和元年6月に小型ポンプ付き積載車3台の入札を行い、11月に土佐泊、大幸、木津野分団に配備した。 ②エンジンカッター及びチェーンソーを各1台ずつ、8月に黒崎、里浦北、大毛、島田、大代、櫛木、大谷、板東分団に配備した。 ③高圧空気ボンベ・呼吸器用高圧エアコンプレッサーを消防署に配備した。					
指標名			平成30元年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	小型ポンプ付き積載車更新台数	3	3	3	3	3	台
	2	消防資機材整備数		9	8	4	4	式
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	小型動力ポンプ付積載車更新達成率		100	100	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		16,092,000	0	22,315,680	0	22,315,680	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	466,000	0	466,000	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	9,100,000	0	9,200,000	0	9,200,000	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	1,800,000	0	0	0	0	
	一般財源		5,192,000	0	12,649,680	0	12,649,680	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	小型動力ポンプ付積載車更新達成率		成果指標に対する所見	効率よく計画どおりに行った。		
	目標	100	%				
	実績	100	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	消防団の小型ポンプ積載車及びポンプ車は46台あり、年3台の更新でも全分団を更新するのに15年以上かかるため計画的に更新していく必要がある。H27年度以降は、社会資本整備総合交付金が適用できなくなるため、有利な地方債(防災対策事業債等)を活用していく。また、消防資機材は、使用頻度、劣化具合を見極めて、優先度の高いものから計画的に更新していく。						
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。							
実施内容	令和2年度	小型ポンプ付積載車3台(折野、市場、野黒山)を配備予定 自動体外式除細動器(AED)を8台配備予定					
	令和3年度	小型ポンプ付積載車3台を配備予定 投光器及び発電機を4台ずつ配備予定					

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.117

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	消防施設耐震化推進事業		担当部署	消防本部 消防総務課	
総合計画体系					根拠法令計画など	建築基準法	
基本政策(大項目)		3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間	開始	平成 26 年度
政策(中項目)		1	安心して暮らせるまち なんと				
(小項目)			消防				
施策		2	消防体制の充実				
基本事業		2	消防力の強化				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的		大規模災害発生に備えた消防拠点施設を整備するため、消防分団詰所で耐震基準を満たしていない建物を対象に、消防施設の耐震化整備を実施する。		事業内容 (R1)	①折野分団詰所建築設計等 ②吉永・中江分団詰所建築設計等 ③徳長・長江分団詰所建築工事等 ④矢倉分団詰所建築工事等 ⑤備前島分団詰所耐震改修設計 ⑥大麻分署建設候補地を検討				
実施方針		①大規模災害発生に備えた消防拠点施設を整備するため、消防分団詰所及び大麻分署の耐震化整備を実施する。 ②分団の再編に伴って改築する分団詰所についても大規模災害時に使用可能な施設として整備する。			当初からの 変更点	吉永・中江分団詰所の建築設計等は、建設用地の選定に不測の時間を要し次年度に繰り越した。			
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	耐震診断		5	2	0	0	0	棟
	2	耐震設計(改築設計)・耐震工事(改築工事)		3	4	5	4	1	棟
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	耐震化着手数			8	6	5	4	1	棟

事業の実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①南浜・斎田・野黒山、小海日出、姫田分団詰所耐震診断 ②里浦仲分団詰所耐震設計 ③大代分団詰所改築工事 ④三ヶ谷分団詰所耐震補強工事	①段岡・備前島分団詰所耐震診断 ②徳長・長江、矢倉分団詰所改築設計 ③里浦仲分団詰所耐震工事 ④大代分団詰所改築工事 ⑤大麻分署整備のあり方を検討	①折野分団詰所建築設計等 ②吉永・中江分団詰所建築設計等 ③徳長・長江分団詰所建築工事等 ④矢倉分団詰所建築工事等 ⑤備前島分団詰所耐震改修設計 ⑥大麻分署建設候補地の検討	①板東南分団詰所建築設計 ②備前島分団詰所耐震改修 ③折野分団詰所建築工事 ④吉永・中江分団詰所建築工事 ⑤大麻分署建設候補地の検討	①板東南分団詰所建築工事 ②板東分団詰所候補地の検討 ③大麻分署建設候補地の検討

事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	160,023	7,500	167,523	166,884	未定

事務事業名	消防施設耐震化推進事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容		令和元年度実施内容		①折野分団詰所建築設計等 ②吉永・中江分団詰所建築設計等 ③徳長・長江分団詰所建築工事等 ④矢倉分団詰所建築工事等 ⑤備前島分団詰所耐震改修設計 ⑥大麻分署建設候補地の検討					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	耐震診断		2	0	0	0	0	棟
	2	耐震設計(改築設計)・耐震工事(改築工事)		4	5	5	1	3	棟
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	耐震化着手数			5	4	—	—	—	棟
	目標達成率(実績/目標)				80.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額	決算額		令和2年度への繰越額	最終事業費
		計		46,434,960	4,567,200	137,213,096		10,203,000	151,983,296
		財源内訳	国庫支出金	387,000	0	0	0	0	
			県支出金	0	0	0	0	0	
			地方債	41,300,000	4,500,000	130,900,000	10,200,000	145,600,000	
			使用料・手数料	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
一般財源		4,747,960	67,200	6,313,096	3,000	6,383,296			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	耐震化着手数		成果指標に対する所見	消防団詰所耐震化計画に基づき業務を進めており、詰所建設用地の決定に不測の日数を要し、設計業務等が次年度に繰り越したものの業務完了の見通しは立っており、その他の予定していた業務については全て完了している。		
	目標	5	棟				
	実績	4	棟				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	耐震診断を計画していた分団詰所は全て診断が終了した。結果耐震性能を満たしていない詰所についても整備予定であるが、建設用地の選定等に検討が必要であり、計画の遅延の可能性がある。また、消防分団の再編についても建設用地の地権者及び地元の理解が得られない場合等には計画の遅延や変更も想定される。 大麻分署については、建設候補地を検討中であるが、今後、消防広域化も含め検討する必要がある。						
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。							
実施内容	令和2年度	【耐震工事】備前島分団 【新築工事】折野分団、吉永・中江分団 【新築設計】板東南分団、吉永・中江分団 【候補地検討】大麻分署					
	令和3年度	【新築工事】板東南分団 【候補地検討】板東分団・大麻分署					

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.118

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	救急救命士等養成事業		担当部署	消防本部 予防課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	救急救命士法	
基本政策(大項目)		3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業 期間	開始	平成 5 年度
政策(中項目)		1	安心して暮らせるまち なんと				
(小項目)			救急				
施策		3	救急救助・医療体制の充実				
基本事業		1	救急体制の充実				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	救急出場時の救急救命士乗車率を100%にする。また救急救命士の資格を有する職員が実施できる高度な救命処置(特定行為)についてもその質を確保し、維持向上を図るため、講習、研修等に派遣する。		事業 内容 (R1)	1. 救急救命九州研修所の新規養成課程に1名入校 2. 救急救命九州研修所の指導救命士養成課程に1名入校 3. 気管挿管認定を得るため、病院実習に2名派遣 4. ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定を得るため、病院実習に1名派遣 5. 再教育の病院実習に16名派遣				
実施方針	1. 救急救命士養成のため、研修所に派遣。 2. 特定行為の認定を得るための病院実習。 3. 救急救命士、再教育の病院実習。			当初 からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	救急救命士(実働数)	18	17	18	18	18	人数
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	救急救命士の乗車率		100	100	100	100	100	%
事業の 実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	各年度の実施(予定)内容	①救急救命士1名養成 ②指導救命士1名養成 ③気管挿管認定1名養成 ④ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定1名養成	①救急救命士1名養成 ②指導救命士1名養成 ③気管挿管認定1名養成 ④ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定1名養成	①救急救命士1名養成 ②指導救命士1名養成 ③気管挿管認定2名養成 ④ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定1名養成	指導救命士養成を除き継続	継続		
事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度		
		当初予算額	補正予算額・繰越額	全体予算額				
	計	4,348	0	4,348	3,274	3,983		

事務事業名	救急救命士等養成事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		1. 救急救命九州研修所の新規養成課程に1名入校 2. 救急救命九州研修所の指導救命士養成課程に1名入校 3. 気管挿管認定を得るため、病院実習に2名派遣 4. ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定を得るため、病院実習に1名派遣 5. 再教育の病院実習に16名派遣					
	指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	救急救命士(実働数)	17	18	18	18	18	人数
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	救急救命士の乗車率		100	100	100	100	100	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		3,433,139	0	3,857,229	0	3,857,229	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	3,433,139	0	3,857,229	0	3,857,229	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	救急救命士の乗車率		成果指標に対する所見	目標としていた、救急救命士の救急乗車率100%を達成しました。救急出場件数(2,794件)		
	目標	100	%				
	実績	100	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現状、救急出場と火災・救助出場重複時には、非番招集並びに本部職員で対応していますが十分な救急救命士数とはいえません。救急救命士の乗車率100%を維持しながら今後、救急救命士に求められる高度な処置に対応するため研修等への派遣、救急救命士複数乗車を考慮し、引き続き救急救命士の養成を行います。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	計画どおり救急救命士の養成、研修等に派遣する。				
	令和3年度	計画どおり救急救命士の養成、研修等に派遣する。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.119

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	新規	事務事業名	応急手当普及啓発事業		担当部署	消防本部 予防課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	総務省消防庁「応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱」	
基本政策(大項目)		3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間	開始	令和 <div></div> 元 年度
政策(中項目)		1	安心して暮らせるまち なんと			終期	未定 <div></div>
(小項目)							
施策		3	救急救助・医療体制の充実				
基本事業		3	応急手当の普及啓発活動の充実				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	将来ある子どもの救命環境を整備するため、救命に最も効果的とされる心肺蘇生教育の普及啓発を充実させ、児童の救命率向上に繋げることを目的とする。		事業内容 (R1)	①児童を受講対象とした心肺蘇生講習会の実施 ②児童を受講対象とした救命入門コースの実施 ③成人を受講対象とした小児に対する心肺蘇生講習会の実施 ④成人を受講対象とした普通救命講習Ⅲの実施				
実施方針	児童を対象とした心肺蘇生講習会に加え、令和元年度から新設した救命入門コースを活用し、心肺停止傷病者への応急手当実施率の向上に繋げる。			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	講習会受講者数	311	325	350	400	450	名
	2							
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	小児以下の年齢層に対する応急手当実施率		100	該当なし	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	心肺蘇生講習会	心肺蘇生講習会	①心肺蘇生講習会 ②救命入門コース ③普通救命講習Ⅲ	①心肺蘇生講習会 ②救命入門コース ③普通救命講習Ⅲ	①心肺蘇生講習会 ②救命入門コース ③普通救命講習Ⅲ
事業費推移(千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	1,602	0	1,602	未定	未定

事務事業名	応急手当普及啓発事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容		令和元年度実施内容		小学校等での児童を対象とした心肺蘇生講習会の実施(3回、154名)					
				小学校等での児童を対象とした救命入門コースの実施(1回、44名)					
				成人による小児を対象とした心肺蘇生講習会の実施(7回、146名)					
				成人による小児を対象とした普通救命講習Ⅲの実施(1回、21名)					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	講習会受講者数	325	365	400	450	500	名	
	2								
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	小児以下の年齢層に対する応急手当実施率		該当なし	67	100	100	100	%	
	目標達成率(実績/目標)			66.7				%	
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
		計			0	1,018,820	0	1,018,820	
		財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	
			県支出金		0	0	0	0	
			地方債		0	0	0	0	
			使用料・手数料		0	0	0	0	
			その他		0	820,800	0	820,800	
一般財源		0	198,020	0	198,020				

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	小児以下の年齢層に対する応急手当実施率		成果指標に対する所見	小児傷病者の心肺停止事案で応急手当がなされたが、目標の100%には至らなかった。		
	目標	100	%				
	実績	67	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	応急手当講習の受講者数は増加しているが、まだ小児以下の年齢層への応急手当実施率には結びついていない。今後も講習受講者を増加させ、応急手当実施率100%を目指す必要がある。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	今年度は新型コロナウイルスの影響で講習会が実施できていないが、継続的な講習会の実施が必要である。				
	令和3年度	継続的に講習会を実施				

各実施計画兼評価シート

企

業

局

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.120

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	水道事業経営基盤強化推進事業		担当部署	企業局 水道企画課	
総合計画体系					根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			事業期間	開始	平成 ▼ 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと					
(小項目)		上水道					
施策	3	安全で強靱な水道の持続					
基本事業	1	経営基盤の強化と適正な料金水準の設定				終期	未定 ▼
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	①水道事業の経営基盤強化		事業内容(R1)	①経営戦略に基づく経営改革 ②料金改定の実施 ③鳴門市水道事業審議会への報告と審議				
実施方針	①経営戦略に掲げた各種取り組みの推進			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	鳴門市水道事業審議会開催回数	4	2	1	1	1	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	累積欠損金		0	0	0	0	0	円

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①水道料金のあり方についての検討 ②受託工事の廃止	①審議会から料金改定の答申 ②説明会の開催 ③条例改正	①4月から料金改定実施 ②審議会に決算やビジョンの進捗状況の報告	継続	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	0	0	0	0	0

事務事業名	水道事業経営基盤強化推進事業
-------	----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容		令和元年度実施内容	①平成31年4月から料金改定実施 ②鳴門市水道事業審議会を開催し、H30決算や水道事業ビジョンの進捗状況を報告					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	鳴門市水道事業審議会開催回数	2	1	2	1	1	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	累積欠損金		0	0	0	0	0	円
	目標達成率(実績/目標)			0.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		0	0	0	0	0	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	0	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	累積欠損金		成果指標に対する所見	料金改定に伴う増収や経費削減により、当年度純利益を計上し、累積欠損金は発生しなかった。		
	目標	0	円				
	実績	0	円				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	人口減少等により有収水量は減少傾向にある一方で、老朽化に伴う施設更新や防災対策には多額の経費が必要となる。今後も安全で安心な水道を安定的に持続していくために、引き続き経営改革を推進する必要がある。						
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。							
実施内容	令和2年度	水道事業ビジョンの中間報告と経営戦略の中間見直しを行う。					
	令和3年度	経営戦略に掲げた各種取り組みを着実に推進する。					

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	浄水場更新事業		担当部署	企業局 水道事業課 浄水場	
総合計画体系					根拠法令 計画など	水道法	
基本政策(大項目)		3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業 期間	開始	平成 21 年度
政策(中項目)		2	快適に暮らせるまち なんと				
(小項目)			上水道				
施策		3	安全で強靱な水道の持続				
基本事業		3	着実な施設の更新・耐震化と応急給水・復旧体制の整備		終期	未定	
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	① 浄水場は水道事業の根幹となる施設であり、早急に南海トラフ地震等に備えた防災対策を講じる必要があることから、施設を更新 ② コスト削減等の効果があるため、北島町と浄水場の共同化を実施		事業 内容 (R1)	1. 鳴門市・北島町共同浄水場基本計画の策定 2. 鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ① 設計・施工一括発注方式の事業者を選定するための発注準備 ② 地質調査業務の実施 ③ 関係機関と協議				
実施 方針	① 鳴門市浄水場を耐震性のある災害に強い施設に更新 ② 老朽化が進む浄水場の更新を、北島町と共同して進める		当初 からの 変更点					
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の進捗状況			発注準備	事業者決定	事業実施	—
	2							
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	浄水場の更新		①共同化の方針決定 ②協議会の設立	基本設計・基本計画案の作成	整備事業の発注準備	整備事業の事業者決定	詳細設計・建設工事等の実施	—

事業の 実施内 容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①北島町と浄水場共同化に関する覚書の締結 ②鳴門市・北島町浄水場共同化協議会の設置	①基本計画案の作成 ②浄水場東側の用地取得	①基本計画の策定 ②事前検討業務の実施 ③共同浄水場整備事業の発注準備 ④関係機関と協議	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施	継続
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	94,000	0	94,000	4,000	1,941,000

事務事業名	浄水場更新事業
-------	---------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容	1. 鳴門市・北島町共同浄水場基本計画を令和元年8月に策定 2. 鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ① 設計・施工一括発注方式の事業者を選定するための発注準備を行った ② 平成30年度に取得した用地に対して地質調査業務を実施 ③ 関係機関と協議					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の進捗状況		発注準備	事業者決定	事業実施	事業実施	—
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	浄水場の更新		基本設計・基本計画案の作成	整備事業の発注準備	整備事業の事業者決定	詳細設計・建設工事等の実施	建設工事等の実施	—
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		80,331,805	0	9,655,200	72,600,000	82,255,200	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	10,125,000	0	2,413,800	24,282,500	26,696,300	
一般財源		70,206,805	0	7,241,400	48,317,500	55,558,900		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	浄水場の更新		成果指標に対する所見	令和2年4月には整備事業の設計・施工一括発注方式における実施方針の公表を予定し、発注の見通しを立てることができた。		
	目標	整備事業の発注準備	—				
	実績	整備事業の発注準備	—				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	共同浄水場の建設・運営に向けて、北島町と必要な事項の検討、関係機関との協議などを行い、双方にとって有益な事業となるよう円滑に事業を進める必要がある。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を注視し、事業者決定までの工程や方法について、随時、見直し、変更を検討する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ①設計・施工一括発注方式の事業者を選定 ②整備事業の工事等に着手			
	令和3年度	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ①事業者提案内容に基づく詳細設計の実施 ②設計内容に関する関係機関との協議			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.122

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	モーターボート競走事業健全経営安定化推進事業	担当部署	企業局 ボートレース企画課 ボートレース事業課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	モーターボート競走法 経営戦略アクションプラン2016	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="26"/> 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと				
(小項目)		行財政運営				
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進				
基本事業	2	財政の健全化				
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	景気低迷やレジャーの多様化など厳しい経営状況に置かれているボートレース鳴門を、将来に渡って持続可能で健全な経営が可能な企業として生まれ変わらせるために、アクションプランを策定し、計画の着実な実行に取り組む。		事業内容 (R1)	①モーニングレース及びサマータイム(薄暮)レースの実施 ②既存顧客向け及び新規顧客開拓に向けたファンサービスの実施 ③新聞折込チラシによる宣伝実施 ④キャッシュレスカードの利用促進 ⑤ROKU、なるちゃんホール及びウズホールの建設等地域開放型施設の運用 ⑥ウズパーク等を活用したイベントの実施 ⑦まちづくりエリア(あらたえの湯)との連携 ⑧徳島阿波おどり空港でのPR事業実施 ⑨観光関係団体や観光産業等地域との連動イベント実施 ⑩SG等ビッグレースの誘致 ⑪外向発売所に指定席棟の整備				
実施方針	①経営戦略アクションプランの着実な実行による健全な経営を図る ②SG等ビッグレースの誘致及びモーニングレース及びサマータイム(薄暮)レースを実施 ③特別観覧施設ROKU・なるちゃんホール等地域開放型施設及びプレイパークの運用 ④まちづくりエリア(あらたえの湯)との連携 ⑤イベントホールの整備及び外向発売所(指定席棟)増築整備			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	モーニングレースの実施及びSG等ビッグレースの誘致 経営戦略アクションプランの実行		100	100	100	100	100	%

事業の実施内容 内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①SG第27回グランドチャンピオン開催 ②ウズパークの整備	①サマータイム(薄暮)レース開催(上半期) ②モーニングレース開催(下半期) ③GⅠダイヤモンドカップ開催 ④ウズパーク開設	①サマータイム(薄暮)レース開催(上半期) ②モーニングレース開催(下半期) ③GⅡレディースオールスター開催 ④ウズホールの整備、開設	①サマータイム(薄暮)レース開催(上半期) ②モーニングレース開催(下半期) ③SG第25回オーシャンカップ開催 ④外向発売所に指定席棟の整備 ⑤経営戦略アクションプラン2021の策定	①サマータイム(薄暮)レース開催(上半期)予定 ②モーニングレース開催(下半期)予定 ③SG等ビッグレースの誘致 ④プレミアムGⅠ競走の開催
事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	205,162	0	205,162	-	-

事務事業名	モーターボート競走事業健全経営安定化推進事業
-------	------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容	①モーニングレース90日及びサマータイム(薄暮)レース78日、デイレース12日の実施 ②既存顧客向け及び新規顧客開拓に向けたファンサービスの実施(トークショーや粗品配布等) ③新聞折込チラシによる宣伝実施(年6回) ④キャッシュレスカードの利用促進(会員数6,359人うち令和元年度加入者数823人) ⑤ROKU、なるちゃんホール及びウズホール等地域開放型施設の運用(年間利用人数11,215人) ⑥ウズパーク等を活用したイベントの実施(年6回) ⑦まちづくりエリア(あらたえの湯)との連携(イベント開催時の来客等へのPR) ⑧徳島阿波おどり空港でのPR事業実施(ボートレース鳴門に係るPR看板設置継続) ⑨観光関係団体や観光産業等地域との連動イベント実施(阿波踊り、花火、場内イベント等) ⑩SG等ビッグレースの誘致(令和2年度開催決定) ⑪外向発売所に指定席棟の整備					
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1						
	2						
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	モーニングレースの実施及びSG等ビッグレースの誘致 経営戦略アクションプランの実行		100	100	100	100	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0			%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		38,895,000	0	204,544,704	0	204,544,704
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源		38,895,000	0	204,544,704	0	204,544,704

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	モーニングレースの実施及びSG等ビッグレースの誘致 経営戦略アクションプランの実行		成果指標に対する所見	モーニングレース、サマータイム(薄暮)レースの開催により売上は好調となり、ボートレース業界全体の売上にも貢献した。また、令和元年にSG第25回オーシャンカップの開催も決定し、計画通り事業を遂行できた。		
	目標	100	%				
	実績	100	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和2年度は、引き続き上半期に薄暮レース、下半期にモーニングレースを開催し、G I 大渦大賞開設67周年記念競走、SG第25回オーシャンカップの開催が決まっている。しかし、電話投票売上が好調である一方、本場の売上は減少傾向にあり、更に、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、無観客開催を開催した期間があったことから、更なる本場売上減の傾向が顕著になることが予想される。今後については、業界からのガイドラインに沿った感染予防対策を講じるとともに、電話投票売上向上施策や本場への来場促進施策を検討・実施し、更なる安定的な経営を行っていく必要がある。また、ブランシェ(外向発売所)の新規顧客獲得に向けたPRを行うほか、ウズホールやウズパーク等において、地域連携イベントを実施するなど、ボートレースパーク化に取り組み、ボートレース場全体のイメージアップを図っていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	効率的な運営形態によりレース(モーニング、サマータイム(薄暮))を開催する。 SG等ビッグレースの誘致を目指す。 経営戦略アクションプラン2021の策定。 外向発売所に指定席棟の整備。			
	令和3年度	効率的な運営形態によりレース(モーニング、サマータイム(薄暮))を開催する。 SG等ビッグレースの誘致を目指す。 新経営戦略アクションプランに基づき、より健全な事業運営に取り組む。 プレミアムG I 競走の開催。			

各実施計画兼評価シート

教 育 委 員 会

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.123

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地場産品の活用と食育の推進事業		担当部署	教育委員会 教育総務課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	食育基本法、学校給食法(学校給食実施基準、 学校給食衛生管理基準)	
基本政策(大項目)		2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成 17 年度
政策(中項目)		3	たくましく生きる力を育むまち なんと			終期	未定
(小項目)			教育行政				
施策		1	教育行政の充実				
基本事業		5	学校給食の充実と食育の推進				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的		① 子どもたちの望ましい食習慣の形成や食に関する理解促進 ② 給食への愛着や地域理解、郷土愛の醸成		事業 内容 (R1)	① 地域の特産物を用いた学校給食の推進 学校給食への地場産品活用促進 ② 給食献立を活用した食育の推進 なんと学校食育の日(毎月19日)の実施				
実施方針		①地域の特産物を用いた学校給食の推進を図る ②給食献立を活用した食育の重点的な推進を図る			当初 からの 変更点				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	郷土食や鳴門独自の献立を給食に採用した件数		76	65	55	55	55	件
	2	なんと学校食育日を実施		11	11	11	11	11	回
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	給食の食材のうち地場産品の占める割合			39	42	35	35	35	%

事業の実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①調理実習の開催 ②「鳴門学校食育の日」の実施 ③給食に関するアンケートの実施(児童・生徒対象)	①調理実習の開催 ②「鳴門学校食育の日」の実施 ③給食に関するアンケートの実施(児童・生徒対象)	①調理実習の開催 ②「鳴門学校食育の日」の実施 ③給食に関するアンケートの実施(児童・生徒対象)	継続	継続
事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	40	0	40	40	40

事務事業名	地場産品の活用と食育の推進事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容						地域の特色を生かした学校給食を実施するため、調理員等を対象に調理実習を開催し、地場産品を活用した献立の作成に努めるとともに、毎月19日を「なると学校食育の日」と定め、「給食発ふるさとの味」をテーマとした地産地消及び食育の推進を図った。 なお、「なると学校食育の日」には、当日の地場産物の紹介とレシピを掲載した「なると食育通信」を家庭に配布し、地産地消に向けた周知を図るとともに、給食献立の嗜好等の実態を把握し、今後の学校給食運営に役立てるため、児童・生徒を対象にアンケート調査を行った。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位				
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	郷土食や鳴門独自の献立を給食に採用した件数		65	68	55	55	55	件				
	2	なると学校食育日を実施		11	11	11	11	11	回				
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	給食の食材のうち地場産品の占める割合			42	49	40	40	40	%				
	目標達成率(実績/目標)				140.0				%				
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算								
					前年度からの繰越決算額		決算額		令和2年度への繰越額		最終事業費		
		計		18,317	0	27,603	0	27,603					
		財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0					
			県支出金		0	0	0	0					
			地方債		0	0	0	0					
			使用料・手数料		0	0	0	0					
			その他		0	0	0	0					
一般財源		18,317	0	27,603	0	27,603							

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	給食の食材のうち地場産品の占める割合		成果指標に対する所見	給食センターの栄養教諭等と連携し、地場産品の活用にも努め、全市的な食育の推進を図った。		
	目標	35	%				
	実績	49	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	学校給食における地場産品を活用した献立を増やすことで、郷土に根付いた料理を食べる機会を増やし、次世代を担う子供たちの郷土への愛着を育む。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	調理員等を対象とした調理実習の開催等を通じて、地場産品を活用した給食献立の開発に努めるとともに、「なると学校食育の日」には、当日の地場産物の紹介とレシピを掲載した「なると食育通信」を家庭に配布し、地産地消に向けた周知を図る。			
	令和3年度	調理員等を対象とした調理実習の開催等を通じて、地場産品を活用した給食献立の開発に努めるとともに、「なると学校食育の日」には、当日の地場産物の紹介とレシピを掲載した「なると食育通信」を家庭に配布し、地産地消に向けた周知を図る。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.124

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	学校施設耐震化推進事業	担当部署	教育委員会 教育総務課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	学校教育法第5条、地方自治法第180条の8、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第1項第7号、建築物の耐震改修の促進に関する法律	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成 20 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと			終期	～令和元年度
(小項目)		教育行政				
施策	1	教育行政の充実				
基本事業	7	安全で安心な教育環境の整備充実				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的		① 安全で安心な教育環境の整備充実	事業 内容 (R1)	1 安全で安心な教育環境の整備 ①第一中学校校舎の第3期改築工事、第4期校舎解体工事の実施 ②幼稚園(5園)の非構造部材耐震改修工事の実施				
実施 方針		1. 施設の耐震化を進め、安全で安心な教育環境を整備する		当初 からの 変更点	変更点無し			
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	耐震性ありと診断された棟数及び前年度までに耐震化が完了した棟数	129	130	132	133		棟
	2	年度中に耐震化が完了した棟数	1	2	1	0		棟
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	年度末における耐震化率[事業対象施設のうち耐震性が確保された棟数]⇒学校施設の耐震化率(年度末時点)		97.7 [130]	99.2 [132]	100 [133]	100 [133]		%

事業の 実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①第一中学校校舎の第3期解体工事が完了、第3期改築工事に着手 ②幼稚園(6園)の非構造部材の耐震改修設計が完了 ③堀江北幼稚園園舎耐震改修工事に着手 ④成稔幼稚園リズム室等改築工事に着手	①第一中学校第3期校舎改築工事の実施 ②非構造部材耐震改修工事が完了(小学校10校、中学校3校) ③幼稚園2園の耐震化工事が完了	①第一中学校第3期校舎改築工事、第4期校舎解体工事の実施 ②幼稚園5園の非構造部材耐震改修工事の実施	完了	
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	109,981	918,821	1,028,802	完了	-

事務事業名	学校施設耐震化推進事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容 ○第一中学校校舎の第3期改築工事、第4期校舎解体工事が完了。 ○幼稚園(5園)の非構造部材耐震改修工事が完了。							
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	耐震性ありと診断された棟数及び前年度までに耐震化が完了した棟数	130	132	133			棟	
	2	年度中に耐震化が完了した棟数	2	1	0			棟	
成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標	年度末における耐震化率[事業対象施設のうち耐震性が確保された棟数]⇒学校施設の耐震化率(年度末時点)		99.2 [132]	100 [133]	100 [133]			%	
	目標達成率(実績/目標)			100	100			%	
事業費推移 (円)			年 度	平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
			計		1,005,794,094	886,616,360	103,082,100	0	989,698,460
			財源内訳	国庫支出金	183,312,000	121,592,000	0	23,130,000	144,722,000
				県支出金	0	0	0	0	0
				地方債	683,200,000	639,000,000	68,100,000	0	707,100,000
				使用料・手数料	0	0	0	0	0
				その他	0	0	0	0	0
一般財源		139,282,094	126,024,360	34,982,100	△ 23,130,000	137,876,460			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		完了		事業全体の進捗状況		-	
成果指標に対する評価	指標名	年度末における耐震化率[事業対象施設のうち耐震性が確保された棟数]⇒学校施設の耐震化率(年度末時点)		成果指標に対する所見	当初の計画通りに事業を実施することができた。		
	目標	100【133】	%				
	実績	100【133】	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	1
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度				
	令和3年度				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.125

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	学校安全施設整備事業		担当部署	教育委員会 教育総務課	
総合計画体系					根拠法令計画など	学校教育法第5条、地方自治法第180条の8、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第1項第7号、都市公園における遊具の安全確保に関する指針	
基本政策(大項目)		2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成 18 年度
政策(中項目)		3	たくましく生きる力を育むまち なんと			終期	未定
(小項目)			教育行政				
施策		1	教育行政の充実				
基本事業		7	安全で安心な教育環境の整備充実				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的			① 安全で安心な教育環境の整備充実		事業内容 (R1)	1.計画的な施設整備の推進 ①設備や遊具、防犯対策設備の修繕、更新などの安全対策の推進 ②現地調査等による改修等が必要な個所の把握				
実施方針			1. 児童・生徒等の安全確保のため計画的な施設整備を推進する			当初からの 変更点				
指標名					平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	年度中に改修や設置を行った件数			26	32	20	20	20	件
	2	前年度までに改修や設置を行った件数			182	208	240	260	280	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	改修や設置などにより改善した設備・遊具等の件数				26	32	20	20	20	件

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	①改修等が必要な施設・設備の整備 ②防犯カメラ・センサーライトの設置	①改修等が必要な施設・設備の整備 ②防犯カメラ・センサーライトの設置	①改修等が必要な施設・設備の整備 ②防犯カメラ・センサーライトの設置	①改修等が必要な施設・設備の整備	継続

事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	9,000	0	9,000	8,500	9,000

事務事業名	学校安全施設整備事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容		現地調査やヒアリング等をもとに、各学校施設で安全上・防犯上、設置や改修が必要な施設・設備を把握し、早急に対応すべき事案について予算内で整備を行った。また、「防犯カメラ及びセンサーライト」について、年次計画に基づき未配備の学校への設置を行った(中学校3校)。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	年度中に改修や設置を行った件数		32	34	30	30	30	件
	2	前年度までに改修や設置を行った件数		208	240	274	304	334	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	改修や設置などにより改善した設備・遊具等の件数			32	34	—	—	—	件
	目標達成率(実績/目標)				170.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
		計		9,672,241	0	8,981,487	0	8,981,487	
		財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
			県支出金	0	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
一般財源		9,672,241	0	8,981,487	0	8,981,487			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	改修や設置などにより改善した設備・遊具等の件数		成果指標に対する所見	必要な整備を実施することにより、園児、児童、生徒の安全な教育環境を確保することができた。		
	目標	20	件				
	実績	34	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現地調査やヒアリング等を通じて各学校(園)施設の劣化状況等の把握に努め、計画的に事業を推進する必要がある。								
今後の方向性	1.廃止		2.要改善		3.現状維持		4.拡充		3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。									
実施内容	令和2年度	施設改修や老朽化した遊具の撤去・設置、防犯設備の充実など、児童生徒の安全確保に向けた整備を行う。							
	令和3年度	施設改修や老朽化した遊具の撤去・設置、防犯設備の充実など、児童生徒の安全確保に向けた整備を行う。							

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	危険箇所対策事業	担当部署	教育委員会 教育総務課	
総合計画体系				根拠法令計画など	学校教育法第5条、地方自治法第180条8、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第1項第7号	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	令和 元 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと			終期	未定
(小項目)		教育行政				
施策	1	教育行政の充実				
基本事業	7	安全で安心な教育環境の整備充実				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	① 安全で安心な教育環境の整備充実		事業内容(R1)	1 危険箇所の安全対策の推進 ①第二中学校 部室棟改修等工事の設計業務 ②瀬戸中学校 プール付属建物補修工事の設計業務 ③明神小学校 進入路擁壁補強工事の設計業務 ④大津西小学校 消火ポンプ機械室改修工事の設計業務				
実施方針	1. 倒壊等の危険がある箇所の安全対策を推進する。			当初からの変更点	変更点無し			
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	改修工事等の完了件数			0	4		件
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	安全対策工事の進捗状況		-	-	設計業務実施	改修工事実施	-	
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	各年度の実施(予定)内容			設計業務の実施	改修工事実施	-		
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度		
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額				
	計	8,000	35,400	43,400	22,600	未定		

事務事業名	危険箇所対策事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①第二中学校 部室棟改修等工事の設計業務の実施 ②瀬戸中学校 プール付属建物補修工事の設計業務の実施 ③明神小学校 進入路擁壁補強工事の設計業務の実施 ④大津西小学校 消火ポンプ機械室改修工事の設計業務の実施					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	改修工事等の完了件数		0	4	-	-	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	安全対策工事の進捗状況			設計業務実施	改修工事実施	-	-	
	目標達成率(実績/目標)			100				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計			0	7,264,400	35,400,000	42,664,400	
	財源内訳	国庫支出金		0	0	4,015,000	4,015,000	
		県支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	1,800,000	31,300,000	33,100,000	
		使用料・手数料		0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	
	一般財源			0	5,464,400	85,000	5,549,400	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	安全対策工事の進捗状況		成果指標に対する所見	当初の計画通りに事業を実施することができた。		
	目標	設計業務の実施	—				
	実績	設計業務の完了	—				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現地調査やヒアリング等を通じて各学校(園)施設の劣化状況等の把握に努め、計画的に事業を推進する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	設計が完了した第二中学校ほか3校の危険箇所対策工事を実施する。			
	令和3年度				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.127

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	幼稚園空調設備整備事業		担当部署	教育委員会 教育総務課	
総合計画体系					根拠法令計画など	学校教育法第5条、地方自治法第180条8、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第1項第7号、学校保健安全法	
基本政策(大項目)		2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成 30 年度
政策(中項目)		3	たくましく生きる力を育むまち なんと			終期	～令和元年度
(小項目)			教育行政				
施策		1	教育行政の充実				
基本事業		7	安全で安心な教育環境の整備充実				
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的		① 安全で快適な学校施設の整備充実		事業 内容 (R1)	1.快適な教育環境の整備 ①幼稚園8園のエアコン設置工事を実施				
実施 方針		1. 快適な教育環境で学習できる施設整備を推進する			当初 からの 変更点				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	設置工事等の進捗状況			設計業務完了	設置完了			
	2								
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	設置工事等の進捗状況				設計業務完了	設置完了			

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容		設計業務の実施	設置完了		
事業費推移(千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	0	55,333	55,333	-	-

事務事業名	幼稚園空調設備整備事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容		令和元年度実施内容		保育室等へのエアコン設置工事の実施(8園)					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	設置工事等の進捗状況		設計業務完了	設置完了				
	2								
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	設置工事等の進捗状況			設計業務完了	設置完了	-	-	-	
	目標達成率(実績/目標)				100	-	-	-	%
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
		計		19,375,840	49,889,960	0	0	49,889,960	
		財 源 内 訳	国庫支出金		13,166,000	0	0	13,166,000	
			県支出金	0	0	0	0	0	
			地方債	17,800,000	27,000,000	0	0	27,000,000	
			使用料・手数料	0	0	0	0	0	
			その他	1,500,000	0	0	0	0	
	一般財源	75,840	9,723,960	0	0	9,723,960			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		完了		事業全体の進捗状況		－	
成果指標に対する評価	指標名	設置工事等の進捗状況		成果指標に対する所見	効率的に事業を実施し、園児たちにとって快適な教育環境の確保をすることができた。		
	目標	設置完了	—				
	実績	設置完了	—				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	1
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度				
	令和3年度				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.128

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	学校づくり計画推進事業		担当部署	教育委員会 学校教育課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	鳴門市教育振興計画 鳴門の学校づくり計画	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業期間	開始	平成 ▼ 20 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと				終期	未定 ▼
(小項目)		教育行政					
施策	1	教育行政の充実					
基本事業	4	鳴門の学校づくり計画の推進					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	「鳴門の学校づくり計画」に位置づけられている、市内の公立幼稚園、小学校及び中学校の子どもたちが、将来にわたってより質の高い教育を受けることができるように、より良い教育環境を整える。			事業内容 (R1)	①鳴門東小で学校再編に関する意見交換会を実施する。 ②瀬戸中学校区において、幼小中一貫教育の充実を図る。 ③「鳴門市教育振興計画審議会」において、今後の公立幼稚園のあり方についての審議を進め、公立幼稚園の再編計画の具体化を図る。				
実施方針	「鳴門の学校づくり計画」に基づき、複式学級の解消を図るとともに、公立幼稚園の再編を推進する。				当初からの変更点	鳴門市教育振興計画審議会開催のための補正予算 報酬 300,000円 消耗品費 20,000円 食糧費 5,000円			
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市教委主催の説明会の開催回数		7	0	3	3	3	回
	2	地域の会合及び学校行事等での説明会の開催回数		0	1	未定	未定	未定	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	複式学級のある小中学校			2	1	1	1	1	校

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①瀬戸小学校の休校 ②瀬戸中学校区で、県の「幼小中一貫教育(徳島モデル)推進事業」を受託	①鳴門東小で学校再編に関する意見交換会を実施 ②瀬戸中学校区で、県の「幼小中一貫教育(徳島モデル)推進事業」を継続し、幼小中一貫教育の本格実施開始。	①鳴門東小で学校再編に関する意見交換会を実施 ②瀬戸中学校区で、幼小中一貫教育の充実を図る。 ③公立幼稚園のあり方を検討	①鳴門東小で学校再編に関する意見交換会を実施 ②瀬戸中学校区で、幼小中一貫教育の充実を図る。 ③公立幼稚園のあり方を検討	①鳴門東小で学校再編に関する意見交換会を実施 ②瀬戸中学校区で、幼小中一貫教育の充実を図る。 ③公立幼稚園の再編に向けて具体的な準備を進める。
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	505	325	830	668	668

事務事業名	学校づくり計画推進事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①鳴門東小において学校再編に関する意見交換会を実施した。 ②瀬戸中学校区では、県の「徳島モデル推進事業」に沿った幼小中一貫教育の充実を図った。 ③令和元年度に設置された「就学前教育・保育のあり方に関する審議会」より出された、「鳴門市就学前教育・保育のあり方に関する基本方針」を受け、公立幼稚園のあり方についての方針を検討する「鳴門市教育振興計画審議会」を設置し、公立幼稚園のあり方についての方針の検討を進め、「鳴門市公立幼稚園のあり方について【中間報告】」を作成した。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市教委主催の説明会の開催回数	0	1	12	未定	未定	回
	2	地域の会合及び学校行事等での説明会の開催回数	1	1	1	未定	未定	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	複式学級のある小中学校		1	1	1	1	1	校
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		504,730	0	710,264	0	710,264	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	500,000	0	500,000	0	500,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	4,730	0	210,264	0	210,264	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	複式学級のある小中学校		成果指標に対する所見	適正規模への再編を行うためには、保護者・地域の理解を得ることが先決であり、そのための協議を重ねている。		
	目標	1	校				
	実績	1	校				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①鳴門東小学校にかかわる学校再編について、保護者の理解が得られるよう、丁寧な説明、意見交換を進めていく必要がある。 ②瀬戸中学校区においては、幼小中一貫「学びのプラン」に基づいた幼小中一貫教育について、平成30年度より導入しているスクールワイドPBSによる取組を継続し、さらに充実させる必要がある。 ③鳴門市教育振興計画審議会において、公立幼稚園のあり方について審議を進め、公立幼稚園の再編についての計画を策定し、幼稚園再編に向けた具体的な準備を行う。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	①鳴門東小で学校再編に関する意見交換会を引き続き実施する。 ②瀬戸中学校区で、幼小中一貫教育の充実を図る。 ③公立幼稚園の再編について計画を策定し、幼稚園再編に向けた具体的な準備を行う。			
	令和3年度	継続実施			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.129

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	幼児教育支援センター事業	担当部署	教育委員会 学校教育課	
総合計画体系				根拠法令計画など	発達障害者支援法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		事業期間	開始	平成 20 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと			終期	未定
(小項目)		学校教育				
施策	2	幼稚園教育の充実				
基本事業	1	教育活動の充実				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	市内就学前の幼児（3歳～6歳）のうち、特別な支援を必要とする幼児や気がかりな幼児は増加傾向にあるため、子育てに悩み、不安を持った保護者が安心して子育てができる環境づくりを目指す。		事業内容 (R1)	幼児教育等の専門家による教育相談の実施 対象者：3歳～就学前の幼児の保護者 相談人数24人 実施時間：保護者の利用しやすい時間帯・曜日について、実施・検討する。				
実施方針	子育てに悩む保護者が気軽に相談できるよう、定期的に「教育相談」の機会を設ける。			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	教育相談実施回数	8	8	8	8	8	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	相談利用者数		24	24	24	24	24	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	教育相談を年8回実施	教育相談を年8回実施	教育相談を年8回実施	継続実施	継続実施
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	120	0	120	120	120

事務事業名	幼児教育支援センター事業
-------	--------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		近年、支援を必要とする幼児や気がかりな幼児が増加傾向にあることや、家庭での保育の低下や子育てに悩んでいる保護者が増え、幼稚園・私立幼稚園・保育所等からの教育相談の申込者も多いことから保護者が気軽に相談できるよう教育相談を実施した。 相談者の利用しやすい日時を検討し、土曜日にも実施した。(相談人数は変更なし) ○幼児教育等の専門家による教育相談の実施 対象者:3歳～就学前の幼児の保護者 相談人数24人 実施時間:17時30分～19時30分 場所:市教委					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	教育相談実施回数	8	8	8	8	8	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	相談利用者数		24	24	24	24	24	人
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		120,000	0	120,000	0	120,000	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	120,000	0	120,000	0	120,000	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	相談利用者数		成果指標に対する所見	不安を持つ保護者や、幼稚園・私立幼稚園・保育所等からの教育相談の申込者も多く、計画した利用者数を達成したため。		
	目標	24	人				
	実績	24	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	子どもの現状を十分に把握できていない保護者もいることから、専門家による教育相談をそのきっかけづくりの一つとして継続して実施するとともに、相談員とも調整し、保護者の利用しやすい時間帯や曜日において実施する。 また、関係課においても連携しながら、保護者にとって安心して子育てができる環境づくりを推進していく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	支援を必要とする幼児や気がかりな幼児が増加傾向にあることや、家庭での保育の低下や子育てに悩んでいる保護者も多いことから、引き続き教育相談を実施する。			
	令和3年度	継続実施。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.130

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	一時預かり事業	担当部署	教育委員会 学校教育課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	学校教育法第5条、地方自治法第180条の8、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条1項第7号都市公園における遊具の安全確保に関する指針	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成 20 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと			終期	未定
(小項目)		学校教育				
施策	2	幼稚園教育の充実				
基本事業	3	一時預かり事業の推進				
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	幼稚園教育要領に基づく保育終了後、家庭での保育が困難な園児を対象に幼稚園施設を開放して預かり保育を実施することにより、園児の健全な発達を図り、保護者の子育てを支援する。		事業 内容 (R1)	①市内の公立幼稚園11園で預かり保育を実施 ②4園で土曜日の預かり保育を実施				
実施 方針	市内の公立幼稚園11園で預かり保育を実施し、うち4園で土曜日の預かり保育を実施する			当初 からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	預かり保育実施園	12	11	11	11	11	園
	2	土曜預かり保育実施園	5	5	4	4	4	園
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	一時預かり受入率		100	100	100	100	100	%

事業の 実施内 容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施 (予定)内容	12園で預かり保育を実施し、うち5園で土曜日の預かり保育を実施。希望者が全員利用。	11園で預かり保育を実施し、うち5園で土曜日の預かり保育を実施。希望者が全員利用。	11園で預かり保育を実施し、うち4園で土曜日の預かり保育を実施。希望者が全員利用。	11園で預かり保育を実施し、うち4園で土曜日の預かり保育を実施。希望者が全員利用。	11園で預かり保育を実施し、うち4園で土曜日の預かり保育を実施。希望者が全員利用。
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	37,818	0	37,818	42,565	42,565

事務事業名	一時預かり事業
-------	---------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容 11園で一時預かりを実施するとともに、4園で土曜日の一時預かりを実施した。						
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	預かり保育実施園	11	11	11	未定	未定 園
	2	土曜預かり保育実施園	5	4	4	未定	未定 園
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	一時預かり受入率		100	100	100	100	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0			%
事業費推移(円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		30,044,820	0	28,330,144	0	28,330,144
	財源内訳	国庫支出金	3,935,000	0	3,258,000	0	3,258,000
		県支出金	3,935,000	0	3,258,000	0	3,258,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	18,238,000	0	15,849,300	0	15,849,300
		その他		0	0	0	0
	一般財源		3,936,820	0	5,964,844	0	5,964,844

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	一時預かり受入率		成果指標に対する所見	希望者が全員利用できる体制を維持した。		
	目標	100	%				
	実績	100	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	他市町村においても、幼稚園の臨時職員については人員確保に苦慮している状態である。 本市においても、定期的に勤務条件の改善を行っているが、預かり保育担当職員を含む幼稚園の臨時職員について、継続的に優秀な人員を確保することが課題となっている。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓ 今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	引き続き、11園（土曜日は4園）で一時預かりを実施し、希望者全員が利用できる体制を整える。また、一時預かりを円滑に実施するため担当職員の適正な人材確保を目指す。			
	令和3年度	幼稚園の再編に伴う実施園の減少が見込まれるが、引き続き、希望者全員が利用できる体制を維持する。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.131

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	学力向上対策推進事業		担当部署	教育委員会 学校教育課	
総合計画体系					根拠法令計画など	なし	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり				事業期間	開始平成28年度 終期未定
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと					
(小項目)		学校教育					
施策	3	義務教育の充実					
基本事業	1	学力向上の推進					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	学校と家庭が連携し、市内小中学生の基本的な生活習慣や学習習慣の育成を図り、確かな学力の向上と定着を目指す。		事業内容 (R1)	①Q-Uアンケートの実施 ②学力向上推進委員会の開催 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催				
実施方針	鳴門教育大学教員や小中学校の代表校長、各教科部会の代表教員を委員とした「鳴門市学力向上推進委員会」において、学力向上施策を検討し、各種施策を実施する。			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	学力向上推進施策の実施		①Q-Uアンケートの実施 ②学力向上推進委員会の開催 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①Q-Uアンケートの実施 ②学力向上推進委員会の開催 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①Q-Uアンケートの実施 ②学力向上推進委員会の開催 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①Q-Uアンケートの実施 ②学力向上推進委員会の開催 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①Q-Uアンケートの実施 ②学力向上推進委員会の開催 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	-

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①Q-Uアンケートの実施 ②学力向上推進委員会の開催 ③各学校への新聞の配備 ④数学オリンピックの開催	①Q-Uアンケートの実施 ②学力向上推進委員会の開催 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①Q-Uアンケートの実施 ②学力向上推進委員会の開催 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①Q-Uアンケートの実施 ②学力向上推進委員会の開催 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①Q-Uアンケートの実施 ②学力向上推進委員会の開催 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	2,578	0	2,578	2,681	2,681

事務事業名	学力向上対策推進事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		鳴門教育大学教員や小中学校の代表校長、各教科部会の代表教員を委員とした「鳴門市学力向上推進委員会」において、学力向上施策の検討を進めた他、小学校3～6年・中学校1～3年を対象にQUアンケートを実施した他、各学校に新聞を配備した。 また、鳴門教育大学の協力を得て、平成29年に数学オリンピックから拡大させた理数オリンピックを継続して実施し、理科や数学に対する生徒の意欲を伸ばし、理数好きの生徒を増やすよう努めた。					
	指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	学力向上推進施策の実施		①Q-Uアンケートの実施 ②学力向上推進委員会の開催 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①Q-Uアンケートの実施 ②学力向上推進委員会の開催 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①Q-Uアンケートの実施 ②学力向上推進委員会の開催 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①Q-Uアンケートの実施 ②学力向上推進委員会の開催 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①Q-Uアンケートの実施 ②学力向上推進委員会の開催 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	-
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		2,321,293	0	2,413,527	0	2,413,527	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	39,165	0	0	0	0	
		一般財源	2,282,128	0	2,413,527	0	2,413,527	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	学力向上推進施策の実施		成果指標に対する所見	目標どおり学力向上施策を実施できた		
	目標	①Q-Uアンケートの実施 ②学力向上推進委員会の開催 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	-				
	実績	①Q-Uアンケートの実施 ②学力向上推進委員会の開催 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	-				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門市学力向上推進委員会において、各学校と連携して情報収集や調査結果の分析を行うとともに、具体的な対策について研究を進め、全市一体となった取組を進める。また、学力の定着には学校での学習以外に、家庭での過ごし方も深く関係しており、どのようにして家庭での生活習慣や学習習慣を身につけるかが課題である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	鳴門市学力向上推進委員会において、各学校と連携して情報収集や調査結果の分析を行うとともに、具体的な対策について研究を進め、全市一体となった取組を進める。 また、家庭と連携し、基本的な生活習慣と学習習慣の育成を図る。			
	令和3年度	継続実施。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.132

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	特別支援教育推進事業	担当部署	教育委員会 学校教育課 教育支援室	
総合計画体系				根拠法令 計画など	学校教育法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成 20 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと			終期	未定
(小項目)		学校教育				
施策	3	義務教育の充実				
基本事業	4	特別支援教育の充実				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要 (PLAN)

目的			特別な支援を必要とする児童・生徒が抱える学習や学校活動上の困難を改善・克服するとともに、子どもの発達や特別支援教育に関する保護者や教職員の理解を向上させる。	事業内容 (R1)	① 特別支援教育支援員及び特別支援教育サポーターの配置					
実施方針			特別支援教育支援員や特別支援教育サポーターを配置する。		当初からの変更点	補聴援助システム購入のための補正予算 備品購入費128,000円				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	特別支援教育サポーターの登録人数		25	23	50	50	50	人	
	2									
成果指標				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
対象にどのような効果があったか示す指標		特別支援教育支援員の配置人数		20	20	21	21	21	人	

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①特別支援教育支援員及び特別支援教育サポーターを配置 ②特別支援学級合同校琉会消耗品購入費を支援	①特別支援教育支援員及び特別支援教育サポーターを配置 ②特別支援学級合同校琉会消耗品購入費を支援 ③市内すべての小・中学校の特別支援学級にタブレットを配置	①特別支援教育支援員及び特別支援教育サポーターを配置 ②特別支援学級合同校琉会消耗品購入費を支援	①特別支援教育支援員及び特別支援教育サポーターを配置 ②特別支援学級合同校琉会消耗品購入費を支援	①特別支援教育支援員及び特別支援教育サポーターを配置 ②特別支援学級合同校琉会消耗品購入費を支援

事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	34,941	128	35,069	53,793	53,793

事務事業名	特別支援教育推進事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①前年度の配置効果や学校からの要望内容を検討し、特別支援教育支援員を21名配置 ②鳴門教育大学との連携のもと、学生の意向を尊重した上で、特別支援教育サポーター23名を配置 ③特別支援学級合同交流会の作品製作に係る消耗品の購入費を支援。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	特別支援教育サポーターの登録人数	23	29	50	50	50	人
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	特別支援教育支援員の配置人数		20	21	21	21	21	人
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		42,350,460	0	32,742,163	0	32,742,163	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	10,100,000	0	0	0	0	
	一般財源		32,250,460	0	32,742,163	0	32,742,163	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	特別支援教育支援員の配置人数		成果指標に対する所見	年度途中で退職もあったが、計画通りの人数を配置できた。
	目標	21	人		
	実績	21	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	支援員やサポーターを必要とする幼児・児童・生徒の増加等により、学校現場からは支援員の増員を強く求められており、特別支援教育に係る学校現場の人員を確保する必要がある。また、入学後あるいは学年途中でも教育的判断から支援員の配置が必要となった場合に、臨機応変に対応できるような体制の整備が急がれる。 また、特別支援教育に係る学校現場をサポートするため、引き続きサポーターの登録を推進していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	前年度の配置効果や学校からの要望内容を検討し、支援員を配置する。			
	令和3年度	継続実施			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.133

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳴門市学校・幼稚園防災対策事業	担当部署	教育委員会 学校教育課
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市地域防災計画 鳴門市学校・幼稚園防災推進計画
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		事業 期間	開始 平成 26 年度 終期 未定
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと			
(小項目)		学校教育			
施策	3	義務教育の充実			
基本事業	6	生命を守る防災安全教育の推進			
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無					
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求					

◎事業概要 (PLAN)

目的			「鳴門市学校・幼稚園防災推進計画」に基づき、本市の幼児・児童・生徒及び職員の災害発生時の安全確保対策の推進と一時避難に必要な災害対応備品等を計画的に整備するとともに、防災教育及び防災管理・組織活動の充実と推進を図る。		事業内容 (R1)	①学校防災推進会議及び実務者会議の開催 ②市内中学校の防災クラブの活動支援				
実施方針			「鳴門市学校・幼稚園防災推進計画」に基づいた取り組みを推進する。また、学校現場と協力して、授業にフェーズフリーの考え方を取り入れ、児童生徒が災害時に備えた感覚を身に付けられる状態を目指す。			当初からの変更点				
指標名					平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学校防災推進会議開催数			2	2	2	2	2	回
	2	実務者部会開催数			3	3	3	3	3	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	重点取組項目数				6	2	7	7	7	個

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①学校防災推進会議を年度内に2回開催し、重点取組項目を決定。 ②学校防災実務者部会を3回開催し、取り組みを推進。 ③市内3中学校に防災クラブを設置し、活動を支援。	①学校防災推進会議を2回開催し、重点取組項目を決定 ②学校防災推進会議実務者部会を3回開催し、取り組みを推進 ③市内全中学校に防災クラブを設置し、活動を支援	①学校防災推進会議を2回開催し、重点取組項目を決定 ②学校防災推進会議実務者部会を3回開催し、取り組みを推進	①学校防災推進会議を2回開催し、重点取組項目を決定 ②学校防災推進会議実務者部会を3回開催し、取り組みを推進	①学校防災推進会議を2回開催し、重点取組項目を決定 ②学校防災推進会議実務者部会を3回開催し、取り組みを推進
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	150	0	150	1,790	1,790

事務事業名	鳴門市学校・幼稚園防災対策事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容							「鳴門市学校・幼稚園防災推進計画」に基づき、学校防災推進会議を年度内に2回開催し、重点取組項目を取り決め、取組状況の検証をするとともに、共通理解事項の確認・改善を図った。 事務者部会は年度内に3回開催し、各地域の自主防災会と連携した避難所運営支援と、学校防災の意識と知識の更新についての取組を中心に進めた。 市内全中学校に防災クラブを設置し、活動を支援した。						
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位							
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学校防災推進会議開催数	2	2	2	2	2	回							
	2	実務者部会開催数	3	3	3	3	3	回							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	重点取組項目数		2	7	7	7	7	個							
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%							
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算											
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費								
	計		129,904	0	128,239	0	128,239								
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0								
		県支出金	0	0	0	0	0								
		地方債	0	0	0	0	0								
		使用料・手数料	0	0	0	0	0								
		その他	0	0	0	0	0								
一般財源		129,904	0	128,239	0	128,239									

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	重点取組項目数		成果指標に対する所見	防災教育と防災管理の2つの視点から、重点取組項目を設定し、重点的に取り組んだ。		
	目標	7	個				
	実績	7	個				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	重点取組項目のそれぞれの項目について、より実効性のある取組にしていく必要がある。学校によって、地域連携しやすい地域とそうでない地域があり、取組に違いがある。今後は、小学生の意識調査を行うなどして実態把握に努め、その結果を基に、学校・地域・保護者が一丸となって防災教育の取組を推進していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	「鳴門市学校・幼稚園防災推進計画」に基づき、取組を推進し、実務者部会において、地域連携を強化していく。 県の委託事業を活用し、拠点校を中心に防災訓練や防災に関する講演を実施する他、関連教材の作成などにより、児童生徒の防災意識を高める。			
	令和3年度	継続実施			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.134

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	学校図書館サポート推進事業	担当部署	教育委員会 学校教育課	
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市教育振興計画	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成 20 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと			終期	未定
(小項目)		教育行政				
施策	3	義務教育の充実				
基本事業	9	読書活動の推進				
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的		子どもたちが学校図書館を積極的に活用し、調べ学習や読書活動が活発に行われるなど、学校図書館の活性化を図る。		事業内容 (R1)	学校図書館サポーターの全校配置					
実施方針		市内全ての小・中学校に図書館サポーターを配置する。								
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学校図書館サポーターの配置校		18	18	18	18	18	校	
	2									
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	学校図書館サポーターの配置			100	100	100	100	100	%	

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	学校図書館サポーターの全校配置	学校図書館サポーターの全校配置	学校図書館サポーターの全校配置	学校図書館サポーターの全校配置	学校図書館サポーターの全校配置
事業費推移(千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	4,986	0	4,986	4,986	4,986

事務事業名	学校図書館サポート推進事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		学校図書館サポーターを配置し、司書教諭と連携しながら、学校図書館運営の支援を行い、学校図書館を活用した教育活動や読書活動の推進を図った。また、図書館サポーター間での自主的な情報交換や意見交換の場としての研修を行った。					
			指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学校図書館サポーターの配置校	18	18	18	18	18	校
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	学校図書館サポーターの配置		100	100	100	100	100	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		4,891,000	0	4,794,000	0	4,794,000	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		4,891,000	0	4,794,000	0	4,794,000		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	学校図書館サポーターの配置		成果指標に対する所見	全小・中学校へ、学校図書館サポーターの配置ができた(兼務含む)		
	目標	100	%				
	実績	100	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門市の読書活動を推進するにあたり、学校図書館サポーターは重要な役割を果たしており、今後も継続して配置する。また、学力向上・公平性の観点からも、学校の規模に関わらず、全ての学校に図書館サポーターを配置していく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	継続して全ての学校へサポーターを配置。			
	令和3年度	継続実施			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.135

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	学園都市化構想連携協力推進事業		担当部署	教育委員会 学校教育課	
総合計画体系					根拠法令計画など	鳴門市、鳴門市教育委員会及び鳴門教育大学との鳴門市学園都市化構想に関する連携協力協定書	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業期間	開始	平成 24 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと					
(小項目)		大学連携					
施策	4	大学連携の推進					
基本事業	2	学校教育における連携			終期	未定	
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	「鳴門市、鳴門市教育委員会及び国立大学法人鳴門教育大学との鳴門市学園都市化構想に関する連携協力協定書」に基づき、現在の連携協力校(園)における課題解決や教育・保育の充実・向上を行い、将来的には、市内全域の認定こども園、幼稚園、小学校及び中学校が連携協力校(園)となって、鳴門市学園都市化を目指す。		事業内容(R1)	①学生ボランティアの派遣 ②大学施設を活用した交流機会の創出 ③大学連携による教育内容の充実				
実施方針	鳴門教育大学教育拠点校に認定されている鳴門町地区の認定こども園、幼稚園、小学校、中学校の5校園において、教育・保育のより一層の充実・向上を図る。 将来的には、連携協力校(園)を市内全域に拡充し、鳴門市学園都市化を目指す。			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学習支援サポーター活動人数	29	27	19	30	30	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	連携協力保育所・幼稚園・小学校・中学校		6	5	5	5	5	校

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①6校園で大学による研究事業を実施 ②学習支援サポーター29名及び部活動支援サポーター19名を派遣	①5校園で大学による研究事業を実施 ②学習支援サポーター27名及び部活動支援サポーター19名を派遣	①5校園で大学による研究事業を実施 ②学習支援サポーター19名及び部活動支援サポーター11名を派遣	①実施計画に基づき、5校園での連携・協力を推進する。 ②大学や5校園と協議を進め、見直しを行った上で次年度の実施計画を策定する。	①実施計画に基づき、5校園での連携・協力を推進する。 ②大学や5校園と協議を進め、見直しを行った上で次年度の実施計画を策定する。
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	438	0	438	441	441

事務事業名	学園都市化構想連携協力推進事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		令和元年度の取組について定めた鳴門市学園都市化構想実施計画に基づき、鳴門町地区の認定こども園、幼稚園、小学校、中学校の5校園において、鳴門教育大学により研究事業を実施し、教育の充実・向上に取り組んだ。また、学習支援サポーター19名及び部活動支援サポーター11名の派遣を行い、連携・協力を推進した。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学習支援サポーター活動人数	27	19	30	30	30	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果が あったか示す指標	連携協力保育所・幼稚園・小学校・中学校		5	5	5	5	5	校
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		283,975	0	238,706	0	238,706	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		283,975	0	238,706	0	238,706	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	連携協力保育所・幼稚園・小学校・中学校		成果指標に対する所見	学校(園)は鳴門教育大学から、その教育資源の提供を受けるとともに、大学の教育研究への協力を行うといったように、相互に連携協力を行っており、学校(園)の教育環境の充実・向上が図られている。		
	目標	5	校				
	実績	5	校				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門教育大学が鳴門町地区の認定こども園、幼稚園、小学校、中学校の5校園を鳴教大研究拠点校に認定したことに伴い、教育・保育の分野において、より一層の充実・向上を図っていく。 また、将来的に、市全体に取組を拡充し、市内の教育・保育の充実・向上を図るために、教育研究拠点校の5校園における課題や効果の検証を深め、将来的な方向性の検討を進める必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	鳴教大研究拠点校となった鳴門町地区の認定こども園、幼稚園、小学校、中学校の5校園と、鳴教大との連携・協力をより推進する。また、これまでの取組を検証し、次年度に向けての連携・協力内容を深め、将来的な方向性の検討を進める必要がある。			
	令和3年度	継続実施			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.136

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	外国語教育推進事業	担当部署	教育委員会 教育支援室	
総合計画体系				根拠法令 計画など	<small>「英語が使える日本人」育成のための戦略構想」(H14)、学習指導要領(H20・3月)、「国際化推進としての英語力向上のための5つの提言」(H23・6月)、「世界にはばたく鳴門の子ども」育成プラン(H25・5月鳴門市教育委員会策定)、「グローバル化に対応した英語教育改革の五つの提言」(H26)、「中教審教育課程企画特別部会論点整理」(H27・8月)</small>	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	平成 ▼ 3 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと			終期	未定 ▼
(小項目)		教育行政				
施策	1	教育行政の充実				
基本事業	6	教育支援体制の充実				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要 (PLAN)

目的		国際化への対応が求められる中、小・中・高を見通した外国語教育の充実を図り、豊かな国際感覚とコミュニケーション能力を持った「世界にはばたく鳴門の子ども」を育成する。		事業内容 (R1)	①英検受験料補助事業の奨励 ②英語力アップ対策講座の実施 ③We Love NARUTO!～中学生英語発信コンテスト～の実施 ④児童生徒の意識調査の実施と成果の検証 ⑤グローバル人材講演会の実施 等				
実施方針		①達成状況の把握・検証 ②モチベーションの喚起 ③体験の場の設定 ④教員の指導力向上・授業改善 ⑤情報発信			当初からの 変更点	【9月補正】 ・国際化協会会費の値上げによる補正 【3月補正】 ・外国語指導助手任期満了に伴う帰国旅費			
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	幼・小・中学校訪問日数		1,478	1,506	1,506	1,506	1,506	日
	2	英検受験者数(3級以上)		260	205	220	230	240	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	中学3年生のアンケート結果「外国の人に英語で話しかけられたら」の項目に「英語で答える」と回答する割合			57	62	58	59	60	%

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	「世界にはばたく鳴門の子ども」育成事業である英検受験料補助事業の奨励、指導支援、英語力アップ対策講座等の実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
事業費推移(千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	40,173	△ 699	39,474	7,707	7,707

事務事業名	外国語教育推進事業
-------	-----------

【実績ベース】

◎実施結果 (DO)

事業 実施 内容		令和元年度実施内容		令和2年度から段階的に開始される小・中学校新学習指導要領完全実施が円滑に実施できるように、小中高外国語教育研究委員会 で検証・改善を行った。また、児童や生徒の英語学習への意欲を喚起するため体験的な活動を実施した。また、鳴門教育大学と連携し、「英語力アップ対策講座」の充実を図った。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	幼・小・中学校訪問日数		1,506	1,506	1,506	1506	1,506	日
	2	英検受検者数(3級以上)		205	203	210	220	230	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	中学3年生のアンケート結果「外国の人に英語で話しかけられたら」の項目に「英語で答える」と回答する割合			62	73	59	60	60	%
	目標達成率(実績/目標)				125.9				%
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
		計		39,474,000	0	38,346,147	0	38,346,147	
		財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
			県支出金	0	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	0	0	0	0	0	
			その他	1,000	0	0	0	0	
一般財源		39,473,000	0	38,346,147	0	38,346,147			

◎評価 (CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	中学3年生のアンケート結果「外国の人に英語で話しかけられたら」の項目に「英語で答える」と回答する割合		成果指標に対する所見	「外国の人に話しかけられたら英語で答える」生徒の割合は、前年度より11%上昇するなど成果が見られた。		
	目標	58	%				
	実績	73	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性 (ACTION)

課題	「外国の人に英語で話しかけられたら英語で答える」と回答する中学3年生の割合を保持するために、モチベーションの喚起や英語を使う場を設ける取り組みを行う。また、英検受検率と英検3級以上の合格率向上を推進するため、英検補助金制度の積極的な活用を奨励を行う取り組みのほか、英検受験者等のレベルアップを目的とした「英語力アップ対策講座」の充実を図る。併せて、小中学校における授業改善のため、教職員研修会の充実を図る。				
	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓ 今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	小学校における新学習指導要領実施にあたり、適切な指導や評価が行われているか、検証・改善を行う。令和3年度の中学校における新学習指導要領実施に向け、小中高連携の視点から課題や取組を検討し、教員が共有できるよう情報発信を行ったり、授業改善につながる研修を検討する。また、英検補助金制度についての奨励や「英語力アップ対策講座」を継続し、英検受検率や英検3級以上の合格率の向上を図る。			
	令和3年度	中学校における新学習指導要領完全実施に向け、現場から意見を反映した協議や改善を行う。また、小中高連携の視点から課題や取組を検討し、教員が共有できるよう情報発信を行ったり、授業改善につながる研修を工夫したりする。英検補助金制度についての奨励や「英語力アップ対策講座」を継続し、英検受検率や英検3級以上の合格率の向上を図る。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.137

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ICT環境整備事業		担当部署	教育委員会 教育支援室	
総合計画体系					根拠法令 計画など	IT新改革戦略 教育の情報化ビジョン	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業 期間	開始	平成 ▼ 26 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと					
(小項目)		教育行政					
施策	1	教育行政の充実					
基本事業	6	教育支援体制の充実				終期	未定 ▼
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	電子黒板やデジタル教科書の導入を進め、教育環境の整備を図る。また、整備した電子黒板等のICT環境を活用することにより「わかる授業」を展開し、授業の理解度の向上を目指す。		事業内容 (R1)	県下全市町村で統一して進められている学校業務支援システムの整備を優先して行う。また、年度内にWindows7のサポートが切れるため、各校で使われている教育用・校務用のWindows7パソコンのうち、児童生徒の個人情報を扱う校務用ノートパソコンの更新に計画的に取り組む。また、電子黒板やデジタル教科書の有効活用を目指した研修等を継続的に行う。				
実施方針	教育環境の充実や授業の理解度の向上のため、ICT機器の整備について、国県の動向にも注視しながら計画的に取り組んでいく。			当初からの 変更点	GIGAスクール構想に伴うICT環境整備事業として、市内小中学校に対し校内通信ネットワークの構築を行うため補正を行う。			
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1		—	—	—	—	—	
	2		—	—	—	—	—	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	ICT環境整備件数		17	115	140	—	—	件

事業の実施内容 内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	中学校3年生の全普通教室に電子黒板ならびにデジタル教科書の整備を行った。	小学校3～4年生の全普通教室の電子黒板ならびにデジタル教科書の整備を行った。	学校業務支援システムの構築を最優先ととらえ、校務用パソコンの更新を行った。	継続実施	学校業務支援システムの運用開始。
事業費推移 (千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	27,065	169,845	196,910	23,784	65,879

事務事業名	ICT環境整備事業
-------	-----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		県下全市町村で統一して進められている学校業務支援システムについて、令和3年度の運用開始に向けて整備を行った。 また、各校で使われている教育用・校務用のWindows7パソコンのうち、児童生徒の個人情報を扱う校務用ノートパソコンの更新も計画的に行うとともに、電子黒板やデジタル教科書の有効活用を目指した研修を引き続き行った。 また、国の補正予算において、GIGAスクール構想の実現に向けた校内ネットワークの整備についての補助金が令和2年度までとなったことから、令和2年内に全小中学校の校内ネットワークの整備ができるよう、補正予算を計上した。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1		—	—	—	—	—	
	2		—	—	—	—	—	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	ICT環境整備件数		115	140	—	—	—	件
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		23,545,080	0	26,401,460	169,845,000	196,246,460	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	85,663,000	85,663,000	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	84,100,000	84,100,000	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	23,545,080	0	0	0	0	
一般財源		0	0	26,401,460	82,000	26,483,460		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	ICT環境整備件数		成果指標に対する所見	ICT環境整備事業について、学校業務支援システム構築に取り組みながら、校務用コンピュータの整備を行い、教育環境の向上を図った。		
	目標	140	件				
	実績	140	件				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	各校で使われているサポートの期間が切れている教育用・校務用のWindows7/パソコンについて、早急にバージョンアップ、更新等を進める必要がある。 GIGAスクール構想の実現に向けて、3月補正にて予算措置した校内のネットワーク整備について、年度内完了に向けて計画的に進めるとともに、一人一台端末の整備に向けて、鳴門教育大学や関係各課と連携しながら、本市のICT教育の推進を図る必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	教育用・校務用パソコンについて早急な更新を図る。 国、県の動向にも注視しながら、校内ネットワークの整備やタブレット端末の整備、必要なソフトウェアの導入など、GIGAスクール構想の実現に向けて、鳴門教育大学や関係各課と連携しながら、ICT教育の推進を図る。			
	令和3年度	整備したタブレット端末を有効に活用できるよう、鳴門教育大学や関係各課と連携しながら、ICT教育の推進を図る。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.138

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	福永家住宅・塩田保存活用計画	担当部署	教育委員会 生涯学習人権課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	文化財保護法	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業 期間	開始	昭和 51 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと				
(小項目)		文化財			終期	未定
施策	4	文化財の保護と活用				
基本事業	2	文化財の保護と活用				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無		
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		
<input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						

◎事業概要(PLAN)

目的	全国で唯一、近代化以前の製塩業の姿を残す「福永家住宅」について、必要な保存対策・環境整備を進めながら、公有化した建物・塩田の公開活用を行う。これにより、文化財を地域学習の材料としてだけでなく、地域活動及び観光資源として活用することをめざす。			事業内容 (R1)	①保存活用計画(案)の内容調整について文化庁と協議を進め、文化庁の承認により策定された計画に基づき、国庫補助事業による建物修理などについて検討する。 ②地域住民やボランティアと協働し、一般公開事業を実施する。 ③事前申込による個別の見学依頼について、観光ボランティアガイドと協働して実施する。				
実施方針	①建造物の適切な保存整備をおこなう。 ②市民等への公開活用の機会を増やす。				当初からの 変更点				
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	見学・公開回数		19	25	20	20	20	回
	2	市有化率		95	95	100	100	100	%
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	福永家住宅の保存整備			80	80	90	90	90	%

事業の 実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①文化庁との協議 ②一般公開事業 ③個別見学	①文化庁との協議 ②一般公開事業 ③個別見学	①文化庁との協議 ②一般公開事業 ③個別見学	①文化庁との協議 ②一般公開事業 ③個別見学	①一般公開事業 ②個別見学
事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	2,131	0	2,131	1,569	1,406

事務事業名	福永家住宅・塩田保存活用計画
-------	----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①保存活用計画(案)の内容調整について文化庁と協議を進め、文化庁の承認により策定された計画に基づき、国庫補助事業による建物修理などについて継続して検討をおこなった。 ②地域住民やボランティアと協働し、一般公開事業を実施した。 ③事前申込による個別の見学依頼について、観光ボランティアガイドと協働して実施した。				
	指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	見学・公開回数	25	8	20	20	20
	2	市有化率	95	95	100	100	100
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	福永家住宅の保存整備		80	80	90	90	90
	目標達成率(実績/目標)			88.9			
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		1,329,065	0	1,809,357	0	1,809,357
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源		1,329,065	0	1,809,357	0	1,809,357

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	福永家住宅の保存整備		成果指標に対する所見	概ね計画通り事業を実施することができたが、底地の所有権取得および保存活用計画策定を完了させることができなかった。		
	目標	90	%				
	実績	80	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	引き続き保存活用計画の最終策定に向けて事業を進める。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	①保存活用計画の策定および建物の保存修理に向けた調整 ②地域住民やボランティア団体などと協働した公開事業の実施 ③緊急性の高い修繕事業の実施 ④指定地内に残る私有地について、公有化の交渉を継続する。			
	令和3年度	①保存活用計画に基づいた保存修理事業の検討 ②地域住民やボランティア団体などと協働した公開事業の実施 ③緊急性の高い修繕事業の実施			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.139

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	史跡等地域文化財保存活用事業	担当部署	教育委員会 生涯学習人権課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	文化財保護法	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業 期間	開始	平成 16 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと				
(小項目)		文化財				
施策	4	文化財の保護と活用				
基本事業	2	文化財の保護と活用				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要 (PLAN)

目的			①市内にある史跡等地域文化財について、適切な保存管理をおこなうとともに、公開活用につとめる。		事業内容 (R1)	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の普及活用事業(展示会・見学会等)を実施するとともに、保存活用検討委員会を開催する。 ②国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の普及活用事業(展示会・見学会等)を実施するとともに、保存活用検討委員会を開催する。 ③市域内出土収集文化財の整理および活用				
実施方針			①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用 ②国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の保存活用 ③市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用 ④その他指定文化財等の保存管理と普及活用			当初からの 変更点 板東俘虜収容所跡に関する冊子を市内の中学生などに幅広く配布するため、増刷する。				
指標名					平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用			10	20	30	40	45	%
	2	「板東俘虜収容所跡」の国指定史跡化(30年度まで)および保存活用(元年度以降)			90	100	10	20	20	%
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名				平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	史跡等地域文化財の保存活用				20	35	40	45	50	%

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用 ②「板東俘虜収容所跡」の国指定史跡化に向けた作業 ③市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用 ④その他指定文化財等の保存管理と普及活用	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用 ②国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の保存活用 ③市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用 ④その他指定文化財等の保存管理と普及活用	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用 ②国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の保存活用 ③市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用 ④その他指定文化財等の保存管理と普及活用	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用 ②国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の保存活用 ③市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用 ④その他指定文化財等の保存管理と普及活用	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用 ②国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の保存活用 ③市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用 ④その他指定文化財等の保存管理と普及活用
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	1,674	500	2,174	2,092	1,351

事務事業名	史跡等地域文化財保存活用事業
-------	----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容		①「大代古墳」の一般公開を行った。 ②「板東俘虜収容所跡」保存活用検討委員会を開催した。 ③市立図書館展示スペースで出土資料等を展示した。					
指標名				平成30元年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用		20	20	25	25	30	%
	2	「板東俘虜収容所跡」の国指定史跡化(30年度まで)および保存活用(元年度以降)		100	10	20	20	20	%
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	史跡等地域文化財の保存活用			35	35	45	50	55	%
	目標達成率(実績/目標)				87.5				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算					
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費		
	計		4,547,795	0	1,417,375	0	1,417,375		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	33,000	0	33,000	0	33,000		
		地方債	0	0	0	0	0		
		使用料・手数料	0	0	0	0	0		
		その他	3,977,675	0	0	0	0		
一般財源		537,120	0	1,384,375	0	1,384,375			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	史跡等地域文化財の保存活用		成果指標に対する所見	各保存活用計画検討委員会に関しては開発対応の遺跡調査発掘時期と重なり、開催回数が減ったが、板東俘虜収容所跡解説パンフレット作成事業に関しては関係各位より好評を得、大幅な増刷となった。		
	目標	40	%				
	実績	35	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①史跡指定を受けた「鳴門板野古墳群」の保存活用計画策定に向けた検討委員会を実施する。 ②史跡指定を受けた「板東俘虜収容所跡」の保存活用計画策定に向けた検討委員会を実施する。 ③史跡の環境整備事業や、史跡を活用した周知啓発事業を継続して実施する。 ④収蔵文化財は、資料整理を進めるとともに、幅広く展示や貸出し等の活用を図っていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓ 今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	①古墳群:展示会や現地見学会などの周知啓発事業を実施すると共に、地域との協働による環境整備事業を継続する。 ②収容所跡:保存活用計画策定に向けた検討委員会を開催すると共に、平和学習の場としての活用に取組む。 ③収蔵文化財の整理活用を進める。			
	令和3年度	①古墳群:展示会や現地見学会などの周知啓発事業を実施すると共に、地域との協働による環境整備事業を継続する。 ②収容所跡:保存活用計画策定に向けた検討委員会を開催すると共に、平和学習の場としての活用に取組む。 ③収蔵文化財の整理活用を進める。			

事務事業名	人権教育推進事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容		令和元年度実施内容		①人権地域フォーラム(8/2)、ヒューマンライツメッセージなると(11/29)を開催した。 ②人権教育研究大会(11/22)を開催した。 ③人権教育推進協議会の活動を支援するとともに、理事会(5/10)、総会(6/4)、企業部会総会(6/11)において人権問題研修会等を開催した。また、人権啓発を協力して行なった。 ④人権啓発活動として、「広報なると」での人権啓発記事の掲載や人権週間に合わせた街頭啓発を行った。						
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	市主催人権問題研修会等の実施回数		3	3	3	3	3	回	
	2	人推協主催人権問題研修会等の実施回数		3	3	3	3	3	回	
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	市及び人推協主催の人権問題研修会等への参加者数			974	970	1,100	1,100	1,100	人	
	目標達成率(実績/目標)				88.2				%	
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算						
				前年度からの繰越決算額		決算額		令和2年度への繰越額		最終事業費
	計		2,481,232	0	2,413,379	0	2,413,379			
	財 源 内 訳	国庫支出金		0	0	0	0	0		
		県支出金		0	0	318,000	0	318,000		
		地方債		0	0	0	0	0		
		使用料・手数料		0	0	0	0	0		
		その他		0	0	0	0	0		
	一般財源		2,481,232	0	2,095,379	0	2,095,379			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	市及び人推協主催の人権問題研修会等への参加者数		成果指標に対する所見	人権に関する多くの課題が残されている中、すべての人権問題解決につなげていく人権教育・啓発の場として各種研修会がその役割を果たせるよう、更なる参加者増を図る必要がある。		
	目標	1,100	人				
	実績	970	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	インターネット上での人権侵害など人権問題が複雑化・高度化してきている状況の中、市人権教育推進協議会と連携を強め、人権地域フォーラム、ヒューマンライツメッセージなると、人権教育研究大会などの人権問題研修会の開催や、広報なるとへの掲載、街頭啓発等を実施し、「部落差別解消法」の周知徹底を図るとともに、同和問題をはじめとするすべての人権問題解決につなげていく人権教育や啓発を積極的に推進する。 研修会等への参加者が固定化している現状もあり、差別を許さない市民運動を広げていくためにも、わかりやすく理解しやすい内容とするなど、啓発手法の工夫と改善に取り組む必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	①さまざまな差別事象の防止に向け、啓発活動に引き続き取り組む。 ②あらゆる人権問題に対して、一人ひとりが正しい理解と認識を深め、人権を尊重する行動をとることができるように、研修テーマなどの検討を行う。 ③引き続き、人権啓発記事を広報なるとに掲載するとともに、市公式ウェブサイト等の広報手段を活用して、市民の人権意識の向上に努める。			
	令和3年度	令和2年度の実施状況により、適宜、見直しを行う。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.141

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	各種学級(女性・成人・高齢者学級)開設事業	担当部署	教育委員会 生涯学習人権課
総合計画体系				根拠法令 計画など	社会教育法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始 昭和 36 年度 終期 未定
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと			
(小項目)		生涯学習			
施策	1	生涯学習の推進			
基本事業	1	学習活動の推進			
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無					
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求					

◎事業概要 (PLAN)

目的	女性学級・成人学級・高齢者学級および公民館短期講座を開設することにより、市民の多様な学習ニーズに応え、自主的な学習を通じて市民が豊かな心を育み、生きがいを感じながら健康的に過ごすことができる環境を作る。			事業内容 (R1)	① 女性学級 8学級 ② 成人学級 4学級 ③ 高齢者学級 8学級 ④ 公民館短期講座 2講座				
実施方針	①社会教育指導員や公民館長のコーディネートのもと、学級長を中心に円滑な学級運営を行うとともに、適宜、社会教育指導員が助言・サポートを行うことで学習内容の充実を図る。 ②公民館短期講座については、市民の興味関心の高い分野に焦点を当てたテーマ学習を引き続き取り入れることにより、多様な学習ニーズに合った学習機会の提供に努める。				当初からの 変更点	人権問題・環境問題・防災等の課題を取り入れたテーマでの学習を行う。また、学級・講座開催に当たっては、市内社会教育施設の積極的な活用を併せて図る。			
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学級開設数		22	22	23	23	24	学級
	2	学級参加延人数		3,302	3,085	3,200	3,200	3,300	人
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	学級学習の内容を有意義と思った割合			98.3	99.1	94.0	94.0	94.0	%

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ②公民館短期講座を継続実施 ③アンケートによるニーズ把握 ④市民へのPR	①講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ②公民館短期講座を継続実施 ③アンケートによるニーズ把握 ④市民へのPR	①講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ②公民館短期講座を継続実施 ③アンケートによるニーズ把握 ④市民へのPR	①新規短期講座の開設 ②講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ③公民館短期講座を継続実施 ④アンケートによるニーズ把握 ⑤市民へのPR	①講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ②公民館短期講座を継続実施 ③アンケートによるニーズ把握 ④市民へのPR
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
	計	466	0	466	466	564

事務事業名	各種学級(女性・成人・高齢者学級)開設事業
-------	-----------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①女性学級8、成人学級4、高齢者学級8の計20学級を公民館や集会所などで開設し、社会教育指導員や公民館長のコーディネートにより学級長を中心に自主的な学級運営を行った。社会教育指導員は、各学級に対し、講師の紹介や学習機器の貸し出し等を行い、学習内容の充実に努めた。 ②公民館短期講座では、子育て世代の女性を対象としたライフスタイル講座と、鳴門市における歴史文化を「阿波学会総合学術調査」「鳴門の渦潮 世界遺産登録学術調査」の調査研究成果から学ぶ歴史文化講座を開設した。 ③学習満足度・ニーズ等をアンケートにより把握し、学級長や公民館長に結果を還元した。					
指標名			平成30元年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	学級開設数	22	22	22	23	23	学級
	2	学級参加延人数	3,085	2,988	3,100	3,200	3,200	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	学級学習の内容を有意義と思った割合		99.1	100.0	99.0	99.0	99.0	%
	目標達成率(実績/目標)			106.4				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		417,344	0	394,944	0	394,944	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		417,344	0	394,944	0	394,944	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	学級学習の内容を有意義と思った割合		成果指標に対する所見	学級・講座終了時に受講者を対象に実施したアンケート調査においては、学習内容について「大変よかった」「よかった」と回答したものの割合が成果指標を上回っており、高い満足度を得ている。		
	目標	94.0	%				
	実績	100.0	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①各種学級の運営については、社会教育指導員の助言・サポートが必要不可欠であり、事業の安定した継続には社会教育指導員の資質によるところが大きい。引き続き、社会教育指導員の人材確保、資質向上が必要である。 ②学習内容のマンネリ化を防ぐため、受講者のニーズに応えた多様な学習内容を積極的に取り入れることが必要である。 ③各種学級の開設は、特定の熱意ある学級長に依存する傾向があり、新たなリーダーの育成が必要である。 ④新たな受講生を増やすために、講座の構成や内容、周知広報の方法の検討を行う必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	各種学級の講座構成や内容について検討を行い、受講生のニーズに沿った講座の開設を計画する。また、新たな受講生の参加が期待できる講座の開設を維持するとともに、周知広報の方法についてもより多くの市民の関心を引くことができるよう工夫に努める。			
	令和3年度	各種学級の講座の構成や内容について見直しをおこない、様々なニーズに対応できる講座の開設を検討する。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.142

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	公民館活用推進事業	担当部署	教育委員会 生涯学習人権課	
総合計画体系				根拠法令計画など	社会教育法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成 16 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと			終期	未定
(小項目)		生涯学習				
施策	1	生涯学習の推進				
基本事業	2	公民館活動の推進				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	公民館を地域活動の拠点として実生活に即した教育、学術、文化に関する各種事業を行い、地域住民の教養の向上、健康増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。					
実施方針	1. 地域の特色を活かした運営体制づくり 2. 利活用の促進					
事業内容(R1)	1. 地域の特色を活かした運営体制づくり ①管理業務の一部を地域に委託し、地域住民の意見を尊重した独自性を持った運営を行う 2. 利活用の促進 ①公民館短期講座の継続実施 ②社会教育指導員及び館長と連携した学級運営 ③快適な利用ができるよう必要な修繕、備品購入を実施					
	当初からの変更点					
指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	公民館で開催している学級数	18	18	18	19
	2					
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標
	公民館の利用者数		82,965	79,000	87,500	87,500

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②川東・瀬戸公民館のリニューアル工事実施 ③公民館短期講座の実施	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②里浦、北灘公民館のリニューアル工事実施 ③公民館短期講座の実施	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②斎田、里浦公民館自動ドア修繕等 ③公民館短期講座の実施	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②適宜、施設修繕 ③公民館短期講座の実施	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	28,078	0	28,078	27,386	27,117

事務事業名	公民館活用推進事業
-------	-----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		1. 地域の特色を活かした運営体制づくり ①管理業務の一部を地域に委託し、地域住民の意見を尊重した独自性を持った運営を行う 2. 利活用の促進 ①公民館短期講座の継続実施 ②社会教育指導員及び館長と連携した学級運営 ③快適な利用ができるよう必要な修繕、備品購入を実施					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	公民館で開催している学級数	18	18	18	19	19	学級
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	公民館の利用者数		78,947	73,282	87,500	87,500	87,500	人
	目標達成率(実績/目標)			83.8				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額		決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		53,820,094	0	27,567,354	0	27,567,354	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	448,000	0	0	0	0	
		地方債	19,300,000	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	4,688,424	0	701,259	0	701,259	
	一般財源		29,383,670	0	26,866,095	0	26,866,095	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	公民館の利用者数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月は活動を自粛したことから瀬戸公民館以外のすべての公民館において利用人数が1割程度減少した。		
	目標	87,500	人				
	実績	73,282	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①地域の社会教育の拠点として多くの市民に積極的に活用されているが、若い世代の利用が少ないなど、利用者に偏りが見られるため、さまざまな年齢や性別の方が利用できるような取組が必要である。 ②施設の老朽化が進んでおり、計画的な修繕等により、施設の長寿命化や利用者が快適に利用できる環境整備を進める必要がある。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②適宜、施設修繕 ③公民館短期講座の実施 ④各種学級と連携をとりながら、年齢等に関係なく公民館が活用される取組を進める。				
	令和3年度	継続実施を図りながら、若い世代の利用を促進できるよう、新規に学級をひとつ増やす。				

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.143

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	公民館耐震化事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課	
総合計画体系					根拠法令 計画など	社会教育法	
基本政策(大項目)		2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成 28 年度
政策(中項目)		4	生きがいあふれるまち になると			終期	未定
(小項目)			生涯学習				
施策		1	生涯学習の推進				
基本事業		2	公民館活動の推進				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	公民館の耐震化を実施し、地域の社会教育の拠点となる施設の整備を図る。		事業内容 (R1)	1. 公民館の耐震性能の確保 ①堀江公民館新築移転工事設計業務 大麻学校給食センター西隣接の市有地(大谷運動場)に堀江公民館を新築するための設計業務 ②建設地地質調査業務 ③埋蔵文化財発掘調査				
実施方針	1. 耐震性能を満たしていないと判断された公民館の耐震改修または新築を行い、耐震性能を確保する			当初からの変更点	堀江公民館設計業務において、協議に不測の日数を要したため、完了を次年度に繰り越した。 埋蔵文化財発掘調査において、試掘調査に加え本調査を実施した。			
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	耐震改修を行った公民館数	1	1	0	1	0	館
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	公民館の耐震化率		67	75	75	83	83	%

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①斎田公民館耐震改修工事 ②大津中央公民館耐震改修設計業務 ③堀江公民館耐震化のあり方を検討	①大津中央公民館耐震改修工事 ②堀江公民館耐震化のあり方を新築移転と決定 ③川東、瀬戸、北灘、堀江、大津中央のブロック塀撤去工事	①堀江公民館新築移転業務のうち設計業務 建設地地質調査 埋蔵文化財発掘調査	①堀江公民館新築移転業務のうち建築工事	耐震性を満たさない公民館の耐震化のあり方を検討
事業費推移(千円)	年 度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	27,830	0	27,830	236,690	未定

事務事業名	公民館耐震化事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容		令和元年度実施内容		堀江公民館新築移転業務のうち、設計業務、建設用地地質調査、建設用地埋蔵文化財発掘調査を実施。					
指標名				平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	耐震改修を行った公民館数		1	0	1	0	0	館
	2								
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	公民館の耐震化率			75	75	83	83	83	%
	目標達成率(実績/目標)				100.0				%
事業費推移 (円)		年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
		計		32,053,320	0	13,975,366	13,100,000	27,075,366	
		財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
			県支出金	824,000	0	0	0	0	
			地方債	25,000,000	0	7,500,000	11,800,000	19,300,000	
			使用料・手数料	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
一般財源		6,229,320	0	6,475,366	1,300,000	7,775,366			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	公民館の耐震化率		成果指標に対する所見	協議に不測の日数を要し、設計業務が次年度に繰り越したものの業務完了の見通しは立っており、その他の予定していた業務はすべて完了した。また、成果指標の耐震化率は、目標数値である75%を達成した。		
	目標	75	%				
	実績	75	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	堀江公民館の設計業務を完了し、次年度内の竣工をめざす。また、耐震性を満たさない公民館の今後のあり方について検討をすすめる。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	堀江公民館の設計業務を完了し、年度内の竣工をめざす。			
	令和3年度	耐震性を満たさない公民館の今後のあり方を検討する。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.144

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	放課後子供教室推進事業	担当部署	教育委員会 生涯学習人権課	
総合計画体系				根拠法令計画など	徳島県放課後子供教室推進事業等実施要綱	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成 19 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと			終期	未定
(小項目)		生涯学習				
施策	1	生涯学習の推進				
基本事業	3	青少年健全育成の推進				
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的		放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域住民の参画を得ながら、子どもたちがスポーツ・文化活動や勉強、地域住民との交流活動等に取り組むことにより、地域社会の中で子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		事業内容（R1）	①市内8小学校区で放課後子供教室を開設 ②地域コーディネーターで構成される実行委員会を定期的に開催 ③放課後児童クラブ、児童館及び放課後等デイサービス事業所との合同研修会の開催 ④安定した人材の確保を図るための方策の実施				
実施方針		① 地域の特色や人材を活かした様々な体験活動や交流活動を通して、子ども達の安全で安心な居場所づくりを進める。 ② 実施内容の充実並びに新たな放課後子供教室の整備に向け、地域の団体・機関に積極的に働きかけ、引き続き指導者・活動場所の確保を進める。 ③ 国の「新・放課後子ども総合プラン」を踏まえて、放課後児童クラブとの一体的または連携した実施を進める。			当初からの変更点	新型コロナウイルス影響下における小学校の臨時休校期間中、放課後児童クラブと一体実施している放課後子供教室については、子供の居場所確保や運動不足解消、ストレス解消、心身の健康増進を図るため、臨時的に活動を追加した。			
指標名				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	教室の実施回数		481	478	529	550	550	回
	2	教室の参加児童数		397	347	383	400	400	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	放課後子供教室利用者の延人数			9,587	10,198	9,200	9,300	9,300	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①8小学校区で開設 ②年度末に1小学校区閉校 ③実行委員会の開催 ④放課後児童クラブとの連携 ⑤人材確保措置	①7小学校区で開設 ②1小学校区新規開設 ③実行委員会の開催 ④放課後児童クラブとの連携 ⑤人材確保措置	①8小学校区で開設 ②実行委員会の開催 ③放課後児童クラブとの連携 ④人材確保措置	①8小学校区で開設 ②1小学校区新規開設 ③実行委員会の開催 ④放課後児童クラブとの連携 ⑤人材確保措置	①9小学校区で開設 ②実行委員会の開催 ③放課後児童クラブとの連携 ④人材確保措置
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
	計	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
		5,855	75	5,930	6,506	6,296

事務事業名	放課後子供教室推進事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和元年度実施内容		①市内8小学校区で放課後子供教室を開設した。 ②各教室の地域コーディネーターで構成される実行委員会を隔月計6回開催し、教室の運営等について協議・情報交換等を行った。 ③放課後児童対策事業全体の連携強化を図るため、放課後児童クラブ、児童館及び放課後等デイサービス事業所との合同研修会を開催した。 ④安定した人材の確保を図るため、地域コーディネーター及び指導者の謝金単価の引き上げを行った。 ⑤放課後子ども運営実行委員会を11月と2月に開催した。 ⑥新型コロナウイルスに伴う臨時休校期間中、放課後児童クラブと一体実施している放課後子供教室については、子供の居場所確保や運動不足解消、ストレス解消、心身の健康増進を図るため、臨時的に活動を追加した。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	教室の実施回数	478	536	550	550	570	回
	2	教室の参加児童数	347	466	400	400	420	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	放課後子供教室利用者の延人数		10,198	14,656	11,000	11,000	11,400	人
	目標達成率(実績/目標)			159.3				%
事業費推移 (円)	年 度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		5,268,606	0	5,892,043	0	5,892,043	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	3,512,000	0	3,928,000	0	3,928,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		1,756,606	0	1,964,043	0	1,964,043	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	放課後子供教室利用者の延人数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス影響下においても活動を実施し、緊急事態の際にもその必要性和有効性が確認された。事業への認知・理解は年々高まっており、利用する児童も増加傾向にある。学校や児童クラブとの連携・協力も進んでおり、A評価とする。		
	目標	9,200	人				
	実績	14,656	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①利用者増加への対応や教室の継続運営のため安定した人材確保の方策が必要。 ②児童クラブとの具体的な連携方法の検討が必要。 ③更なる新規教室の開設に向けて、学校・家庭・地域のニーズ及び実情的な確認が必要。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	①現在開設している放課後子供教室の安定した運営及び更なるプログラムの充実を図るとともに、新たな放課後子供教室の開設や、放課後児童クラブとの連携強化に向けて、地域の団体・機関等と調整を行う。 ②実行委員会にて、教室運営・活動プログラム等についての好事例について情報共有を行う。 ③放課後児童対策事業の合同研修会を開催し、事業間の連携を強化する。 ④人材確保策の一環として、大学生への活動の周知広報・勧誘活動を進める。 ⑤安定した人材を図るため、謝金単価の引き上げを行う。			
	令和3年度	実施内容の充実並びに新たな放課後子供教室の整備に向け、地域の団体・機関に働きかけ、引き続き指導者及び活動場所の確保に努める。			

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.145

◎基本情報

【計画ベース】

事業区分	継続	事務事業名	NPO法人との協働による図書館運営事業		担当部署	教育委員会 図書館	
総合計画体系					根拠法令計画など	なし	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業期間	開始	平成 15 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまちなると					
(小項目)		図書館					
施策	2	市民参加の図書館運営の推進					
基本事業	2	市民参加の図書館運営の推進とサービス向上					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	図書館業務の一部業務委託等により、NPO法人との協働による運営を充実させ、利用者へのサービス向上を図る。		事業内容 (R1)	①定期的に「鳴門市立図書館運営連絡会」を開催し、教育委員会及び市立図書館とNPO法人との相互共通認識を深めつつ協働運営を行う。 ②毎月の館内整理日に市職員とNPO法人が研修及び図書館業務の確認等、日常業務についても意思の疎通を図り連携を深めることで効率的な図書館運営を行う。 ③リニューアルされた館内施設や移動図書館を有効活用し、市民サービスの向上に努める。				
実施方針	NPO法人との協働により、多くの市民が参加できる効率的な図書館運営に努めるとともに、移動図書館車を有効利用し市民サービスの向上に努める。			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ボランティアの正会員数	140	140	140	140	140	人
	2	図書館での行事件数	263	270	270	270	270	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	行事に参加した人数		7,028	5,700	5,800	5,900	6,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	NPO法人との協働運営	NPO法人との協働運営	NPO法人との協働運営	NPO法人との協働運営	NPO法人との協働運営
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	25,066	344	25,410	25,410	25,410

事務事業名	NPO法人との協働による図書館運営事業
-------	---------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	①定期的に「鳴門市立図書館運営連絡会」を開催し、教育委員会及び市立図書館とNPO法人との相互共通認識を深めつつ協働運営を行った。 ②毎月の館内整理日に市職員とNPO法人が研修及び図書館業務の確認等、日常業務についても意思の疎通を図り連携を深めることで効率的な図書館運営を行った。 ③リニューアルされた館内施設や移動図書館を有効活用し、市民サービスの向上に努めた。					
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 ボランティアの正会員数	136	140	140	140	140	人
	2 図書館での行事件数	272	202	270	270	270	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	行事に参加した人数	3,430	3,408	5,800	5,900	6,000	人
	目標達成率(実績/目標)		58.8	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年 度	平成30年度決算	令和元年度決算				
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計	22,100,000	0	25,410,000	0	25,410,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	22,100,000	0	25,410,000	0	25,410,000

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		未達成		事業全体の進捗状況		未達成	
成果指標に対する評価	指標名	行事に参加した人数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染拡大によりイベント等が中止となったこともあり、行事件数、参加人数とも目標を達成できなかった。今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響が残っているが、魅力的な行事を計画し目標を達成できるよう取り組んでいく。		
	目標	5,800	人				
	実績	3,408	人				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	NPO法人の自主的な活動により、利用者の立場に立ったきめ細やかなサービスの提供や図書館行事の充実が図られている。今後も、図書館とNPO法人の協働を進め、一層のサービス向上や利用者増加に向けた取り組みを続ける必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	NPO法人との連携を高め、計画的に図書館運営及び図書館業務研修を実施する。			
	令和3年度	NPO法人との連携を高め、計画的に図書館運営及び図書館業務研修を実施する。			